

中央区政世論調査

報告書

第46回 平成28年5月実施



中央区

は じ め に

区政運営のための指針づくりや施策の実施にあたっては、区民の皆さまの多様な意見・要望をさまざまな手段を講じて聴取し、把握・分析したうえで的確に反映させていくことが大切です。

そのため、区では、区長への手紙、区政モニター制度など各種の広聴活動を行っています。

「区政世論調査」もその一つとして、区民の皆さまの意見を統計的に把握するもので、昭和40年から実施し今回で46回目となりました。今回の調査では、「定住性」「防災対策」「健康診査」「高齢者施策」「子育て支援」「広報・広聴」「男女共同参画社会」「防犯対策」「公共施設」「スポーツ」「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」「施策の要望・評価」の12項目についてお伺いしました。調査結果は、今後の区政運営の基礎資料として活用していきますが、多くの皆さまに参考としていただければ幸いです。

おわりに、調査にご協力いただきました区民の皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成28年9月

中央区企画部広報課

| | |
|--------------------------------|----|
| I 調査のあらまし | 1 |
| 1 調査の目的 | 3 |
| 2 調査の項目 | 3 |
| 3 調査の設計 | 3 |
| 4 回収結果 | 4 |
| 5 地域区分 | 4 |
| 6 この報告書の見方 | 4 |
| 7 調査方法略歴 | 6 |
| II 回答者の属性 | 7 |
| 1 性別 | 9 |
| 2 年齢 | 9 |
| 3 職業 | 9 |
| 4 居住地域 | 10 |
| 5 同居家族 | 10 |
| 6 住居形態 | 10 |
| 7 家族構成 | 11 |
| 8 家族の状況 | 11 |
| 9 ライフステージ（7分類） | 11 |
| III 地域別にみた回答者の属性 | 13 |
| 1 年齢 | 15 |
| 2 職業 | 15 |
| 3 同居家族 | 15 |
| 4 住居形態 | 16 |
| 5 ライフステージ | 16 |
| IV 調査結果の分析 | 17 |
| 【1 定住性】 | 19 |
| (1) 居住年数 | 19 |
| (2) 愛着心 | 22 |
| (3) 定住意向 | 25 |
| 【2 防災対策】 | 28 |
| (1) 家庭での災害に対する備え | 28 |
| (2) 家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え | 33 |
| (3) 防災拠点の認知度 | 36 |

目 次

| | |
|---------------------------|-----|
| (4) 災害に備えた地域の協力体制 | 39 |
| (5) 避難の際に心配なこと | 41 |
| (6) 災害時に協力できる活動 | 45 |
| (7) 災害情報を得る手段として有効だと思うもの | 48 |
| 【3 健康診査】 | 51 |
| (1) 加入している健康保険 | 51 |
| (2) 健康診査の受診状況 | 54 |
| (3) 健康診査を受けなかった理由 | 57 |
| 【4 高齢者施策】 | 60 |
| (1) 要介護時における暮らし方 | 60 |
| (2) 区に望む高齢者保健福祉サービス | 64 |
| (3) 区に取り組んでほしい具体的な施策やサービス | 67 |
| 【5 子育て支援】 | 69 |
| (1) 子育てに関する悩みの相談 | 69 |
| (2) 重要と考える子育て支援策 | 73 |
| (3) 更に充実を図る必要がある子育て支援策 | 77 |
| (4) 区に取り組んでほしい具体的な施策やサービス | 80 |
| 【6 広報・広聴】 | 82 |
| (1) 区政情報を得る方法 | 82 |
| (2) 効果的な広聴の取り組み | 85 |
| 【7 男女共同参画社会】 | 88 |
| (1) 男女の地位の平等感 | 88 |
| (2) ワーク・ライフ・バランスについての考え方 | 100 |
| (3) 望ましい位置づけに対しての現在の状況 | 104 |
| (4) 女性センター「ブーケ21」の認知度 | 108 |
| 【8 防犯対策】 | 112 |
| (1) 不安に感じる犯罪 | 112 |
| (2) 防犯のために行っていること | 116 |
| (3) 区に特に力を入れてほしい施策 | 120 |
| 【9 公共施設】 | 124 |
| (1) 区の施設の利用頻度 | 124 |
| (2) 区の施設を利用したことがない理由 | 132 |
| (3) 現在不足していると思う公共施設 | 148 |
| (4) 将来不足すると思う公共施設 | 151 |

| | |
|-------------------------------|-----|
| 【10 スポーツ】 | 154 |
| (1) 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類 | 154 |
| (2) 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度 | 159 |
| (3) スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと | 163 |
| 【11 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会】 | 166 |
| (1) 大会への思い | 166 |
| (2) 大会の開催に伴い期待していること | 169 |
| (3) 大会の開催に伴い懸念していること | 172 |
| 【12 施策の要望・評価】 | 175 |
| (1) 区の施策の満足度と重要度 | 175 |
| (2) 区の施策への要望 | 182 |
| V 結果の数表 | 187 |
| VI 使用した調査票 | 209 |

I 調査のあらまし

I 調査のあらまし

1 調査の目的

区民の生活環境への意識、区の施策に対する評価および区政への意見・要望を把握し、本区の行政施策上の参考資料とする。

2 調査の項目

今回の調査では、次の12項目について調査した。

- (1) 定住性
- (2) 防災対策
- (3) 健康診査
- (4) 高齢者施策
- (5) 子育て支援
- (6) 広報・広聴
- (7) 男女共同参画社会
- (8) 防犯対策
- (9) 公共施設
- (10) スポーツ
- (11) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
- (12) 施策の要望・評価

3 調査の設計

- | | |
|----------|---|
| (1) 調査対象 | 中央区に居住する満18歳以上の男女個人（外国人区民を除く） |
| (2) 対象者 | 2,000人 |
| (3) 抽出方法 | 無作為抽出法 平成28年4月1日現在の住民基本台帳に登録された満18歳以上の男女119,718人より一定の割合で系統的に抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送法（郵送に準じた配布－郵送回収） |
| (5) 調査時期 | 平成28年5月6日（金）～5月23日（月） |
| (6) 調査機関 | 株式会社エスピー研 |

4 回収結果

(1) 地域別対象者数・回収数・回収率

| 地域 | 対象者 | 回収数 | 回収率(%) |
|---------------|-------|-------|--------|
| 京橋地域 | 507 | 237 | 46.7 |
| 日本橋地域 | 637 | 310 | 48.7 |
| 月島地域 (無回答) | 856 | 465 | 54.3 |
| 計 | 2,000 | 1,036 | 51.8 |

(2) 無効票(率)・無効内訳(率)

| 事故内訳 | 実数(率) | 内訳比率 |
|------|---------|-------|
| 転居 | 28(1.4) | 84.8 |
| その他 | 5(0.3) | 15.2 |
| 計 | 33(1.7) | 100.0 |

* 宛名なしで返送されてきた調査票を転居とした。

* 高齢や病気などの理由による調査辞退者をその他とした。

5 地域区分

集計にあたっては、地域特性を把握するため、区役所、特別出張所管内別に、京橋・日本橋・月島の3地域に区分した。

6 この報告書の見方

(1) 注意事項

- ①この報告書の設問および図表中のnとは、設問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。
- ②回答の比率(%)はnを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位までを示した。従って、合計が100%にならない場合がある。
- ③グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- ④回答者数が30に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていないものもある。
- ⑤本文中で、百分率の比較をする際には、ポイントと表記している。
- ⑥統計数値を考察するにあたっては、表現をおおむね以下のとおりとしている。

| 例 | 表現 |
|------------|--------|
| 20.0～20.4% | 2割 |
| 20.5～20.9% | 約2割 |
| 21.0～23.9% | 2割を超える |
| 24.0～26.4% | 2割台半ば |
| 26.5～28.9% | 3割近く |
| 29.0～29.4% | 約3割 |
| 29.5～29.9% | 3割 |

- ⑦クロス集計の図表では、分析軸となる質問（性別、性／年齢別など）に無回答だった人については掲載していない。そのため、各層の n の合計が総数とは一致しない場合がある。
- ⑧複数回答の設問におけるクロス集計の分析については、タイトルに（上位 8 項目）や（5 項目）などと書き添えているものもある。その場合、「その他」や「無回答」などは項目数として含めずに数えている。

（2）ライフステージについて

ライフステージとは、人間の一生を年齢や結婚、子どもの成長、子どもの独立、子どもの同居の有無などによっていくつかの段階に分けたものである。例えば、今回の調査で 30 歳代のライフステージ構成をみると、子どもがいないか未就学児のいる「家族形成期」（62.9%）が最も高いが、「独身期」（25.0%）や小・中学生の子どものいる「家族成長前期」（9.8%）もある。このように同じ 30 歳代でも人生段階は異なり、未就学児のいる人と小・中学生のいる人では、関心を持つ問題なども異なってくる。ライフステージによる分析は、単なる年齢別とは違う人生段階に目を向けた点に特徴がある。

今回の調査では、家族の状況を 6 分類して、回答者にどの段階であるかを答えてもらい、年齢を考慮して、最終的に「その他」を含む 7 分類にまとめた。

- ①独身期 = 独身（18～39 歳、学生など：親と同居含む）
- ②家族形成期 = 子どものいない夫婦（18～39 歳）、
子どもあり（一番上が小学校入学前）
- ③家族成長前期 = 子どもあり（一番上が小・中学生）
- ④家族成長後期 = 子どもあり（一番上が高・大学生）
- ⑤家族成熟期 = 64 歳以下で子どもあり
（一番上または子ども全員が卒業、就職、結婚など）
- ⑥老齢期 = 65 歳以上で子どもあり
（一番上または子ども全員が卒業、就職、結婚など）
独身（65 歳以上）、子どものいない夫婦（65 歳以上）
- ⑦その他 = 独身（40～64 歳）、子どものいない夫婦（40～64 歳）

(3) 標本誤差

標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下記の通りである。等間隔抽出法、すなわち無作為抽出法の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（n）および回答比率（P）によって異なる。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b=標本誤差 N=母集団
n=比率算出の基数（サンプル数）
P=回答比率

| 回答比率 (P) 基数 (n) | 10%または 90%前後 | 20%または 80%前後 | 30%または 70%前後 | 40%または 60%前後 | 50%前後 |
|--------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-------|
| 1,036 | ±1.86 | ±2.49 | ±2.85 | ±3.04 | ±3.11 |
| 700 | ±2.27 | ±3.02 | ±3.46 | ±3.70 | ±3.78 |
| 500 | ±2.68 | ±3.58 | ±4.10 | ±4.38 | ±4.47 |
| 300 | ±3.46 | ±4.62 | ±5.29 | ±5.66 | ±5.77 |

注) この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が 1,036 で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±3.04%以内（56.96～63.04%）である」とみることができる。

7 調査方法略歴

この報告書の一部の設問において過年度比較をしている。比較に用いている各調査年の調査手法をまとめた。

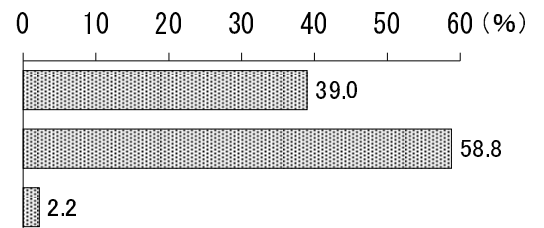
| 調査年 | 調査方法 | 説明 | 対象とした年齢 |
|---------|------|---------------|----------|
| 昭和 63 年 | 面接法 | 調査員による個別面接調査 | 満 20 歳以上 |
| 平成 4 年 | 面接法 | 調査員による個別面接調査 | 満 20 歳以上 |
| 平成 8 年 | 面接法 | 調査員による個別面接調査 | 満 20 歳以上 |
| 平成 12 年 | 留置法 | 郵送配布－訪問回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 16 年 | 留置法 | 郵送配布－訪問回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 17 年 | 留置法 | 郵送配布－訪問回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 18 年 | 留置法 | 郵送配布－訪問回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 19 年 | 留置法 | 郵送配布－訪問回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 20 年 | 郵送法 | 郵送配布－郵送回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 21 年 | 郵送法 | 郵送配布－郵送回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 22 年 | 郵送法 | 郵送配布－郵送回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 23 年 | 郵送法 | 郵送に準じた配布－郵送回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 24 年 | 郵送法 | 郵送に準じた配布－郵送回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 25 年 | 郵送法 | 郵送に準じた配布－郵送回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 26 年 | 郵送法 | 郵送に準じた配布－郵送回収 | 満 20 歳以上 |
| 平成 27 年 | 郵送法 | 郵送配布－郵送回収 | 満 20 歳以上 |

Ⅱ 回答者の属性

Ⅱ 回答者の属性

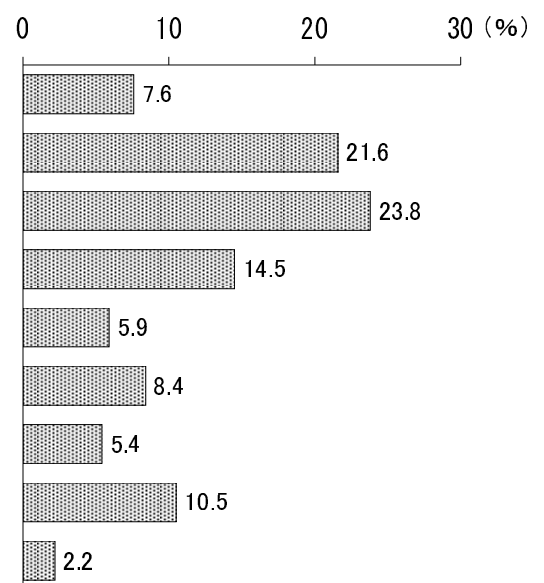
1 性別

| | 基数 | 構成比 |
|-------|-------|-------|
| 1 男性 | 404 | 39.0% |
| 2 女性 | 609 | 58.8 |
| (無回答) | 23 | 2.2 |
| 合計 | 1,036 | 100.0 |



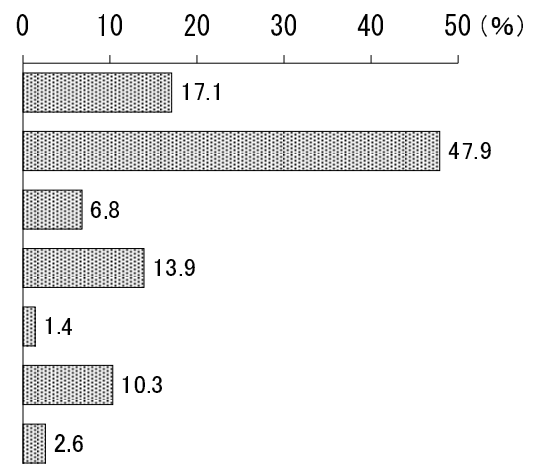
2 年齢

| | 基数 | 構成比 |
|----------|-------|-------|
| 1 18～29歳 | 79 | 7.6% |
| 2 30歳代 | 224 | 21.6 |
| 3 40歳代 | 247 | 23.8 |
| 4 50歳代 | 150 | 14.5 |
| 5 60～64歳 | 61 | 5.9 |
| 6 65～69歳 | 87 | 8.4 |
| 7 70～74歳 | 56 | 5.4 |
| 8 75歳以上 | 109 | 10.5 |
| (無回答) | 23 | 2.2 |
| 合計 | 1,036 | 100.0 |



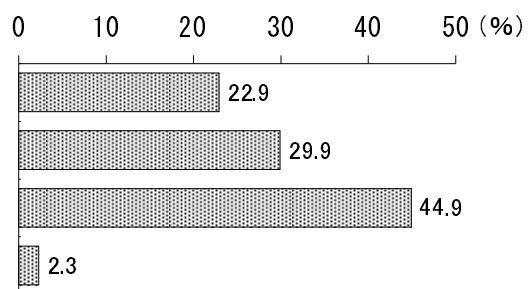
3 職業

| | 基数 | 構成比 |
|-----------------|-------|-------|
| 1 自営業 (家族従業を含む) | 177 | 17.1% |
| 2 勤め人 | 496 | 47.9 |
| 3 アルバイト・パートタイマー | 70 | 6.8 |
| 4 無職 (主婦) | 144 | 13.9 |
| 5 無職 (学生) | 15 | 1.4 |
| 6 無職 (その他) | 107 | 10.3 |
| (無回答) | 27 | 2.6 |
| 合計 | 1,036 | 100.0 |



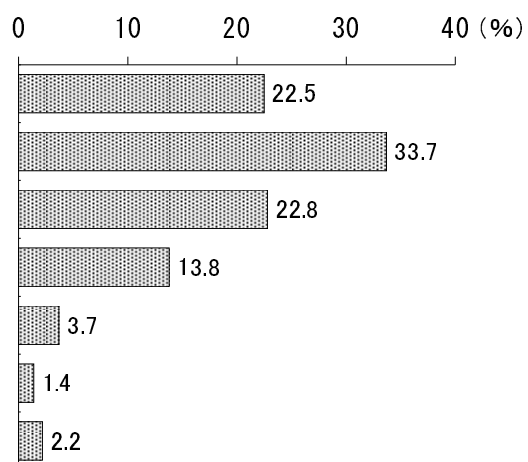
4 居住地域

| | 基数 | 構成比 |
|---------|-------|-------|
| 1 京橋地域 | 237 | 22.9% |
| 2 日本橋地域 | 310 | 29.9 |
| 3 月島地域 | 465 | 44.9 |
| (無 回 答) | 24 | 2.3 |
| 合 計 | 1,036 | 100.0 |



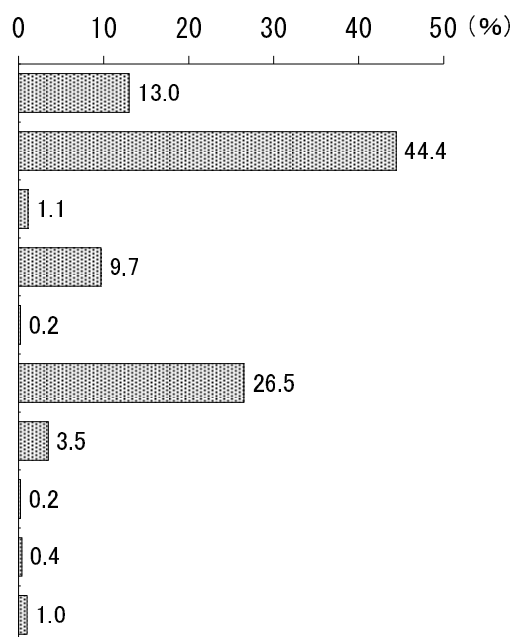
5 同居家族

| | 基数 | 構成比 |
|---------|-------|-------|
| 1 1人 | 233 | 22.5% |
| 2 2人 | 349 | 33.7 |
| 3 3人 | 236 | 22.8 |
| 4 4人 | 143 | 13.8 |
| 5 5人 | 38 | 3.7 |
| 6 6人以上 | 14 | 1.4 |
| (無 回 答) | 23 | 2.2 |
| 合 計 | 1,036 | 100.0 |



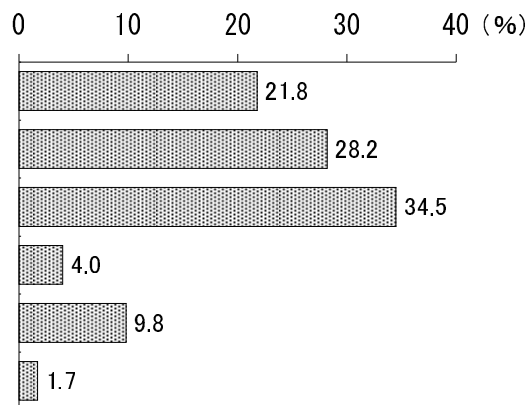
6 住居形態

| | 基数 | 構成比 |
|--------------------------------------|-------|-------|
| 1 持家 一戸建 | 135 | 13.0% |
| 2 持家 分譲マンション | 460 | 44.4 |
| 3 借家 一戸建 | 11 | 1.1 |
| 4 借家 公共住宅 (区立・区営・都営・公社・都市再生機構 (旧公団)) | 101 | 9.7 |
| 5 借家 民間木造アパート | 2 | 0.2 |
| 6 借家 民間鉄筋アパート・マンション | 275 | 26.5 |
| 7 借家 社宅・官舎・寮 | 36 | 3.5 |
| 8 借家 間借り・住込み | 2 | 0.2 |
| 9 その他 | 4 | 0.4 |
| (無 回 答) | 10 | 1.0 |
| 合 計 | 1,036 | 100.0 |



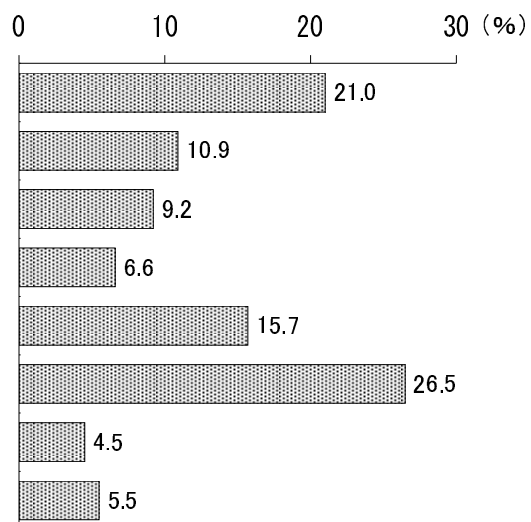
7 家族構成

| | 基数 | 構成比 |
|-----------------|-------|-------|
| 1 ひとり暮らし | 226 | 21.8% |
| 2 夫婦だけ（1世代） | 292 | 28.2 |
| 3 夫婦と子どもだけ（2世代） | 357 | 34.5 |
| 4 夫婦と子どもと親（3世代） | 41 | 4.0 |
| 5 その他 | 102 | 9.8 |
| （無回答） | 18 | 1.7 |
| 合計 | 1,036 | 100.0 |



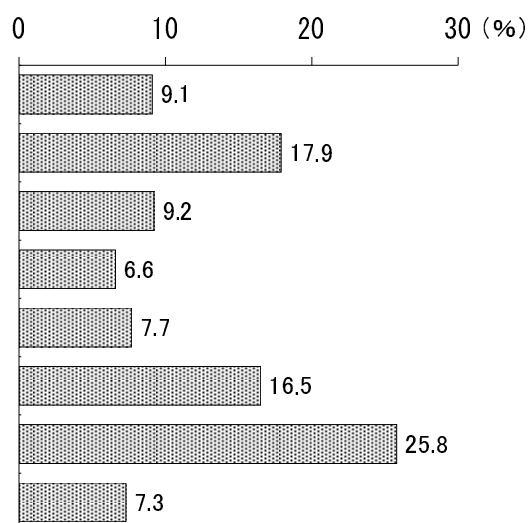
8 家族の状況

| | 基数 | 構成比 |
|------------------|-------|-------|
| 1 子どものいない夫婦 | 218 | 21.0% |
| 2 一番上の子どもが小学校入学前 | 113 | 10.9 |
| 3 一番上の子どもが小・中学生 | 95 | 9.2 |
| 4 一番上の子どもが高校・大学生 | 68 | 6.6 |
| 5 一番上の子どもが学校卒業 | 163 | 15.7 |
| 6 独身 | 275 | 26.5 |
| 7 その他 | 47 | 4.5 |
| （無回答） | 57 | 5.5 |
| 合計 | 1,036 | 100.0 |



9 ライフステージ（7分類）

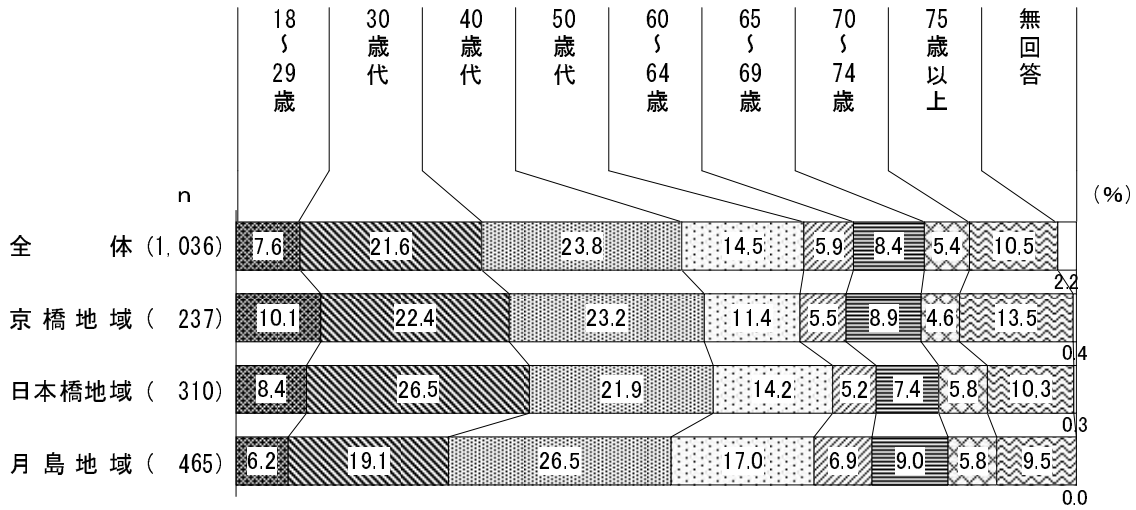
| | 基数 | 構成比 |
|----------|-------|-------|
| 1 独身期 | 94 | 9.1% |
| 2 家族形成期 | 185 | 17.9 |
| 3 家族成長前期 | 95 | 9.2 |
| 4 家族成長後期 | 68 | 6.6 |
| 5 家族成熟期 | 80 | 7.7 |
| 6 老齢期 | 171 | 16.5 |
| 7 その他 | 267 | 25.8 |
| （無回答） | 76 | 7.3 |
| 合計 | 1,036 | 100.0 |



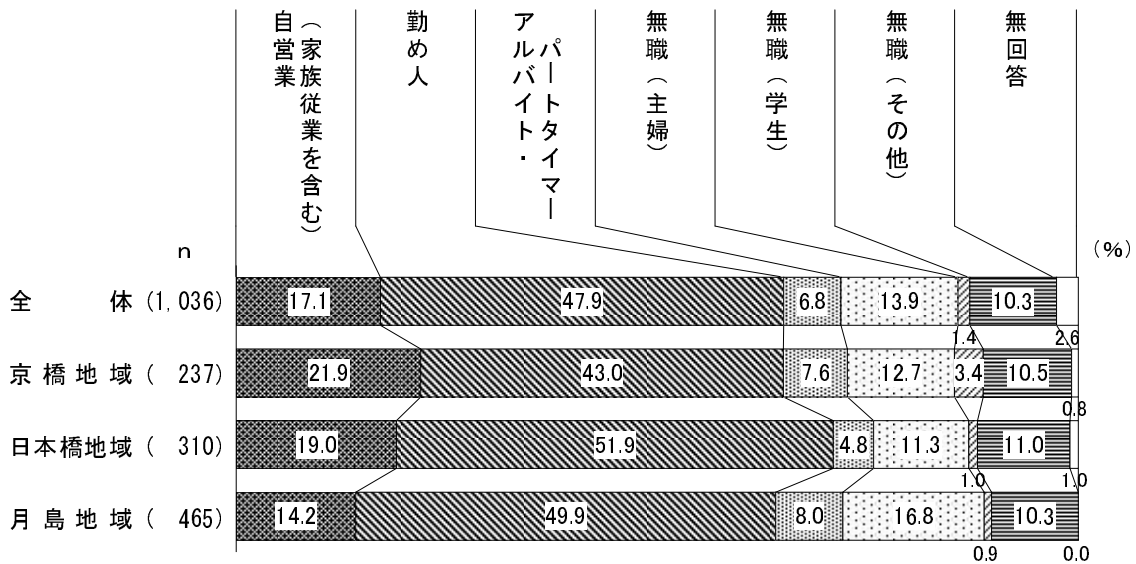
Ⅲ 地域別にみた回答者の属性

Ⅲ 地域別にみた回答者の属性

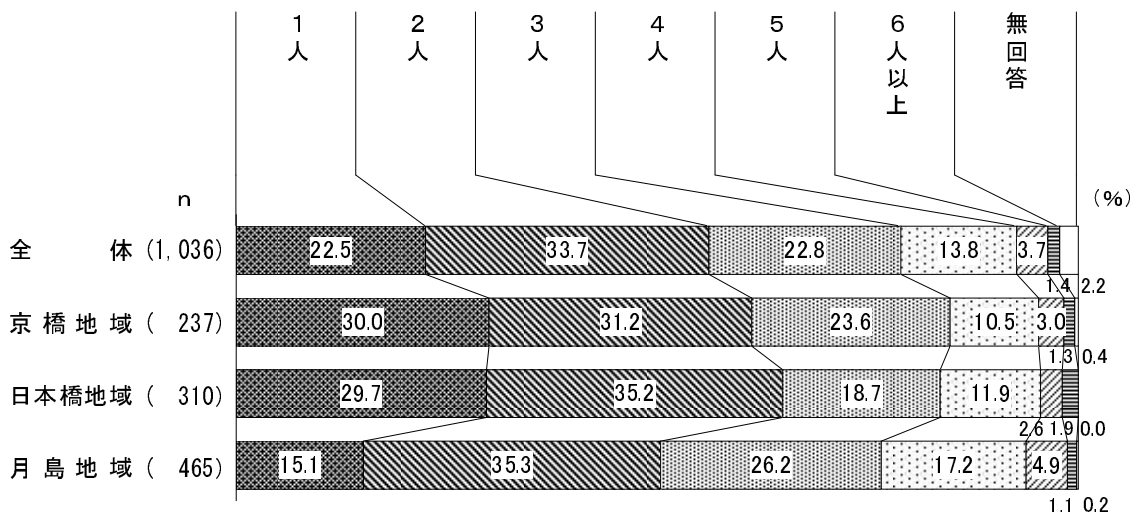
1 年齢



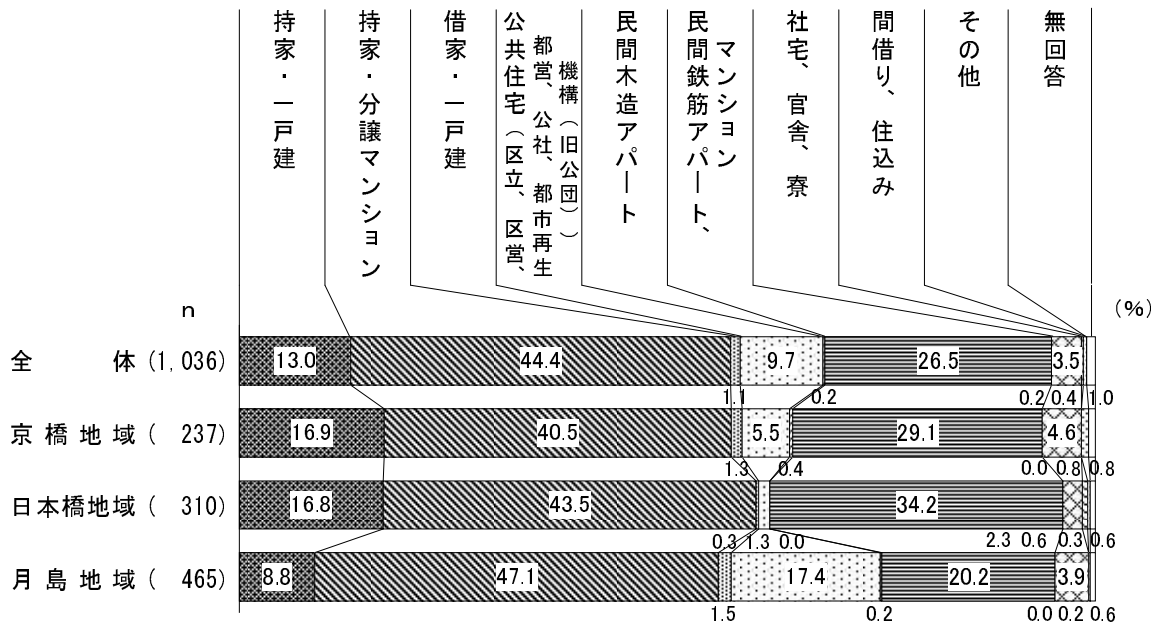
2 職業



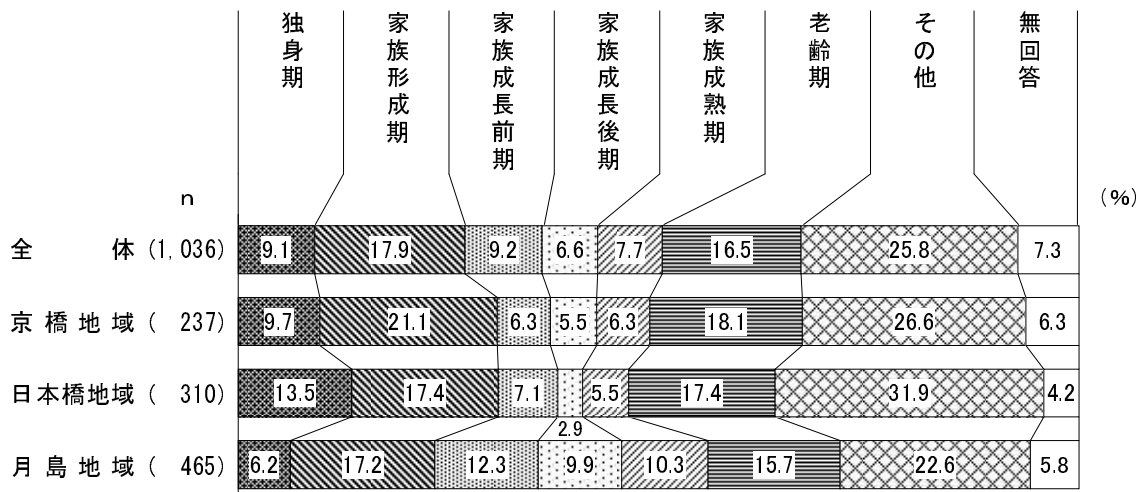
3 同居家族



4 住居形態



5 ライフステージ



IV 調査結果の分析

IV 調査結果の分析

【1 定住性】

(1) 居住年数

◇『短期居住者』と『中期居住者』がともに3割台半ば

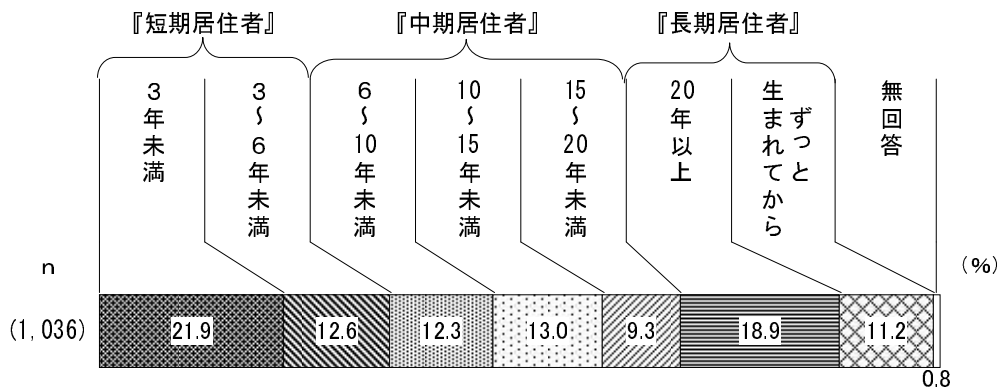
| 問1 あなたは、中央区にお住まいになって何年になりますか。(〇は1つ) | | | | | |
|-------------------------------------|----------|-------|---|-----------|------|
| n = 1,036 | | | | | |
| 1 | 3年未満 | 21.9% | 5 | 15～20年未満 | 9.3 |
| 2 | 3～6年未満 | 12.6 | 6 | 20年以上 | 18.9 |
| 3 | 6～10年未満 | 12.3 | 7 | 生まれてからずっと | 11.2 |
| 4 | 10～15年未満 | 13.0 | | (無回答) | 0.8 |

居住年数は、「3年未満」(21.9%)が最も高くなっており、「3～6年未満」(12.6%)と合わせた『短期居住者』(34.5%)が3割台半ばとなっている。

また、「6～10年未満」(12.3%)と「10～15年未満」(13.0%)、「15～20年未満」(9.3%)を合わせた『中期居住者』(34.6%)は3割台半ばとなっている。「20年以上」(18.9%)と「生まれてからずっと」(11.2%)を合わせた『長期居住者』(30.1%)は3割となっている。

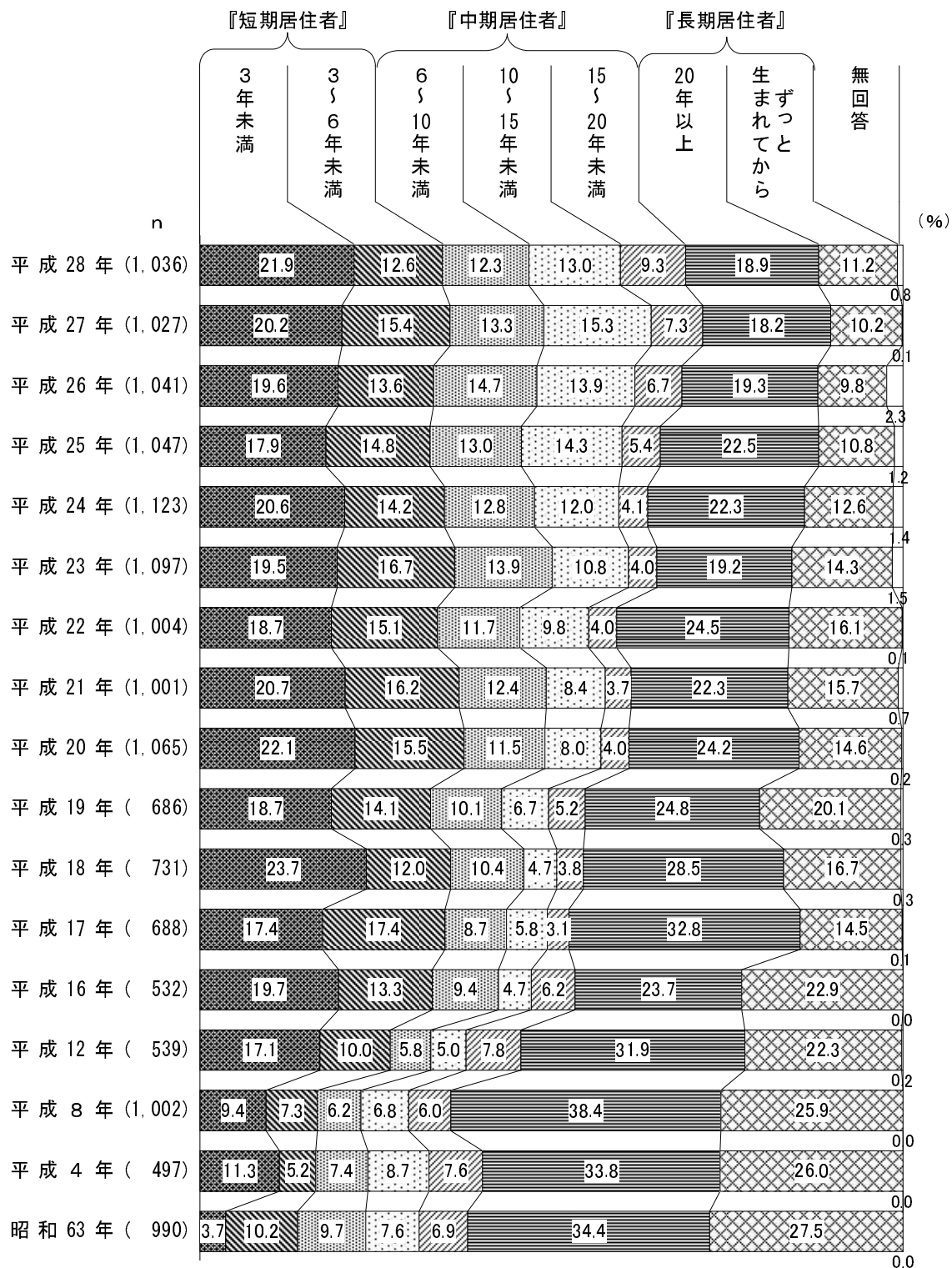
(図表1-1-1)

図表1-1-1 居住年数



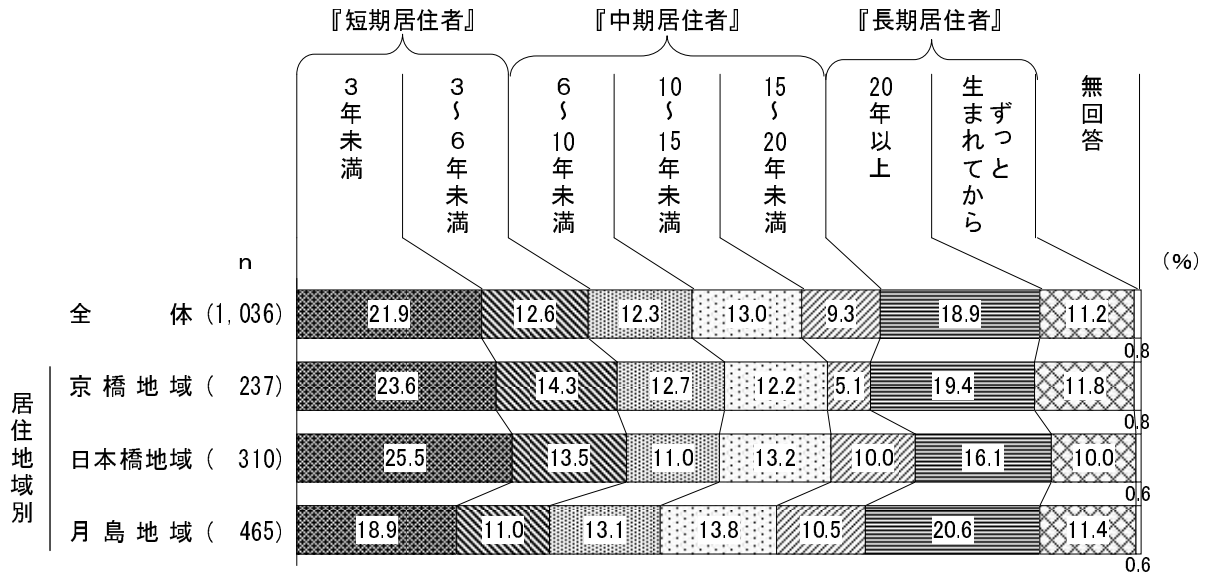
過去の調査結果と比較すると、「3年未満」は平成18年（23.7%）、平成20年（22.1%）に次いで高い割合となっている。また、『中期居住者』は昨年より1.3ポイント減少し、『長期居住者』は昨年より1.7ポイント増加している。（図表1-1-2）

図表1-1-2 居住年数一過年度比較



居住地域別でみると、「3年未満」と「3～6年未満」を合わせた『短期居住者』は日本橋地域で約4割となっている。「20年以上」と「生まれてからずっと」を合わせた『長期居住者』は京橋地域と月島地域でともに3割を超えている。(図表1-1-3)

図表1-1-3 居住年数—居住地域別



(2) 愛着心

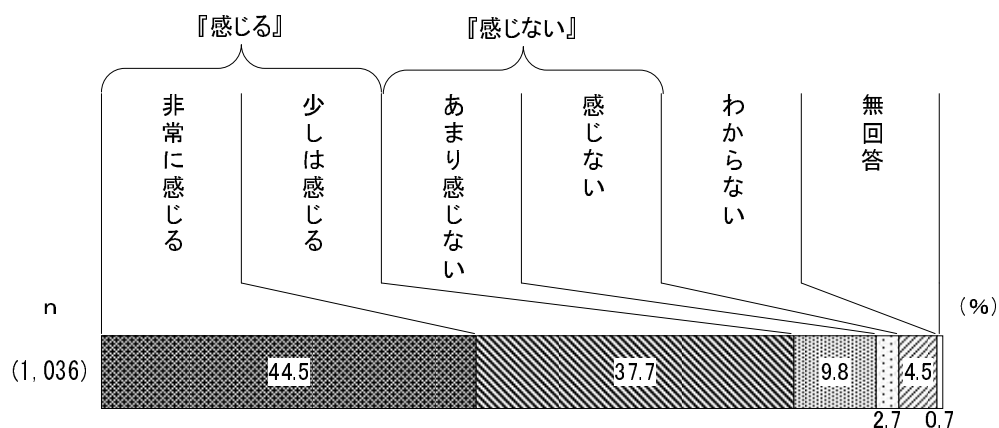
◇愛着を『感じる』人が8割を超える

| | | | | | |
|---|---------|-------|---|-------|-----|
| 問2 あなたは、中央区に対して「わがまち」というような愛着心を感じていますか。 | | | | | |
| (○は1つ) | | | | | |
| n = 1,036 | | | | | |
| 1 | 非常に感じる | 44.5% | 4 | 感じない | 2.7 |
| 2 | 少しは感じる | 37.7 | 5 | わからない | 4.5 |
| 3 | あまり感じない | 9.8 | | (無回答) | 0.7 |

愛着心は、「非常に感じる」(44.5%)が最も高くなっており、「少しは感じる」(37.7%)と合わせた『感じる』(82.2%)が8割を超えている。

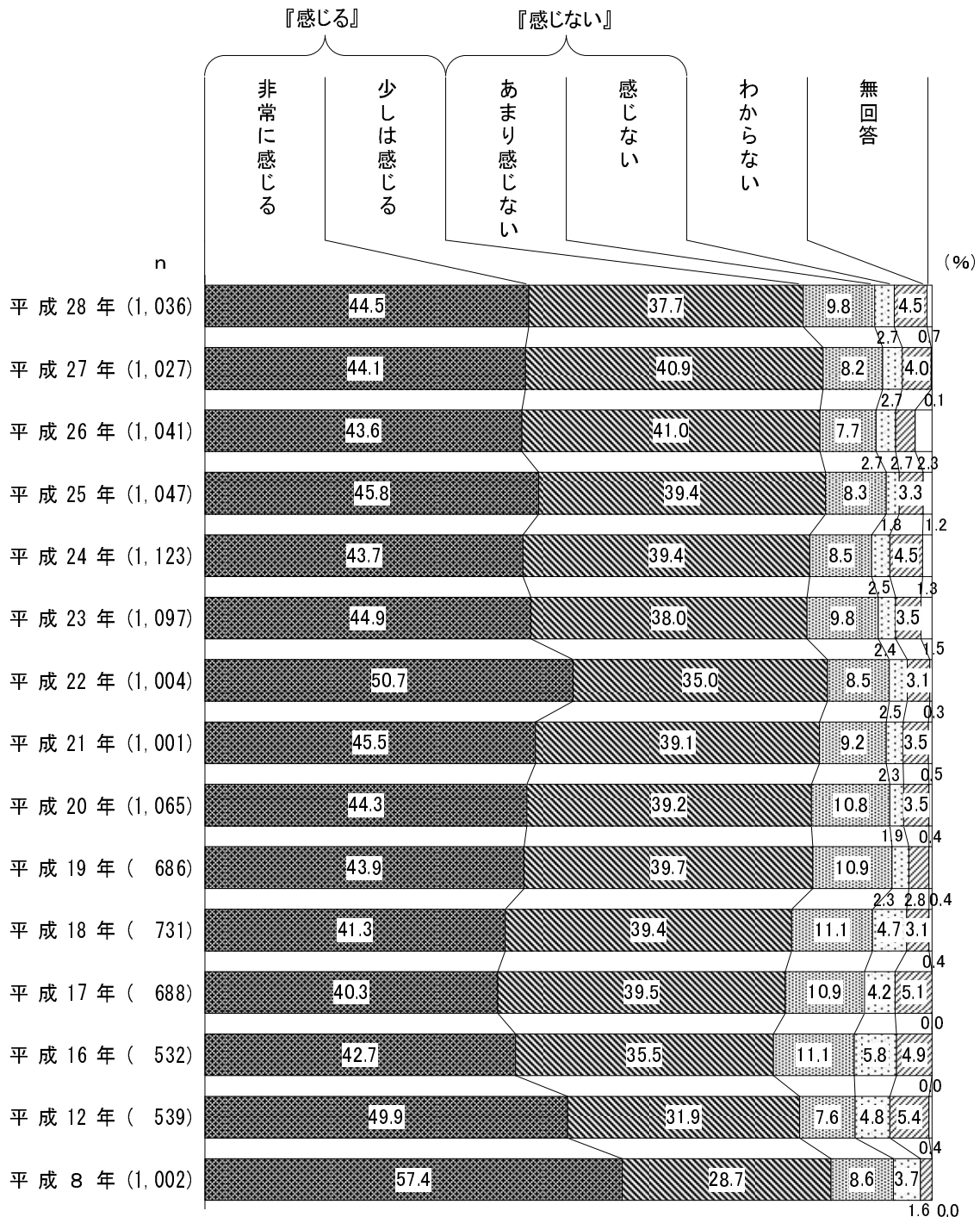
一方、「あまり感じない」(9.8%)と「感じない」(2.7%)を合わせた『感じない』(12.5%)は1割を超えている。(図表1-2-1)

図表1-2-1 愛着心



過去の調査結果と比較すると、「非常に感じる」と「少しは感じる」を合わせた『感じる』は平成18年以降8割以上で推移している。(図表1-2-2)

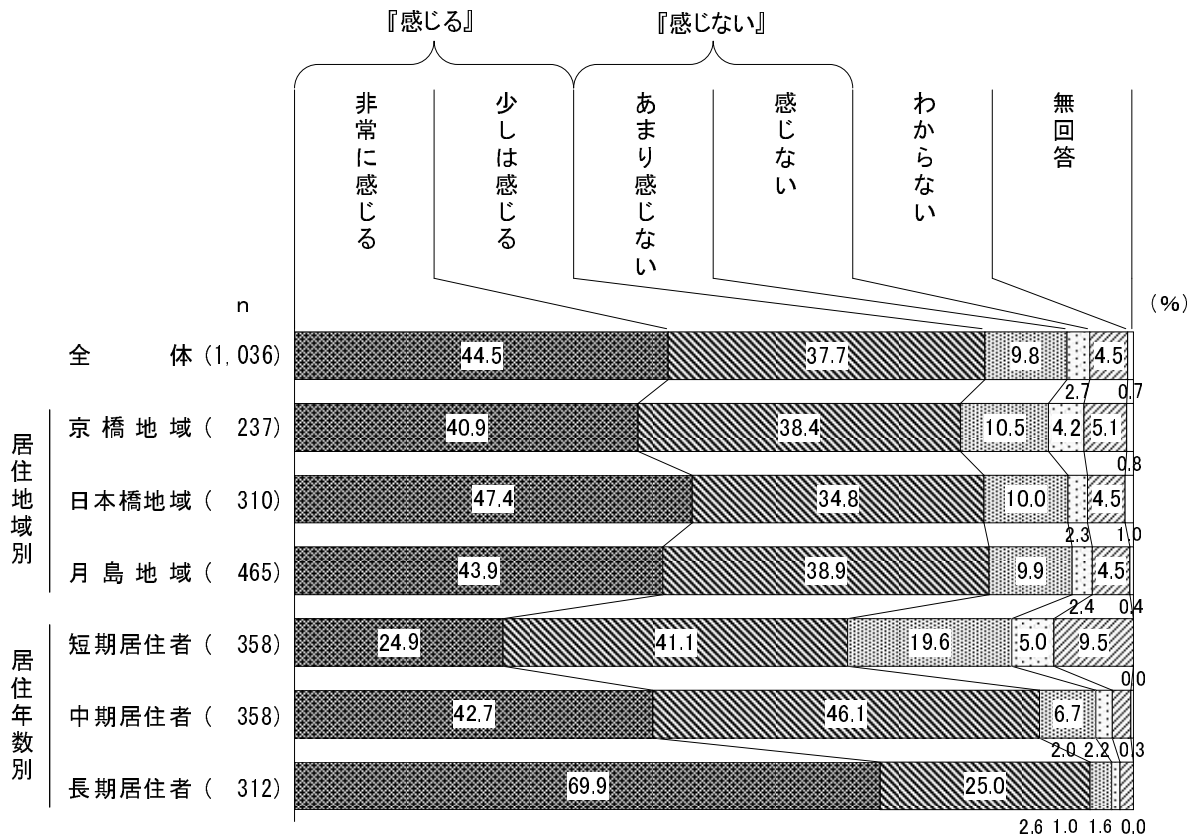
図表1-2-2 愛着心一過年度比較



居住地域別でみると、「非常に感じる」と「少しは感じる」を合わせた『感じる』は日本橋地域と月島地域とともに8割を超え、京橋地域でも約8割となっている。

居住年数別でみると、『感じる』は居住年数が長くなるほど割合が高くなっており、長期居住者では9割台半ばとなっている。(図表1-2-3)

図表1-2-3 愛着心—居住地域別・居住年数別



(3) 定住意向

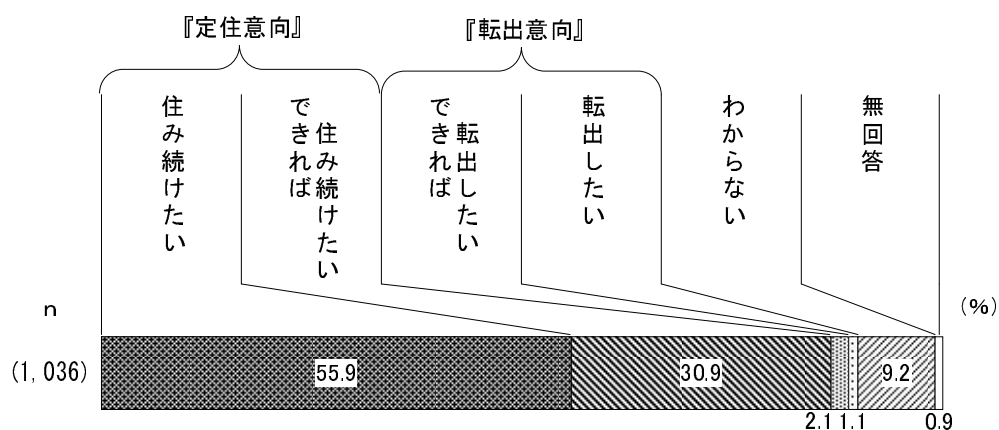
◇『定住意向』が9割近く

| 問3 あなたは、中央区に今後もずっと住みたいと思っていますか。(〇は1つ) | | | | |
|---------------------------------------|------------|-------|---------|-----|
| n = 1,036 | | | | |
| 1 | 住み続けたい | 55.9% | 4 転出したい | 1.1 |
| 2 | できれば住み続けたい | 30.9 | 5 わからない | 9.2 |
| 3 | できれば転出したい | 2.1 | (無回答) | 0.9 |

定住意向は、「住み続けたい」(55.9%)が最も高くなっており、「できれば住み続けたい」(30.9%)と合わせた『定住意向』(86.8%)が9割近くとなっている。

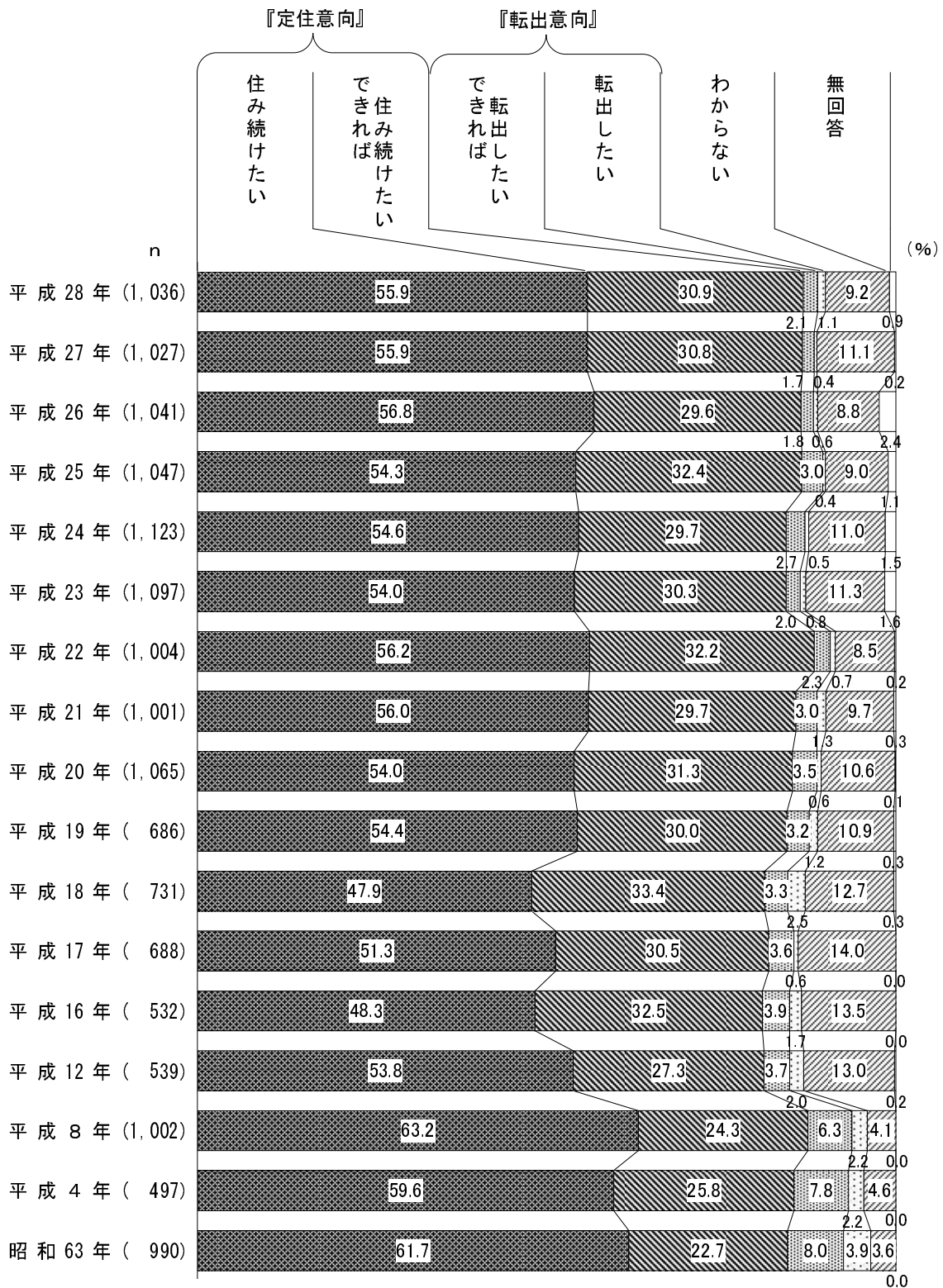
一方、「できれば転出したい」(2.1%)と「転出したい」(1.1%)を合わせた『転出意向』(3.2%)は1割に満たない。(図表1-3-1)

図表1-3-1 定住意向



過去の調査結果と比較すると、「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた『定住意向』は平成25年以降ほぼ同じ割合で推移している。(図表1-3-2)

図表1-3-2 定住意向一過年度比較

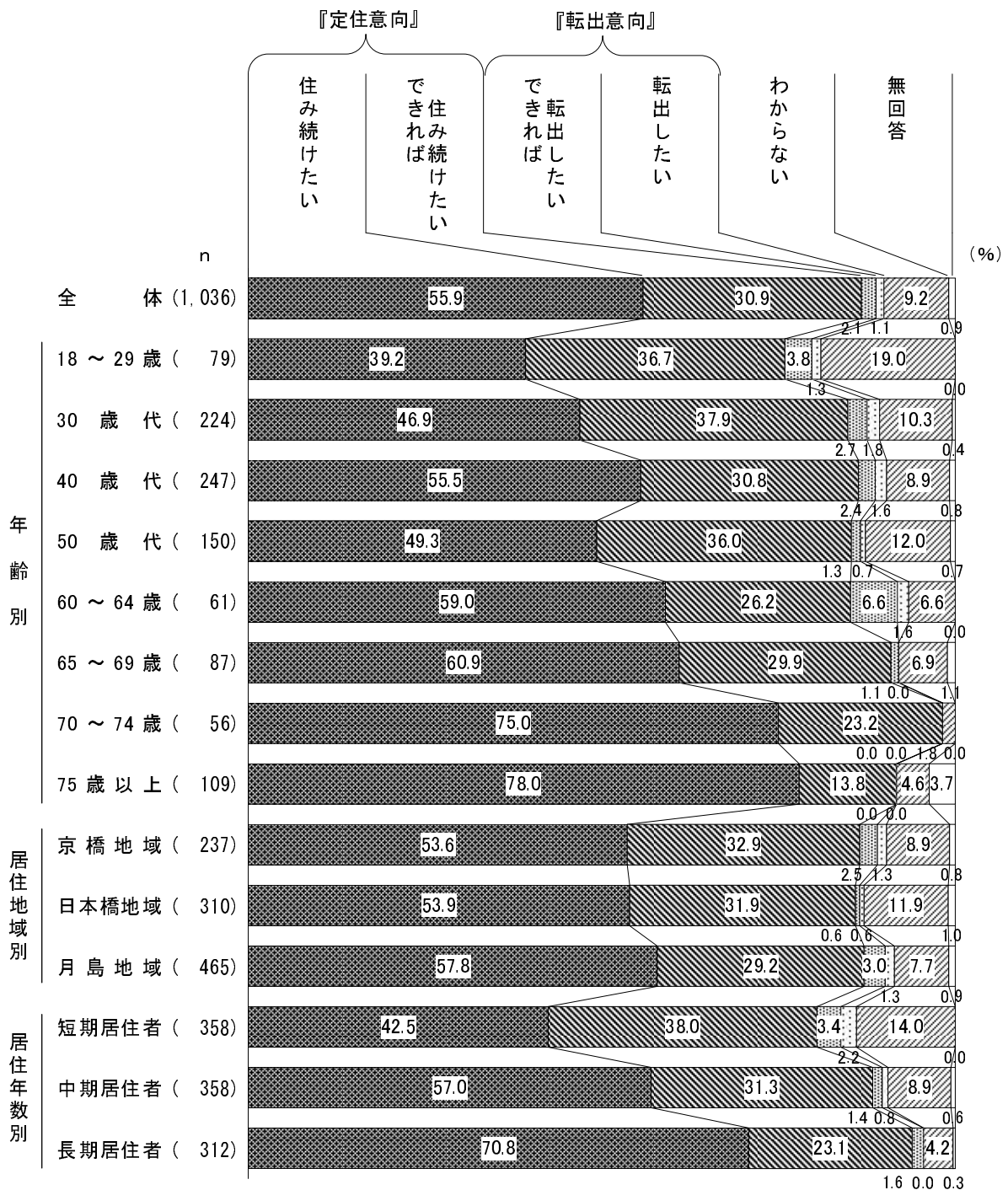


年齢別でみると、「住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた『定住意向』は70～74歳で10割近くとなっている。

居住地域別でみると、『定住意向』は全ての地域で8割台となっている。

居住年数別でみると、『定住意向』は長期居住者で9割を超えており、中期居住者では9割近く、短期居住者では約8割となっている。(図表1-3-3)

図表1-3-3 定住意向一年齢別・居住地域別・居住年数別



【2 防災対策】

(1) 家庭での災害に対する備え

◇「飲料水の備蓄」が6割台半ば

問4 あなたのご家庭では、大地震などの災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

n = 1,036

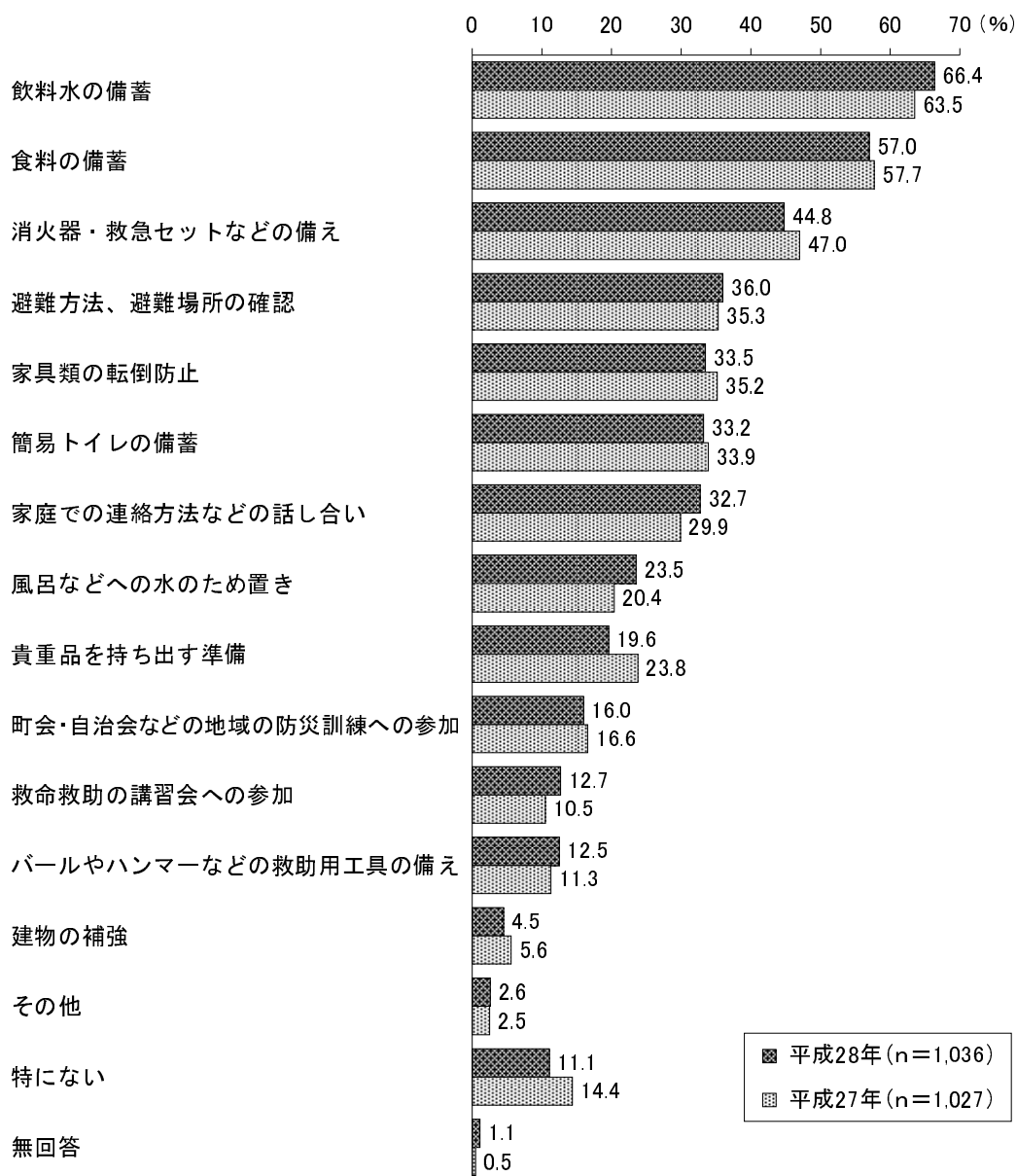
| | |
|-------------------------|-------|
| 1 食料の備蓄 | 57.0% |
| 2 飲料水の備蓄 | 66.4 |
| 3 簡易トイレの備蓄 | 33.2 |
| 4 家具類の転倒防止 | 33.5 |
| 5 消火器・救急セットなどの備え | 44.8 |
| 6 バールやハンマーなどの救助用工具の備え | 12.5 |
| 7 貴重品を持ち出す準備 | 19.6 |
| 8 風呂などへの水のため置き | 23.5 |
| 9 救命救助の講習会への参加 | 12.7 |
| 10 町会・自治会などの地域の防災訓練への参加 | 16.0 |
| 11 避難方法、避難場所の確認 | 36.0 |
| 12 家庭での連絡方法などの話し合い | 32.7 |
| 13 建物の補強 | 4.5 |
| 14 その他 | 2.6 |
| 15 特にない | 11.1 |
| (無回答) | 1.1 |

家庭での災害に対する備えは、「飲料水の備蓄」(66.4%)が6割台半ばで最も高くなっている。次いで、「食料の備蓄」(57.0%)、「消火器・救急セットなどの備え」(44.8%)、「避難方法、避難場所の確認」(36.0%)、「家具類の転倒防止」(33.5%)、「簡易トイレの備蓄」(33.2%)、「家庭での連絡方法などの話し合い」(32.7%)などとなっている。一方、「特にない」(11.1%)は1割を超えている。

昨年の調査結果と比較すると、「風呂などへの水のため置き」は3.1ポイント増加している。一方、「貴重品を持ち出す準備」は4.2ポイント、「特にない」は3.3ポイント、それぞれ減少している。

(図表 2-1-1)

図表 2-1-1 家庭での災害に対する備え（複数回答）

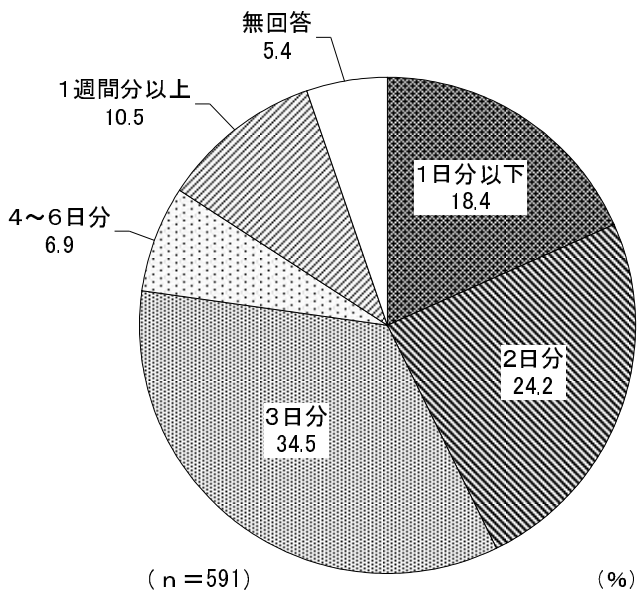


食料の備蓄日数は、「3日分」(34.5%)が3割台半ばで最も高く、平均備蓄日数は3.25日分となっている。(図表2-1-2)

飲料水の備蓄日数は、「3日分」(30.8%)が約3割で最も高く、平均備蓄日数は3.88日分となっている。(図表2-1-3)

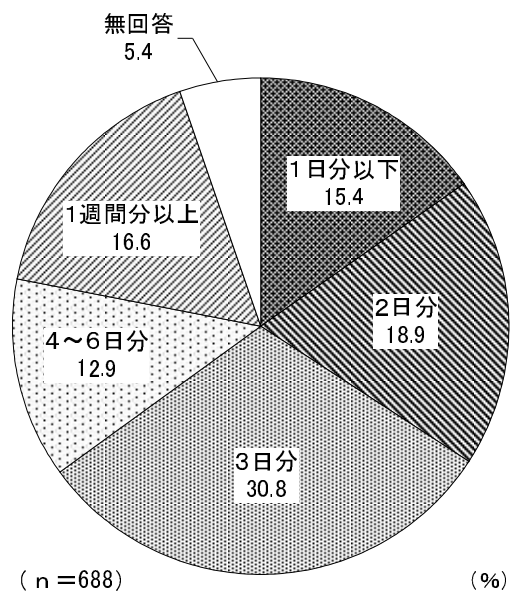
簡易トイレの備蓄日数は、「3日分」(34.3%)が3割台半ばで最も高く、平均備蓄日数は4.05日分となっている。(図表2-1-4)

図表2-1-2 食料の備蓄日数



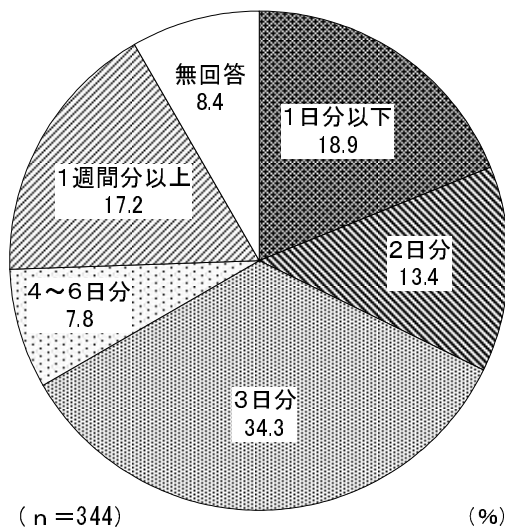
平均備蓄日数 : 3.25日

図表2-1-3 飲料水の備蓄日数



平均備蓄日数 : 3.88日

図表2-1-4 簡易トイレの備蓄日数



平均備蓄日数 : 4.05日

過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「飲料水の備蓄」、「食料の備蓄」、「消火器・救急セットなどの備え」が引き続き上位3項目となっている。
(図表2-1-5)

図表2-1-5 家庭での災害に対する備え一過年度比較

(%)

| 調査年 | n | 飲料水の備蓄 | 食料の備蓄 | 消火器・救急セットなどの備え | 避難方法、避難場所の確認 | 家具類の転倒防止 | 簡易トイレの備蓄 | 家庭での連絡方法などの話し合い | 風呂などへの水のため置き | 貴重品を持ち出す準備 | 町会・自治会などの地域の防災訓練への参加 | 救命救助の講習会への参加 | パルやハンマーなどの救助用工具の備え | 建物の補強 | その他 | 特になし | 無回答 |
|-------|-------|--------|-------|----------------|--------------|----------|----------|-----------------|--------------|------------|----------------------|--------------|--------------------|-------|-----|------|-----|
| 平成28年 | 1,036 | 66.4 | 57.0 | 44.8 | 36.0 | 33.5 | 33.2 | 32.7 | 23.5 | 19.6 | 16.0 | 12.7 | 12.5 | 4.5 | 2.6 | 11.1 | 1.1 |
| 平成27年 | 1,027 | 63.5 | 57.7 | 47.0 | 35.3 | 35.2 | 33.9 | 29.9 | 20.4 | 23.8 | 16.6 | 10.5 | 11.3 | 5.6 | 2.5 | 14.4 | 0.5 |
| 平成26年 | 1,041 | 67.0 | 60.7 | 50.1 | 37.7 | 37.9 | 36.4 | 33.5 | 25.5 | 22.1 | 16.8 | 14.2 | 12.5 | 4.0 | 2.5 | 10.2 | 3.4 |
| 平成25年 | 1,047 | 67.1 | 60.6 | 49.5 | 36.9 | 37.0 | 30.0 | 34.7 | 28.5 | 24.7 | 18.6 | 11.2 | 13.1 | 4.8 | 3.1 | 8.8 | 1.5 |
| 平成24年 | 1,123 | 67.7 | 58.9 | 51.6 | 35.5 | 40.1 | 23.5 | 36.2 | 27.0 | 26.2 | 16.5 | 11.0 | 13.1 | 4.2 | 2.2 | 9.0 | 1.8 |
| 平成23年 | 1,097 | 63.1 | 51.0 | 39.5 | 30.5 | 36.7 | 19.3 | 35.1 | 28.4 | 31.6 | 11.5 | 6.2 | 8.5 | 2.3 | 1.9 | 7.1 | 2.0 |
| 平成22年 | 1,004 | 42.8 | 37.3 | 39.5 | 26.7 | ※ | ※ | 21.2 | 21.8 | 17.5 | 16.6 | 7.2 | 6.7 | 5.8 | 1.9 | 19.9 | 2.0 |
| 平成21年 | 1,001 | 41.0 | 36.4 | 37.2 | 24.3 | 21.0 | ※ | 23.1 | 19.9 | 13.4 | 14.2 | 7.5 | 4.7 | 3.0 | 0.9 | 20.3 | 1.4 |
| 平成20年 | 1,065 | 41.1 | 24.8 | 31.7 | 29.6 | 23.6 | ※ | 26.1 | 19.5 | 11.0 | 14.3 | 6.5 | 4.2 | 2.1 | 1.6 | 20.5 | 1.9 |
| 平成19年 | 686 | 42.6 | 26.5 | 36.7 | 24.3 | 21.3 | ※ | 16.9 | 22.6 | 12.8 | 14.0 | 6.0 | 4.5 | 1.6 | 0.7 | 25.8 | 0.7 |

* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢

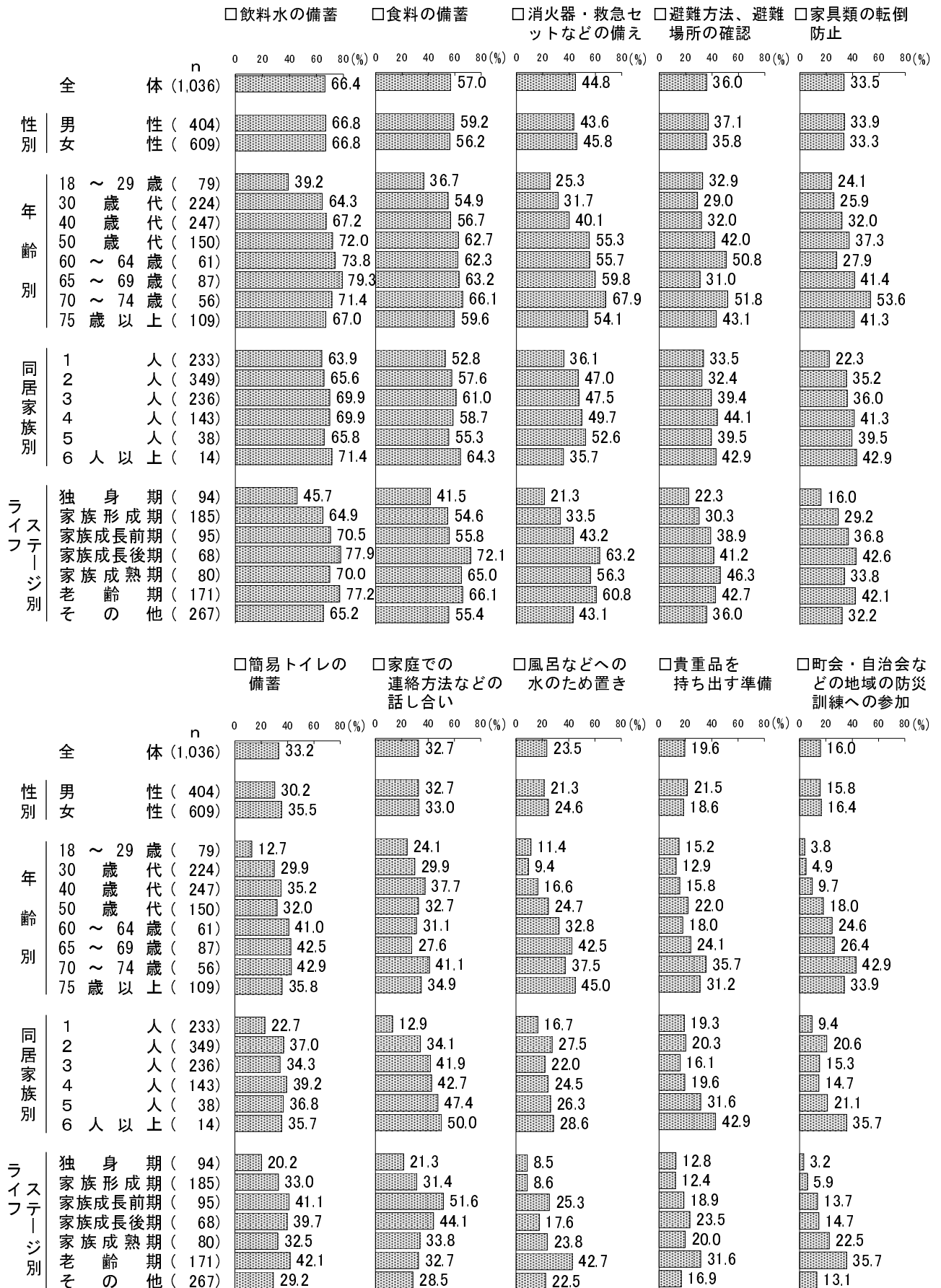
性別でみると、「簡易トイレの備蓄」は女性の方が男性よりも5.3ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「飲料水の備蓄」は65～69歳で約8割と高くなっている。「消火器・救急セットなどの備え」は70～74歳で7割近くと高くなっている。「家具類の転倒防止」は70～74歳で5割を超えて高くなっている。

同居家族別でみると、「家庭での連絡方法などの話し合い」は同居家族の多い人ほど割合が高くなっている。

ライフステージ別でみると、「飲料水の備蓄」は家族成長後期と高齢期でともに8割近くと高くなっている。「食料の備蓄」は家族成長後期で7割を超えて高くなっている。「消火器・救急セットなどの備え」は家族成長後期で6割を超えて高くなっている。(図表2-1-6)

図表2-1-6 家庭での災害に対する備え—性別・年齢別・同居家族別・ライフステージ別
(上位10項目)



(2) 家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え

◇「家具の配置を工夫している」と「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」がともに3割を超える

問5 大地震が発生した場合、家具の転倒やガラスの飛散により大けがをすることがあります。あなたのご自宅では、どのような備えを行っていますか。(〇はいくつでも)

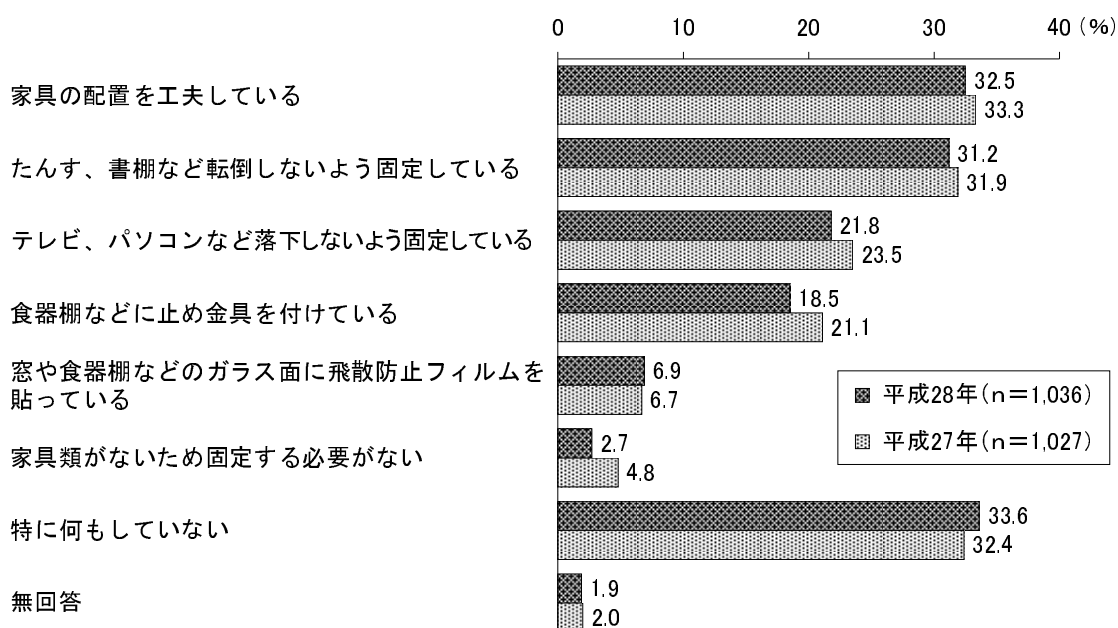
n = 1,036

| | | |
|---|-----------------------------|-------|
| 1 | たんす、書棚など転倒しないよう固定している | 31.2% |
| 2 | テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している | 21.8 |
| 3 | 窓や食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている | 6.9 |
| 4 | 食器棚などに止め金具を付けている | 18.5 |
| 5 | 家具の配置を工夫している | 32.5 |
| 6 | 家具類がないため固定する必要がない | 2.7 |
| 7 | 特に何もしていない | 33.6 |
| | (無回答) | 1.9 |

家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備えは、「家具の配置を工夫している」(32.5%)と「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」(31.2%)がともに3割を超えている。次いで、「テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している」(21.8%)、「食器棚などに止め金具を付けている」(18.5%)などとなっている。また、「特に何もしていない」(33.6%)は3割を超えている。

昨年との調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。(図表2-2-1)

図表2-2-1 家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、「家具の配置を工夫している」、「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」、「テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している」が引き続き上位3項目となっている。(図表2-2-2)

図表2-2-2 家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え一過年度比較

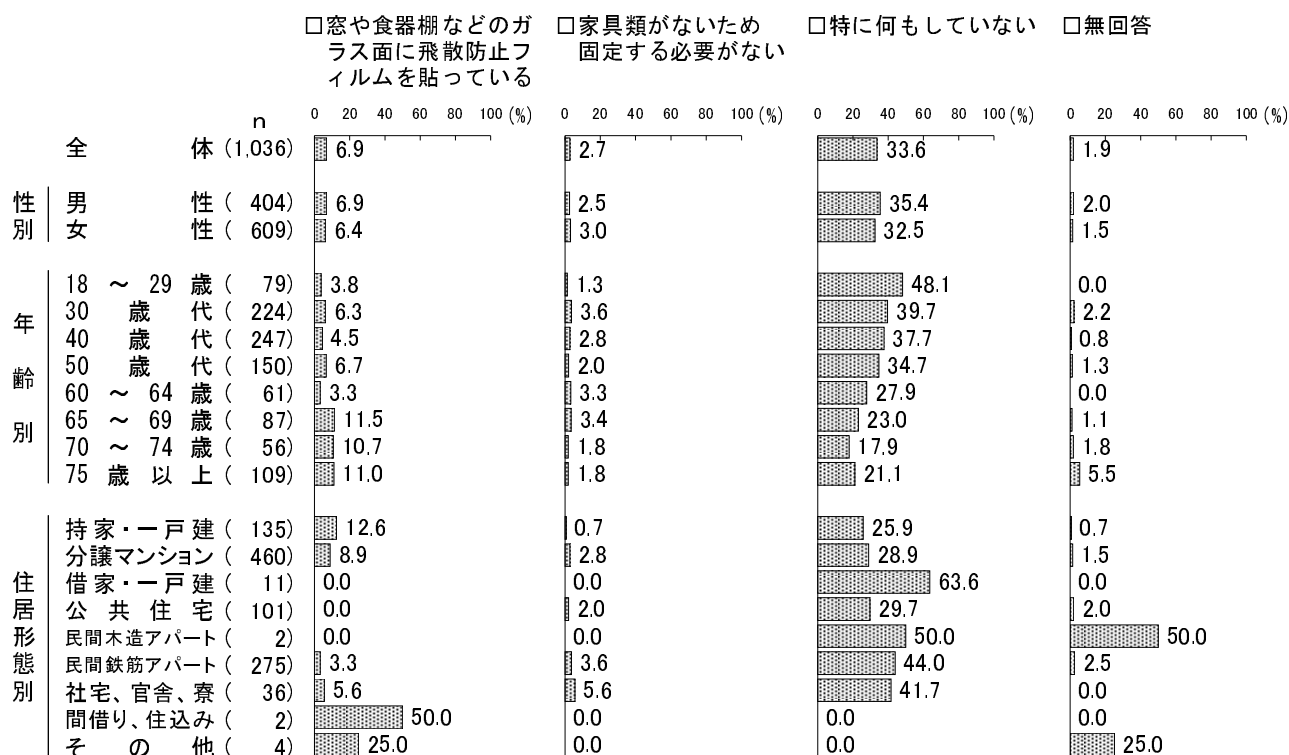
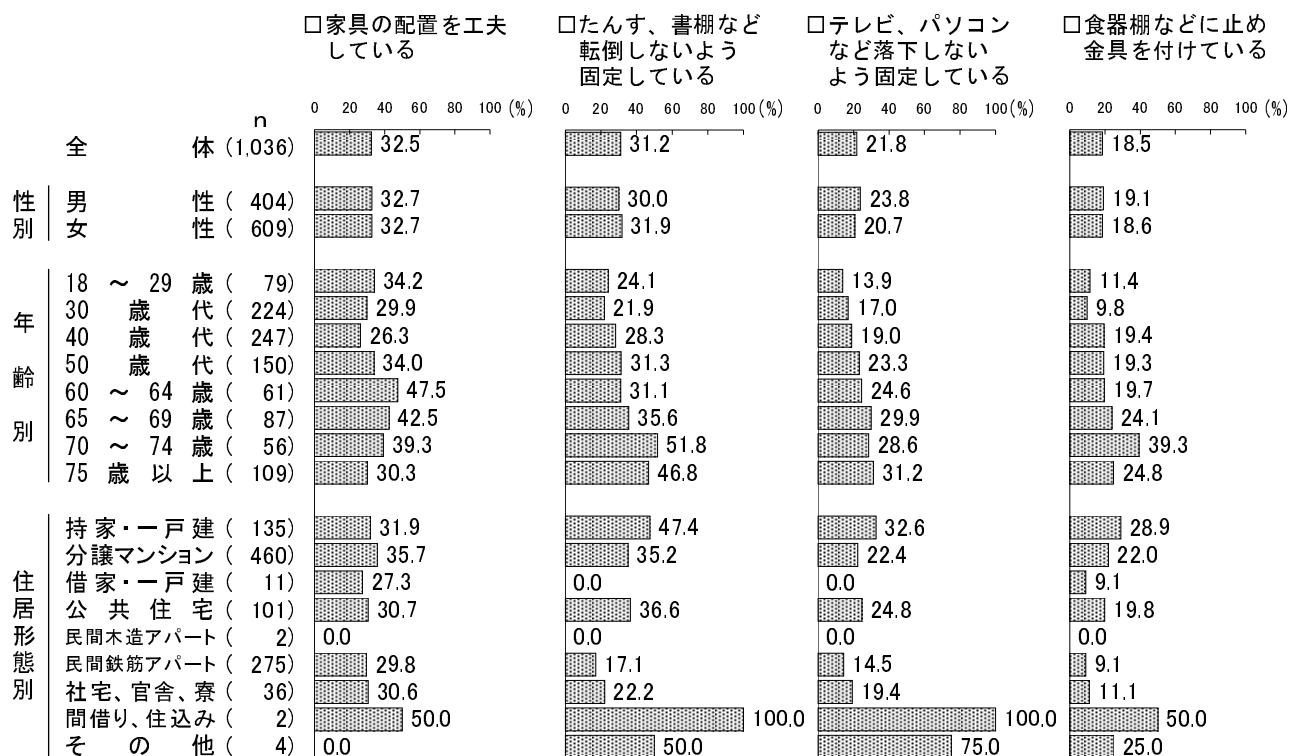
| 調査年 | n | (%) | | | | | | | |
|-------|-------|--------------|-----------------------|-------------------------|------------------|----------------------------|-------------------|-----------|-----|
| | | 家具の配置を工夫している | たんす、書棚など転倒しないよう固定している | テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している | 食器棚などに止め金具を付けている | 窓や食器棚などのガラス面に貼っている飛散防止フィルム | 家具類がないため固定する必要がある | 特に何もしていない | 無回答 |
| 平成28年 | 1,036 | 32.5 | 31.2 | 21.8 | 18.5 | 6.9 | 2.7 | 33.6 | 1.9 |
| 平成27年 | 1,027 | 33.3 | 31.9 | 23.5 | 21.1 | 6.7 | 4.8 | 32.4 | 2.0 |
| 平成26年 | 1,041 | 31.8 | 32.4 | 25.0 | 21.8 | 9.3 | 4.9 | 27.4 | 3.6 |

性別でみると、「テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している」は男性の方が女性よりも3.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「家具の配置を工夫している」は60～64歳で5割近くと高くなっている。「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」は70～74歳で5割を超えて高くなっている。「食器棚などに止め金具を付けている」は70～74歳で約4割と高くなっている。「特に何もしていない」は18～29歳で5割近くと高くなっている。

住居形態別でみると、「たんす、書棚など転倒しないよう固定している」は持家・一戸建てで5割近くと高くなっている。(図表2-2-3)

図表 2-2-3 家具の転倒、ガラスの飛散などに対する備え—性別・年齢別・住居形態別



(3) 防災拠点の認知度

◇「知っている」が6割を超える

問6 区では区立の小・中学校などを「防災拠点」とし、食料や毛布などの備蓄や井戸を整備しています。この「防災拠点」は避難所や救護所などの機能を持っています。
あなたは、ご自分の地域の「防災拠点」を知っていますか。(〇は1つ)

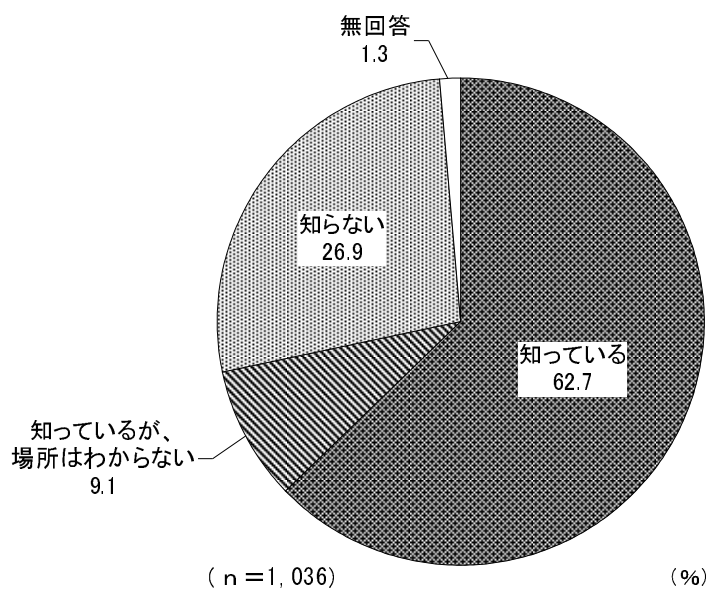
n = 1,036

| | | | | | |
|---|-----------------|-------|---|-------|------|
| 1 | 知っている | 62.7% | 3 | 知らない | 26.9 |
| 2 | 知っているが、場所はわからない | 9.1 | | (無回答) | 1.3 |

防災拠点の認知度は、「知っている」(62.7%)が6割を超えて高くなっている。「知っているが、場所はわからない」(9.1%)は約1割で、「知らない」(26.9%)は3割近くとなっている。

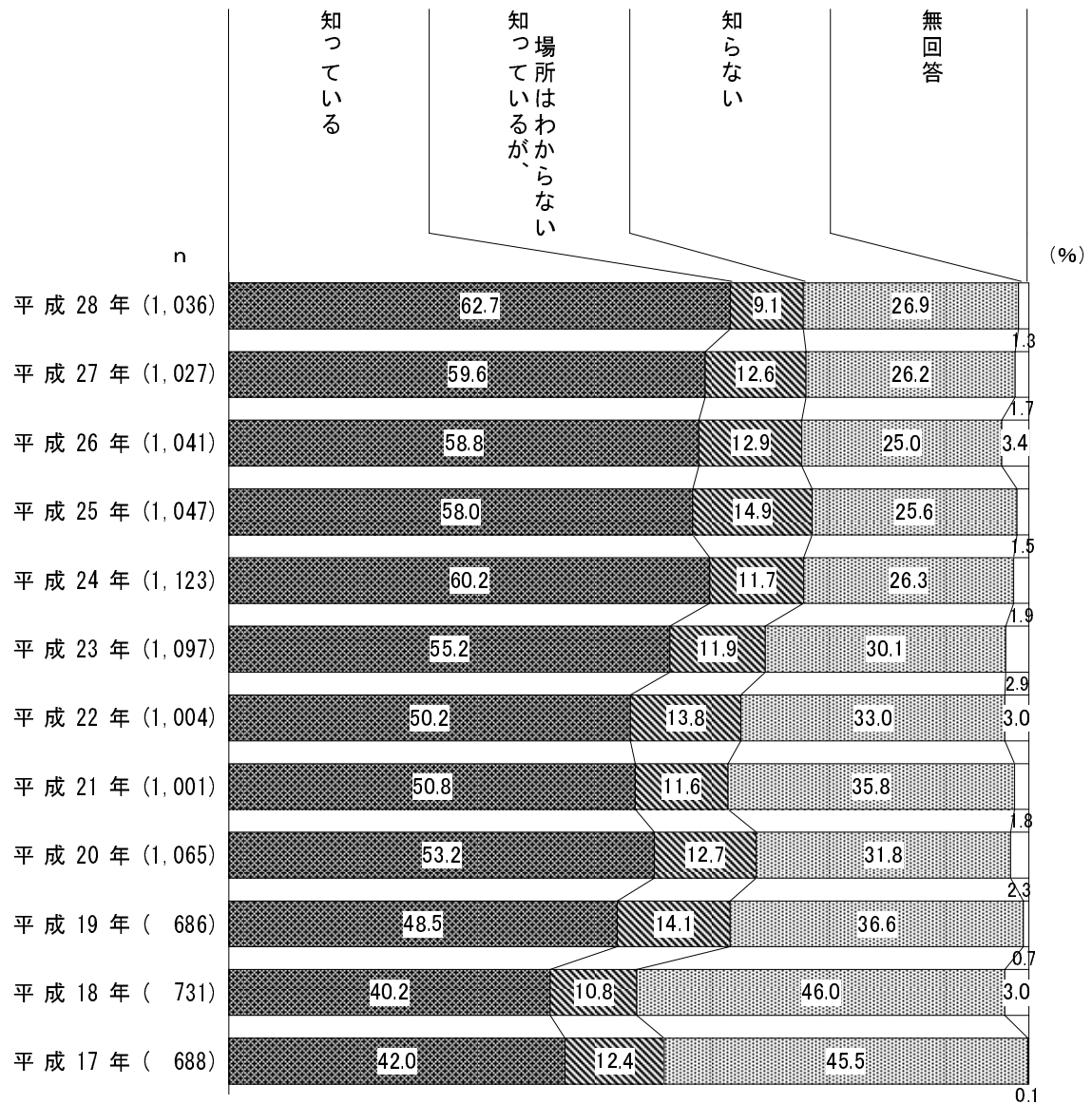
(図表2-3-1)

図表2-3-1 防災拠点の認知度



過去の調査結果と比較すると、「知っている」は昨年より3.1ポイント増加し、平成17年以降で最も高い割合となっている。(図表2-3-2)

図表2-3-2 防災拠点の認知度一過年度比較

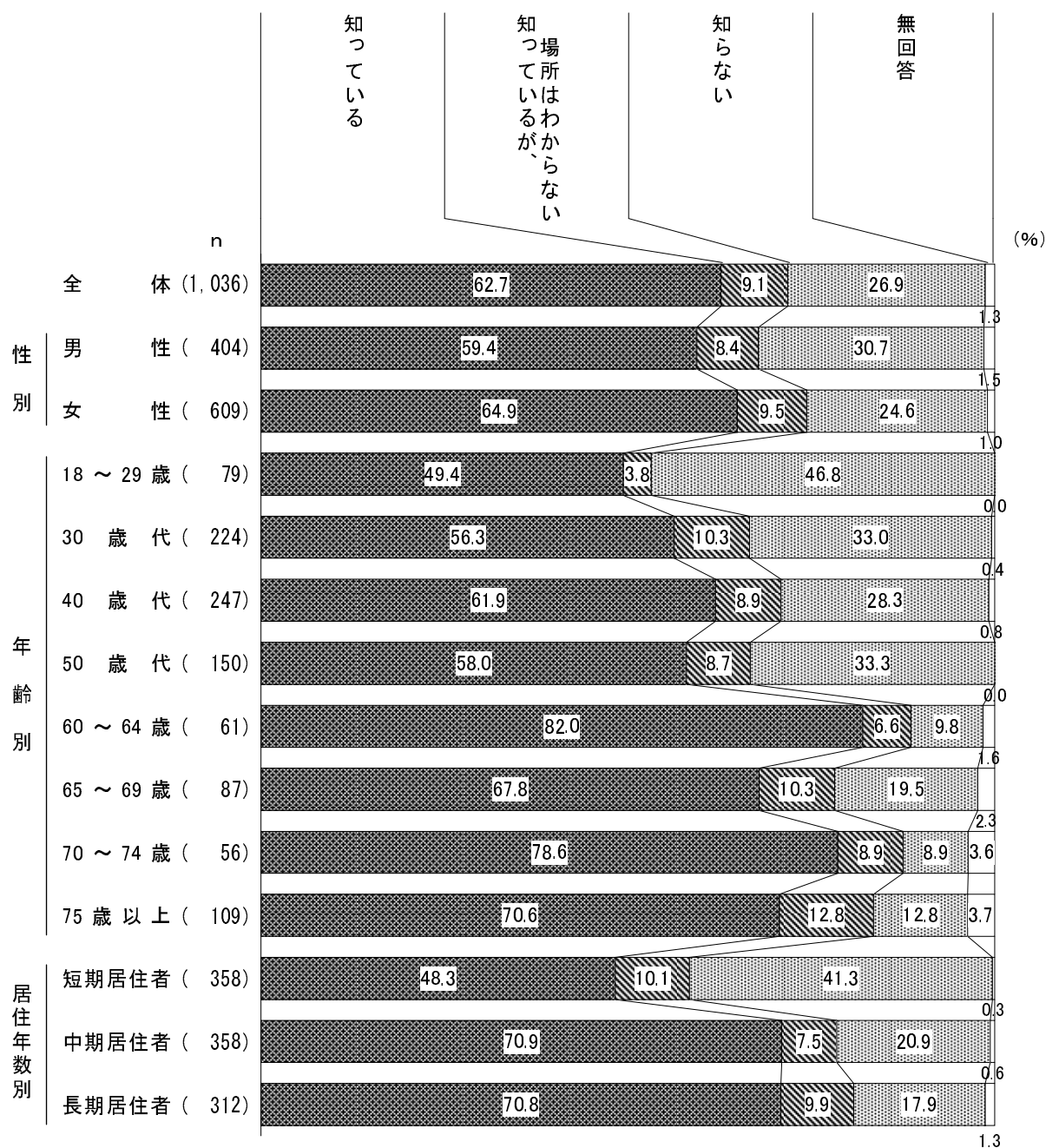


性別でみると、「知っている」は女性の方が男性よりも5.5ポイント高くなっている。一方、「知らない」は男性の方が女性よりも6.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「知っている」は60～64歳で8割を超え、70～74歳で8割近くと高くなっている。

居住年数別でみると、「知っている」は短期居住者では5割近くとなっているのに対し、中期居住者と長期居住者ではともに約7割と高くなっている。(図表2-3-3)

図表2-3-3 防災拠点の認知度—性別・年齢別・居住年数別



(4) 災害に備えた地域の協力体制

◇「知っている」が2割を超える

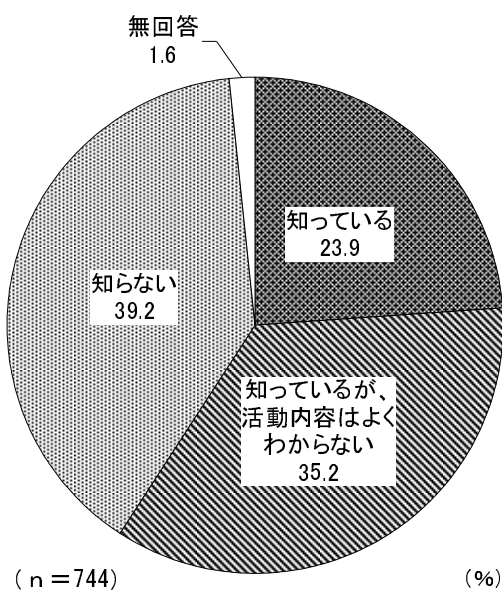
(問6で、「1 知っている」または「2 知っているが、場所はわからない」とお答えの方に)
問6-1 この防災拠点の災害時の運営を円滑に進めるため、町会・自治会や防災区民組織が
防災拠点運営委員会をつくり、防災訓練の実施や日頃から防災について話し合うなど、
災害に備えた協力体制をとっていることをあなたは知っていますか。(〇は1つ)

n = 744

| | | | |
|-----------------------|-------|--------|------|
| 1 知っている | 23.9% | 3 知らない | 39.2 |
| 2 知っているが、活動内容はよくわからない | 35.2 | (無回答) | 1.6 |

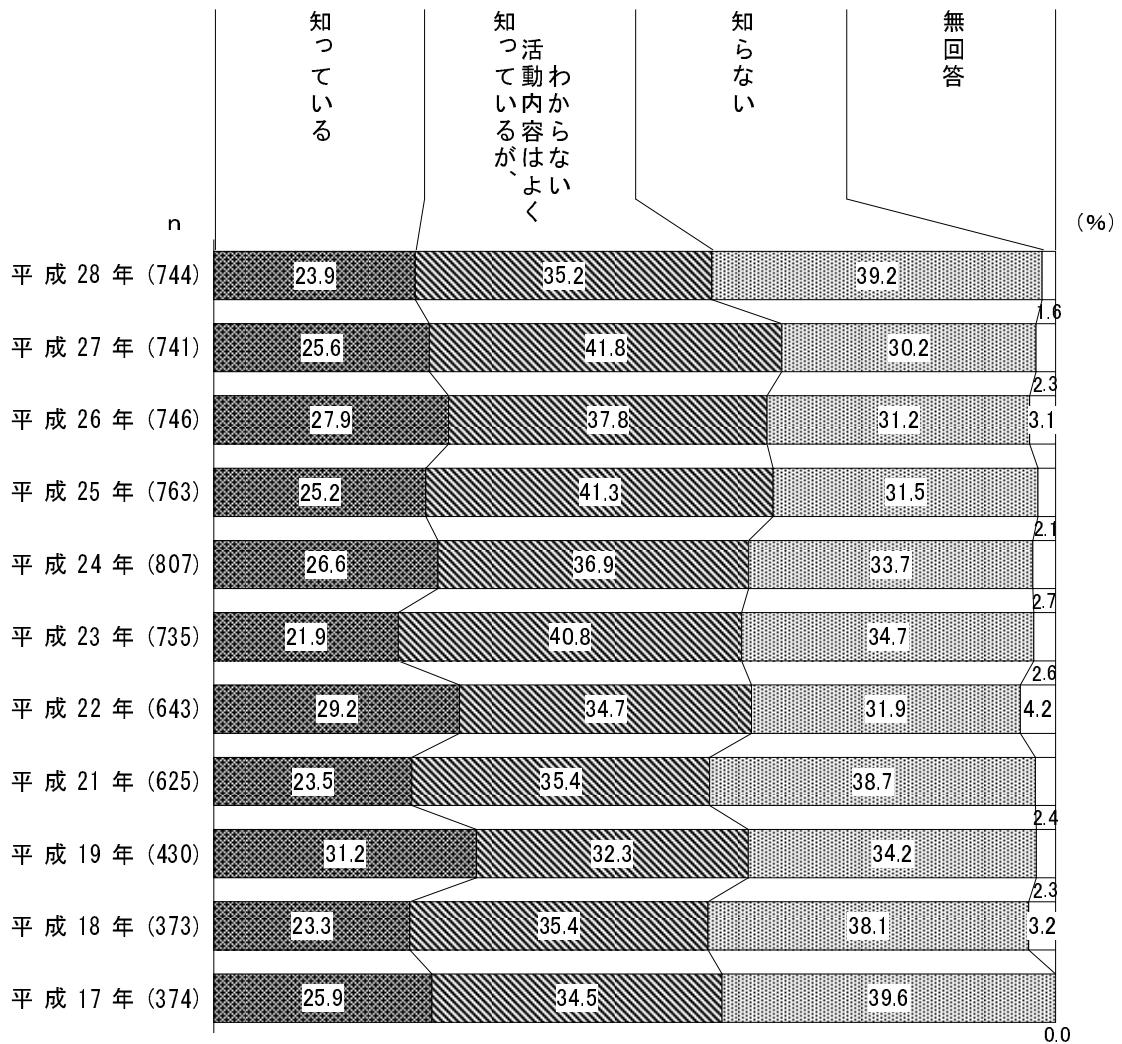
問6で、「知っている」または「知っているが、場所はわからない」と回答した方の、災害に備えた地域の協力体制は、「知っている」(23.9%)が2割を超えている。「知っているが、活動内容はよくわからない」(35.2%)は3割台半ばとなっており、「知らない」(39.2%)は約4割となっている。(図表2-4-1)

図表2-4-1 災害に備えた地域の協力体制



過去の調査結果と比較すると、「知らない」は昨年より9.0ポイント増加している。「知っているが、活動内容はよくわからない」は昨年より6.6ポイント減少している。(図表2-4-2)

図表2-4-2 災害に備えた地域の協力体制一過年度比較



(5) 避難の際に心配なこと

◇「トイレ」が8割近くで、「水・食料」が約7割

問7 大地震などの災害が起こり、自宅が火災や倒壊などにより居住できず防災拠点へ避難することになった場合、あなたが特に気がかりなことは何ですか。(〇はいくつでも)

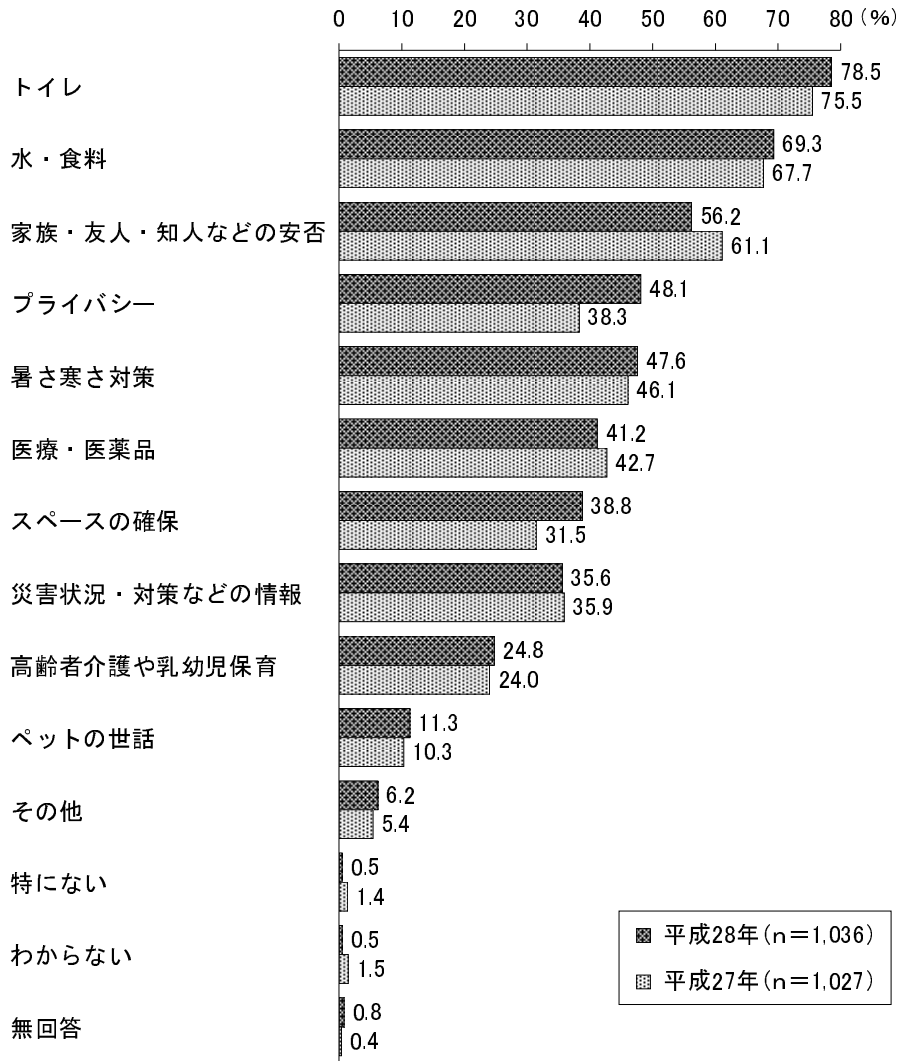
n = 1,036

| | | | | | |
|---|---------------|-------|----|---------|------|
| 1 | 水・食料 | 69.3% | 8 | スペースの確保 | 38.8 |
| 2 | トイレ | 78.5 | 9 | 暑さ寒さ対策 | 47.6 |
| 3 | プライバシー | 48.1 | 10 | ペットの世話 | 11.3 |
| 4 | 家族・友人・知人などの安否 | 56.2 | 11 | その他 | 6.2 |
| 5 | 災害状況・対策などの情報 | 35.6 | 12 | 特にない | 0.5 |
| 6 | 医療・医薬品 | 41.2 | 13 | わからない | 0.5 |
| 7 | 高齢者介護や乳幼児保育 | 24.8 | | (無回答) | 0.8 |

避難の際に心配なことは、「トイレ」(78.5%)が8割近くで最も高くなっている。次いで、「水・食料」(69.3%)、「家族・友人・知人などの安否」(56.2%)、「プライバシー」(48.1%)、「暑さ寒さ対策」(47.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「プライバシー」は9.8ポイント、「スペースの確保」は7.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「家族・友人・知人などの安否」は4.9ポイント減少している。
 (図表 2-5-1)

図表 2-5-1 避難の際に心配なこと（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「トイレ」、「水・食料」、「家族・友人・知人などの安否」が引き続き上位3項目となっている。

(図表2-5-2)

図表2-5-2 避難の際に心配なこと一過年度比較

(%)

| 調査年 | n | トイレ | 水・食料 | 家族・友人・知人などの安否 | プライバシー | 暑さ寒さ対策 | 医療・医薬品 | スペースの確保 | 災害状況・対策などの情報 | 高齢者介護や乳幼児保育 | ペットの世話 | その他 | 特にない | わからない | 無回答 | 避難寒さ対策 スペースの確保や暑さ |
|-------|-------|------|------|---------------|--------|--------|--------|---------|--------------|-------------|--------|-----|------|-------|-----|----------------------|
| 平成28年 | 1,036 | 78.5 | 69.3 | 56.2 | 48.1 | 47.6 | 41.2 | 38.8 | 35.6 | 24.8 | 11.3 | 6.2 | 0.5 | 0.5 | 0.8 | ※ |
| 平成27年 | 1,027 | 75.5 | 67.7 | 61.1 | 38.3 | 46.1 | 42.7 | 31.5 | 35.9 | 24.0 | 10.3 | 5.4 | 1.4 | 1.5 | 0.4 | ※ |
| 平成26年 | 1,041 | 72.8 | 64.6 | 62.4 | 38.9 | 46.2 | 45.9 | 31.8 | 40.1 | 23.2 | 10.1 | 4.3 | 1.7 | 0.7 | 2.4 | ※ |
| 平成25年 | 1,047 | 76.6 | 66.5 | 62.6 | 40.4 | 47.7 | 43.9 | 30.3 | 37.5 | 20.7 | 12.0 | 4.5 | 1.3 | 0.6 | 0.8 | ※ |
| 平成24年 | 1,123 | 74.1 | 65.4 | 64.8 | 37.1 | 44.5 | 38.7 | 29.0 | 38.3 | 19.9 | 13.7 | 4.1 | 0.7 | 0.6 | 1.4 | ※ |
| 平成23年 | 1,097 | 77.8 | 72.3 | 55.1 | 45.7 | 53.2 | 43.4 | 33.2 | 37.9 | 21.2 | 13.3 | 4.9 | 0.8 | 0.3 | 1.2 | ※ |
| 平成22年 | 1,004 | 74.9 | 67.5 | 56.8 | 27.0 | 36.7 | 43.1 | 37.6 | 33.2 | 24.3 | 11.1 | 3.1 | 0.6 | 1.0 | 0.9 | ※ |
| 平成21年 | 1,001 | 79.6 | 69.5 | 50.2 | 34.6 | 39.8 | 41.1 | 40.1 | 33.0 | 24.0 | 11.3 | 2.5 | 0.7 | 1.1 | 0.6 | ※ |
| 平成20年 | 1,065 | 78.4 | 72.1 | 60.4 | 29.8 | 40.3 | 46.9 | 41.4 | 34.2 | 26.2 | 10.6 | 2.7 | 0.0 | 0.0 | 0.9 | ※ |
| 平成19年 | 686 | 74.9 | 74.2 | 62.0 | 25.9 | ※ | 48.4 | ※ | 40.7 | 24.1 | 10.8 | 1.7 | 0.9 | 2.0 | 0.3 | 45.5 |

* 太枠内が今回の調査の選択肢

* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢

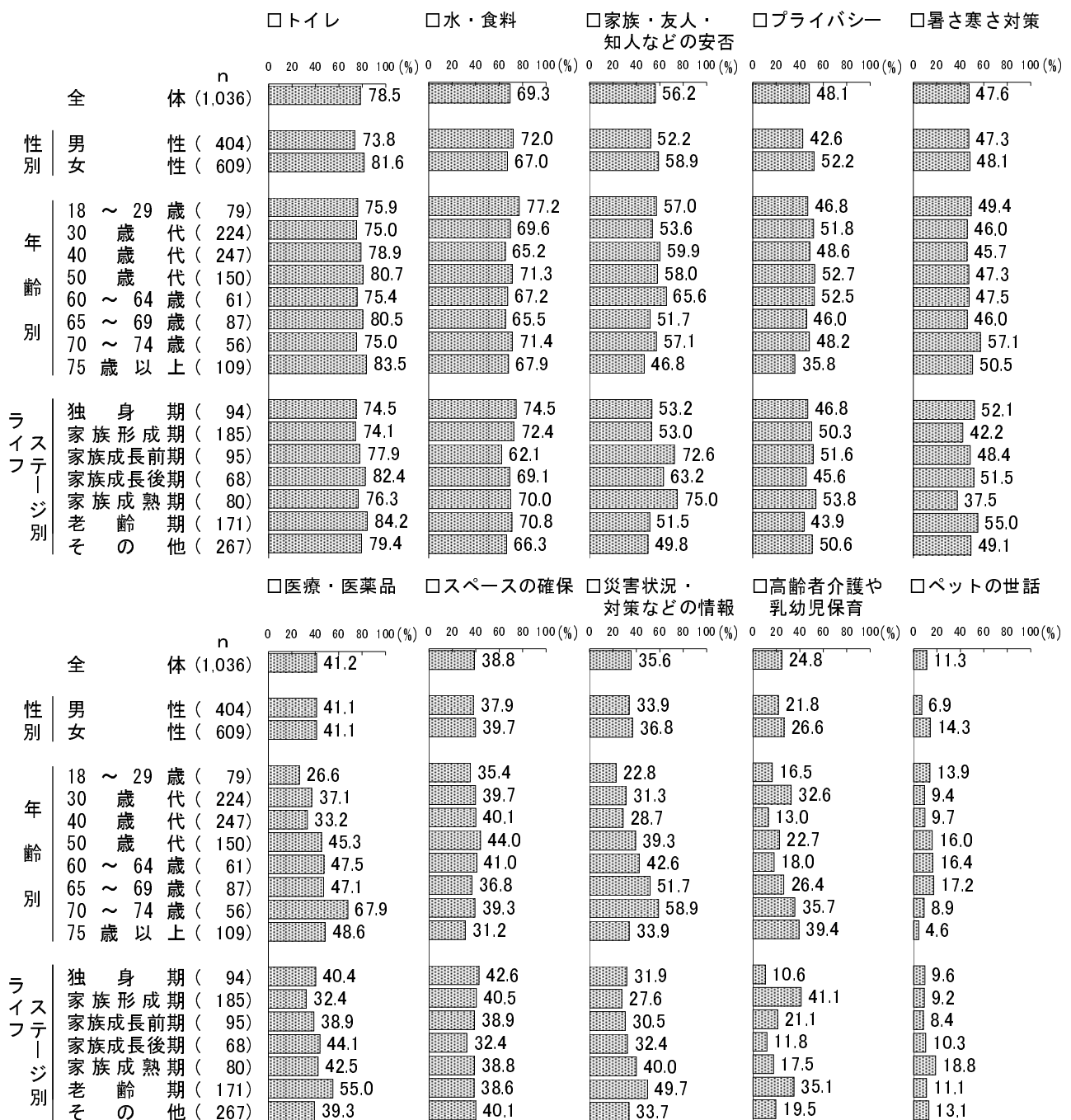
* 「スペースの確保」の選択肢は、平成22年まで「避難スペースの確保」としていた。

性別でみると、女性の方が男性よりも「プライバシー」で9.6ポイント、「トイレ」で7.8ポイント、「ペットの世話」で7.4ポイント、「家族・友人・知人などの安否」で6.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「水・食料」は男性の方が女性よりも5.0ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「医療・医薬品」は70～74歳で7割近くと高くなっている。「災害状況・対策などの情報」は70～74歳で6割近くと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「家族・友人・知人などの安否」は家族成熟期で7割台半ばと高くなっている。「医療・医薬品」は高齢期で5割台半ばと高くなっている。「災害状況・対策などの情報」は高齢期で5割と高くなっている。「高齢者介護や乳幼児保育」は家族形成期で4割を超えて高くなっている。(図表2-5-3)

図表2-5-3 避難の際に心配なこと－性別・年齢別・ライフステージ別（上位10項目）



(6) 災害時に協力できる活動

◇「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」が6割

問8 大震災などの災害が起こったら、お住まいの近くで、あなたが協力できると思う活動には何がありますか。(〇はいくつでも)

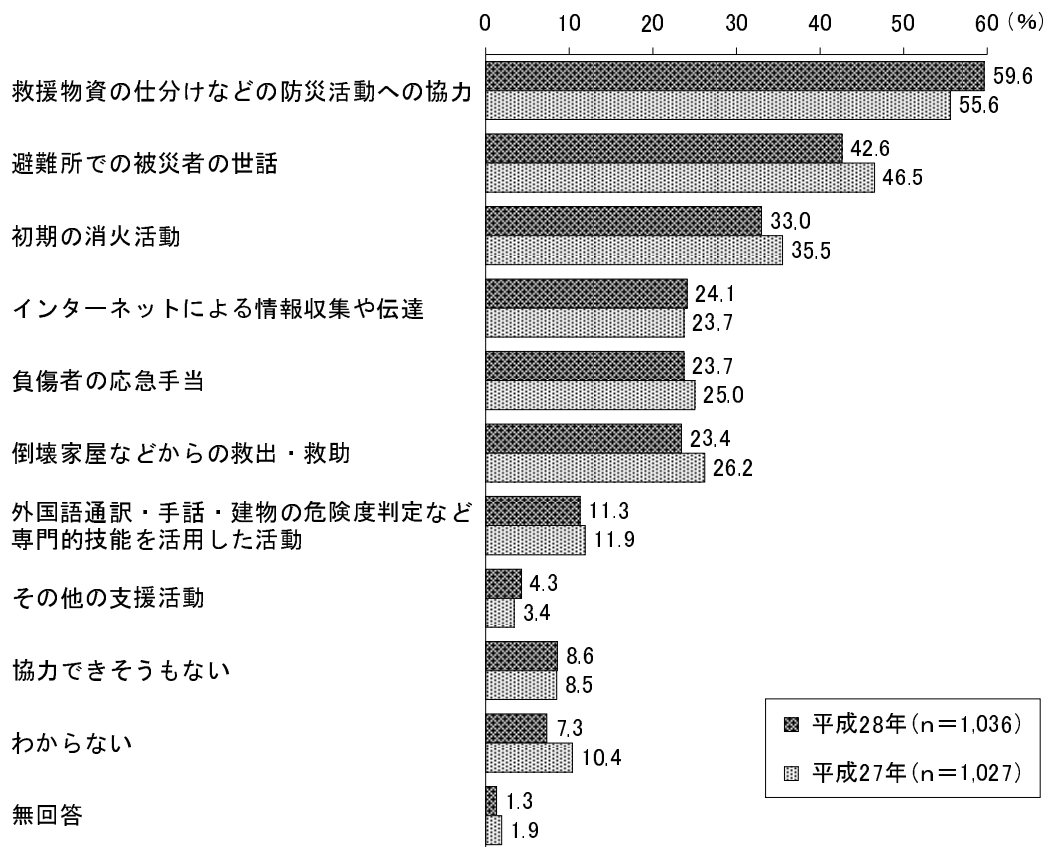
n = 1,036

| | | |
|----|----------------------------------|-------|
| 1 | 負傷者の応急手当 | 23.7% |
| 2 | 倒壊家屋などからの救出・救助 | 23.4 |
| 3 | 初期の消火活動 | 33.0 |
| 4 | 避難所での被災者の世話 | 42.6 |
| 5 | 救援物資の仕分けなどの防災活動への協力 | 59.6 |
| 6 | 外国語通訳・手話・建物の危険度判定など専門的スキルを活用した活動 | 11.3 |
| 7 | インターネットによる情報収集や伝達 | 24.1 |
| 8 | その他の支援活動 | 4.3 |
| 9 | 協力できそうもない | 8.6 |
| 10 | わからない | 7.3 |
| | (無回答) | 1.3 |

災害時に協力できる活動は、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」(59.6%)が6割で最も高くなっている。次いで、「避難所での被災者の世話」(42.6%)、「初期の消火活動」(33.0%)、「インターネットによる情報収集や伝達」(24.1%)、「負傷者の応急手当」(23.7%)、「倒壊家屋などからの救出・救助」(23.4%)などとなっている。

昨年との調査結果と比較すると、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」は4.0ポイント増加している。一方、「避難所での被災者の世話」は3.9ポイント減少している。(図表2-6-1)

図表 2-6-1 災害時に協力できる活動（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」、「避難所での被災者の世話」、「初期の消火活動」が引き続き上位3項目となっている。（図表 2-6-2）

図表 2-6-2 災害時に協力できる活動一過年度比較

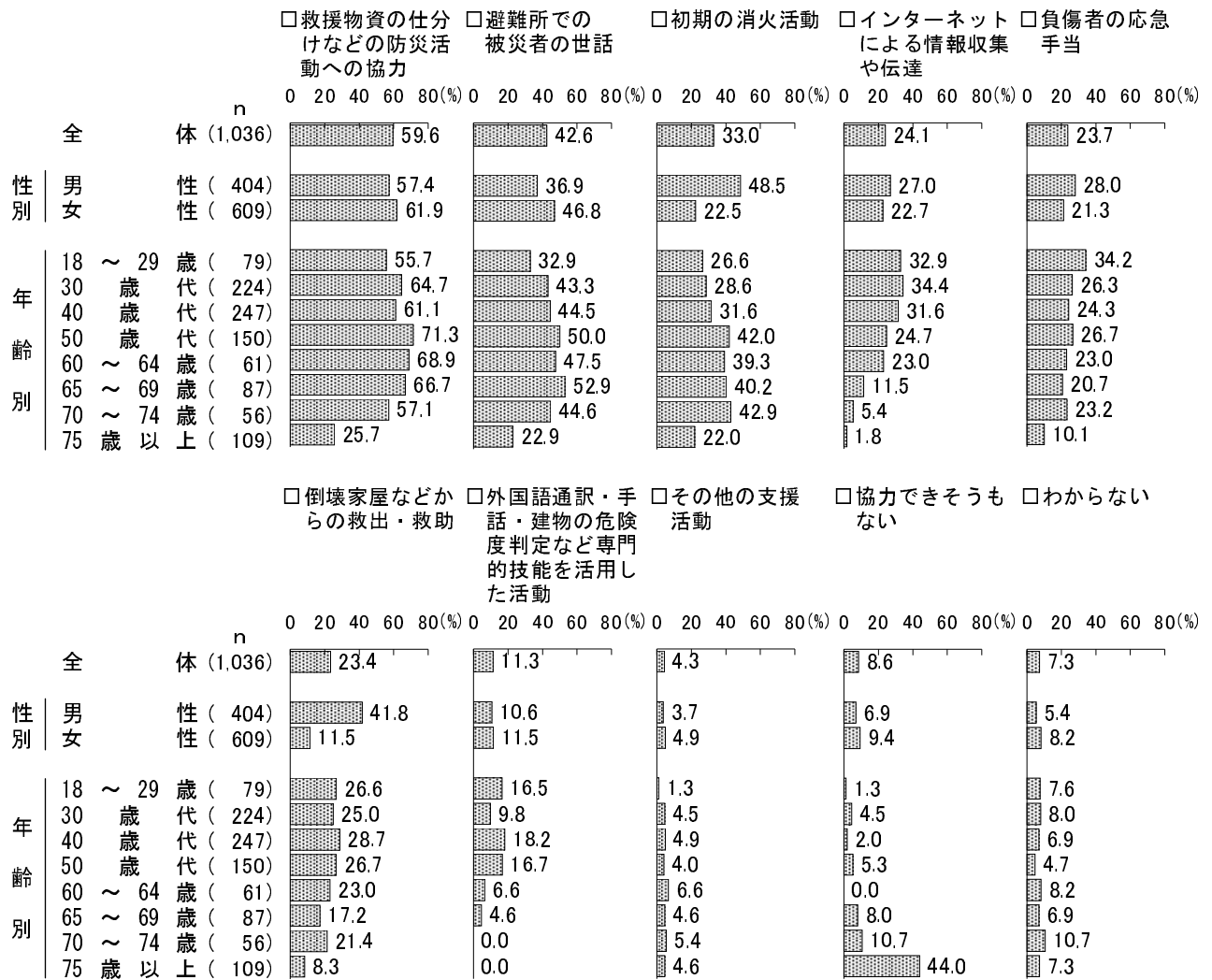
| 調査年 | n | 救援物資の仕分けなどの防災活動への協力 | 避難所での被災者の世話 | 初期の消火活動 | インターネットによる情報収集や伝達 | 負傷者の応急手当 | 倒壊家屋などからの救出・救助 | 外国語通訳・手話・建物の危険度判定など専門的スキルを活用した活動 | その他の支援活動 | 協力できそうもない | わからない | 無回答 |
|-------|-------|---------------------|-------------|---------|-------------------|----------|----------------|----------------------------------|----------|-----------|-------|-----|
| 平成28年 | 1,036 | 59.6 | 42.6 | 33.0 | 24.1 | 23.7 | 23.4 | 11.3 | 4.3 | 8.6 | 7.3 | 1.3 |
| 平成27年 | 1,027 | 55.6 | 46.5 | 35.5 | 23.7 | 25.0 | 26.2 | 11.9 | 3.4 | 8.5 | 10.4 | 1.9 |
| 平成26年 | 1,041 | 54.9 | 46.2 | 34.7 | 26.1 | 23.2 | 23.7 | 10.1 | 4.0 | 6.8 | 8.3 | 2.8 |
| 平成25年 | 1,047 | 59.9 | 48.2 | 34.6 | 25.0 | 26.2 | 26.4 | 10.5 | 3.2 | 7.1 | 7.2 | 1.5 |
| 平成24年 | 1,123 | 55.2 | 45.2 | 34.6 | 23.1 | 25.4 | 25.7 | 9.9 | 3.8 | 6.7 | 7.1 | 2.0 |
| 平成23年 | 1,097 | 61.7 | 50.9 | 33.2 | 28.1 | 23.3 | 23.8 | 10.9 | 3.4 | 7.5 | 6.2 | 2.0 |
| 平成22年 | 1,004 | 49.0 | 41.9 | 35.7 | 19.1 | 27.0 | 23.6 | 8.6 | 1.9 | 11.1 | 8.3 | 1.9 |
| 平成21年 | 1,001 | 52.2 | 41.2 | 35.0 | 17.8 | 27.4 | 25.1 | 9.0 | 1.3 | 10.8 | 10.1 | 1.6 |
| 平成20年 | 1,065 | 52.2 | 39.3 | 33.4 | 15.9 | 22.4 | 24.5 | 7.8 | 1.5 | 8.5 | 11.2 | 2.5 |
| 平成19年 | 686 | 43.6 | 41.5 | 37.5 | 15.6 | 31.3 | 29.5 | 5.6 | 1.9 | 8.5 | 10.1 | 1.6 |

性別でみると、男性の方が女性よりも「倒壊家屋などからの救出・救助」で30.3ポイント、「初期の消火活動」で26.0ポイント、「負傷者の応急手当」で6.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「避難所での被災者の世話」は女性の方が男性よりも9.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「救援物資の仕分けなどの防災活動への協力」は50歳代で7割を超えて高くなっている。「避難所での被災者の世話」は65～69歳で5割を超えて高くなっている。

(図表 2-6-3)

図表 2-6-3 災害時に協力できる活動－性別・年齢別



(7) 災害情報を得る手段として有効だと思うもの

◇「インターネット」が5割を超える

問9 災害時に区内の災害情報を得る手段として、一般のテレビ・ラジオ以外にあなたが有効だと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

n = 1,036

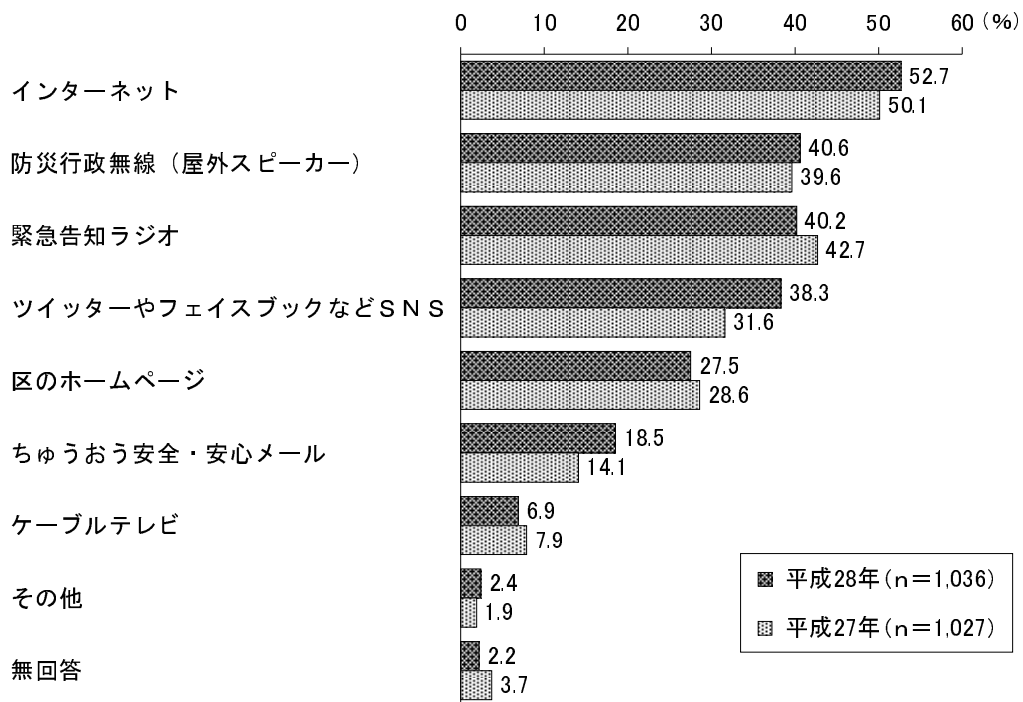
| | | |
|---|---------------------------------------|-------|
| 1 | 区のホームページ | 27.5% |
| 2 | ちゅうおう安全・安心メール | 18.5 |
| 3 | インターネット | 52.7 |
| 4 | ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス) | 38.3 |
| 5 | 防災行政無線(屋外スピーカー) | 40.6 |
| 6 | 緊急告知ラジオ | 40.2 |
| 7 | ケーブルテレビ | 6.9 |
| 8 | その他 | 2.4 |
| | (無回答) | 2.2 |

(※) 緊急告知ラジオ 大きな地震や水害など緊急を要する災害の発生時に自動的に電源が入り、地域コミュニティFM放送局(中央エフエム)を活用して災害情報や避難情報などの緊急放送を受信できるラジオです。区では、平成23年度より区民の皆さまへ有償頒布を実施しています。

災害情報を得る手段として有効だと思うものは、「インターネット」(52.7%)が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(40.6%)、「緊急告知ラジオ」(40.2%)、「ツイッターやフェイスブックなどSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)」(38.3%)、「区のホームページ」(27.5%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「ツイッターやフェイスブックなどSNS」は6.7ポイント増加している。(図表2-7-1)

図表2-7-1 災害情報を得る手段として有効だと思うもの(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、「インターネット」、「防災行政無線(屋外スピーカー)」、「緊急告知ラジオ」が引き続き上位3項目となっている。(図表2-7-2)

図表2-7-2 災害情報を得る手段として有効だと思うもの-過年度比較

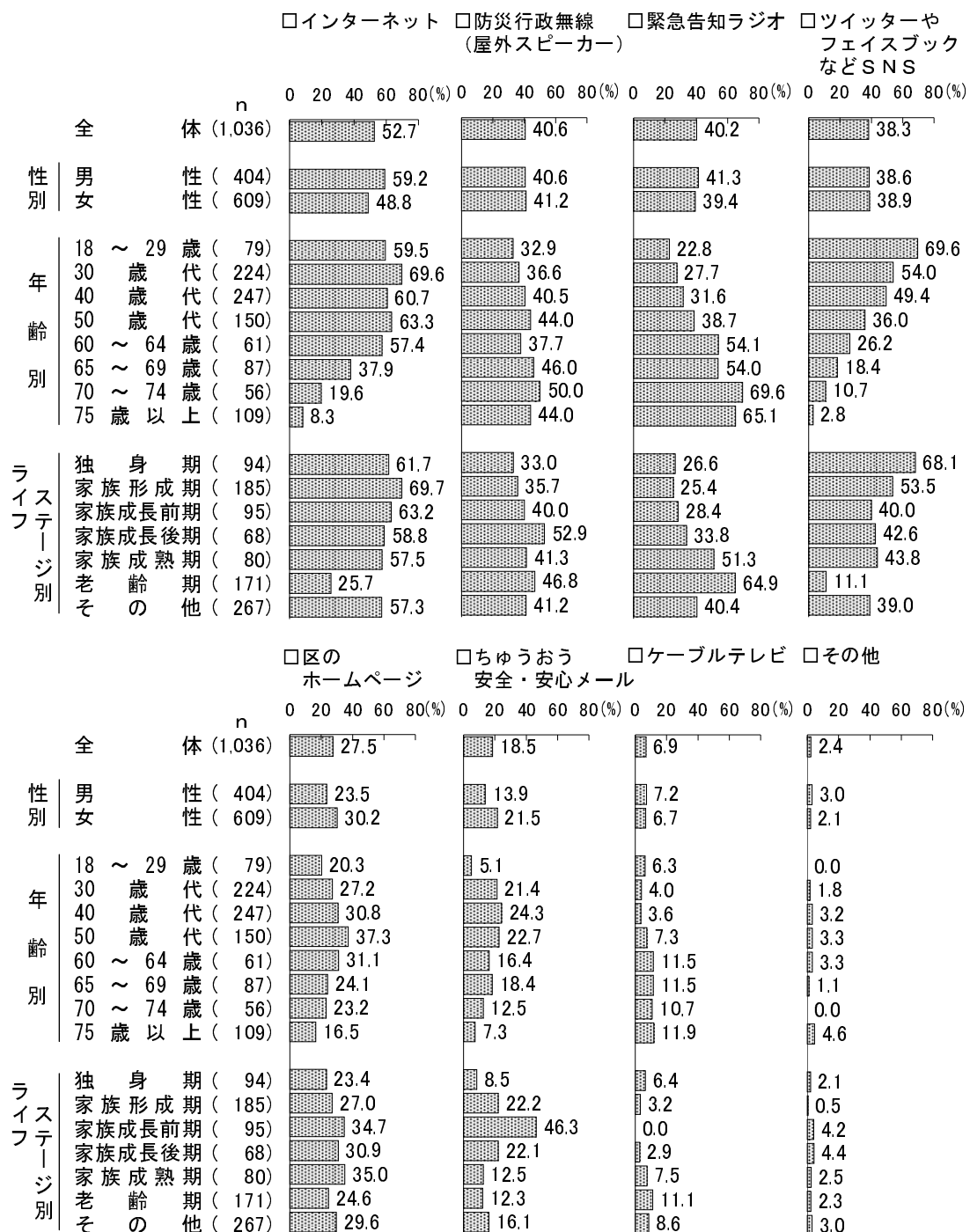
| 調査年 | n | (%) | | | | | | | | |
|-------|-------|---------|-----------------|---------|--------------------|----------|---------------|---------|-----|-----|
| | | インターネット | 防災行政無線(屋外スピーカー) | 緊急告知ラジオ | ツイッターやフェイスブックなどSNS | 区のホームページ | ちゅうおう安全・安心メール | ケーブルテレビ | その他 | 無回答 |
| 平成28年 | 1,036 | 52.7 | 40.6 | 40.2 | 38.3 | 27.5 | 18.5 | 6.9 | 2.4 | 2.2 |
| 平成27年 | 1,027 | 50.1 | 39.6 | 42.7 | 31.6 | 28.6 | 14.1 | 7.9 | 1.9 | 3.7 |
| 平成26年 | 1,041 | 49.4 | 40.7 | 45.6 | 30.5 | 25.4 | 16.5 | 7.0 | 2.3 | 4.1 |
| 平成25年 | 1,047 | 46.7 | 47.3 | 47.3 | 29.5 | 26.7 | 16.1 | 9.9 | 2.8 | 2.9 |
| 平成24年 | 1,123 | 45.5 | 44.5 | 48.8 | 27.6 | 22.1 | 15.0 | 7.2 | 3.0 | 3.9 |

性別でみると、「インターネット」は男性の方が女性よりも10.4ポイント高くなっている。一方、女性の方が男性よりも「ちゅうおう安全・安心メール」で7.6ポイント、「区のホームページ」で6.7ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「緊急告知ラジオ」はおおむね高い年代ほど割合が高くなっている。一方、「ツイッターやフェイスブックなどSNS」は低い年代ほど割合が高くなっている。

ライフステージ別でみると、「緊急告知ラジオ」は老齢期で6割台半ばと高くなっている。「ツイッターやフェイスブックなどSNS」は独身期で7割近くと高くなっている。「ちゅうおう安全・安心メール」は家族成長前期で4割台半ばと高くなっている。(図表2-7-3)

図表2-7-3 災害情報を得る手段として有効だと思うもの—性別・年齢別・ライフステージ別



【3 健康診査】

(※) 健康診査 勤務先で実施する定期健康診断、区や加入している健康保険で実施している健康診査、人間ドックなどです。がん検診は含みません。

(1) 加入している健康保険

◇「健康保険組合」が4割を超える

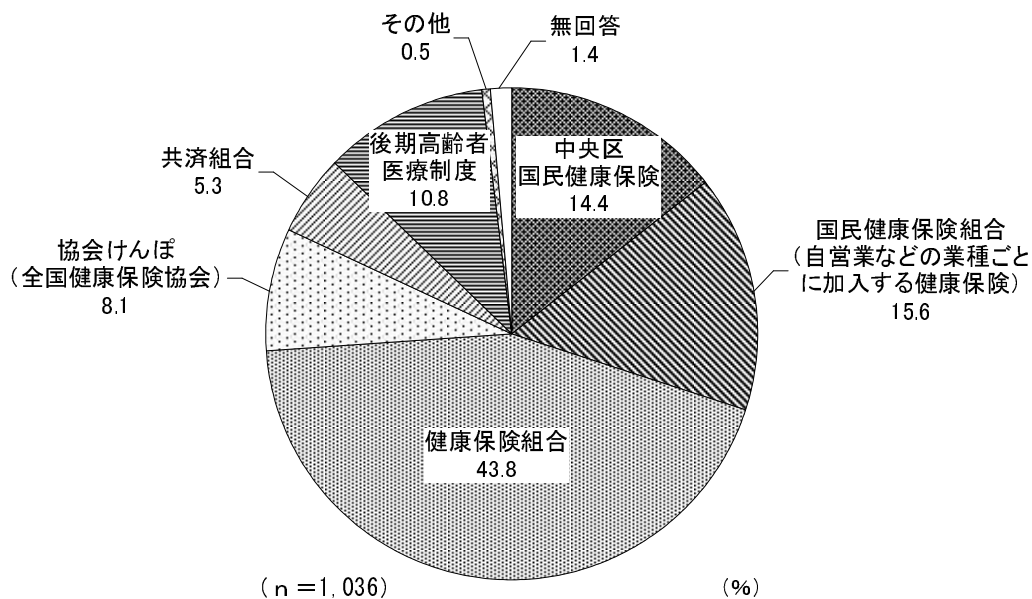
問10 あなたが加入している健康保険は次のどれですか。(○は1つ)

n = 1,036

| | | |
|---|-------------------------------|-------|
| 1 | 中央区国民健康保険 | 14.4% |
| 2 | 国民健康保険組合（自営業などの業種ごとに加入する健康保険） | 15.6 |
| 3 | 健康保険組合 | 43.8 |
| 4 | 協会けんぽ（全国健康保険協会） | 8.1 |
| 5 | 共済組合 | 5.3 |
| 6 | 後期高齢者医療制度 | 10.8 |
| 7 | その他 | 0.5 |
| | (無回答) | 1.4 |

加入している健康保険は、「健康保険組合」（43.8%）が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「国民健康保険組合（自営業などの業種ごとに加入する健康保険）」（15.6%）、「中央区国民健康保険」（14.4%）、「後期高齢者医療制度」（10.8%）、「協会けんぽ（全国健康保険協会）」（8.1%）などとなっている。（図表3-1-1）

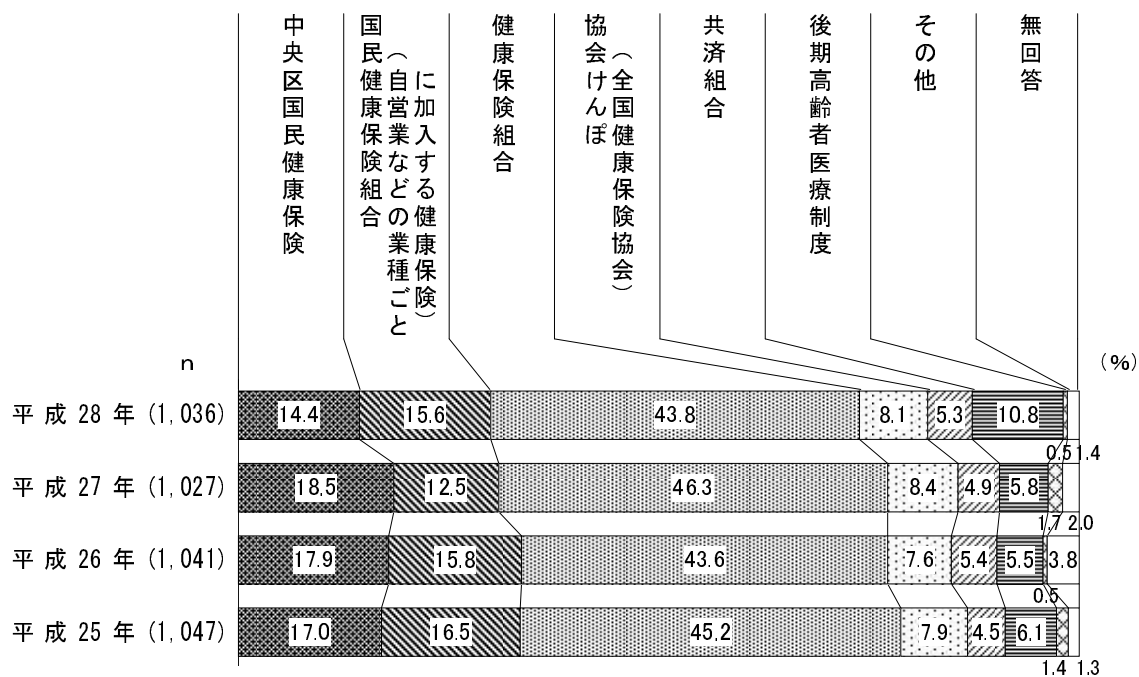
図表3-1-1 加入している健康保険



過去の調査結果との比較は、平成27年以前と集計の方法が異なる（※注）ため、参考に掲載する。

（図表 3－1－2）

図表 3－1－2 加入している健康保険一過年度比較



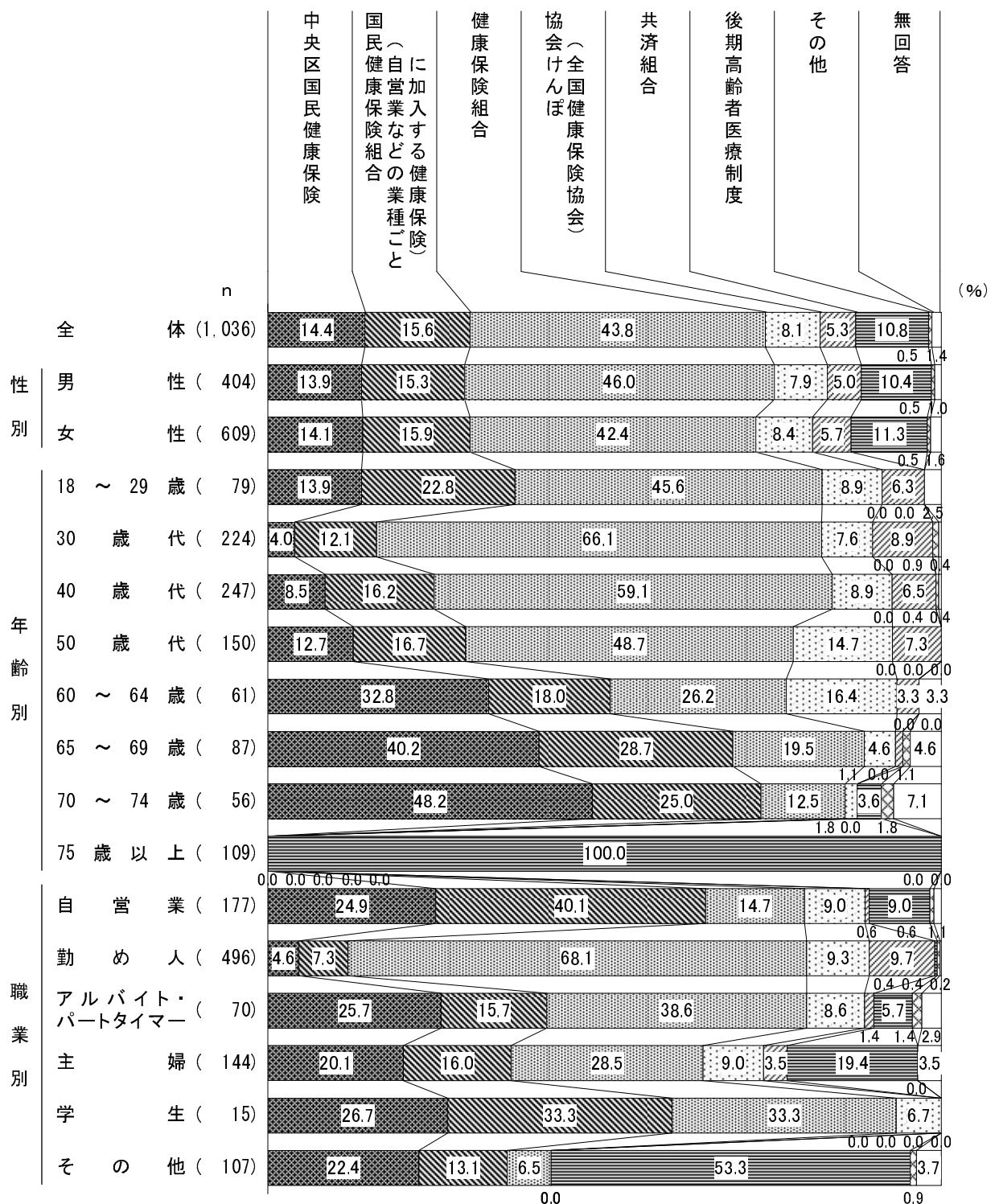
（※注）今回調査は、回答者の年齢を聞く質問で、平成27年以前は「70歳以上」としていた選択肢を、「70～74歳」と「75歳以上」の2つに区分した。今回調査の集計にあたっては、「75歳以上」と答えた方について、この質問で「その他」と回答した方を除いて、記入のいかんを問わず「後期高齢者医療制度」に振り替えて集計したため、「後期高齢者医療制度」は平成27年に比べて5.0ポイント高くなっている。

性別でみると、「健康保険組合」は男性の方が女性よりも3.6ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「健康保険組合」は30歳代で6割台半ば、40歳代で約6割と高くなっている。「中央区国民健康保険」は70～74歳で5割近く、65～69歳で4割と高くなっている。

職業別でみると、「健康保険組合」は勤め人で7割近くと高くなっている。「国民健康保険組合」は自営業で4割と高くなっている。「後期高齢者医療制度」はその他で5割を超えて高くなっている。(図表3-1-3)

図表3-1-3 加入している健康保険—性別・年齢別・職業別



(2) 健康診査の受診状況

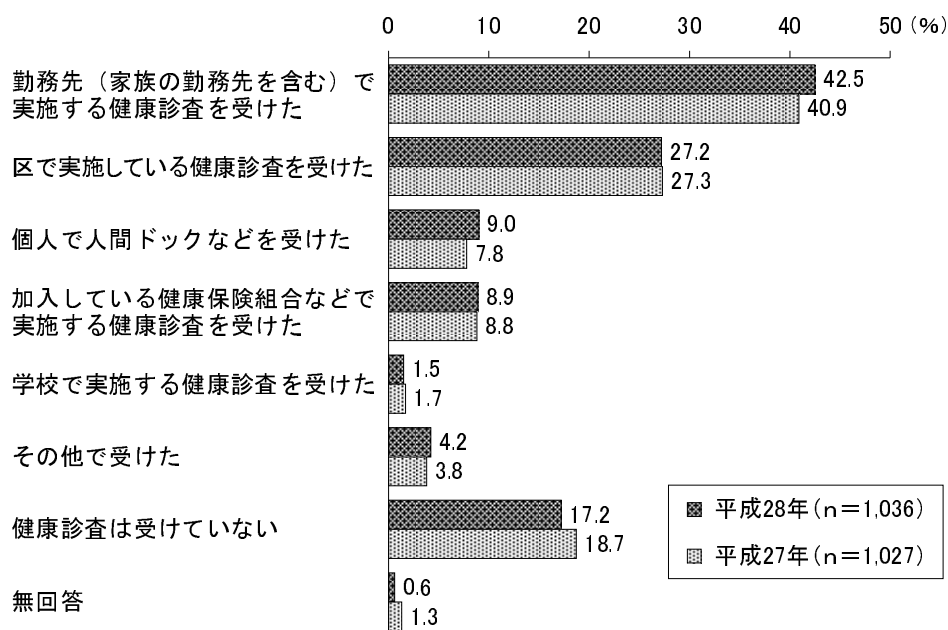
◇「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」が4割を超える

| 問11 あなたは、この1年間に健康診査（健康診断）を受けましたか。（〇はいくつでも） | | |
|--|-----------------------------|-------|
| n = 1,036 | | |
| 1 | 区で実施している健康診査を受けた | 27.2% |
| 2 | 勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた | 42.5 |
| 3 | 加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた | 8.9 |
| 4 | 個人で人間ドックなどを受けた | 9.0 |
| 5 | 学校で実施する健康診査を受けた | 1.5 |
| 6 | その他で受けた | 4.2 |
| 7 | 健康診査は受けていない | 17.2 |
| | （無回答） | 0.6 |

健康診査の受診状況は、「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」（42.5%）が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「区で実施している健康診査を受けた」（27.2%）、「個人で人間ドックなどを受けた」（9.0%）、「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」（8.9%）などとなっている。一方、「健康診査は受けていない」（17.2%）は2割近くとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。（図表3-2-1）

図表3-2-1 健康診査の受診状況（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、「健康診査は受けていない」は平成25年以降最も低い割合となっている。(図表 3-2-2)

図表 3-2-2 健康診査の受診状況一過年度比較

| 調 査 年 | n | (%) | | | | | | | |
|-------------|-------|-----------------------------|------------------|----------------|-----------------------------|-----------------|---------|-------------|-----|
| | | 勤務先(家族の勤務先を含む)で実施する健康診査を受けた | 区で実施している健康診査を受けた | 個人で人間ドックなどを受けた | 加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた | 学校で実施する健康診査を受けた | その他で受けた | 健康診査は受けていない | 無回答 |
| 平成28年 | 1,036 | 42.5 | 27.2 | 9.0 | 8.9 | 1.5 | 4.2 | 17.2 | 0.6 |
| 平成27年 | 1,027 | 40.9 | 27.3 | 7.8 | 8.8 | 1.7 | 3.8 | 18.7 | 1.3 |
| 平成26年 | 1,041 | 38.9 | 25.8 | 8.1 | 6.8 | 1.5 | 4.7 | 21.1 | 2.0 |
| 平成25年 | 1,047 | 39.5 | 27.8 | 9.6 | 8.9 | 1.0 | 4.0 | 19.0 | 1.9 |

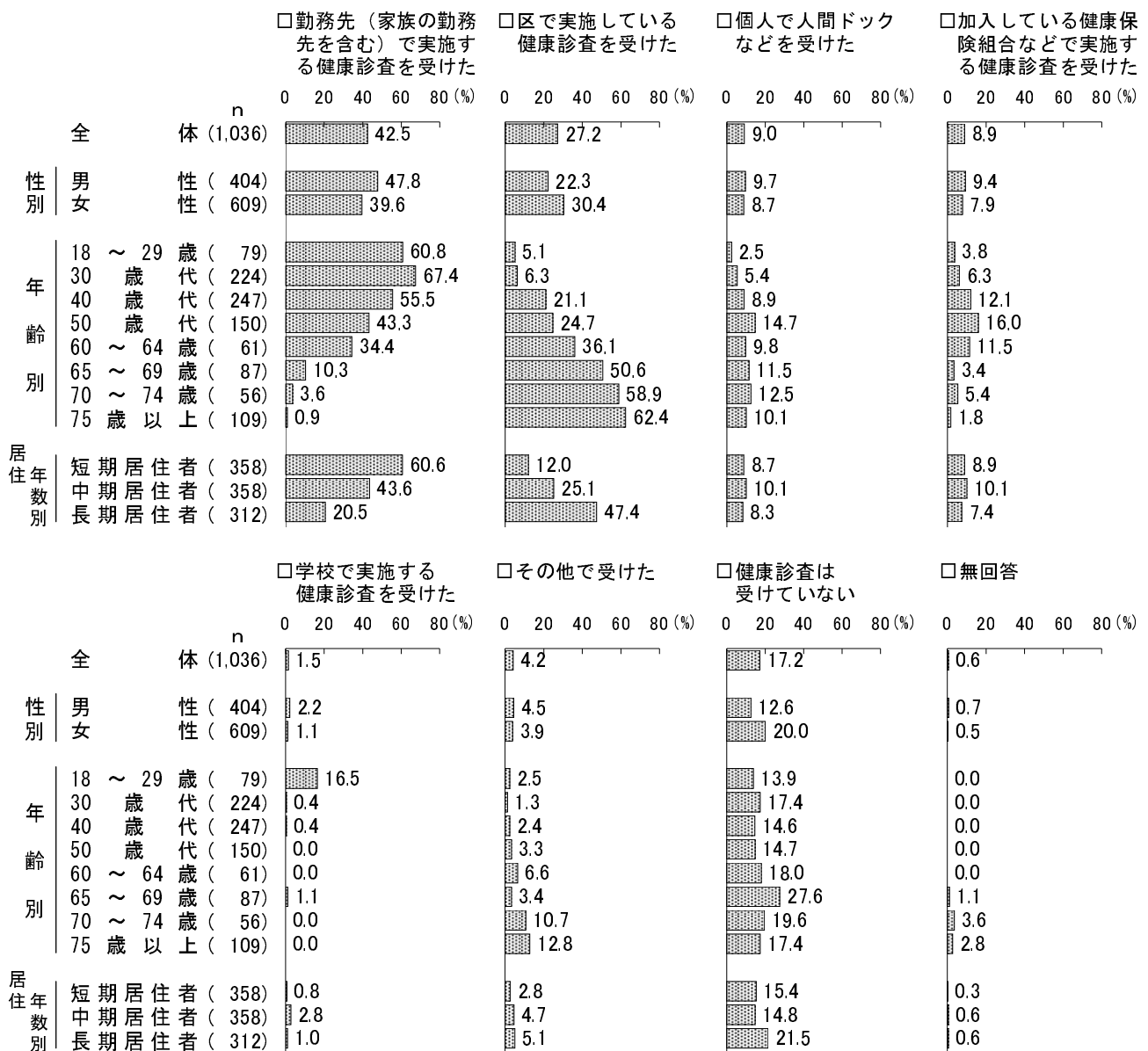
* 「加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた」は、平成25年は「加入している健康保険で実施する健康診査を受けた」としていた。

性別でみると、「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」は男性の方が女性よりも8.2ポイント高くなっている。一方、女性の方が男性よりも「区で実施している健康診査を受けた」で8.1ポイント、「健康診査は受けていない」で7.4ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「区で実施している健康診査を受けた」は高い年代ほど割合が高くなっている。「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」は30歳代で7割近くと高くなっている。

居住年数別でみると、「勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた」は短期居住者で約6割と高くなっている。「区で実施している健康診査を受けた」は長期居住者で5割近くと高くなっている。（図表3-2-3）

図表3-2-3 健康診査の受診状況－性別・年齢別・居住年数別



(3) 健康診査を受けなかった理由

◇「時間がない」が3割近く

(問11で、「7 健康診査は受けていない」とお答えの方に)

問11-1 あなたが健康診査を受けなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

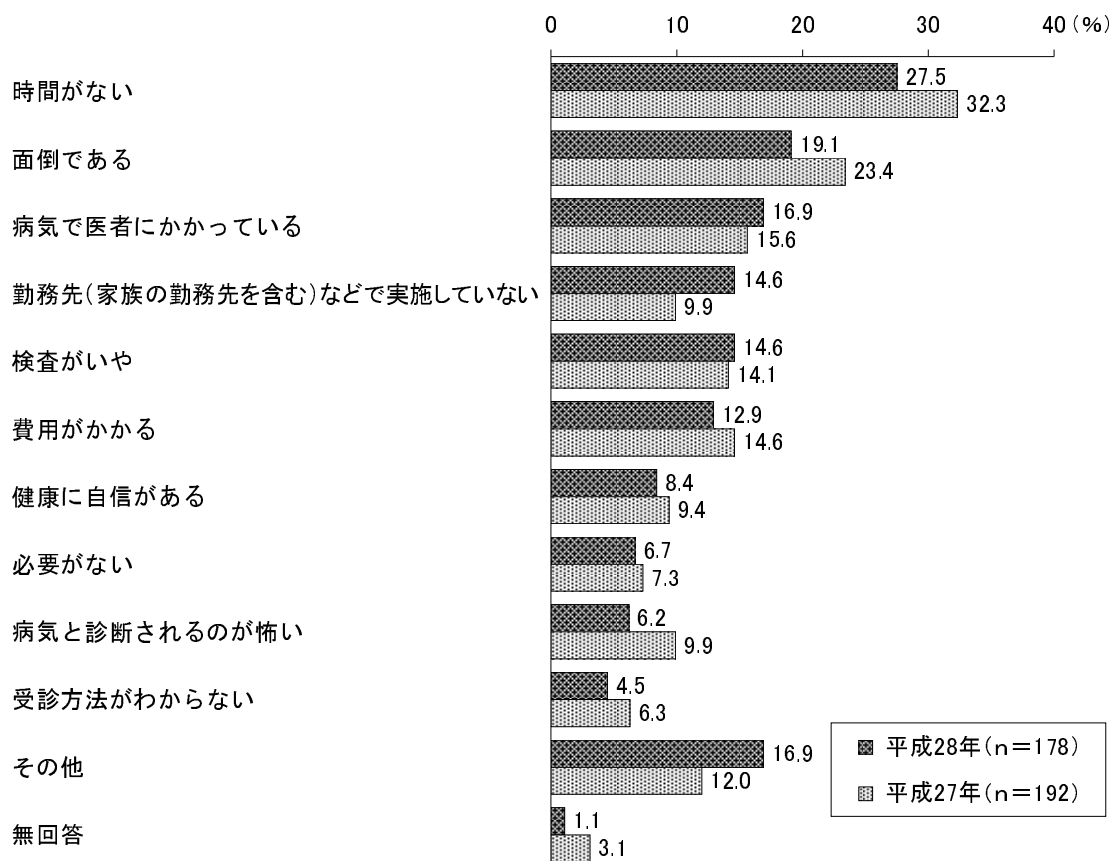
n = 178

| | |
|----------------------------|-------|
| 1 勤務先(家族の勤務先を含む)などで実施していない | 14.6% |
| 2 受診方法がわからない | 4.5 |
| 3 必要がない | 6.7 |
| 4 時間がない | 27.5 |
| 5 面倒である | 19.1 |
| 6 健康に自信がある | 8.4 |
| 7 病気で医者にかかっている | 16.9 |
| 8 検査がいや | 14.6 |
| 9 病気と診断されるのが怖い | 6.2 |
| 10 費用がかかる | 12.9 |
| 11 その他 | 16.9 |
| (無回答) | 1.1 |

問11で、「健康診査は受けていない」と回答した方の、健康診査を受けなかった理由は、「時間がない」(27.5%)が3割近くで最も高くなっている。次いで、「面倒である」(19.1%)、「病気で医者にかかっている」(16.9%)、「勤務先(家族の勤務先を含む)などで実施していない」(14.6%)、「検査がいや」(14.6%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「時間がない」は4.8ポイント、「面倒である」は4.3ポイント、「病
 気と診断されるのが怖い」は3.7ポイント、それぞれ減少している。一方、「勤務先（家族の勤務先
 を含む）などで実施していない」は4.7ポイント増加している。（図表3-3-1）

図表3-3-1 健康診査を受けなかった理由（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、第2位以下の項目の順位には変動がみられるが、「時間がない」
 が第1位となっている傾向に変化はみられない。（図表3-3-2）

図表3-3-2 健康診査を受けなかった理由一過年度比較

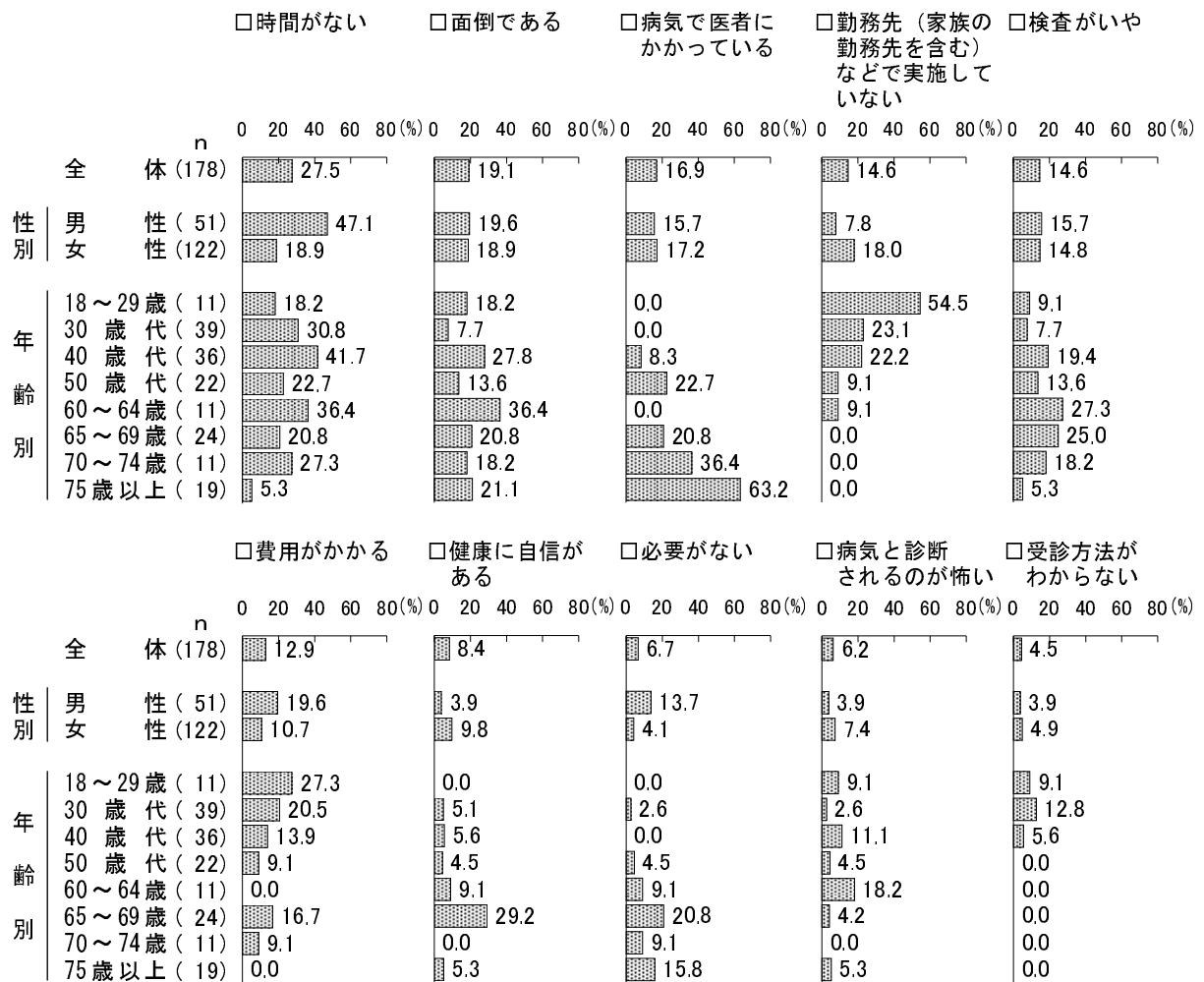
| 調査年 | n | 時間がない | 面倒である | 病気で医者にかかっている | 勤務先(家族の勤務先を含む)などで実施していない | 検査がいや | 費用がかかる | 健康に自信がある | 必要がない | 病気と診断されるのが怖い | 受診方法がわからない | その他 | 無回答 |
|-------|-----|-------|-------|--------------|--------------------------|-------|--------|----------|-------|--------------|------------|------|-----|
| 平成28年 | 178 | 27.5 | 19.1 | 16.9 | 14.6 | 14.6 | 12.9 | 8.4 | 6.7 | 6.2 | 4.5 | 16.9 | 1.1 |
| 平成27年 | 192 | 32.3 | 23.4 | 15.6 | 9.9 | 14.1 | 14.6 | 9.4 | 7.3 | 9.9 | 6.3 | 12.0 | 3.1 |
| 平成26年 | 220 | 29.1 | 14.5 | 18.2 | 15.0 | 12.3 | 14.1 | 4.1 | 5.9 | 6.8 | 6.4 | 18.2 | 0.0 |
| 平成25年 | 199 | 34.7 | 17.1 | 16.6 | 12.6 | 7.5 | 9.5 | 7.0 | 7.5 | 6.0 | 6.5 | 19.1 | 0.5 |

性別でみると、男性の方が女性よりも「時間がない」で28.2ポイント、「必要がない」で9.6ポイント、「費用がかかる」で8.9ポイント、それぞれ高くなっている。一方、女性の方が男性よりも「勤務先（家族の勤務先を含む）などで実施していない」で10.2ポイント、「健康に自信がある」で5.9ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「病気で医者にかかっている」は75歳以上で6割を超えて高くなっている。「勤務先（家族の勤務先を含む）などで実施していない」は18～29歳で5割台半ばと高くなっている。

(図表 3-3-3)

図表 3-3-3 健康診査を受けなかった理由—性別・年齢別



【4 高齢者施策】

(1) 要介護時における暮らし方

◇「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」が3割を超える

問12 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいですか。

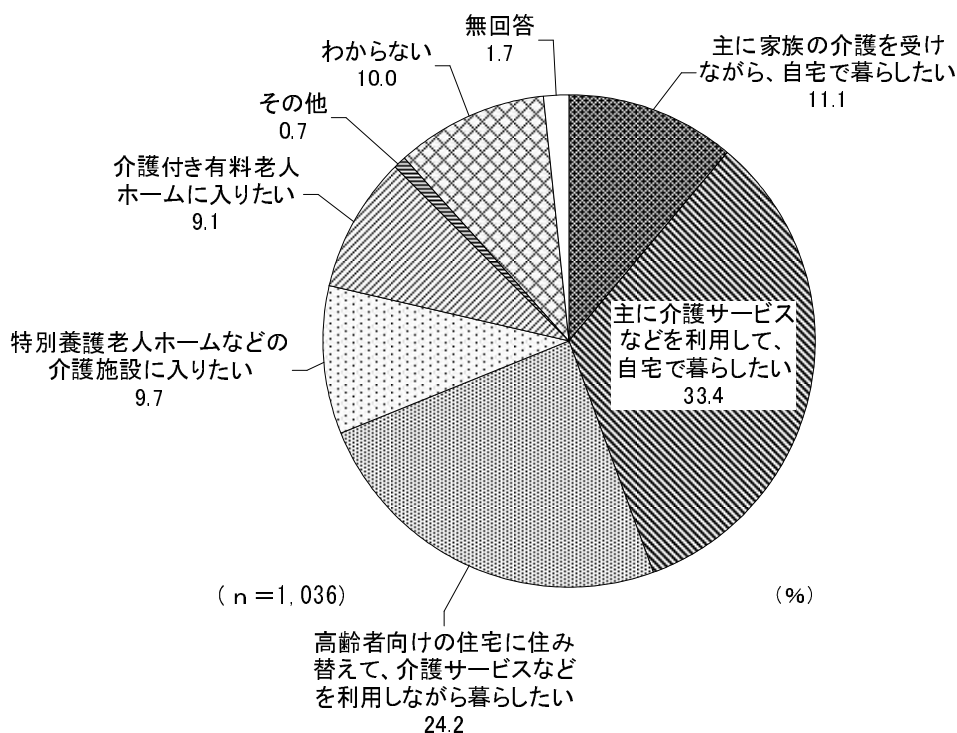
(もっとも近い考え1つに○)

n = 1,036

| | | |
|---|-------------------------------------|-------|
| 1 | 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい | 11.1% |
| 2 | 主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい | 33.4 |
| 3 | 高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい | 24.2 |
| 4 | 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい | 9.7 |
| 5 | 介護付き有料老人ホームに入りたい | 9.1 |
| 6 | その他 | 0.7 |
| 7 | わからない | 10.0 |
| | (無回答) | 1.7 |

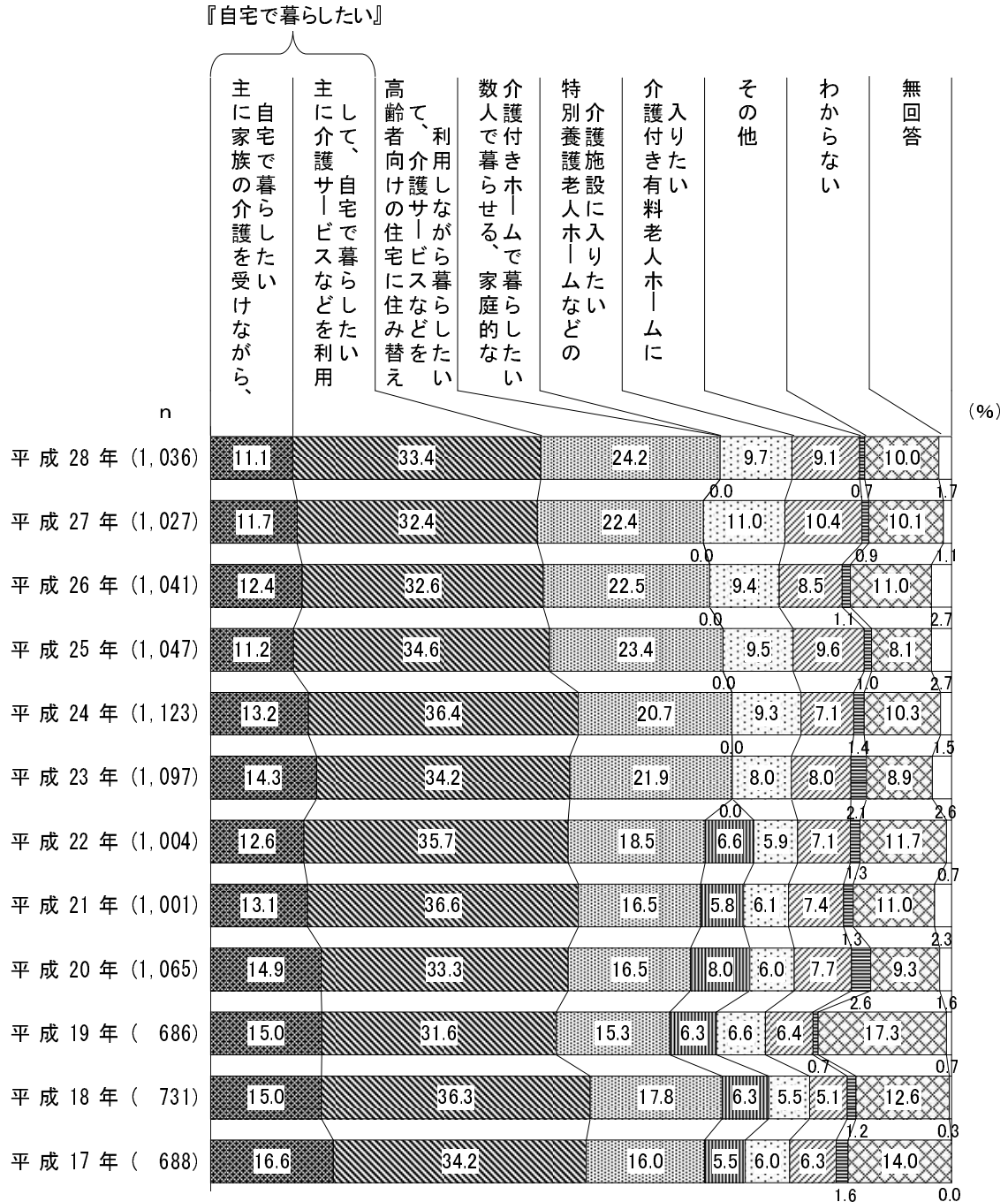
要介護時における暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」(33.4%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」(24.2%)、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」(11.1%) などとなっている。(図表4-1-1)

図表4-1-1 要介護時における暮らし方



過去の調査結果と比較すると、「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」は平成23年以降2割台で推移している。また、「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は、平成17年以降最も低い割合となっている。(図表4-1-2)

図表4-1-2 要介護時における暮らし方一過年度比較

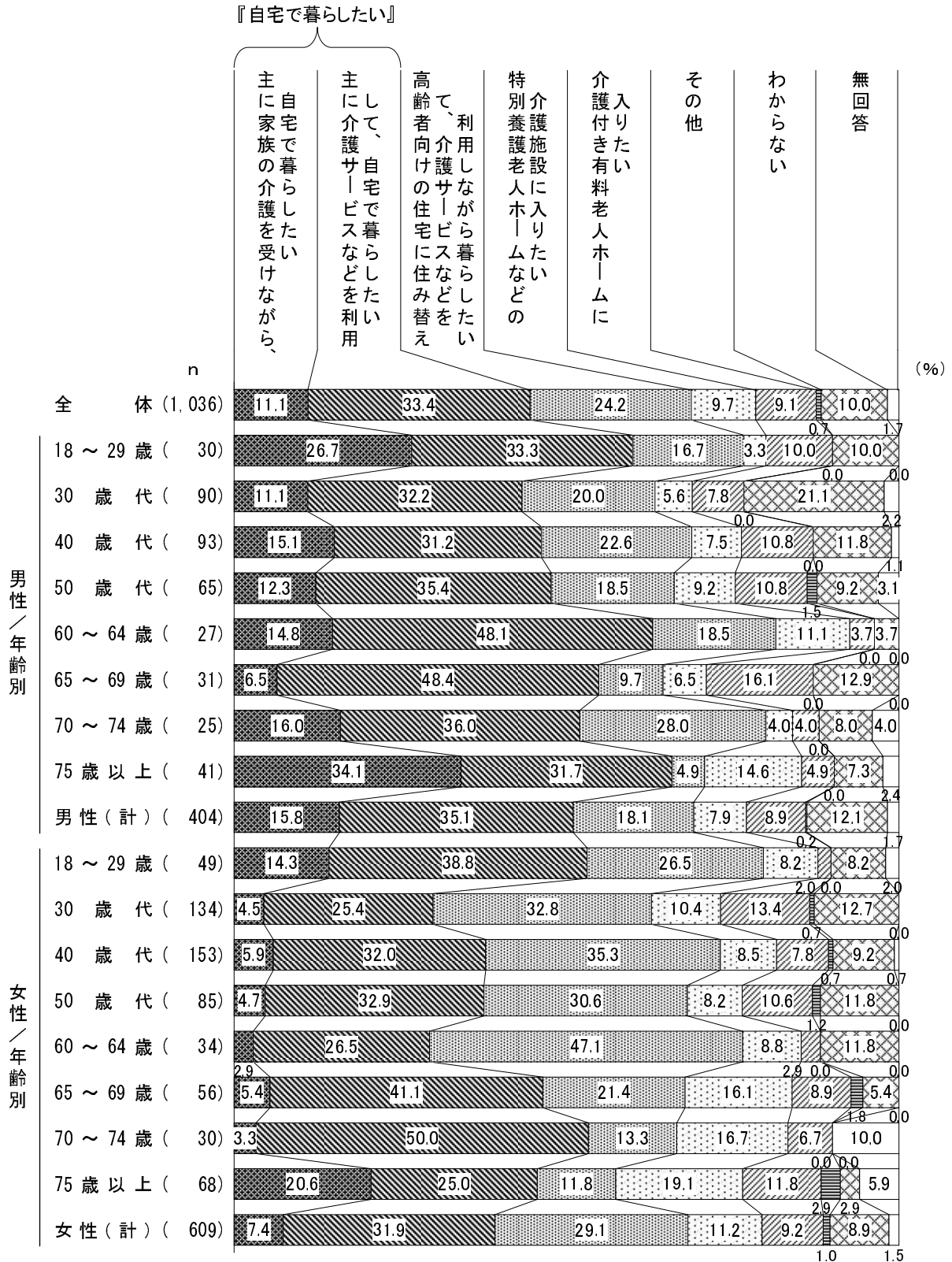


* 「数人で暮らせる、家庭的な介護付きホームで暮らしたい」の選択肢は、平成23年以降選択肢に含まれていない。

性／年齢別でみると、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は女性の70～74歳で5割と高くなっている。「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」は女性の60～64歳で5割近くと高くなっている。「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」は男性の75歳以上で3割台半ば、男性の18～29歳で3割近くと高くなっている。

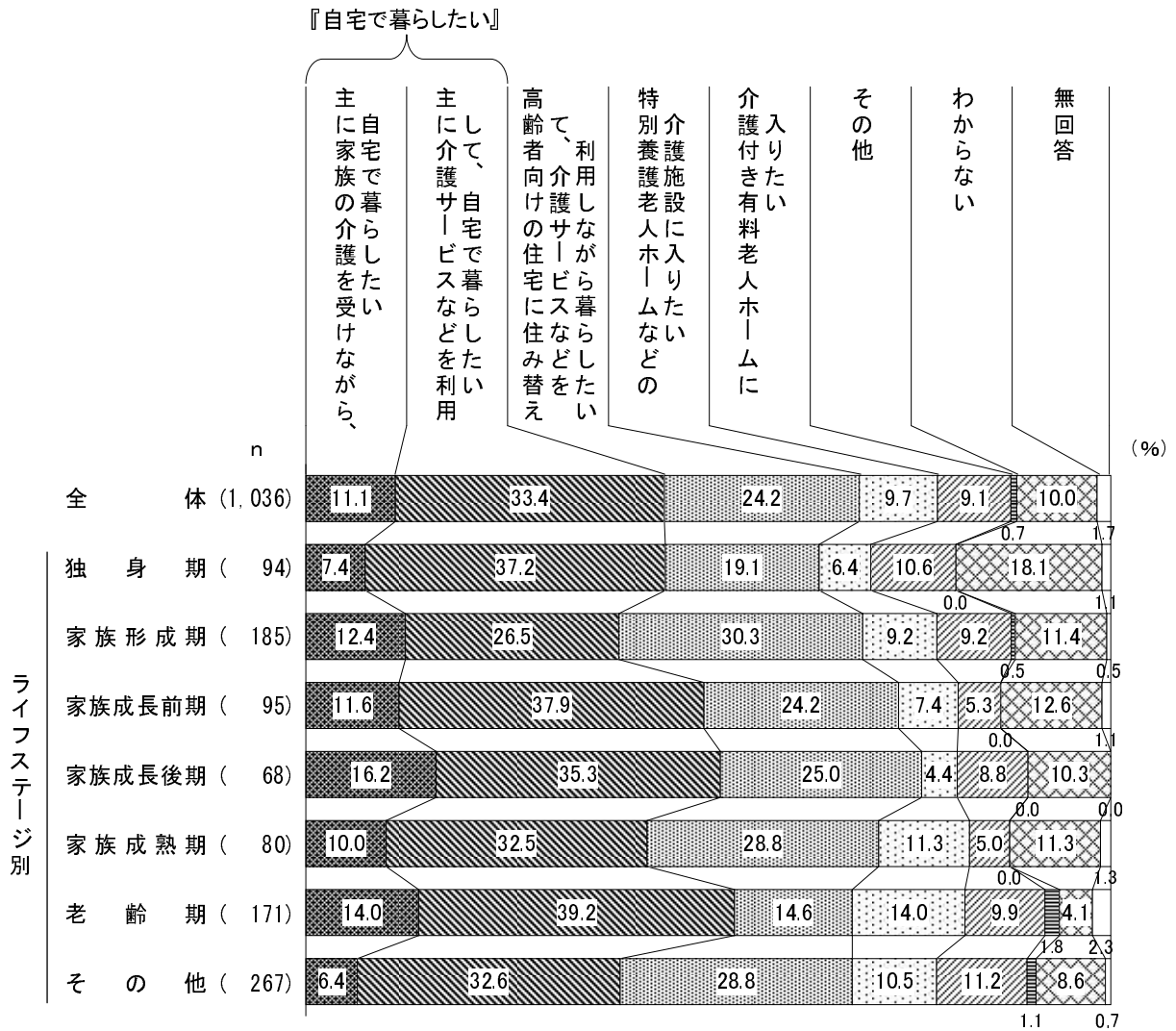
(図表 4-1-3)

図表 4-1-3 要介護時における暮らし方—性／年齢別



ライフステージ別で見ると、「主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい」は高齢期で約4割と高くなっている。「高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい」は家族形成期で3割と高くなっている。(図表4-1-4)

図表4-1-4 要介護時における暮らし方—ライフステージ別



(2) 区に望む高齢者保健福祉サービス

◇「在宅サービス（医療・介護・区の在宅福祉サービスなど）の充実」が約5割

問13 あなたは、住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で、区が力を入れていくべきものは何だと思えますか。（〇はいくつでも）

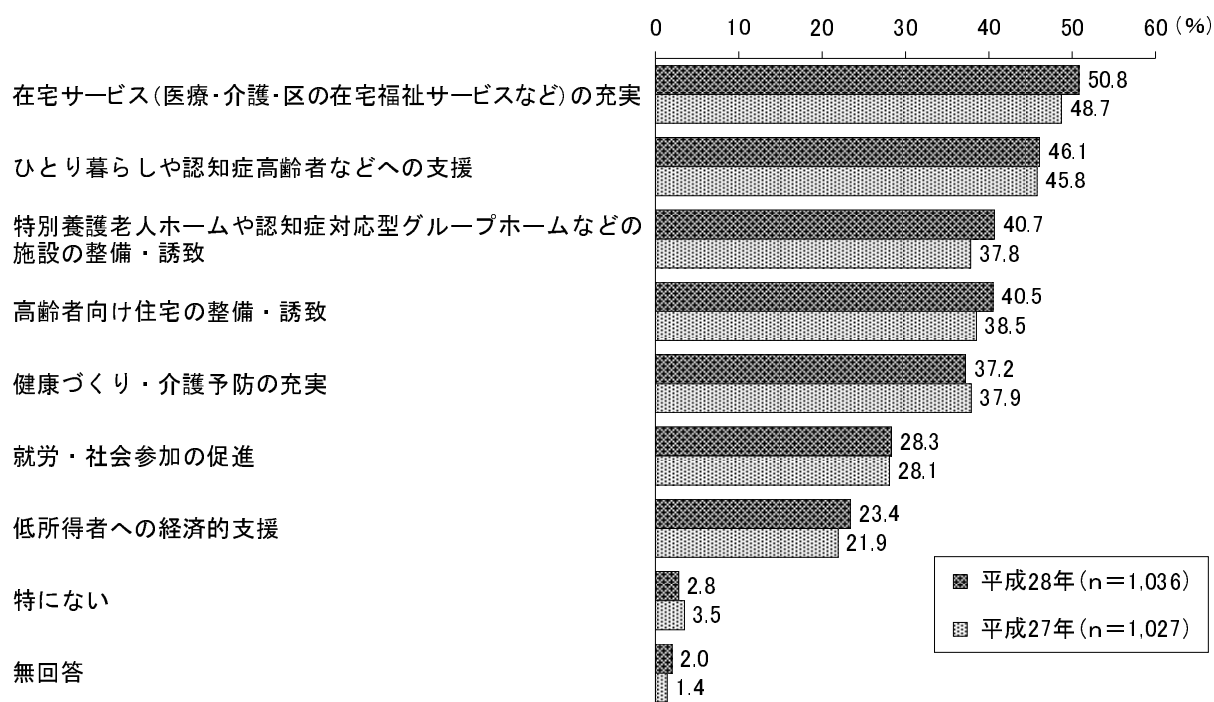
n = 1,036

| | | |
|---|------------------------------------|-------|
| 1 | 健康づくり・介護予防の充実 | 37.2% |
| 2 | 就労・社会参加の促進 | 28.3 |
| 3 | 在宅サービス（医療・介護・区の在宅福祉サービスなど）の充実 | 50.8 |
| 4 | 特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致 | 40.7 |
| 5 | 高齢者向け住宅の整備・誘致 | 40.5 |
| 6 | ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援 | 46.1 |
| 7 | 低所得者への経済的支援 | 23.4 |
| 8 | 特にない | 2.8 |
| | (無回答) | 2.0 |

区に望む高齢者保健福祉サービスは、「在宅サービス（医療・介護・区の在宅福祉サービスなど）の充実」（50.8%）が約5割で最も高くなっている。次いで、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」（46.1%）、「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」（40.7%）、「高齢者向け住宅の整備・誘致」（40.5%）などとなっている。

昨年との調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。（図表4-2-1）

図表4-2-1 区に望む高齢者保健福祉サービス（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、「在宅サービス（医療・介護・区の在宅福祉サービスなど）の充実」と「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」が引き続き上位2項目となっている。

(図表4-2-2)

図表4-2-2 区に望む高齢者保健福祉サービス—過年度比較

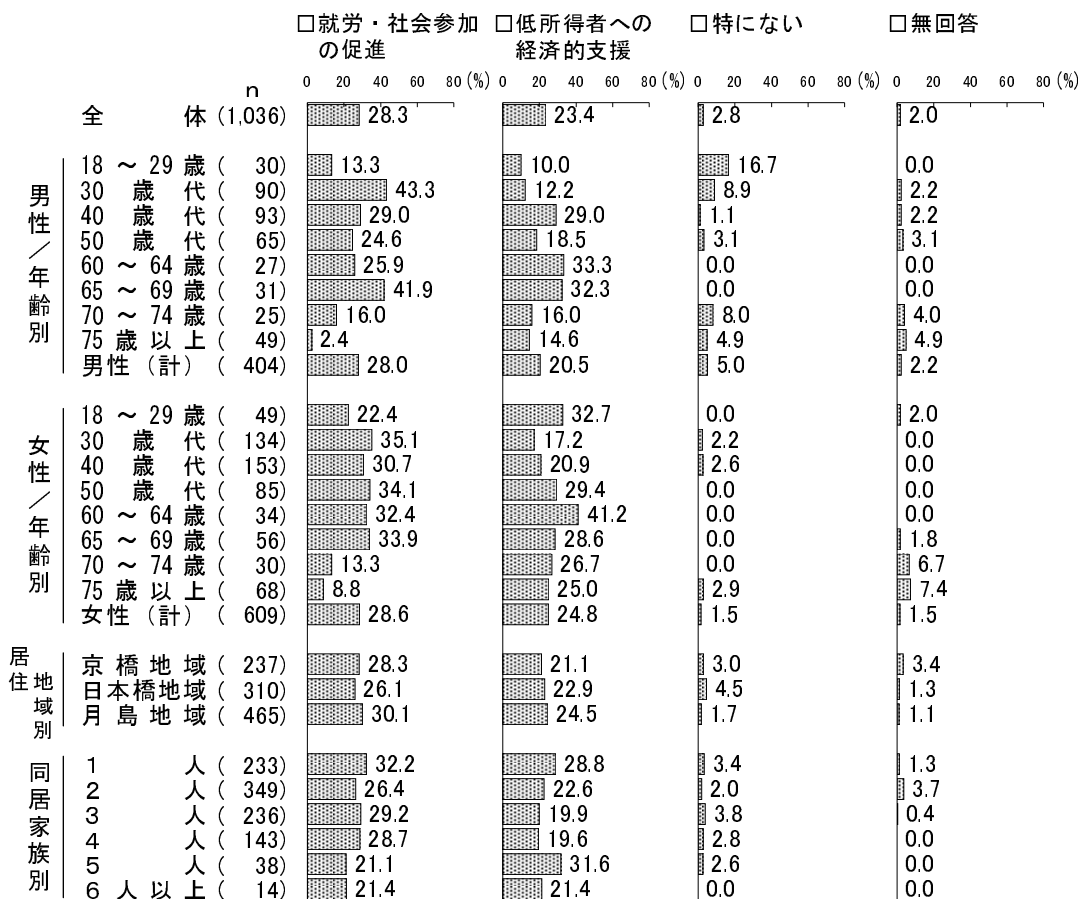
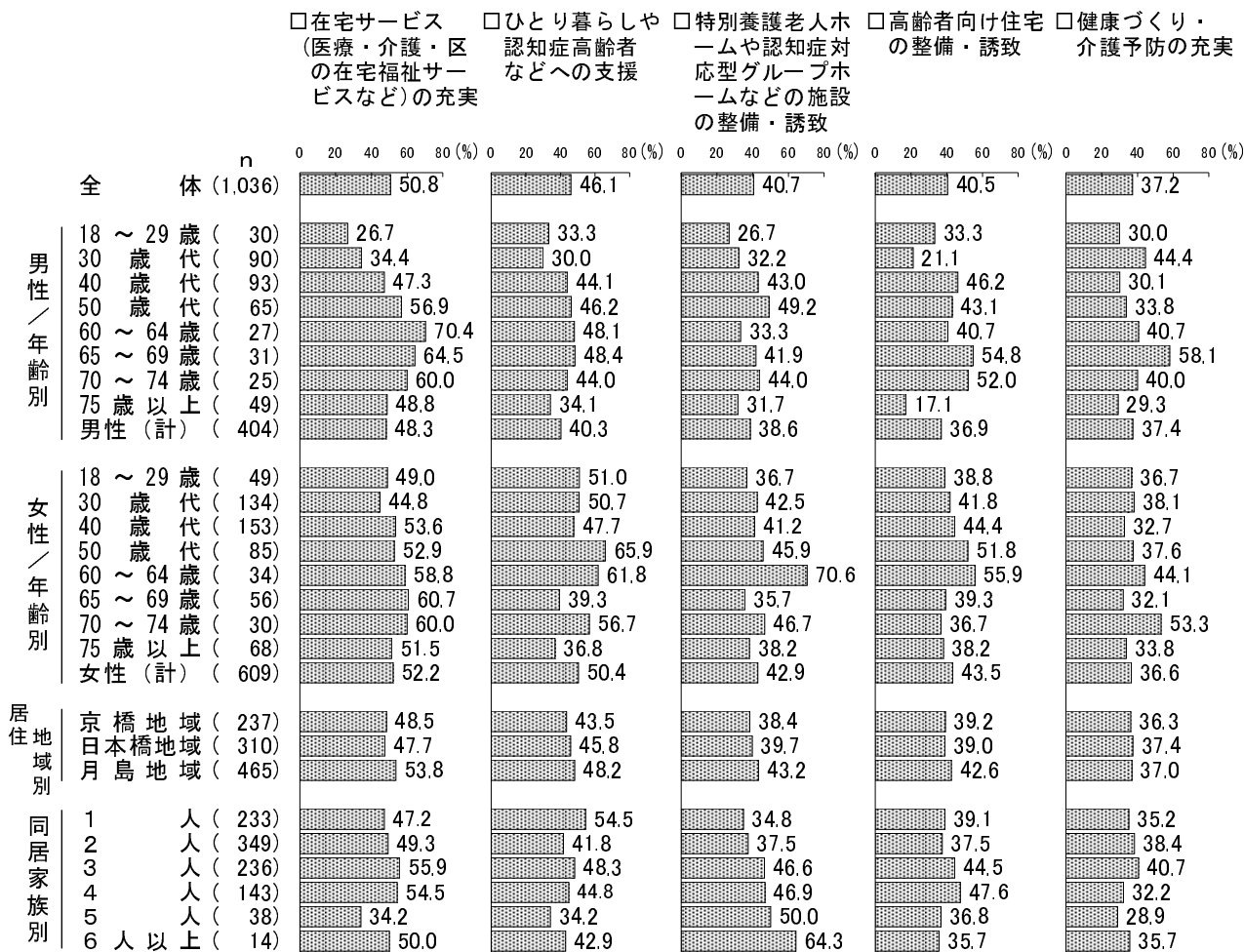
| 調査年 | n | (%) | | | | | | | | |
|-------|-------|----------------------|---------------------|------------------------------------|---------------|---------------|------------|-------------|------|-----|
| | | 在宅福祉サービス（医療・介護・区の充実） | ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援 | 特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致 | 高齢者向け住宅の整備・誘致 | 健康づくり・介護予防の充実 | 就労・社会参加の促進 | 低所得者への経済的支援 | 特になし | 無回答 |
| 平成28年 | 1,036 | 50.8 | 46.1 | 40.7 | 40.5 | 37.2 | 28.3 | 23.4 | 2.8 | 2.0 |
| 平成27年 | 1,027 | 48.7 | 45.8 | 37.8 | 38.5 | 37.9 | 28.1 | 21.9 | 3.5 | 1.4 |
| 平成26年 | 1,041 | 54.9 | 47.0 | 39.9 | 39.1 | 34.7 | 28.1 | 24.7 | 2.2 | 3.1 |

性／年齢別でみると、「在宅サービス（医療・介護・区の在宅福祉サービスなど）の充実」は男性の60～64歳で7割と高くなっている。「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」は女性の50歳代で6割台半ばと高くなっている。「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」は女性の60～64歳で約7割と高くなっている。

居住地域別でみると、「在宅サービス（医療・介護・区の在宅福祉サービスなど）の充実」は月島地域で5割を超えて高くなっている。

同居家族別でみると、「ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援」は同居家族1人で5割台半ばと高くなっている。「特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致」は同居家族6人以上で6割台半ばと高くなっている。(図表4-2-3)

図表4-2-3 区に望む高齢者保健福祉サービス一性／年齢別・居住地域別・同居家族別



(3) 区に取り組んでほしい具体的な施策やサービス

問13-1 問13で、あなたが○をした選択肢を含め、区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスをお書きください。

区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスを自由に記述していただいたところ、320人から延べ359件の回答が寄せられた。問13の区に望む高齢者保健福祉サービスにおおむね沿った形で整理した。

(ご意見の一部)

■健康づくり・介護予防の充実 (49件)

- ・ 区民館などで体操やヨガ、ストレッチなど、誰でも参加しやすいプログラムを実施してほしい。
- ・ 介護の予防に特に力を入れてほしい。小さい頃からの健康管理に対してもっと力を入れるべきです。中央区にはたくさんのスポーツクラブがありますので大いに連携すべきだと思う。

■就労・社会参加の促進 (40件)

- ・ 介護や、健康寿命を延ばす取り組みに関する分野などで、高齢者の雇用機会を創出する。
- ・ 高齢になっても、単なるサービスを受けるという姿勢ではなく、社会とつながりが持てると実感できる取り組みをお願いしたい。高齢者でもボランティア活動ができる仕組みや、サークル活動を通して積極的に地域と関わる取り組みを充実していくことが素晴らしい施策につながると思います。

■在宅サービス（医療・介護・区の在宅福祉サービスなど）の充実 (42件)

- ・ ホームヘルパーなどの優秀な人材の育成と確保。
- ・ ケアマネジャーの数を増やし、各世帯の状況をしっかりと把握し、援助できるようにしてほしい。そのため、ケアマネジャーの育成に力を注いでほしい。介護経験者として、中央区は他の区より優れていると思います。

■特別養護老人ホームなどの施設の整備・誘致 (73件)

- ・ 特別養護老人ホームなどの施設を増やしてほしい（入所しやすくしてほしい）。

■高齢者向け住宅の整備・誘致（38件）

- ・ ひとり暮らしの高齢者向け住宅の確保。都営住宅などの倍率も高く、なかなか入居できなくなっていますが、高齢になれば収入も減っていくのが実状です。安い家賃で住める住居を増やしていただければと思います。
- ・ 介護の要不要にかかわらず、老人がある程度のサービスを受けながら自立した生活ができるようマンションなど住宅の充実化。

■ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援（31件）

- ・ 特に、ひとり暮らし高齢者などへの見守り支援。
- ・ 要介護でも要支援でもないが、ひとり暮らしでひと通りのことを自分でできる者でも、高い所の掃除や力仕事などを気軽に依頼できるサービスがあるとよい。

■低所得者への経済的支援（17件）

- ・ 中央区独自の高齢者向けの手当てを検討してほしい。

■その他（69件）

- ・ 駅のエレベーター・エスカレーターなどをもっと増やしてほしい。車いすや高齢者が住みやすい環境とは思えない。
- ・ 高齢者が余暇を楽しめるような健全な娯楽施設があるとよいと思います。

【5 子育て支援】

(1) 子育てに関する悩みの相談

◇「配偶者・パートナー」が3割を超える

問14 あなたは、子育てに関する悩みや不安をどこに相談しましたか。(〇は2つまで)

n = 1,036

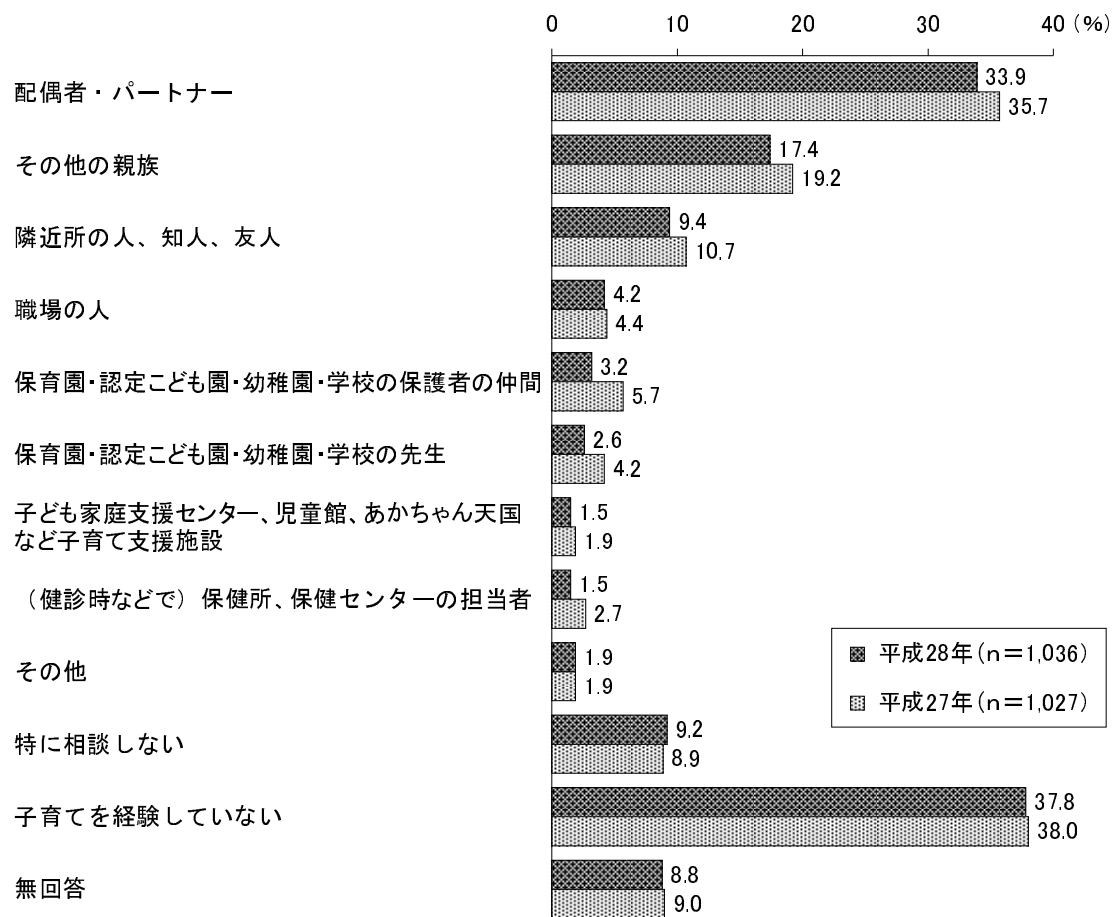
| | | |
|----|----------------------------------|-------|
| 1 | 配偶者・パートナー | 33.9% |
| 2 | その他の親族 | 17.4 |
| 3 | 職場の人 | 4.2 |
| 4 | 隣近所の人、知人、友人 | 9.4 |
| 5 | 保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間 | 3.2 |
| 6 | 保育園・認定こども園・幼稚園・学校の先生 | 2.6 |
| 7 | 子ども家庭支援センター、児童館、あかちゃん天国など子育て支援施設 | 1.5 |
| 8 | (健診時などで)保健所、保健センターの担当者 | 1.5 |
| 9 | その他 | 1.9 |
| 10 | 特に相談しない | 9.2 |
| 11 | 子育てを経験していない | 37.8 |
| | (無回答) | 8.8 |

(※) 認定こども園 小学校に就学する前の子どもの教育・保育・子育て支援を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の役割を果たします。

子育てに関する悩みの相談は、「配偶者・パートナー」(33.9%)が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「その他の親族」(17.4%)、「隣近所の人、知人、友人」(9.4%)、「職場の人」(4.2%)などとなっている。

昨年との調査結果と比較すると、「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」は2.5ポイント減少している。(図表5-1-1)

図表5-1-1 子育てに関する悩みの相談（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「配偶者・パートナー」、「その他の親族」、「隣近所の人、知人、友人」が引き続き上位3項目となっている。

(図表5-1-2)

図表5-1-2 子育てに関する悩みの相談一過年度比較

(%)

| 調査年 | n | 配偶者・パートナー | その他の親族 | 隣近所の人、知人、友人 | 職場の人 | 保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間 | 保育園・認定こども園・幼稚園・学校の先生 | 子ども家庭支援センター、児童館、あかちゃん天国など子育て支援施設 | (健診時などで)保健所、保健センターの担当者 | その他 | 特に相談しない | 子育てを経験していない | 無回答 | 区役所など行政機関 |
|-------|-------|-----------|--------|-------------|------|--------------------------|----------------------|----------------------------------|------------------------|-----|---------|-------------|------|-----------|
| 平成28年 | 1,036 | 33.9 | 17.4 | 9.4 | 4.2 | 3.2 | 2.6 | 1.5 | 1.5 | 1.9 | 9.2 | 37.8 | 8.8 | ※ |
| 平成27年 | 1,027 | 35.7 | 19.2 | 10.7 | 4.4 | 5.7 | 4.2 | 1.9 | 2.7 | 1.9 | 8.9 | 38.0 | 9.0 | ※ |
| 平成26年 | 1,041 | 35.0 | 18.9 | 9.7 | 2.2 | 4.9 | 3.6 | 1.2 | 2.2 | 1.3 | 8.3 | 34.6 | 11.0 | ※ |
| 平成25年 | 1,047 | 34.8 | 19.2 | 10.8 | 2.7 | 4.6 | 3.2 | 2.5 | 2.1 | 1.4 | 8.1 | 33.8 | 11.7 | ※ |
| 平成24年 | 1,123 | 32.8 | 17.5 | 10.2 | 2.2 | 5.1 | 2.4 | 1.5 | 1.3 | 1.7 | 6.8 | 38.1 | 11.5 | ※ |
| 平成23年 | 1,097 | 31.4 | 17.1 | 11.8 | 3.0 | 5.7 | 2.6 | 0.9 | 1.5 | 0.9 | 7.6 | 36.6 | 12.9 | ※ |
| 平成22年 | 1,004 | 35.2 | 17.9 | 12.4 | 3.1 | 4.9 | 3.1 | 1.2 | 1.8 | 0.9 | 9.2 | 35.6 | 7.9 | ※ |
| 平成21年 | 1,001 | 31.4 | 15.0 | 9.9 | 2.5 | 3.8 | 3.0 | ※ | 2.5 | 4.1 | 8.9 | 34.0 | 12.5 | 1.0 |
| 平成20年 | 1,065 | 30.8 | 15.4 | 12.7 | 1.3 | 4.2 | 2.9 | ※ | 2.7 | 1.8 | 8.5 | 34.8 | 12.4 | 2.1 |
| 平成19年 | 686 | 28.4 | 13.8 | 11.1 | 2.2 | 8.0 | 5.0 | ※ | ※ | 1.0 | 13.0 | 38.2 | 6.3 | 1.7 |

* 太枠内が今回の調査の選択肢

* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢

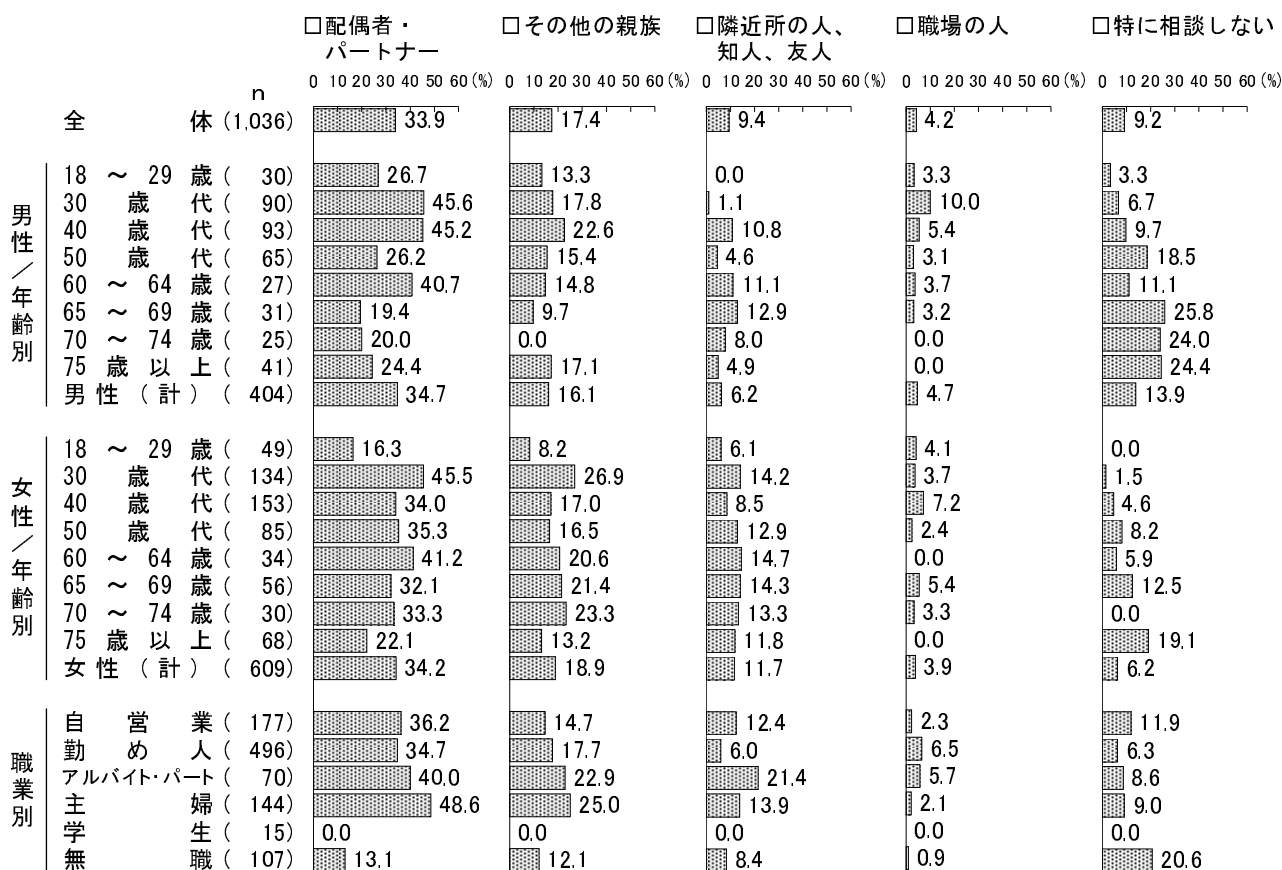
* 「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間」の選択肢は、平成22年以前は「保育園、幼稚園、学校の保護者の仲間」としていた。

* 「保育園・認定こども園・幼稚園・学校の先生」の選択肢は、平成22年以前は「保育士、幼稚園・学校の先生」としていた。

性／年齢別でみると、「配偶者・パートナー」は男性の30歳代、40歳代と女性の30歳代でいずれも4割台半ばと高くなっている。「その他の親族」は女性の30歳代で3割近くと高くなっている。「特に相談しない」は男性の65～69歳、70～74歳、75歳以上でいずれも2割台半ばと高くなっている。

職業別でみると、「配偶者・パートナー」は主婦で5割近くと高くなっている。「隣近所の人、知人、友人」はアルバイト・パートで2割を超えて高くなっている。(図表5-1-3)

図表5-1-3 子育てに関する悩みの相談—性／年齢別・職業別(上位4項目+「特に相談しない」)



(2) 重要と考える子育て支援策

◇「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」が4割台半ば

問15 あなたがこれからの区の子育て支援で重要と考えるものを選んでください。

(○は2つまで)

n = 1,036

| | | |
|----|-----------------------------------|-------|
| 1 | 保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備 | 44.3% |
| 2 | 一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス | 36.0 |
| 3 | 子育て仲間が交流し、情報交換のできる場 | 4.5 |
| 4 | 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備 | 8.8 |
| 5 | 放課後などにおける児童の遊びや生活の場 | 12.4 |
| 6 | 情報の提供や相談サービス | 1.8 |
| 7 | 公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備 | 11.3 |
| 8 | 母親と乳幼児などの健康の確保および増進 | 2.2 |
| 9 | 職業生活と家庭生活との両立の支援 | 15.9 |
| 10 | 児童虐待防止対策 | 7.9 |
| 11 | 経済的な支援 | 10.2 |
| 12 | 特にない | 3.8 |
| | (無回答) | 15.8 |

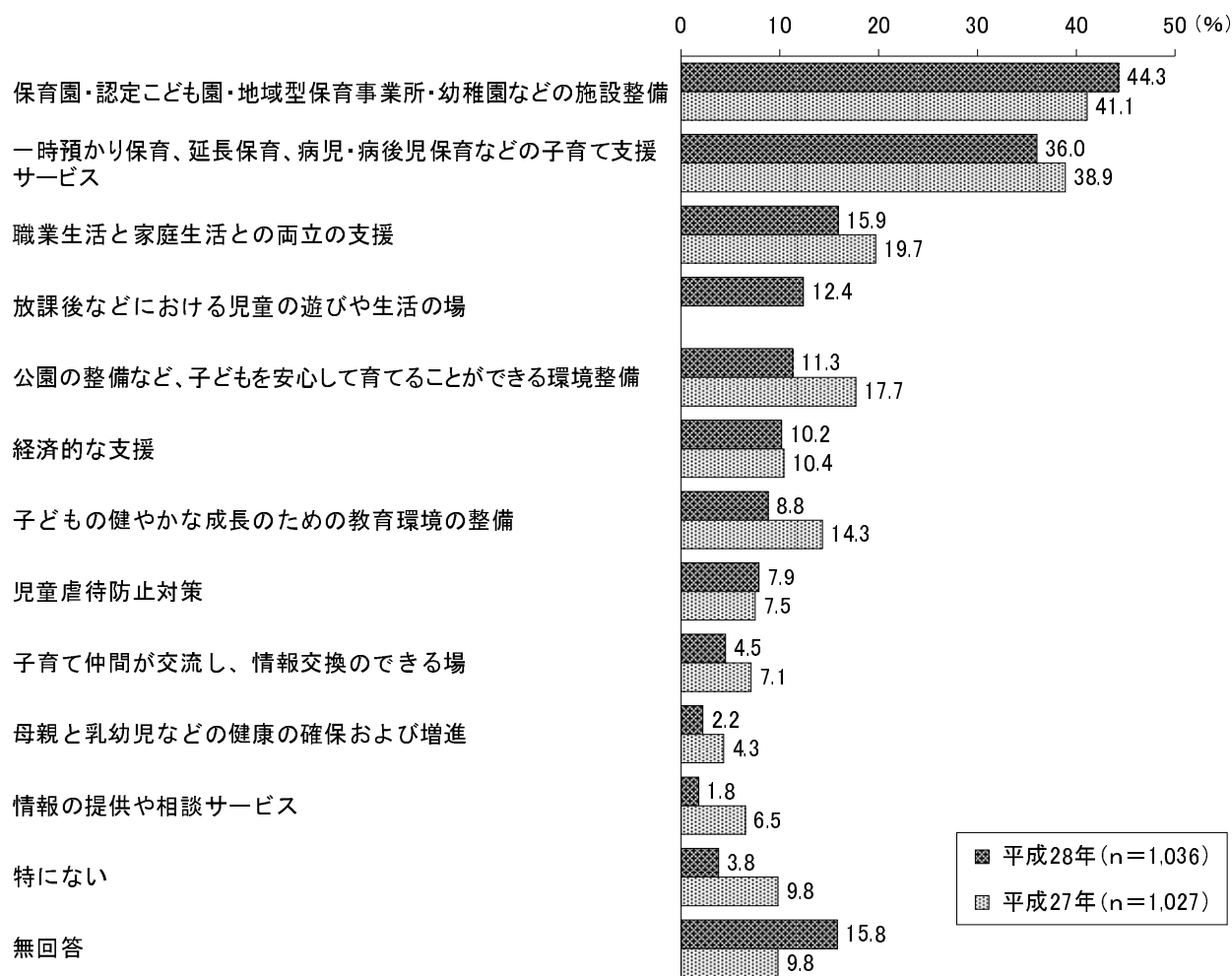
(※) 地域型保育事業所 少人数の単位で0～2歳の子どもを預かる保育事業所です。

(家庭的保育事業・小規模保育事業・事業所内保育事業・居宅訪問型保育事業)

重要と考える子育て支援策は、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(44.3%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(36.0%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(15.9%)、「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」(12.4%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(11.3%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」、「職業生活と家庭生活との両立の支援」が引き続き上位3項目となっている。(図表5-2-1)

図表5-2-1 重要と考える子育て支援策（複数回答）



* 「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」は、平成27年では聞かれていない選択肢

* 「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」の選択肢は、平成27年では「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの保育サービスの充実」としていた。

* 「職業生活と家庭生活との両立の支援」の選択肢は、平成27年では「職業生活と家庭生活との両立の推進」としていた。

過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」と「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」が引き続き上位2項目となっている。(図表5-2-2)

図表5-2-2 重要と考える子育て支援策一過年度比較

| 調査年 | n | (%) | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|--------------------------------|-----------------------------------|------------------|---------------------|---------------------|--------|-----------------------|----------|---------------------|---------------------|--------------|------|------|-----|
| | | 保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備 | 一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス | 職業生活と家庭生活との両立の支援 | 放課後などにおける児童の遊びや生活の場 | 公園の整備など、子どもを安心して育てる | 経済的な支援 | 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備 | 児童虐待防止対策 | 子育て仲間が交流し、情報交換のできる場 | 母親と乳幼児などの健康の確保および増進 | 情報の提供や相談サービス | 特になし | 無回答 | その他 |
| 平成28年 | 1,036 | 44.3 | 36.0 | 15.9 | 12.4 | 11.3 | 10.2 | 8.8 | 7.9 | 4.5 | 2.2 | 1.8 | 3.8 | 15.8 | ※ |
| 平成27年 | 1,027 | 41.1 | 38.9 | 19.7 | ※ | 17.7 | 10.4 | 14.3 | 7.5 | 7.1 | 4.3 | 6.5 | 9.8 | 9.8 | ※ |
| 平成26年 | 1,041 | 40.6 | 42.5 | 14.4 | ※ | 12.3 | 8.0 | 11.9 | 4.2 | 6.3 | 2.3 | 5.0 | 8.5 | 11.6 | ※ |
| 平成25年 | 1,047 | 46.2 | 43.7 | 12.4 | ※ | 12.4 | 9.0 | 10.7 | 5.2 | 6.2 | 2.9 | 4.9 | 6.5 | 11.6 | ※ |
| 平成24年 | 1,123 | 53.7 | ※ | 28.6 | ※ | 15.3 | 15.9 | 17.2 | 4.9 | 13.4 | 3.7 | 7.5 | 4.7 | 7.5 | 2.8 |
| 平成23年 | 1,097 | 52.4 | ※ | 30.5 | ※ | 14.7 | 15.5 | 19.7 | 5.4 | 10.8 | 4.3 | 7.5 | 4.3 | 8.4 | 2.3 |
| 平成22年 | 1,004 | 59.4 | ※ | 31.9 | ※ | 15.7 | 15.4 | 19.9 | 7.4 | 9.2 | 3.6 | 6.0 | 3.9 | 4.1 | 3.1 |
| 平成21年 | 1,001 | 42.9 | ※ | 30.0 | ※ | 13.2 | 26.1 | 15.4 | 3.1 | 8.0 | 3.2 | 5.2 | 4.5 | 8.1 | 9.9 |
| 平成20年 | 1,065 | 39.6 | ※ | 31.4 | ※ | 18.6 | 22.3 | 20.2 | 3.7 | 12.5 | 3.2 | 7.8 | 3.3 | 7.1 | 6.1 |
| 平成19年 | 686 | 34.1 | ※ | 30.3 | ※ | 20.6 | 24.6 | 20.6 | 4.7 | 9.3 | 3.6 | 5.4 | 12.5 | 4.2 | 1.3 |

* 太枠内が今回の調査の選択肢

* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢

* 「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」の選択肢は、平成23年から平成26年までは「保育園・認定こども園・幼稚園などの施設整備」、平成22年以前は「保育所・幼稚園などの施設整備」としていた。

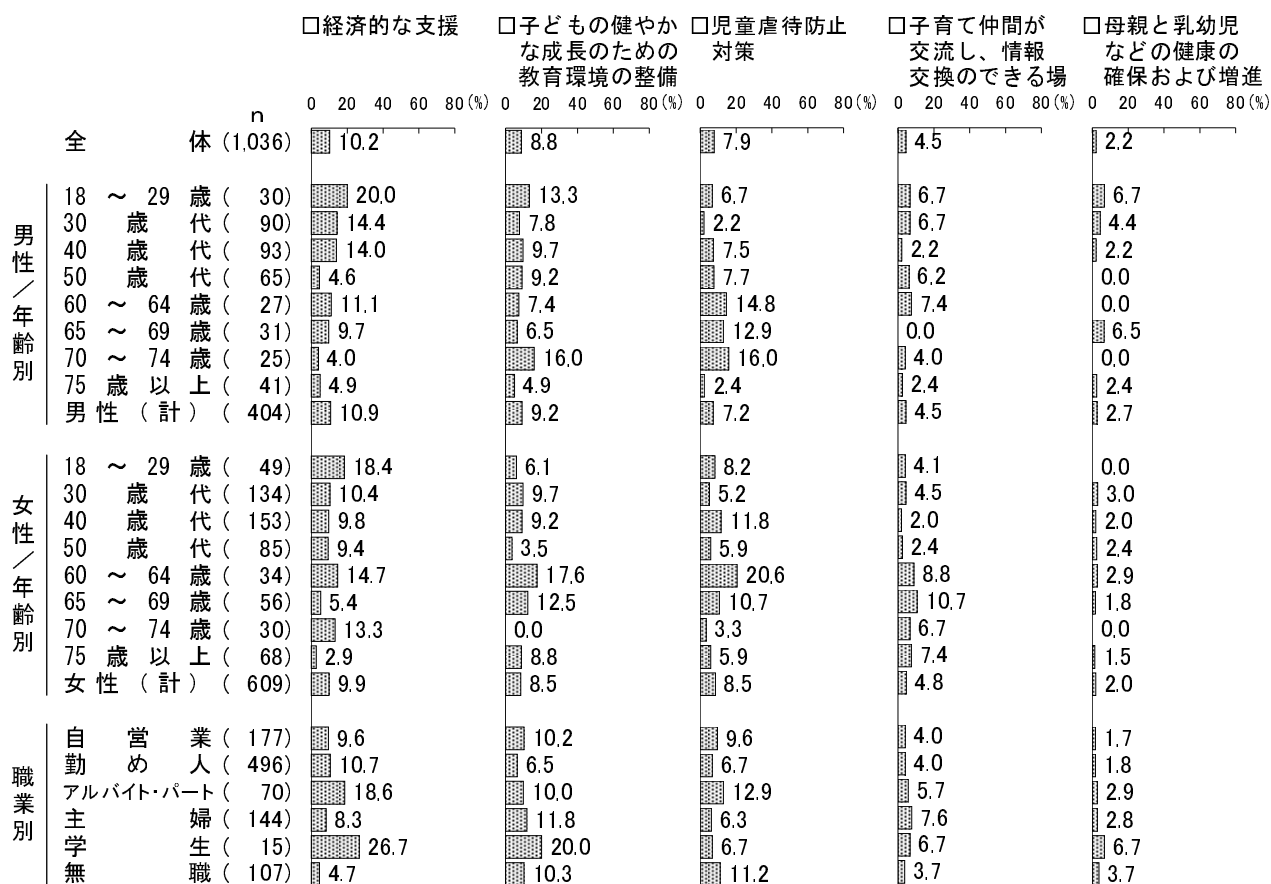
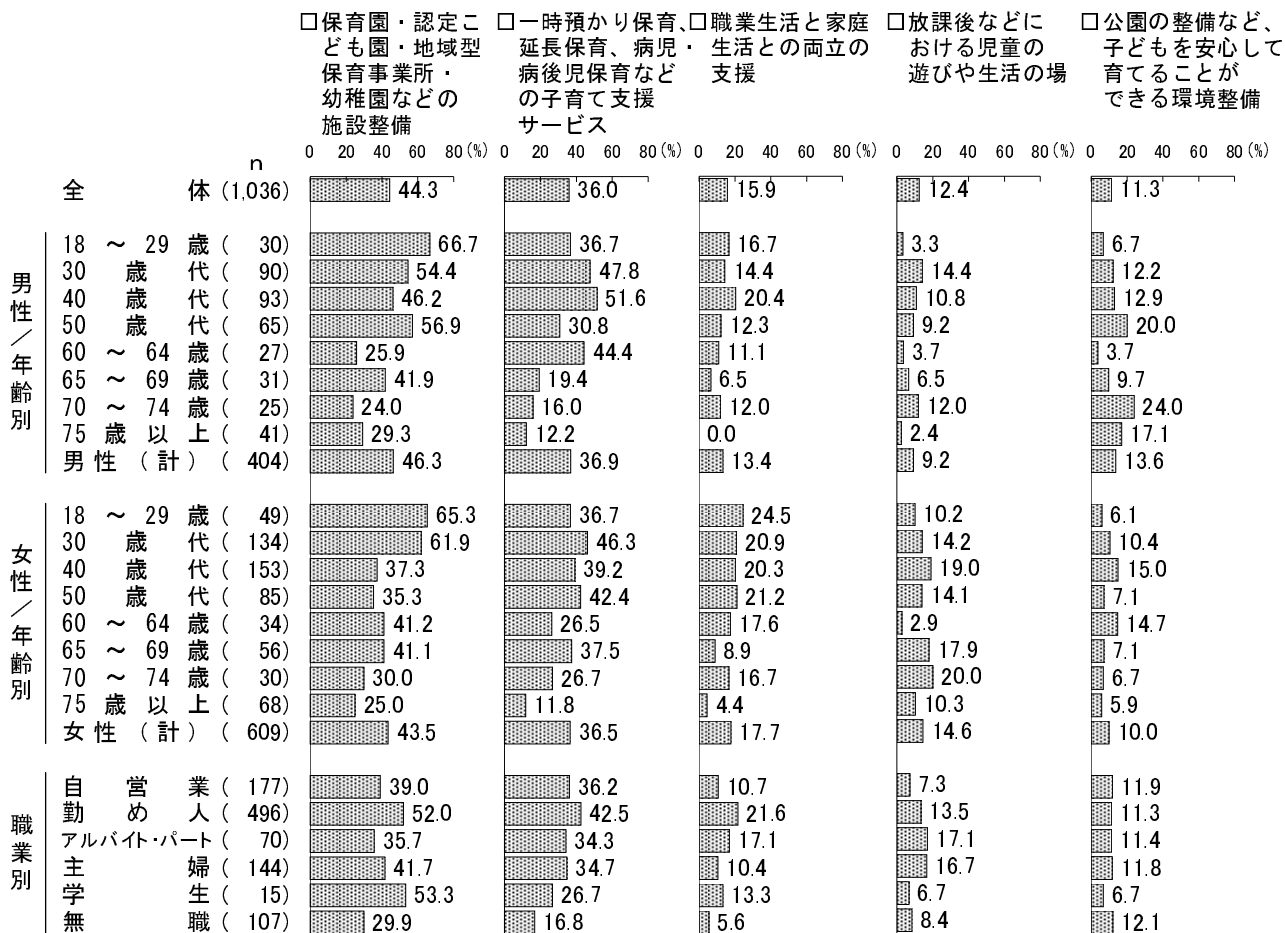
* 「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」の選択肢は、平成27年以前は「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの保育サービスの充実」としていた。

* 「職業生活と家庭生活との両立の支援」の選択肢は、平成27年以前は「職業生活と家庭生活との両立の推進」としていた。

性／年齢別でみると、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」は男性の18～29歳で7割近く、女性の18～29歳で6割台半ばと高くなっている。「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は男性の40歳代で5割を超えて高くなっている。

職業別でみると、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」は学生と勤め人でともに5割を超えて高くなっている。「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は勤め人で4割を超えて高くなっている。(図表5-2-3)

図表5-2-3 重要と考える子育て支援策一性／年齢別・職業別（上位10項目）



(3) 更に充実を図る必要がある子育て支援策

◇「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」が3割台半ば

問15 また、更に充実を図る必要があると考えるものを選んでください。(〇はいくつでも)

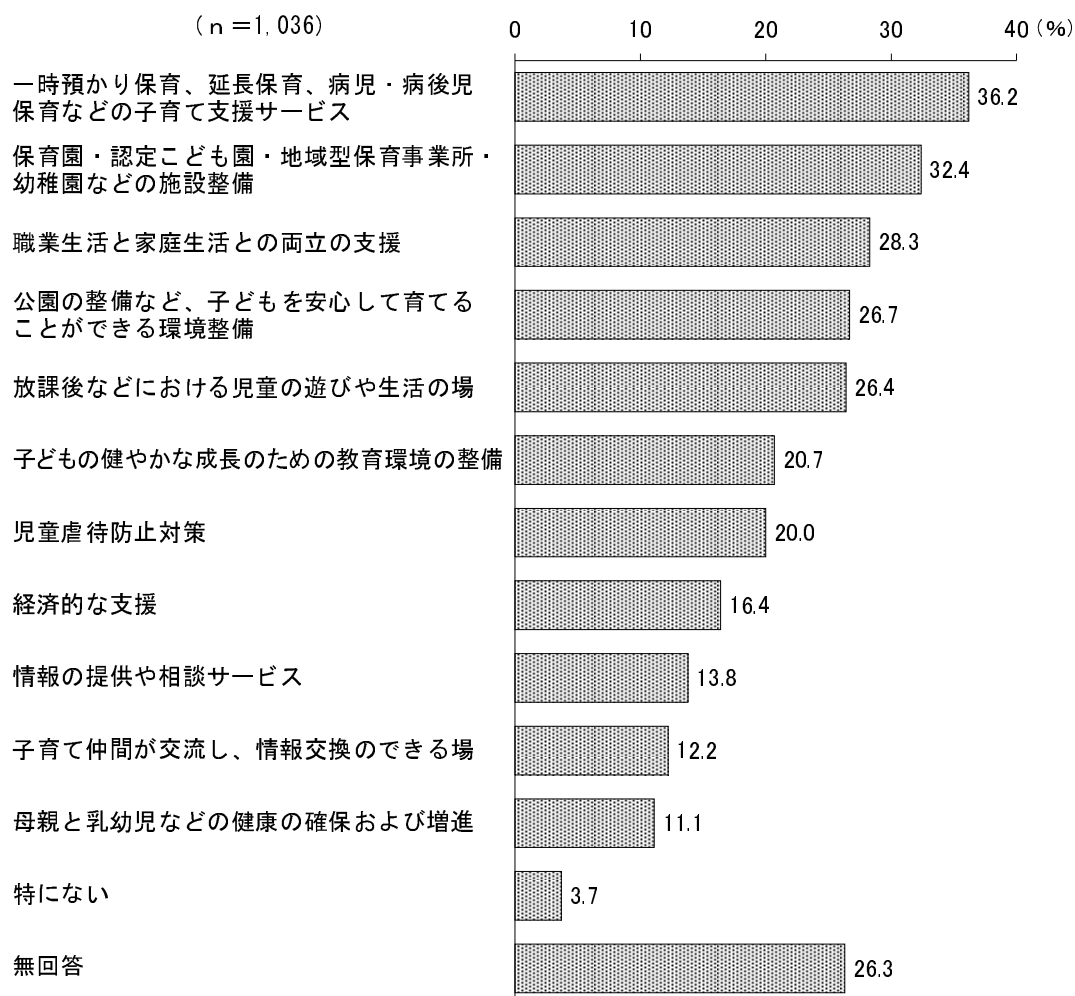
n = 1,036

| | | |
|----|-----------------------------------|-------|
| 1 | 保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備 | 32.4% |
| 2 | 一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス | 36.2 |
| 3 | 子育て仲間が交流し、情報交換のできる場 | 12.2 |
| 4 | 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備 | 20.7 |
| 5 | 放課後などにおける児童の遊びや生活の場 | 26.4 |
| 6 | 情報の提供や相談サービス | 13.8 |
| 7 | 公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備 | 26.7 |
| 8 | 母親と乳幼児などの健康の確保および増進 | 11.1 |
| 9 | 職業生活と家庭生活との両立の支援 | 28.3 |
| 10 | 児童虐待防止対策 | 20.0 |
| 11 | 経済的な支援 | 16.4 |
| 12 | 特にない | 3.7 |
| | (無回答) | 26.3 |

(※) 地域型保育事業所 少人数の単位で0～2歳の子どもを預かる保育事業所です。
(家庭的保育事業・小規模保育事業・事業所内保育事業・居宅訪問型保育事業)

更に充実を図る必要がある子育て支援策は、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」(36.2%)が3割台半ばで最も高くなっている。次いで、「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」(32.4%)、「職業生活と家庭生活との両立の支援」(28.3%)、「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」(26.7%)、「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」(26.4%)などとなっている。(図表5-3-1)

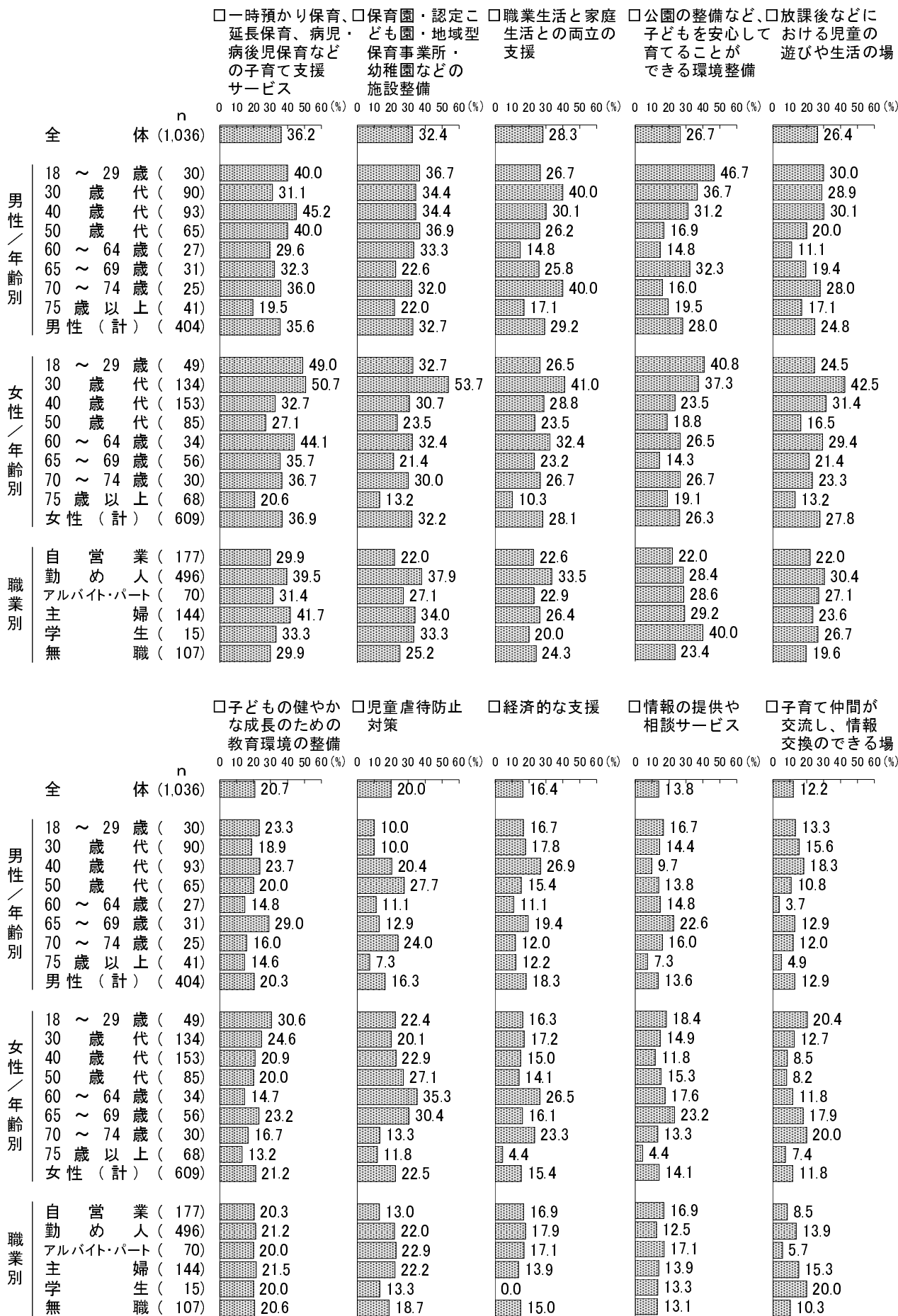
図表 5-3-1 更に充実を図る必要がある子育て支援策（複数回答）



性／年齢別でみると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は女性の18～29歳と30歳代でともに約5割と高くなっている。「保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備」は女性の30歳代で5割を超えて高くなっている。「公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備」は男性の18～29歳で5割近くと高くなっている。「放課後などにおける児童の遊びや生活の場」は女性の30歳代で4割を超えて高くなっている。

職業別でみると、「一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス」は主婦で4割を超え、勤め人で4割と高くなっている。(図表 5-3-2)

図表5-3-2 更に充実を図る必要がある子育て支援策一性／年齢別・職業別（上位10項目）



(4) 区に取り組んでほしい具体的な施策やサービス

問15-1 問15で、あなたが○をした選択肢を含め、区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスをお書きください。

区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスを自由に記述していただいたところ、301人から延べ342件の回答が寄せられた。問15の重要と考える子育て支援策におおむね沿った形で整理した。

(ご意見の一部)

■保育園・認定こども園・地域型保育事業所・幼稚園などの施設整備 (110件)

- ・ 保育園に子どもを預けるための「保活」のように、まわりくどいテクニックのようなものがなくても気楽に預けられる環境を整えてほしい。

■一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス (49件)

- ・ 病児・病後児保育を行っている小児科を区としてしっかり支援してほしい。保育園に通わせている親は子どもが体調不良の時ほどいつもの保育園が預かってくれないので困る。病児保育ももっとたくさんあればいいと思う。
- ・ 他の区で行われている保育ママ制度のようなものがあればいいと思う。退職した人などの人材の利用もできるのでは。

■子育て仲間が交流し、情報交換のできる場 (7件)

- ・ 中央区は高層マンションが多く、商店街や公園が少ないイメージがあり、特に共働きの場合、子どもを産み育てていくには、人間関係や育てていく環境が十分でないように思うので、子どもと大人が集えるまちづくりが必要と思う。

■子どもの健やかな成長のための教育環境の整備 (13件)

- ・ 小・中学校の教員や補助教員の増員。特に小学校低・中学年は、1クラスに担任の他に補助教員を入れる2人体制でサポートしていった方がよいと思う。

■放課後などにおける児童の遊びや生活の場 (28件)

- ・ プレディを利用しているが、プレディを利用した後いったん学校から出ると、その日はもう利用できないが、もっと柔軟に対応してほしい。
- ・ 学童保育における指導員に対するケアと支援と教育。悩みを聞いて、具体的に対策を取り、子どもをきちんと教育できる人間性を磨いてもらう。

■情報の提供や相談サービス (6件)

- ・ 仕事と子育てを両立できている家庭の具体例や生の声を聞ける場があると良いと思います。

■公園の整備など、子どもを安心して育てることができる環境整備（32件）

- ・ 平日の昼間に公園に行くと、保育園の子どもが利用していて、保育園や幼稚園にまだ通っていない息子は気後れしてしまい、公園で遊ぶなくなってしまったので、公園をもっと増やすか、保育園の子どもとの住みわけができるようなルールを作してほしい。
- ・ 晴海・豊海の運動場が閉鎖され、野球・サッカーなどができる場所がなくなっているのので、増やしてほしい。

■母親と乳幼児などの健康の確保および増進（7件）

- ・ 平日夜間、土日の医療体制の充実。聖路加国際病院だけでは少ないし、遠い。

■職業生活と家庭生活との両立の支援（15件）

- ・ 育児制度の取り組み内容に企業間格差があることから、個別企業の取り組み実態に即した、きめ細かい利用ルールの見直し。新規のオフィスビル建設などについては、保育施設のビル内設置の義務付け、もしくは建設基準の緩和策の導入など。

■児童虐待防止対策（4件）

- ・ これからの時代を担う子どもの大切な命を救うため、児童虐待などがないように児童施設などの設備に力を入れてほしい。

■経済的な支援（16件）

- ・ 子どもの貧困に対する学習支援、食事提供など、平等に育つ環境を整える。どんな家庭に生まれても、18歳までは受けたい教育を受け、食事をし、安心した環境で育つべき。

■その他（55件）

- ・ 保育士不足の対応として地域の元気高齢者の活用はどうでしょうか。子どもを育てた経験があれば、短時間、週1～2回程度なら協力できると思っています。私はプレディサポーターを始めて10年になります。制度ができれば協力したい。
- ・ 窓口時間が平日の夕方までしか開いていないため、仕事を抜けなければ書類を提出できない。書類や申請などは全てインターネットでできるようにしてほしい。

【6 広報・広聴】

(1) 区政情報を得る方法

◇「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」が7割を超える

問16 あなたは、区のサービスやイベントなどの区政情報をどのように入手していますか。

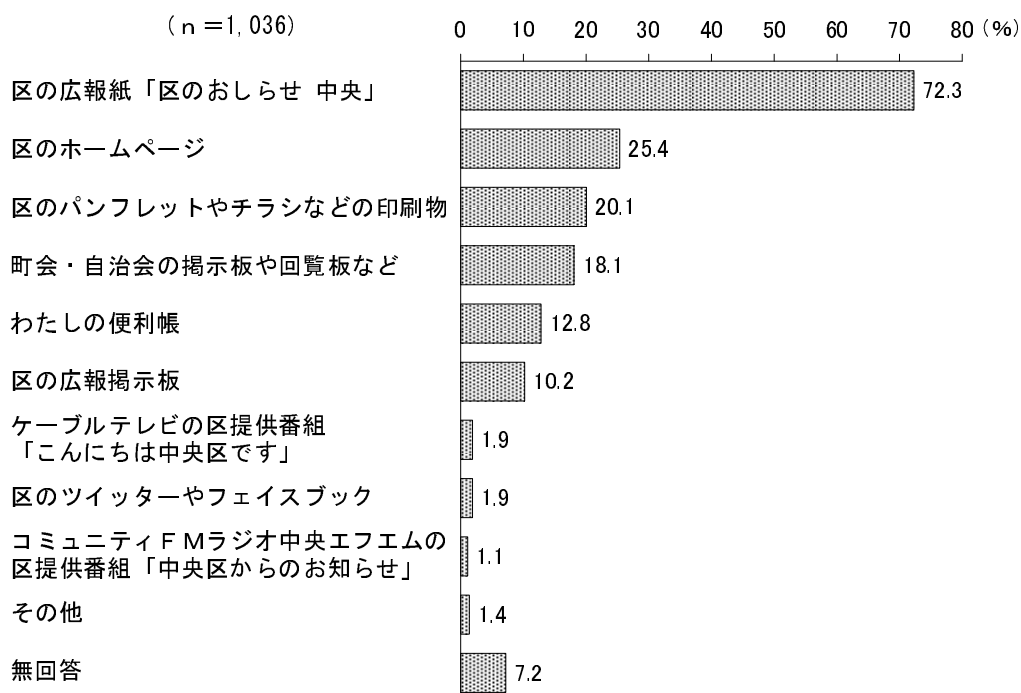
(○はいくつでも)

n = 1,036

| | | |
|----|-------------------------------------|-------|
| 1 | 区の広報紙「区のおしらせ 中央」 | 72.3% |
| 2 | わたしの便利帳 | 12.8 |
| 3 | 区のパンフレットやチラシなどの印刷物 | 20.1 |
| 4 | 区のホームページ | 25.4 |
| 5 | 区の広報掲示板 | 10.2 |
| 6 | 町会・自治会の掲示板や回覧板など | 18.1 |
| 7 | ケーブルテレビの区提供番組「こんにちは 中央区です」 | 1.9 |
| 8 | コミュニティFMラジオ中央エフエムの区提供番組「中央区からのお知らせ」 | 1.1 |
| 9 | 区のツイッターやフェイスブック | 1.9 |
| 10 | その他 | 1.4 |
| | (無回答) | 7.2 |

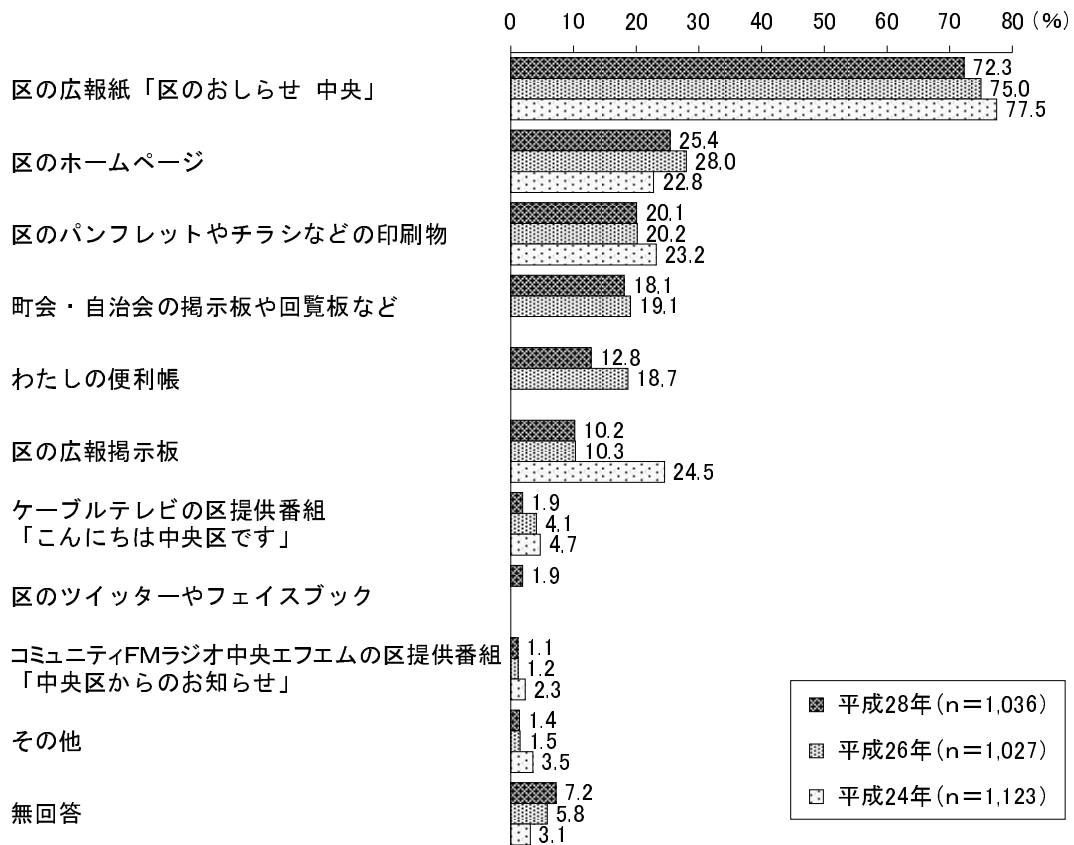
区政情報を得る方法は、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」(72.3%)が7割を超えて最も高くなっている。次いで、「区のホームページ」(25.4%)、「区のパンフレットやチラシなどの印刷物」(20.1%)、「町会・自治会の掲示板や回覧板など」(18.1%)などとなっている。(図表6-1-1)

図表6-1-1 区政情報を得る方法（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」は7割台で推移している。(図表6-1-2)

図表6-1-2 区政情報を得る方法一過年度比較



- * 「区のツイッターやフェイスブック」は、平成26年以前は聞かれていない選択肢
- * 「町会・自治会の掲示板や回覧板など」と「わたしの便利帳」は、平成24年では聞かれていない選択肢
- * 「町会・自治会の掲示板や回覧板など」の選択肢は、平成24年では「町なかにある区の掲示板」としていた。
- * 「ケーブルテレビの中央区提供番組『こんにちは 中央区です』」の選択肢は、平成24年では「ケーブルテレビ」としていた。
- * 「コミュニティFMラジオ中央エフエムの中央区提供番組『中央区からのお知らせ』」の選択肢は、平成24年では「コミュニティFMラジオ」としていた。

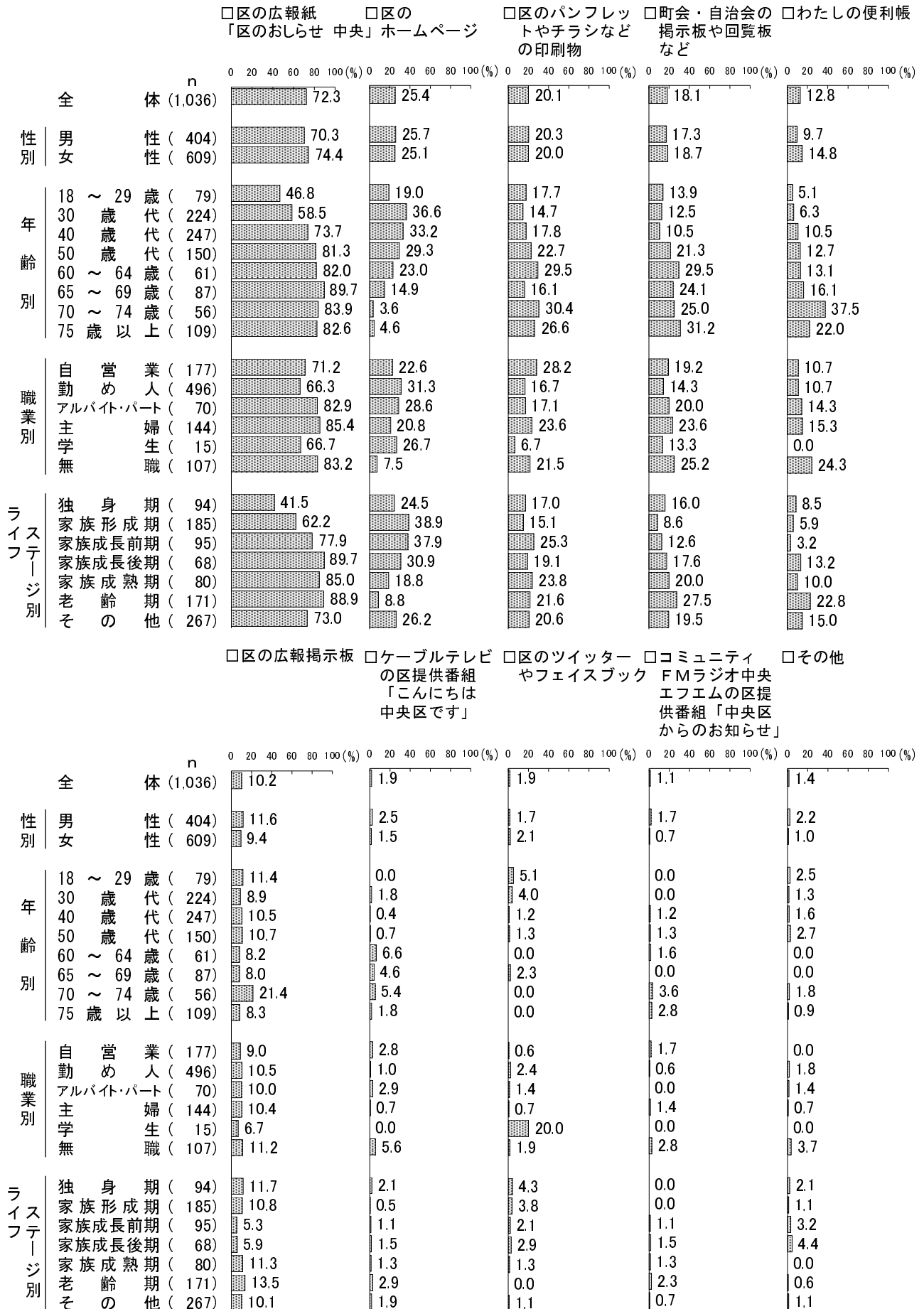
性別でみると、「わたしの便利帳」は女性の方が男性よりも5.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「区のホームページ」は30歳代で4割近くと高くなっている。「わたしの便利帳」は70～74歳で4割近くと高くなっている。

職業別でみると、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」は主婦で8割台半ばと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「区の広報紙『区のおしらせ 中央』」は家族成長後期で9割と高くなっている。「区のホームページ」は家族形成期と家族成長前期でともに4割近くと高くなっている。(図表6-1-3)

図表6-1-3 区政情報を得る方法－性別・年齢別・職業別・ライフステージ別



(2) 効果的な広聴の取り組み

◇「インターネットを活用したアンケート調査の実施」と「区政世論調査」がともに3割台半ば

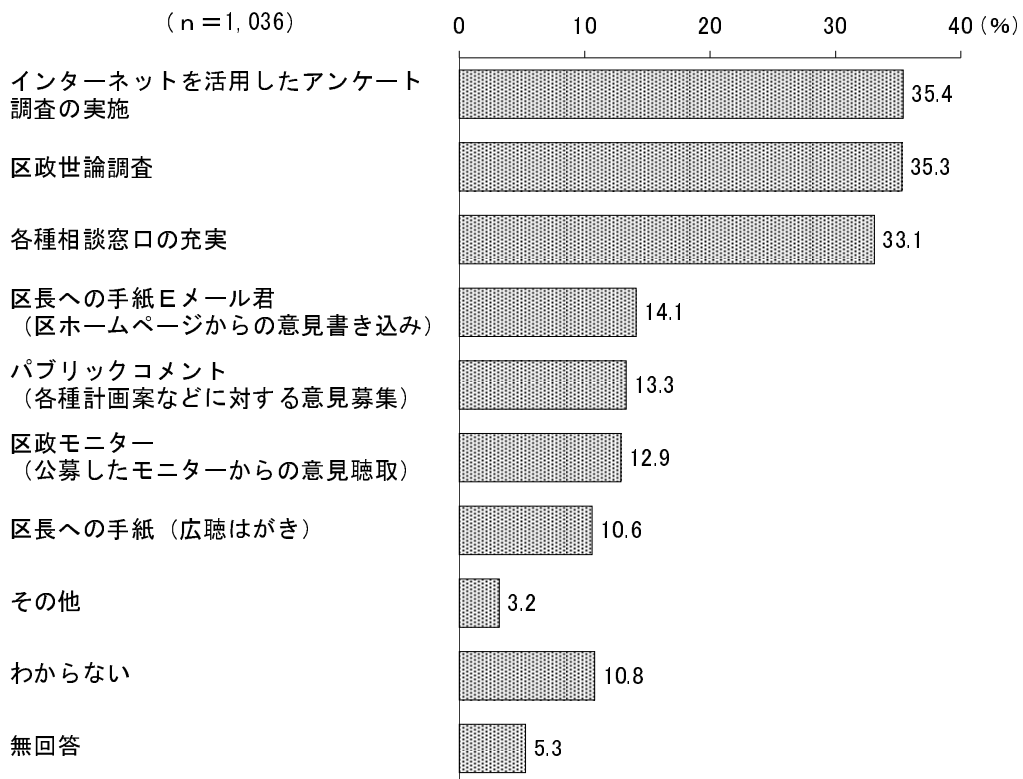
問17 区民の皆さんのさまざまな意見、提案、要望などをお聴きするためには、あなたはどのような取り組みが効果的だと思いますか。(○は3つまで)

n = 1,036

| | | |
|---|-------------------------------|-------|
| 1 | 区政世論調査 | 35.3% |
| 2 | 区長への手紙(広聴はがき) | 10.6 |
| 3 | 区長への手紙Eメール君(区ホームページからの意見書き込み) | 14.1 |
| 4 | 区政モニター(公募したモニターからの意見聴取) | 12.9 |
| 5 | パブリックコメント(各種計画案などに対する意見募集) | 13.3 |
| 6 | 各種相談窓口の充実 | 33.1 |
| 7 | インターネットを活用したアンケート調査の実施 | 35.4 |
| 8 | その他 | 3.2 |
| 9 | わからない | 10.8 |
| | (無回答) | 5.3 |

区民の意見、提案、要望などを聴くための取り組みは、「インターネットを活用したアンケート調査の実施」(35.4%)と「区政世論調査」(35.3%)がともに3割台半ばで高くなっている。次いで、「各種相談窓口の充実」(33.1%)、「区長への手紙Eメール君(区ホームページからの意見書き込み)」(14.1%)、「パブリックコメント(各種計画案などに対する意見募集)」(13.3%)、「区政モニター(公募したモニターからの意見聴取)」(12.9%)などとなっている。(図表6-2-1)

図表 6-2-1 効果的な広聴の取り組み（複数回答）



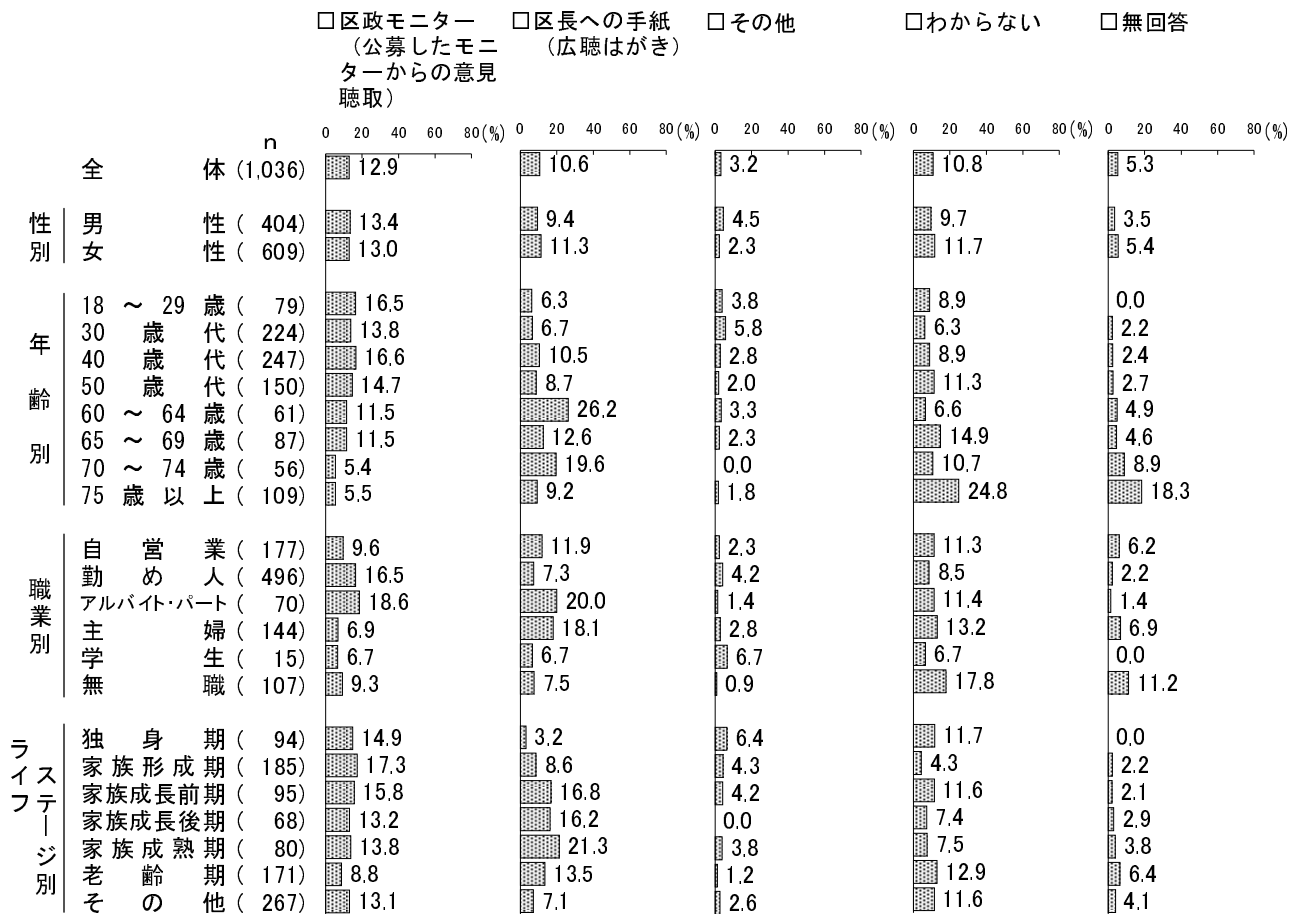
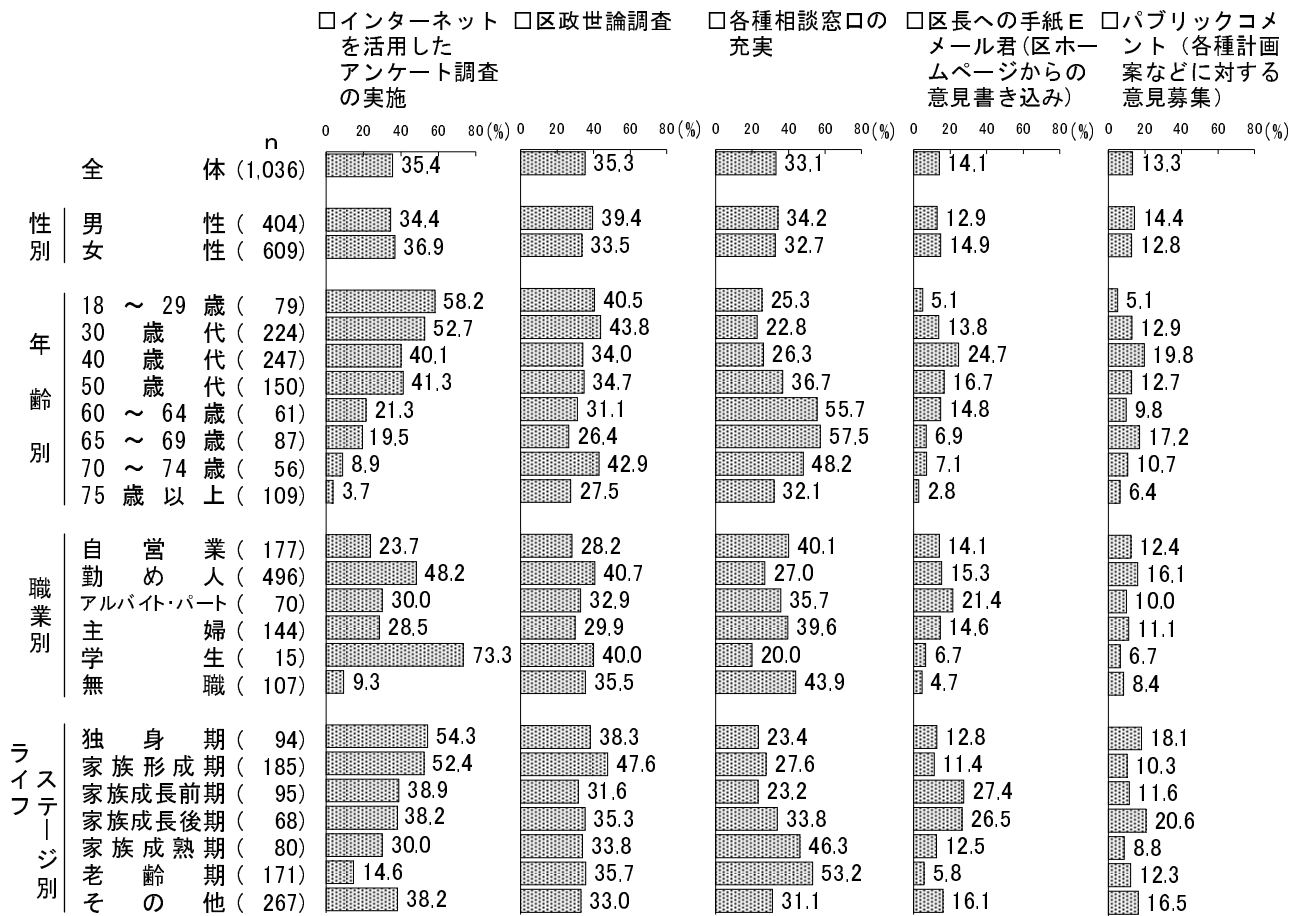
性別でみると、「区政世論調査」は男性の方が女性よりも5.9ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「インターネットを活用したアンケート調査の実施」は18～29歳で6割近くと高くなっている。「各種相談窓口の充実」は65～69歳で6割近く、60～64歳で5割台半ばと高くなっている。

職業別でみると、「インターネットを活用したアンケート調査の実施」は学生で7割を超え、勤め人で5割近くと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「インターネットを活用したアンケート調査の実施」は独身期で5割台半ばと高くなっている。「区政世論調査」は家族形成期で5割近くと高くなっている。「各種相談窓口の充実」は高齢期で5割を超えて高くなっている。(図表 6-2-2)

図表6-2-2 効果的な広聴の取り組み－性別・年齢別・職業別・ライフステージ別



【7 男女共同参画社会】

(※) 男女共同参画社会 男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担う社会のことです。

(1) 男女の地位の平等感

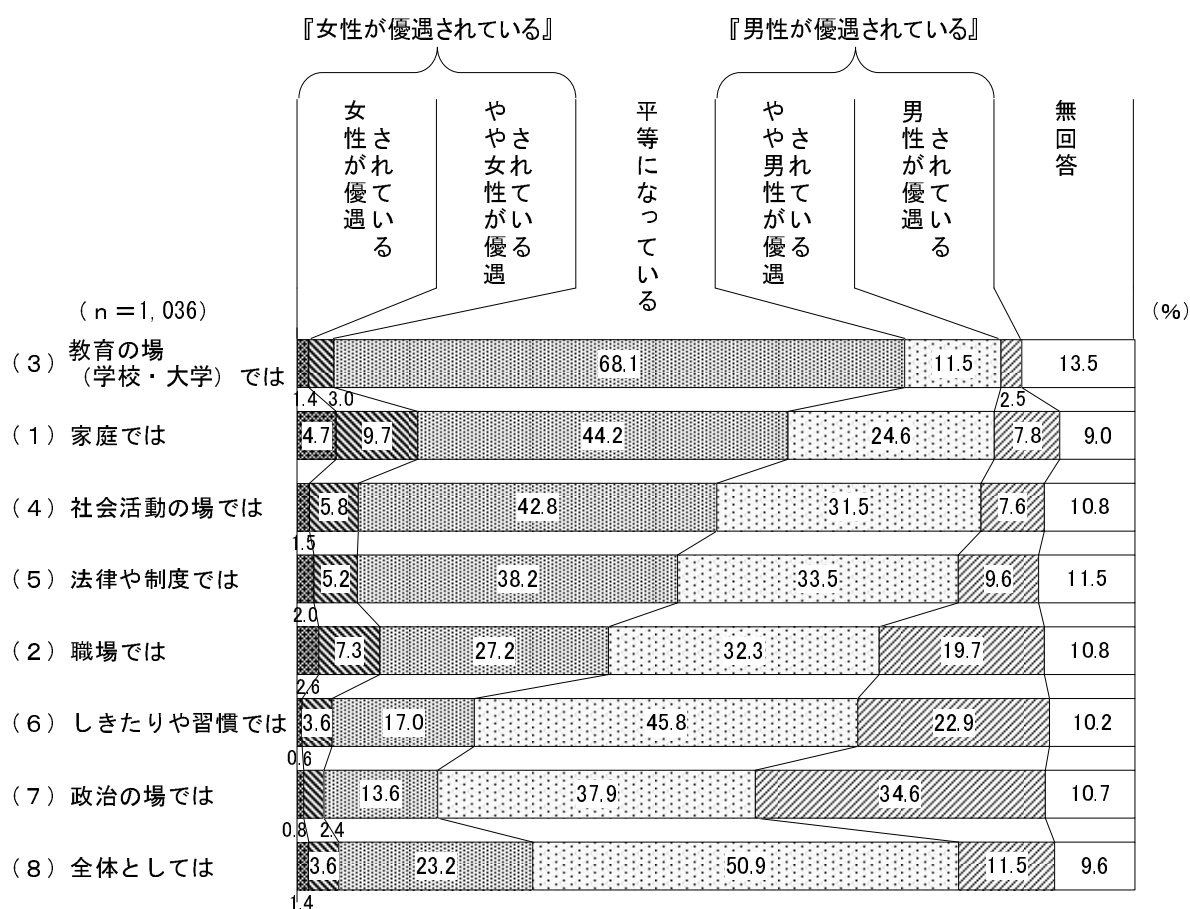
◇「平等になっている」と感じるのは、“教育の場（学校・大学）では”で7割近く
 「男性が優遇されている」、「やや男性が優遇されている」と感じるのは、“政治の場では”で7割を超える

| 問18 あなたは、次にあげる分野の男女の平等についてどのように感じていますか。 | | (〇はそれぞれ1つずつ) | | | | | (%) |
|---|--|---------------------|---------------------------|-------------------|---------------------------|---------------------|------|
| n = 1,036 | | 1 女性が優遇 されている | 2 やや女性が 優遇されて いる | 3 平等に なっている | 4 やや男性が 優遇されて いる | 5 男性が優遇 されている | 無回答 |
| (1) 家庭では | | 4.7 | 9.7 | 44.2 | 24.6 | 7.8 | 9.0 |
| (2) 職場では | | 2.6 | 7.3 | 27.2 | 32.3 | 19.7 | 10.8 |
| (3) 教育の場（学校・大学）では | | 1.4 | 3.0 | 68.1 | 11.5 | 2.5 | 13.5 |
| (4) 社会活動の場では | | 1.5 | 5.8 | 42.8 | 31.5 | 7.6 | 10.8 |
| (5) 法律や制度では | | 2.0 | 5.2 | 38.2 | 33.5 | 9.6 | 11.5 |
| (6) しきたりや習慣では | | 0.6 | 3.6 | 17.0 | 45.8 | 22.9 | 10.2 |
| (7) 政治の場では | | 0.8 | 2.4 | 13.6 | 37.9 | 34.6 | 10.7 |
| (8) 全体としては | | 1.4 | 3.6 | 23.2 | 50.9 | 11.5 | 9.6 |

男女の地位の平等感について、「平等になっている」と感じるのは、“教育の場（学校・大学）では”（68.1%）で7割近くと最も高く、次いで“家庭では”（44.2%）で4割台半ば、“社会活動の場では”（42.8%）で4割を超えている。

「やや男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇されている』と感じるのは、“政治の場では”（72.5%）で7割を超えて最も高く、次いで“しきたりや習慣では”（68.7%）で7割近くとなっている。（図表7-1-1）

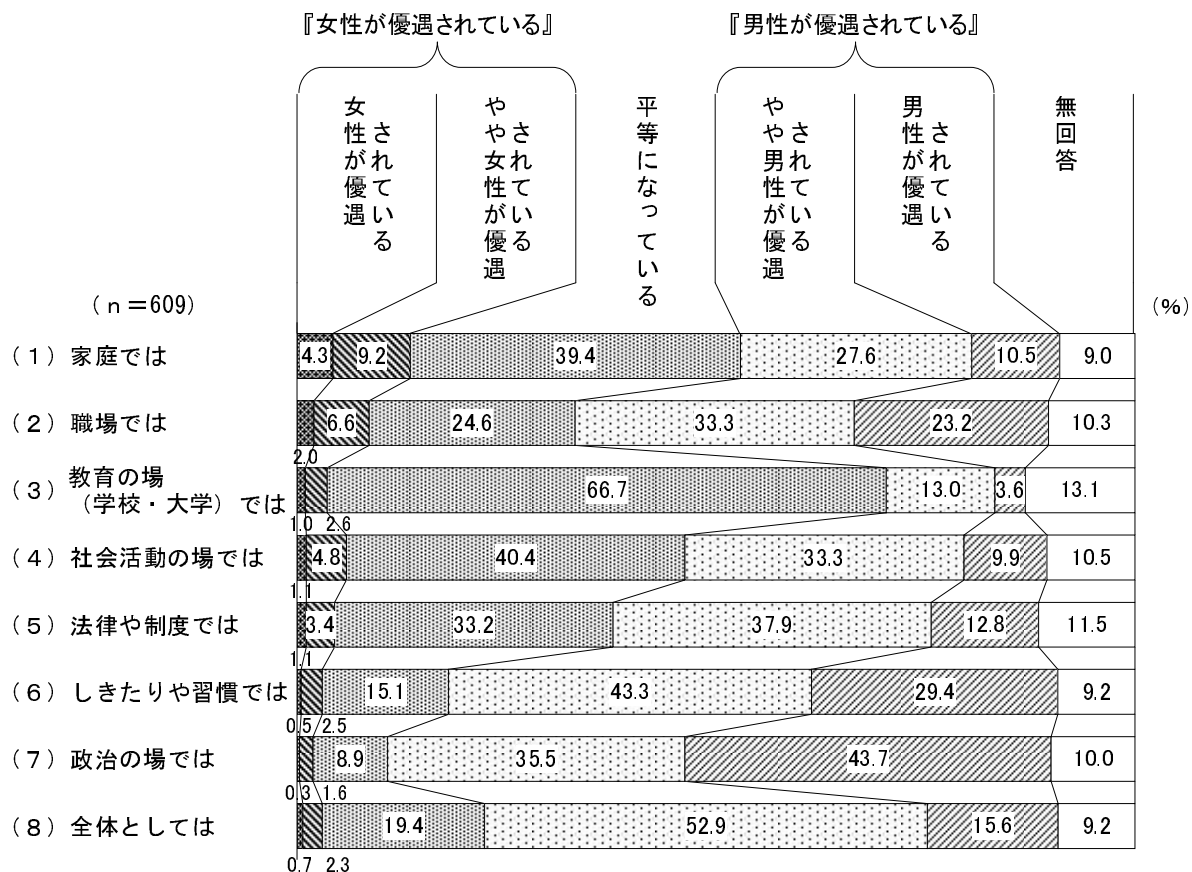
図表7-1-1 男女の地位の平等感



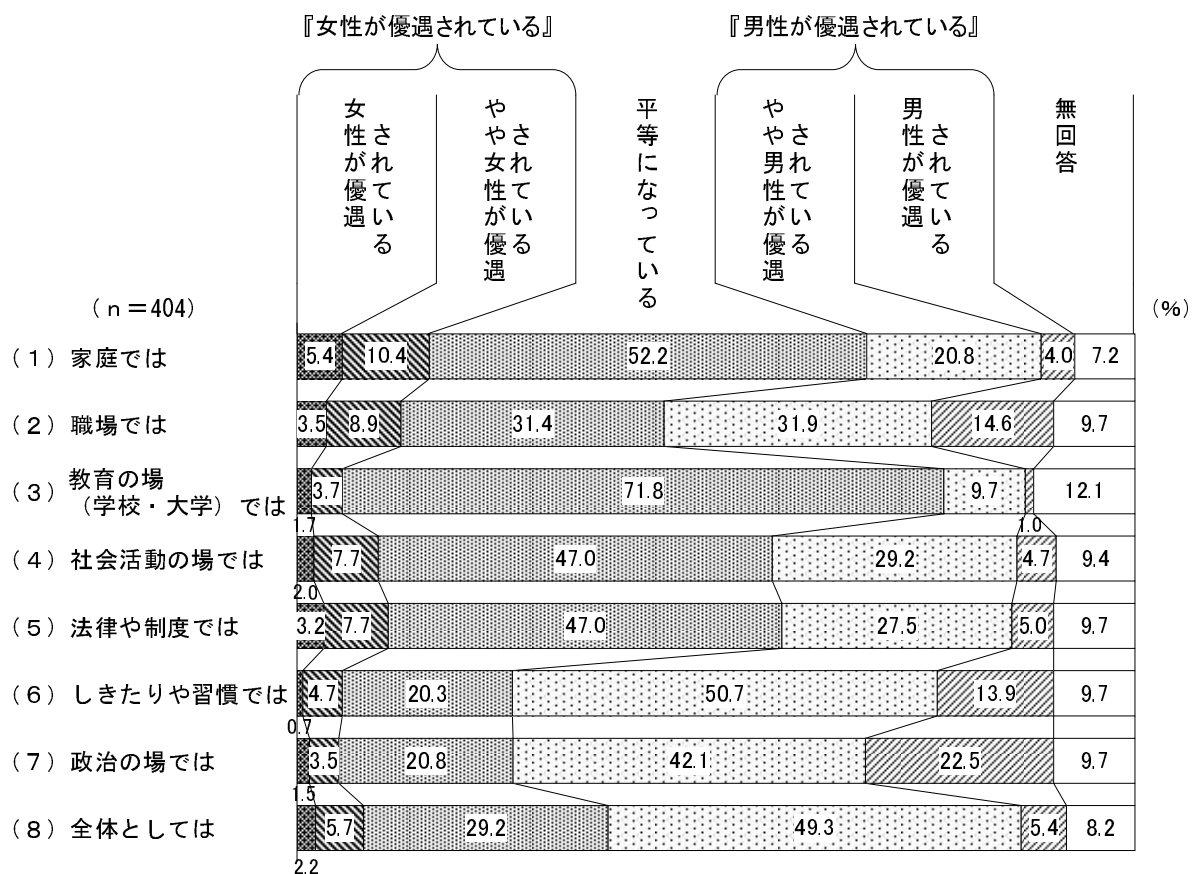
性別にみると、「平等になっている」と感じる割合はすべての項目で男性の方が女性よりも高くなっており、“法律や制度では”で13.8ポイント、“家庭では”で12.8ポイント、“政治の場では”で11.9ポイント高くなっている。一方、『男性が優遇されている』と感じる割合はすべての項目で女性の方が男性よりも高くなっており、“法律や制度では”で18.2ポイント、“政治の場では”で14.6ポイント、“家庭では”で13.3ポイント高くなっている。

また、“全体としては”では、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも13.8ポイント高くなっている。（図表7-1-2、図表7-1-3）

図表 7-1-2 男女の地位の平等感—女性



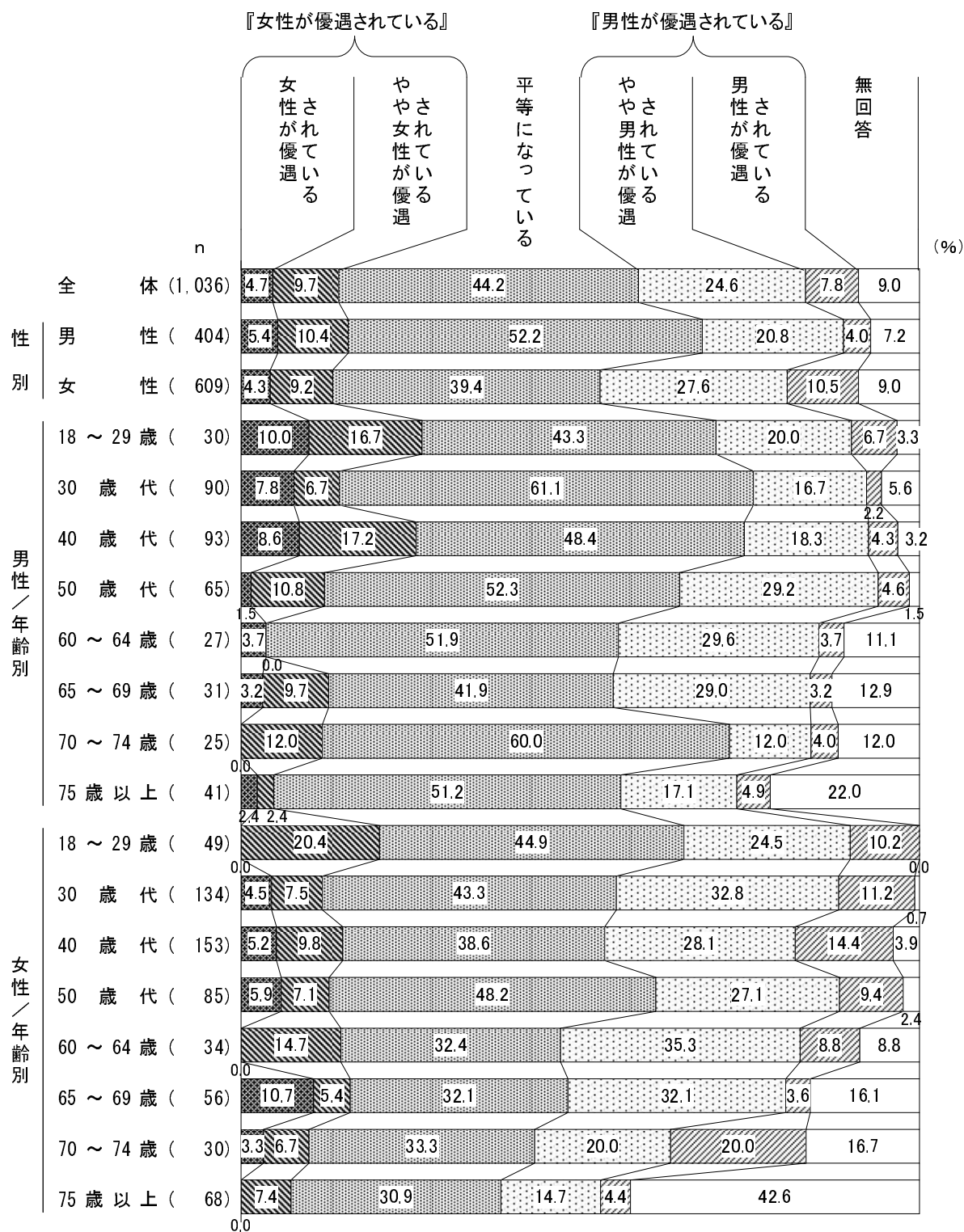
図表 7-1-3 男女の地位の平等感—男性



“家庭では”について性別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも13.3ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」と感じる割合は男性の方が女性よりも12.8ポイント高くなっている。

“家庭では”について性／年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の30歳代と60～64歳でともに4割台半ばと高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の30歳代で6割を超えて高くなっている。(図表7-1-4)

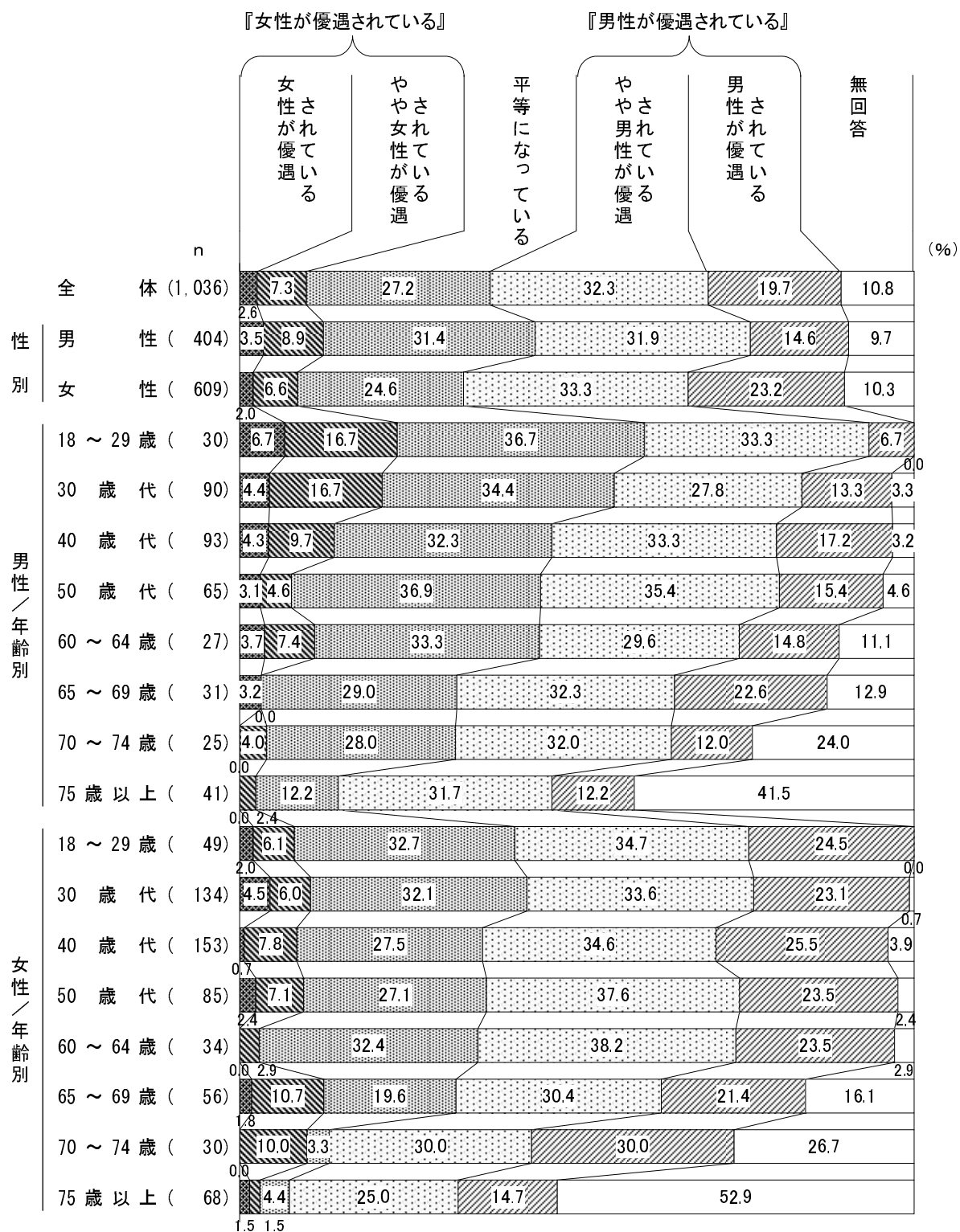
図表7-1-4 男女の地位の平等感—性別・性／年齢別「(1) 家庭では」



“職場では”について性別で見ると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも10.0ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」と感じる割合は男性の方が女性よりも6.8ポイント高くなっている。

“職場では”について性/年齢別で見ると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の50歳代と60～64歳でともに6割を超えて高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の18～29歳と50歳代でともに4割近くと高くなっている。(図表7-1-5)

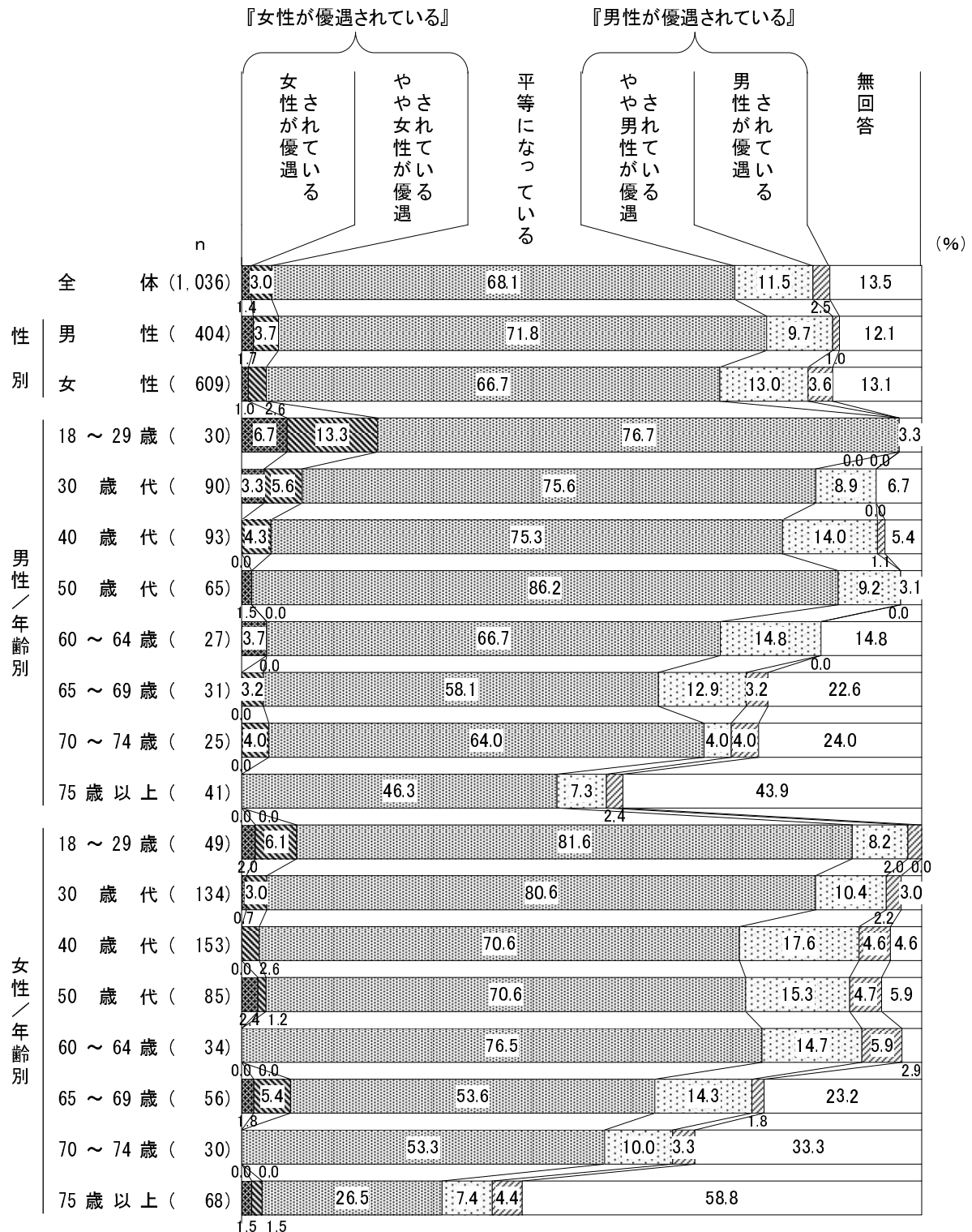
図表7-1-5 男女の地位の平等感—性別・性/年齢別「(2) 職場では」



“教育の場（学校・大学）では”について性別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも5.9ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」と感じる割合は男性の方が女性よりも5.1ポイント高くなっている。

“教育の場（学校・大学）では”について性／年齢別でみると、「平等になっている」と感じる割合は男性の50歳代で8割台半ばと高くなっている。『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の40歳代で2割を超えて高くなっている。（図表7-1-6）

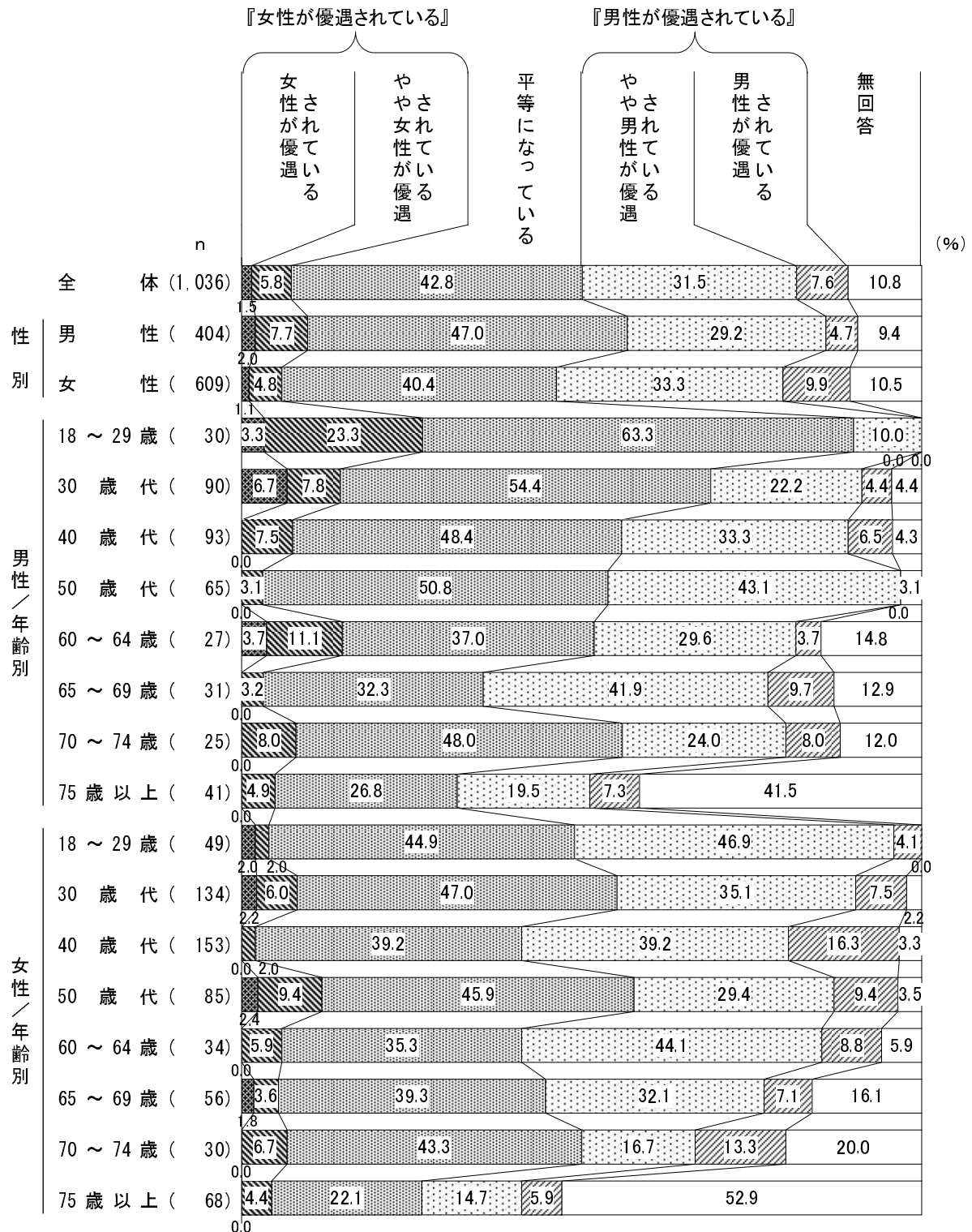
図表7-1-6 男女の地位の平等感—性別・性／年齢別「(3) 教育の場（学校・大学）では」



“社会活動の場では”について性別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも9.3ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」と感じる割合は男性の方が女性よりも6.6ポイント高くなっている。

“社会活動の場では”について性／年齢別でみると、「平等になっている」と感じる割合は男性の18～29歳で6割を超えて高くなっている。『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の40歳代で5割台半ばと高くなっている。(図表7-1-7)

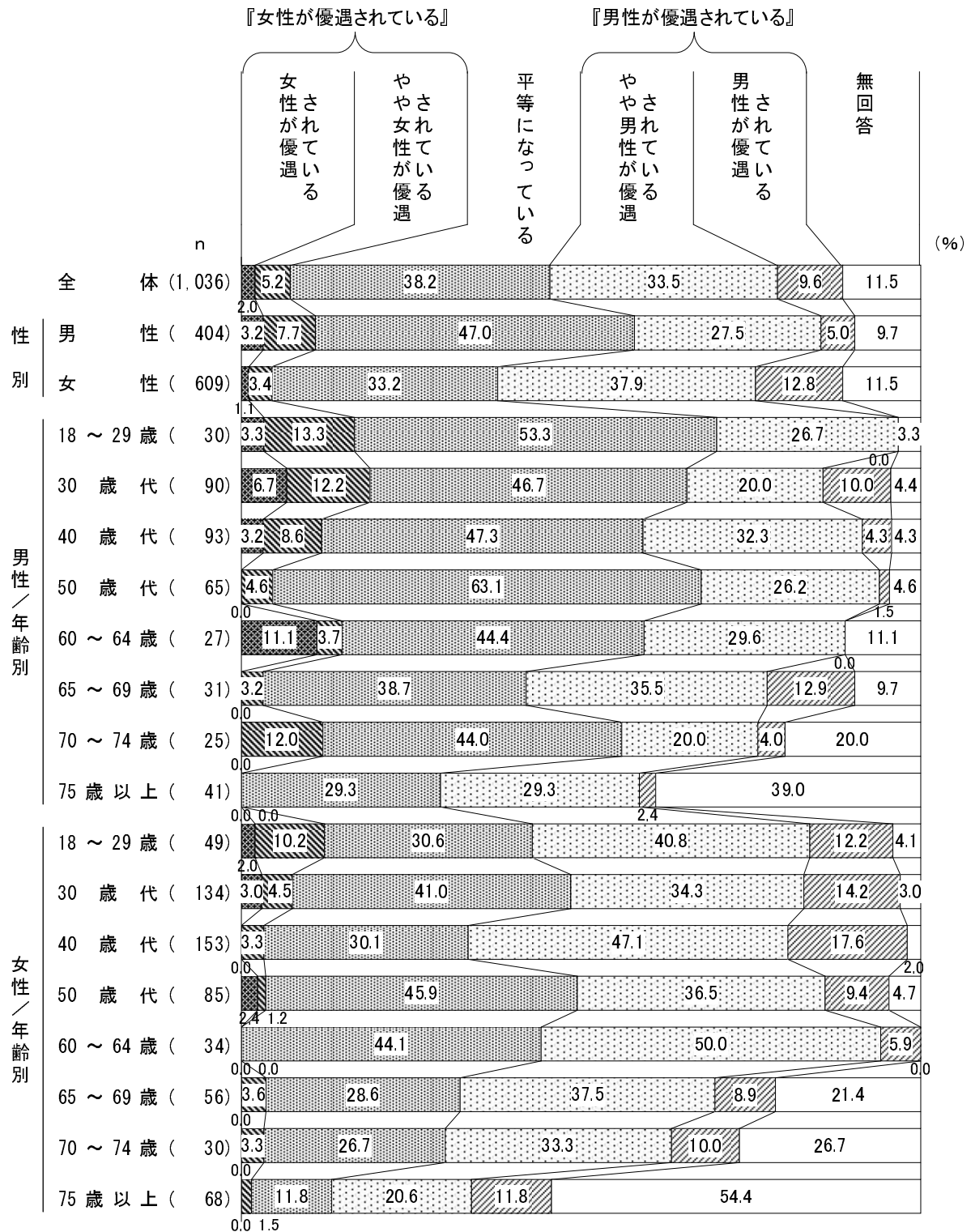
図表7-1-7 男女の地位の平等感—性別・性／年齢別「(4) 社会活動の場では」



“法律や制度では”について性別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも18.2ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」と感じる割合は男性の方が女性よりも13.8ポイント高くなっている。

“法律や制度では”について性／年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の40歳代で6割台半ばと高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の50歳代で6割を超えて高くなっている。(図表7-1-8)

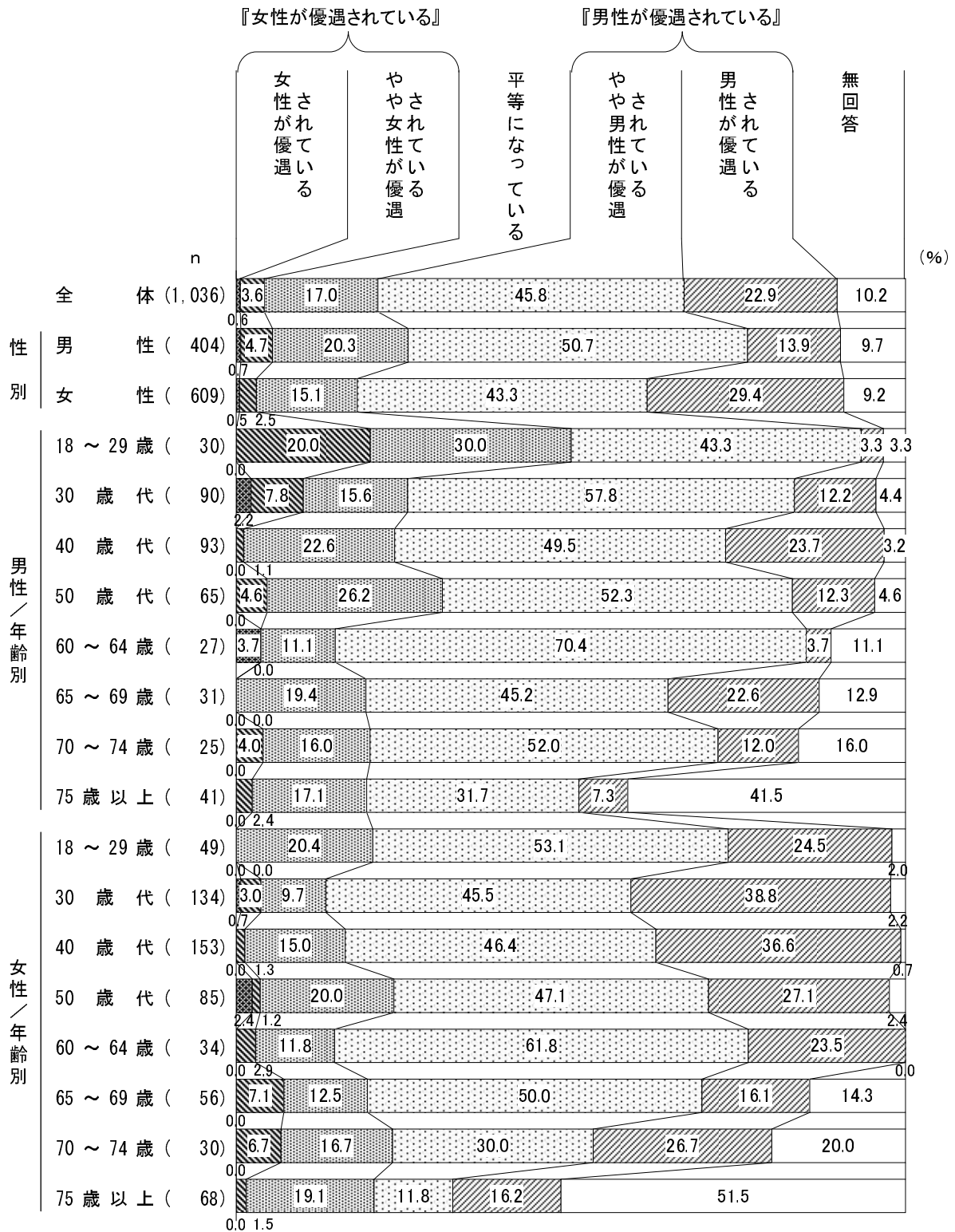
図表7-1-8 男女の地位の平等感—性別・性／年齢別「(5) 法律や制度では」



“しきたりや習慣では”について性別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも8.1ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」と感じる割合は男性の方が女性よりも5.2ポイント高くなっている。

“しきたりや習慣では”について性／年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の30歳代と60～64歳でともに8割台半ばと高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の18～29歳で3割と高くなっている。（図表7-1-9）

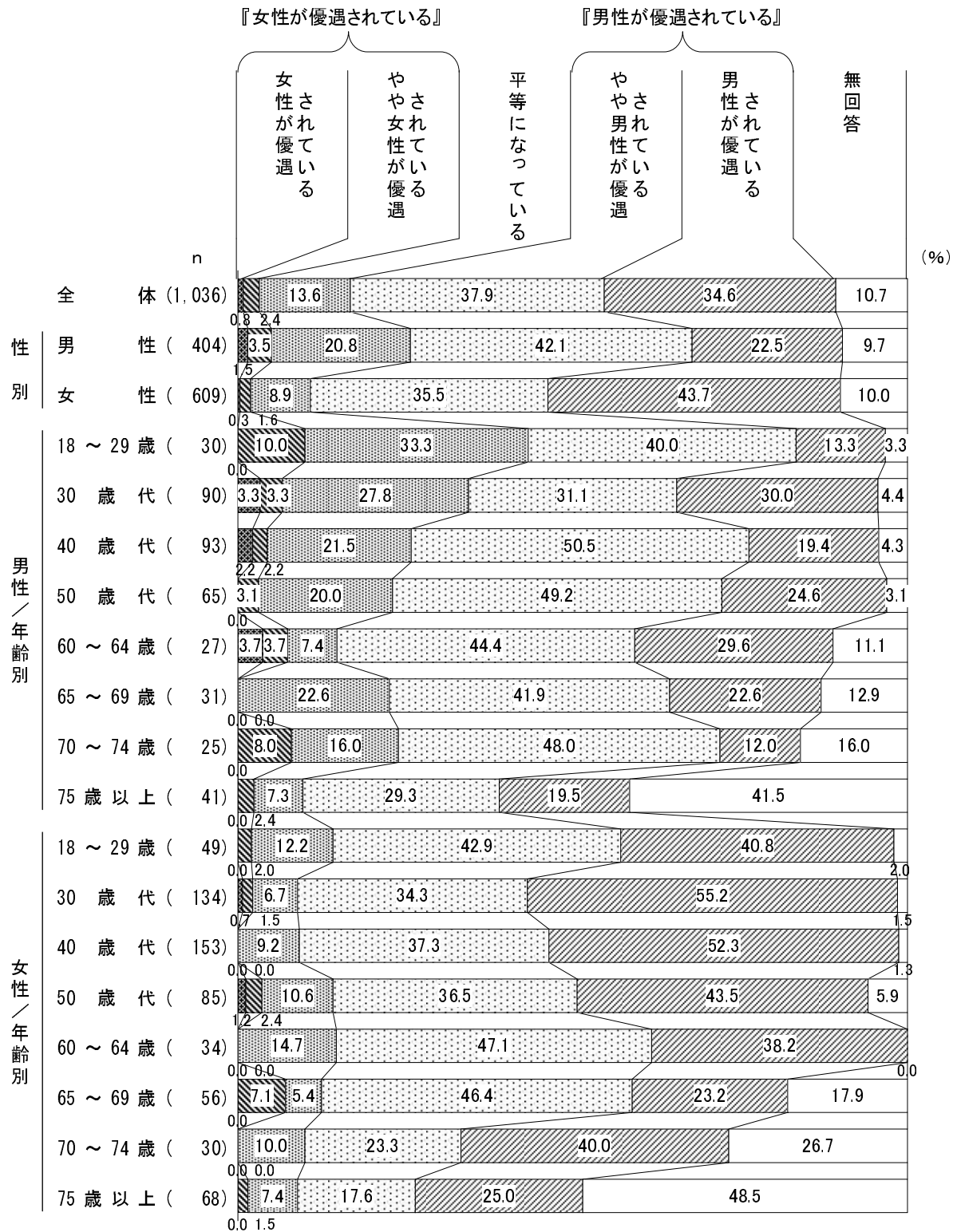
図表7-1-9 男女の地位の平等感—性別・性／年齢別「(6) しきたりや習慣では」



“政治の場では”について性別で見ると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも14.6ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」と感じる割合は男性の方が女性よりも11.9ポイント高くなっている。

“政治の場では”について性／年齢別で見ると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の30歳代と40歳代でともに9割と高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の18～29歳で3割を超えて高くなっている。(図表7-1-10)

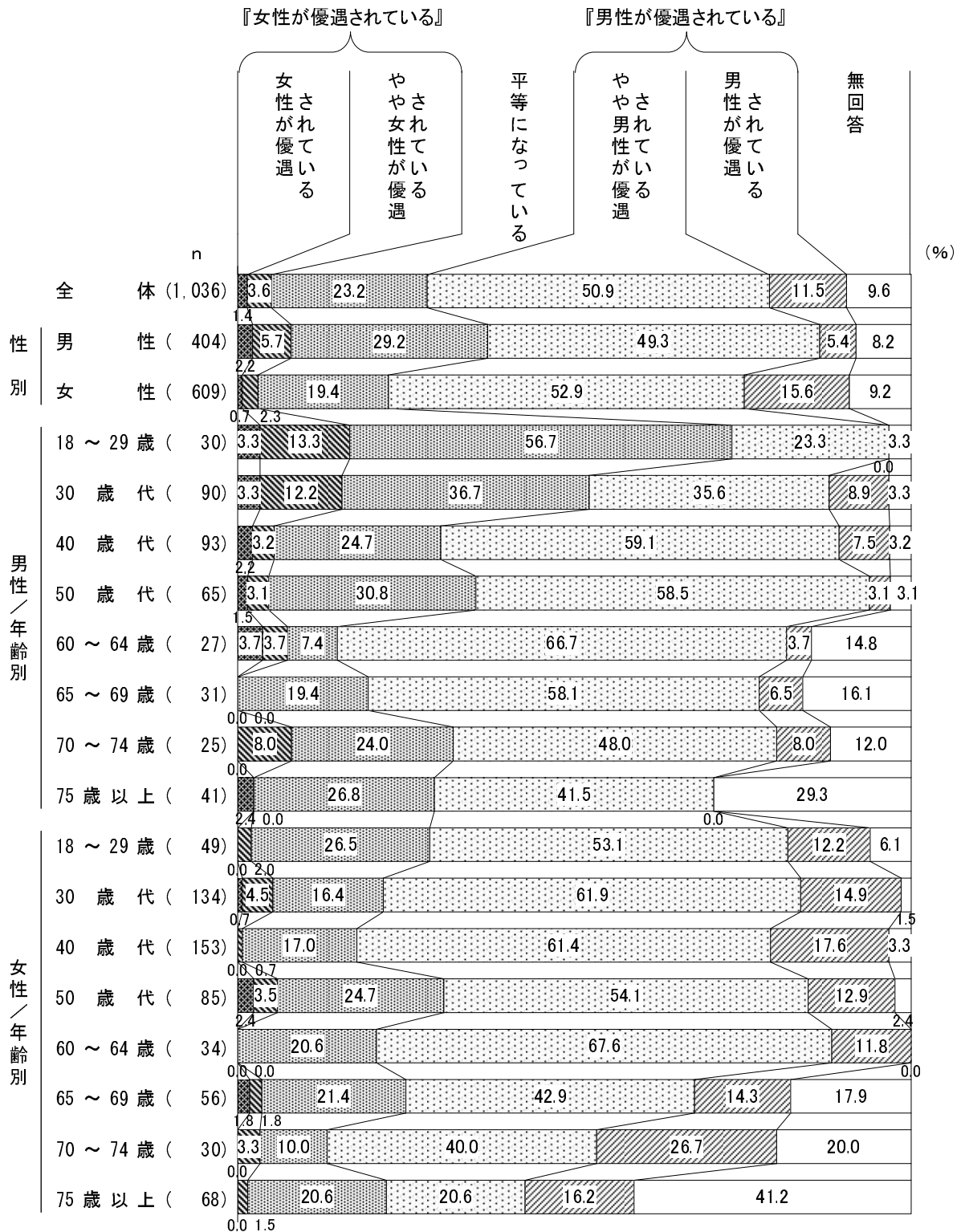
図表7-1-10 男女の地位の平等感—性別・性／年齢別「(7) 政治の場では」



“全体としては”について性別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の方が男性よりも13.8ポイント高くなっている。一方、「平等になっている」と感じる割合は男性の方が女性よりも9.8ポイント高くなっている。

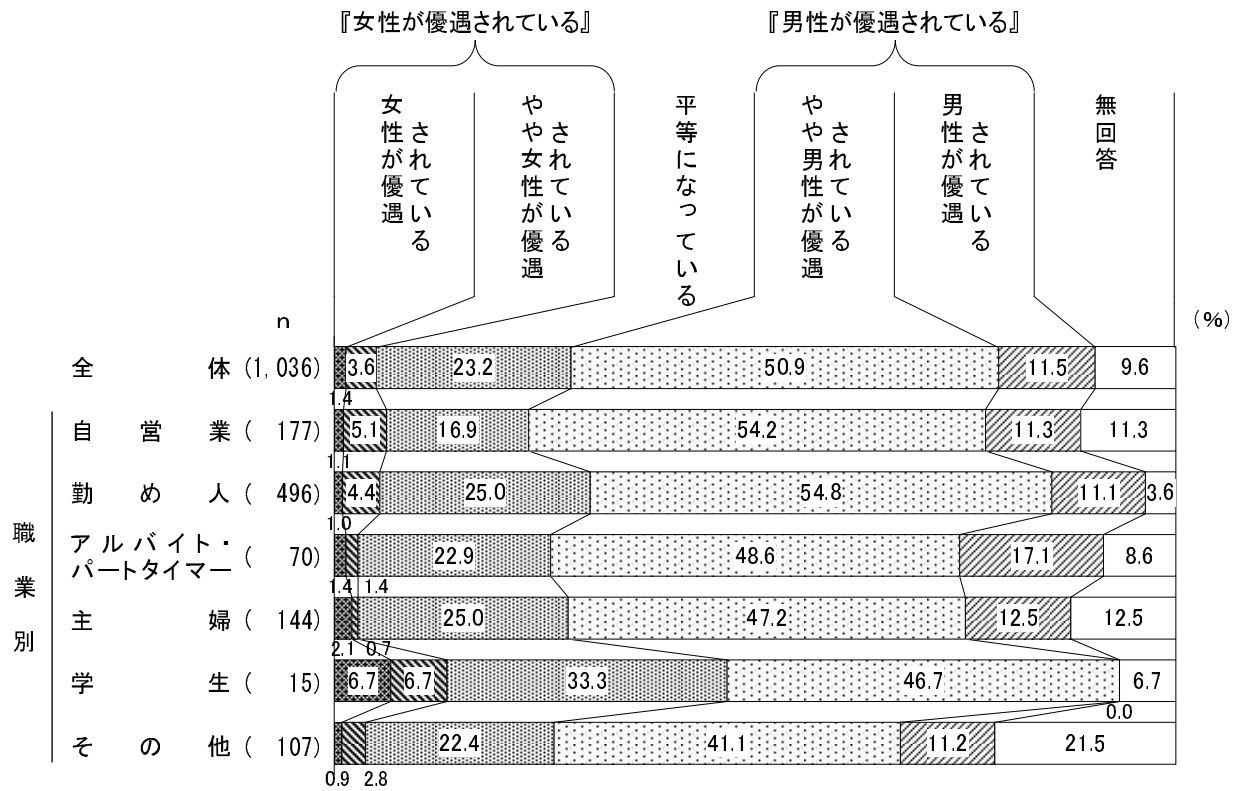
“全体としては”について性／年齢別でみると、『男性が優遇されている』と感じる割合は女性の40歳代と60～64歳でともに約8割と高くなっている。「平等になっている」と感じる割合は男性の18～29歳で6割近くと高くなっている。(図表7-1-11)

図表7-1-11 男女の地位の平等感—性別・性／年齢別「(8) 全体としては」



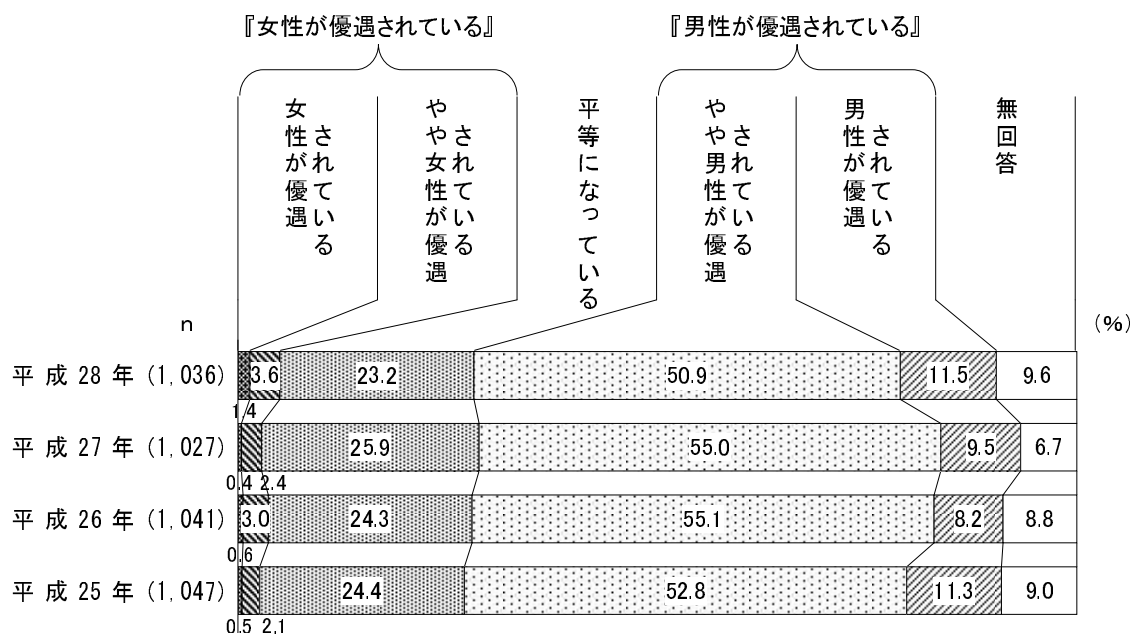
“全体としては”について職業別でみると、「平等になっている」と感じる割合は学生で3割を超えて高くなっている。(図表7-1-12)

図表7-1-12 男女の地位の平等感—職業別「(8) 全体としては」



“全体としては”について過去の調査と比較すると、「平等になっている」と感じる割合は昨年より2.7ポイント減少し、『男性が優遇されている』と感じる割合は昨年より2.1ポイント減少している。(図表7-1-13)

図表7-1-13 男女の地位の平等感—過年度比較「(8) 全体としては」



(2) ワーク・ライフ・バランスについての考え方

◇「仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい」が5割を超える

問19 あなた自身の仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について、望ましいと思うものはどれですか。（○は1つ）

n = 1,036

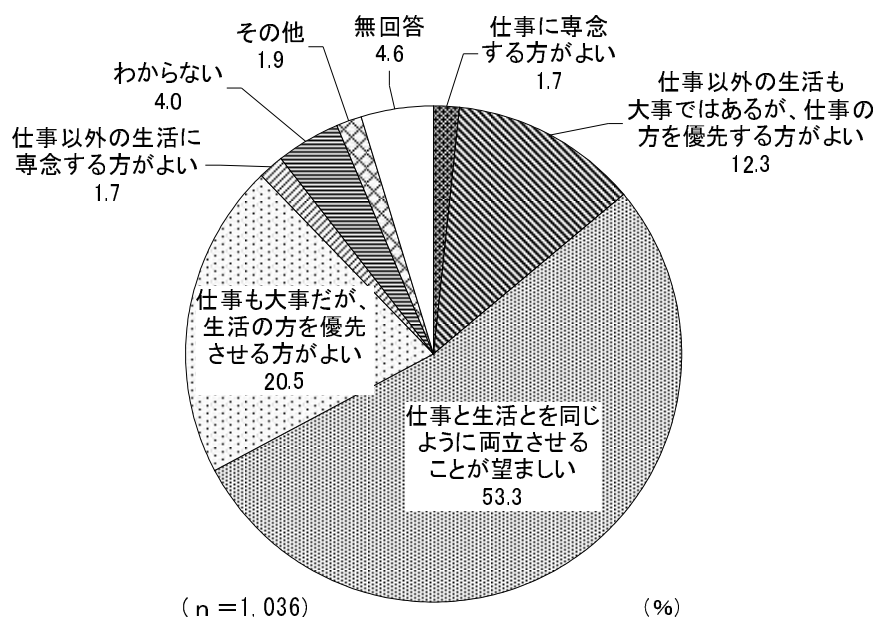
| | | |
|---|-------------------------------|------|
| 1 | 仕事に専念する方がよい | 1.7% |
| 2 | 仕事以外の生活も大事ではあるが、仕事の方を優先する方がよい | 12.3 |
| 3 | 仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい | 53.3 |
| 4 | 仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい | 20.5 |
| 5 | 仕事以外の生活に専念する方がよい | 1.7 |
| 6 | わからない | 4.0 |
| 7 | その他 | 1.9 |
| | (無回答) | 4.6 |

(※) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

仕事と仕事以外の生活とのバランスを図ることにより、家庭や地域活動などに参加できる時間を確保しながら充実した生活を送ることが重要であるという考え方です。

ワーク・ライフ・バランスについての考え方は、「仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい」（53.3%）が5割を超えて最も高くなっている。次いで、「仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい」（20.5%）、「仕事以外の生活も大事ではあるが、仕事の方を優先する方がよい」（12.3%）などとなっている。（図表7-2-1）

図表7-2-1 ワーク・ライフ・バランスについての考え方



過去の調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。(図表7-2-2)

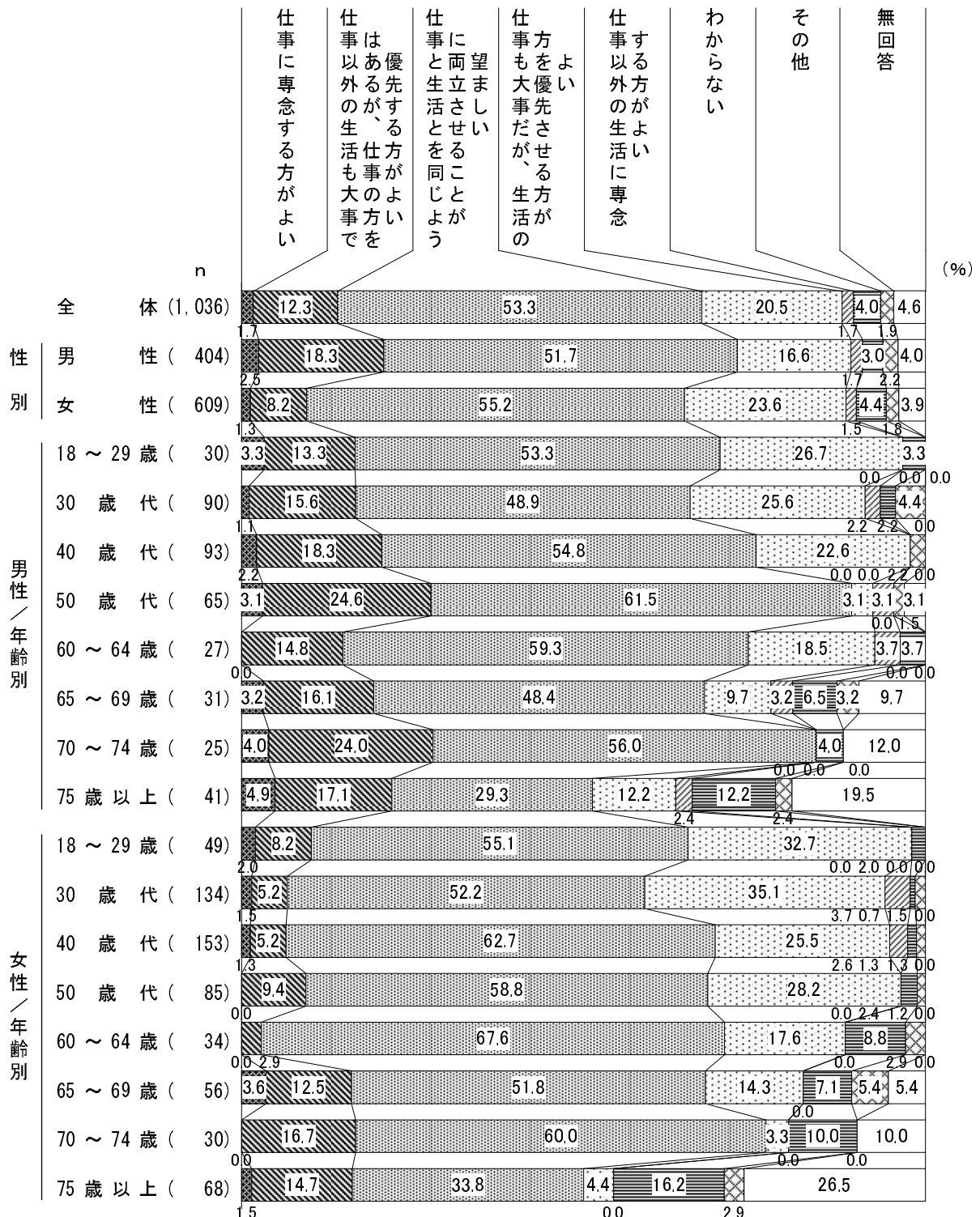
図表7-2-2 ワーク・ライフ・バランスについての考え方ー過年度比較

| 調 査 年 | n | (%) | | | | | | | |
|-------------|-------|-------------|---------------------------|------------------------|-----------------------------|-----------------------|-------|-----|-----|
| | | 仕事に専念する方がよい | 仕事は優先する方がよい （他の生活も大事方） | 仕事と両立させたい （生活も同じよう） | 仕事方も優先だが、生活の （先ささせる方がよい） | 仕事する方がよい （他の生活に専念） | わからない | その他 | 無回答 |
| 平成28年 | 1,036 | 1.7 | 12.3 | 53.3 | 20.5 | 1.7 | 4.0 | 1.9 | 4.6 |
| 平成27年 | 1,027 | 1.2 | 12.6 | 54.3 | 19.3 | 1.8 | 4.2 | 3.0 | 3.7 |
| 平成26年 | 1,041 | 1.8 | 12.1 | 52.4 | 21.4 | 1.8 | 4.9 | 1.7 | 3.7 |
| 平成25年 | 1,047 | 2.0 | 14.6 | 51.8 | 19.6 | 1.2 | 5.0 | 1.0 | 4.9 |

性別でみると、「仕事以外の生活も大事ではあるが、仕事の方を優先する方がよい」は男性の方が女性よりも10.1ポイント高くなっている。一方、「仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい」は女性の方が男性よりも7.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい」は女性の60～64歳で7割近くと高くなっている。「仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい」は女性の30歳代で3割台半ばと高くなっている。「仕事以外の生活も大事ではあるが、仕事の方を優先する方がよい」は男性の50歳代と70～74歳でともに2割台半ばと高くなっている。(図表7-2-3)

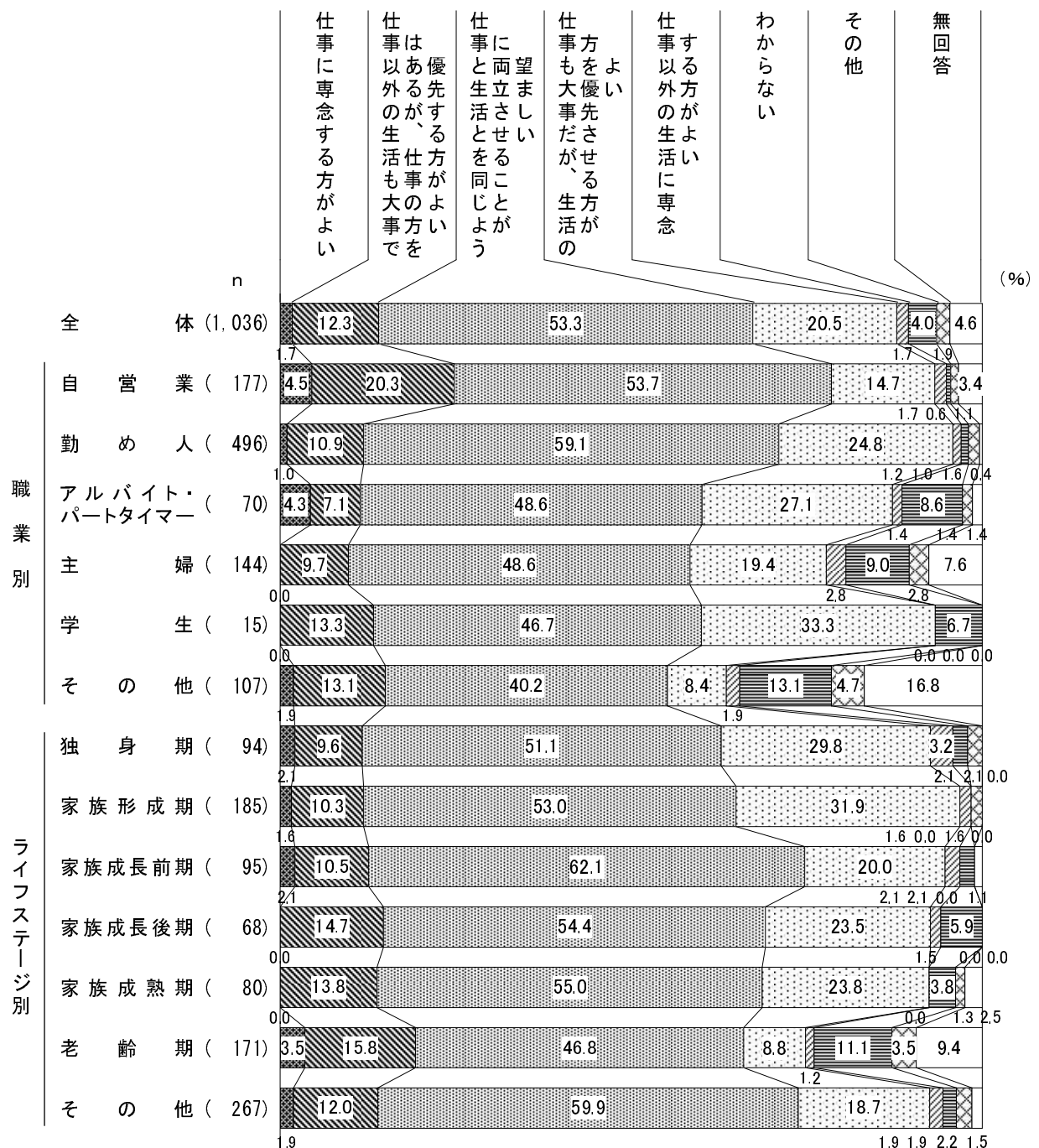
図表7-2-3 ワーク・ライフ・バランスについての考え方—性別・性／年齢別



職業別でみると、「仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい」は勤め人で約6割と高くなっている。「仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい」は学生で3割を超えて高くなっている。「仕事以外の生活も大事ではあるが、仕事の方を優先する方がよい」は自営業で2割と高くなっている。

ライフステージ別でみると、「仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい」は家族成長前期で6割を超えて高くなっている。「仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい」は家族形成期で3割を超えて高くなっている。(図表7-2-4)

図表7-2-4 ワーク・ライフ・バランスについての考え方-職業別・ライフステージ別



(3) 望ましい位置づけに対しての現在の状況

◇「どちらかといえば、仕事の方を優先している」が3割近く

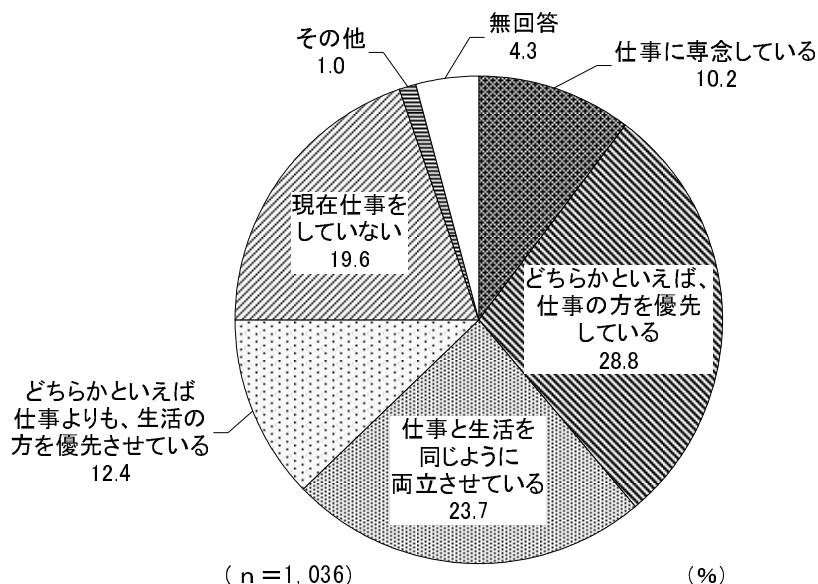
問20 問19の望ましい位置づけに対して、あなたの現在の状況は次のどれにあてはまりますか。
(○は1つ)

n = 1,036

| | | |
|---|----------------------------|-------|
| 1 | 仕事に専念している | 10.2% |
| 2 | どちらかといえば、仕事の方を優先している | 28.8 |
| 3 | 仕事と生活を同じように両立させている | 23.7 |
| 4 | どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている | 12.4 |
| 5 | 現在仕事をしていない | 19.6 |
| 6 | その他 | 1.0 |
| | (無回答) | 4.3 |

望ましい位置づけに対しての現在の状況は、「どちらかといえば、仕事の方を優先している」(28.8%)が3割近くで最も高くなっている。次いで、「仕事と生活を同じように両立させている」(23.7%)、「現在仕事をしていない」(19.6%)、「どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている」(12.4%)、「仕事に専念している」(10.2%)などとなっている。(図表7-3-1)

図表7-3-1 望ましい位置づけに対しての現在の状況



過去の調査結果と比較すると、「仕事と生活を同じように両立させている」は昨年より3.1ポイント増加している。(図表7-3-2)

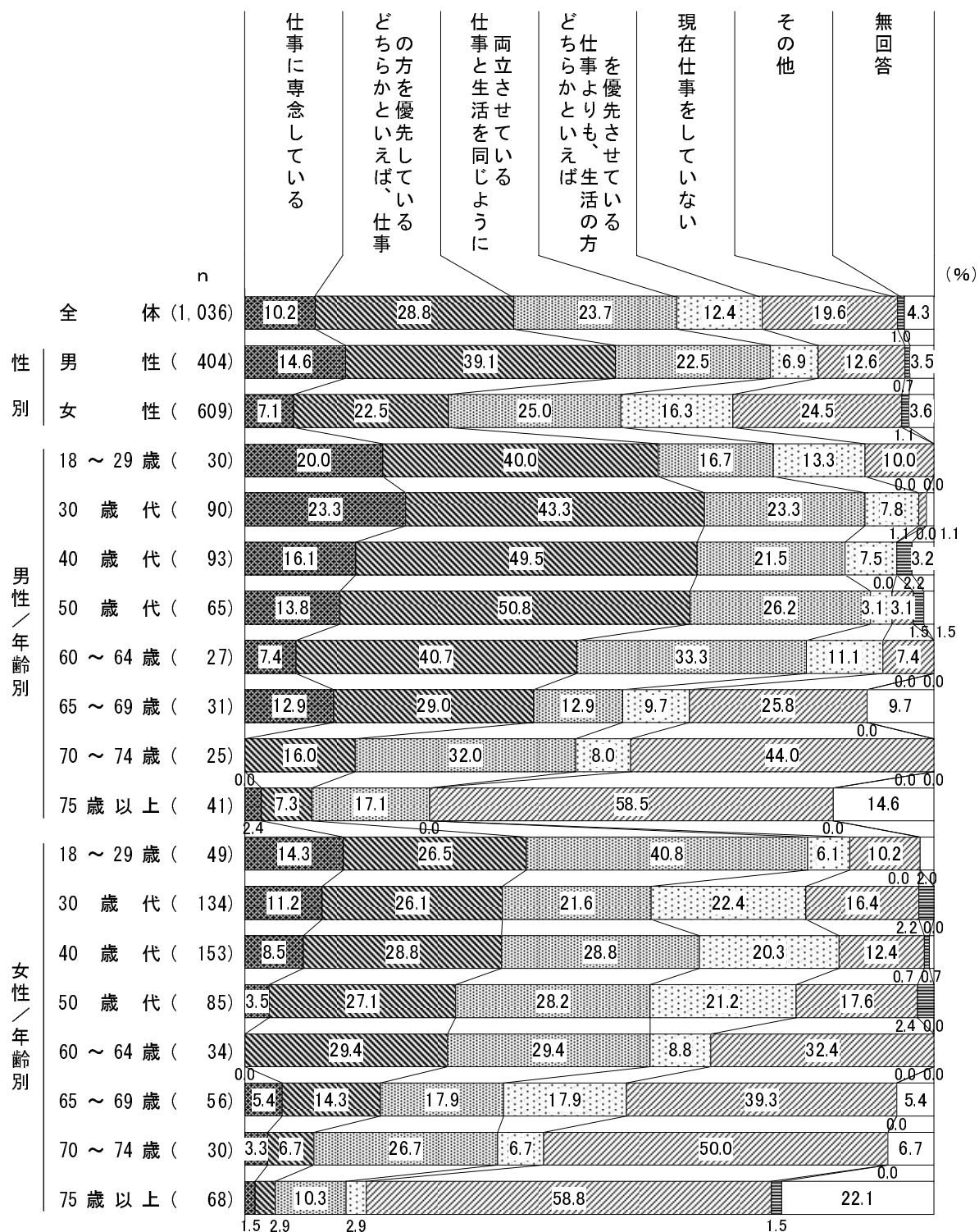
図表7-3-2 望ましい位置づけに対しての現在の状況－過年度比較

| 調査年 | n | (%) | | | | | | |
|-------|-------|-----------|---------------|--------------------|-----------------|------------|-----|-----|
| | | 仕事に専念している | どちらかの方を優先している | 仕事と生活を同じように両立させている | どちらかといえ、優先させている | 現在仕事をしていない | その他 | 無回答 |
| 平成28年 | 1,036 | 10.2 | 28.8 | 23.7 | 12.4 | 19.6 | 1.0 | 4.3 |
| 平成27年 | 1,027 | 9.7 | 30.1 | 20.6 | 12.8 | 21.0 | 2.2 | 3.5 |
| 平成26年 | 1,041 | 7.5 | 31.6 | 20.2 | 12.2 | 24.1 | 0.5 | 3.9 |
| 平成25年 | 1,047 | 9.1 | 31.6 | 20.2 | 11.3 | 21.0 | 1.6 | 5.2 |

性別でみると、男性の方が女性よりも「どちらかといえば、仕事の方を優先している」で16.6ポイント、「仕事に専念している」で7.5ポイント、それぞれ高くなっている。一方、女性の方が男性よりも「現在仕事をしていない」で11.9ポイント、「どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている」で9.4ポイント、それぞれ高くなっている。

性／年齢別でみると、「どちらかといえば、仕事の方を優先している」は男性の40歳代と50歳代でともに5割前後と高くなっている。「仕事と生活を同じように両立させている」は女性の18～29歳で約4割と高くなっている。「どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている」は女性の30歳代と50歳代でともに2割を超えて高くなっている。(図表7-3-3)

図表7-3-3 望ましい位置づけに対しての現在の状況－性別・性／年齢別

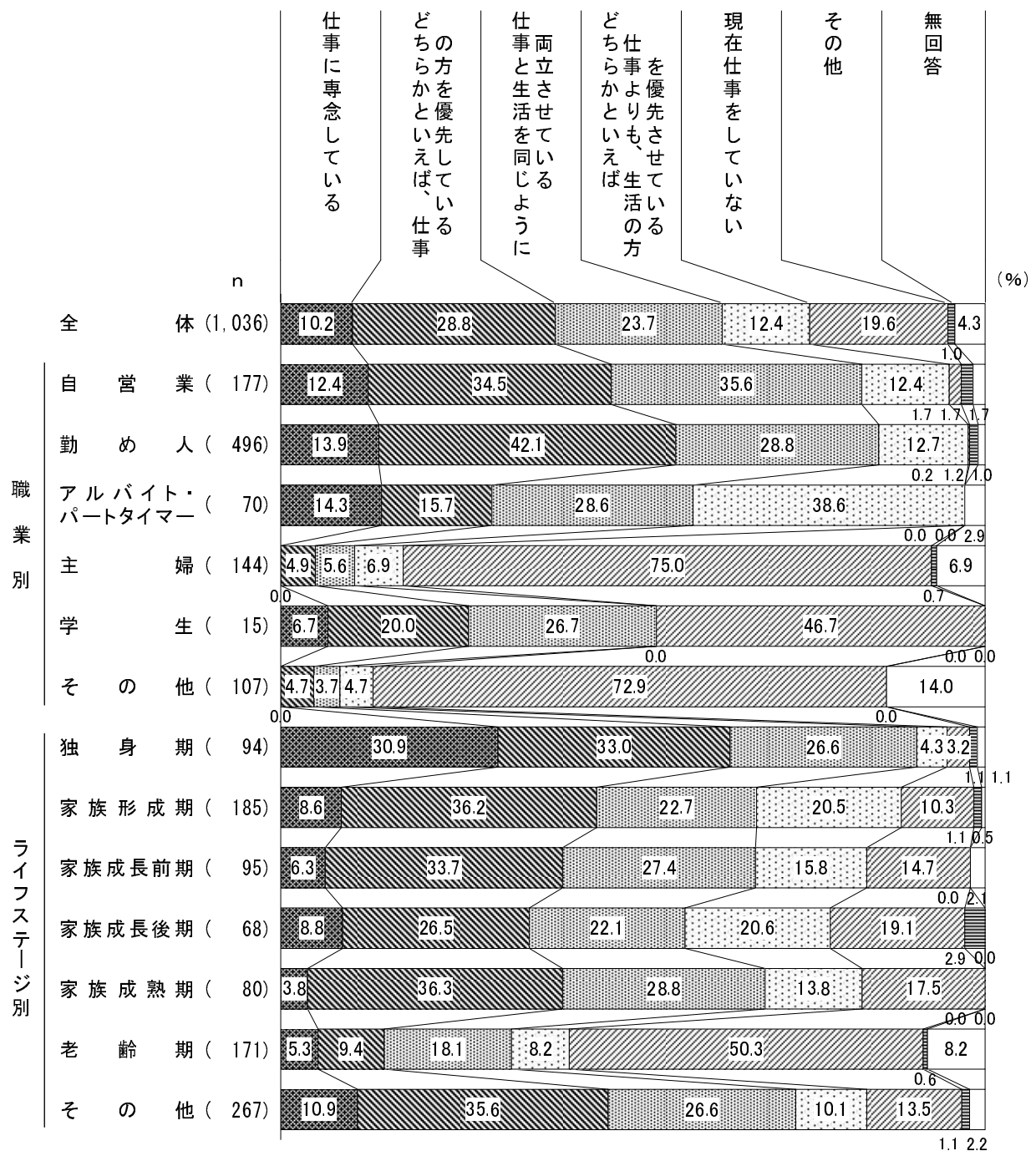


職業別でみると、「どちらかといえば、仕事の方を優先している」は勤め人で4割を超えて高くなっている。「どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている」はアルバイト・パートタイマーで4割近くと高くなっている。「仕事と生活を同じように両立させている」は自営業で3割台半ばと高くなっている。

ライフステージ別でみると、「仕事に専念している」は独身期で約3割と高くなっている。「現在仕事をしていない」は高齢期で5割と高くなっている。「どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている」は家族形成期と家族成長後期でともに約2割と高くなっている。

(図表7-3-4)

図表7-3-4 望ましい位置づけに対しての現在の状況－職業別・ライフステージ別



(4) 女性センター「ブーケ21」の認知度

◇『知っている』は4割を超える

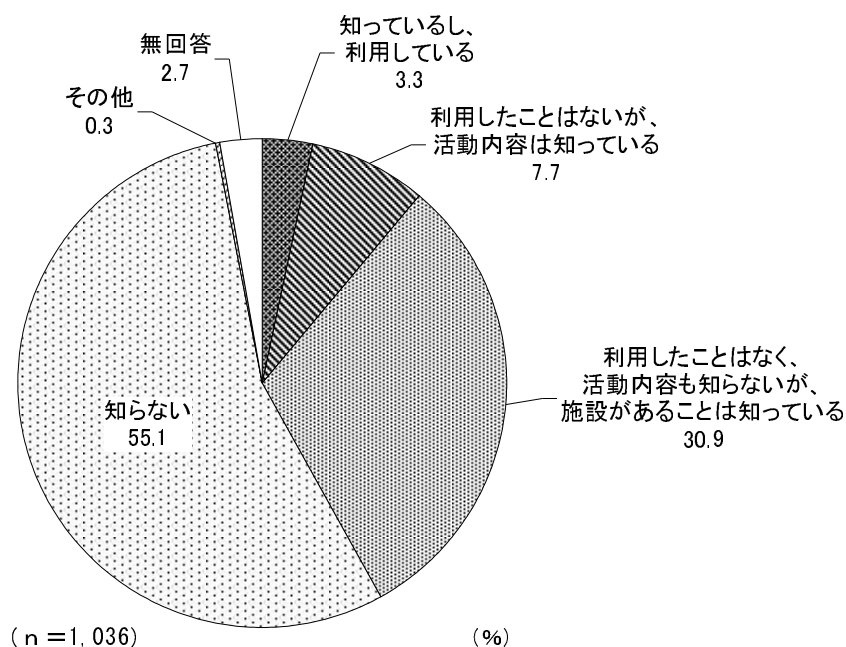
問21 あなたは、区が男女共同参画推進のための拠点として設置した女性センター「ブーケ21」を知っていますか。(○は1つ)

n = 1,036

| | | |
|---|------------------------------------|------|
| 1 | 知っているし、利用している | 3.3% |
| 2 | 利用したことはないが、活動内容は知っている | 7.7 |
| 3 | 利用したことはなく、活動内容も知らないが、施設があることは知っている | 30.9 |
| 4 | 知らない | 55.1 |
| 5 | その他 | 0.3 |
| | (無回答) | 2.7 |

女性センター「ブーケ21」の認知度は、「利用したことはなく、活動内容も知らないが、施設があることは知っている」(30.9%)が約3割で、これに「利用したことはないが、活動内容は知っている」(7.7%)と「知っているし、利用している」(3.3%)を合わせた『知っている』(41.9%)は4割を超えている。一方、「知らない」(55.1%)は5割台半ばとなっている。(図表7-4-1)

図表7-4-1 女性センター「ブーケ21」の認知度



過去の調査と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。(図表7-4-2)

図表7-4-2 女性センター「ブーケ21」の認知度—過年度比較

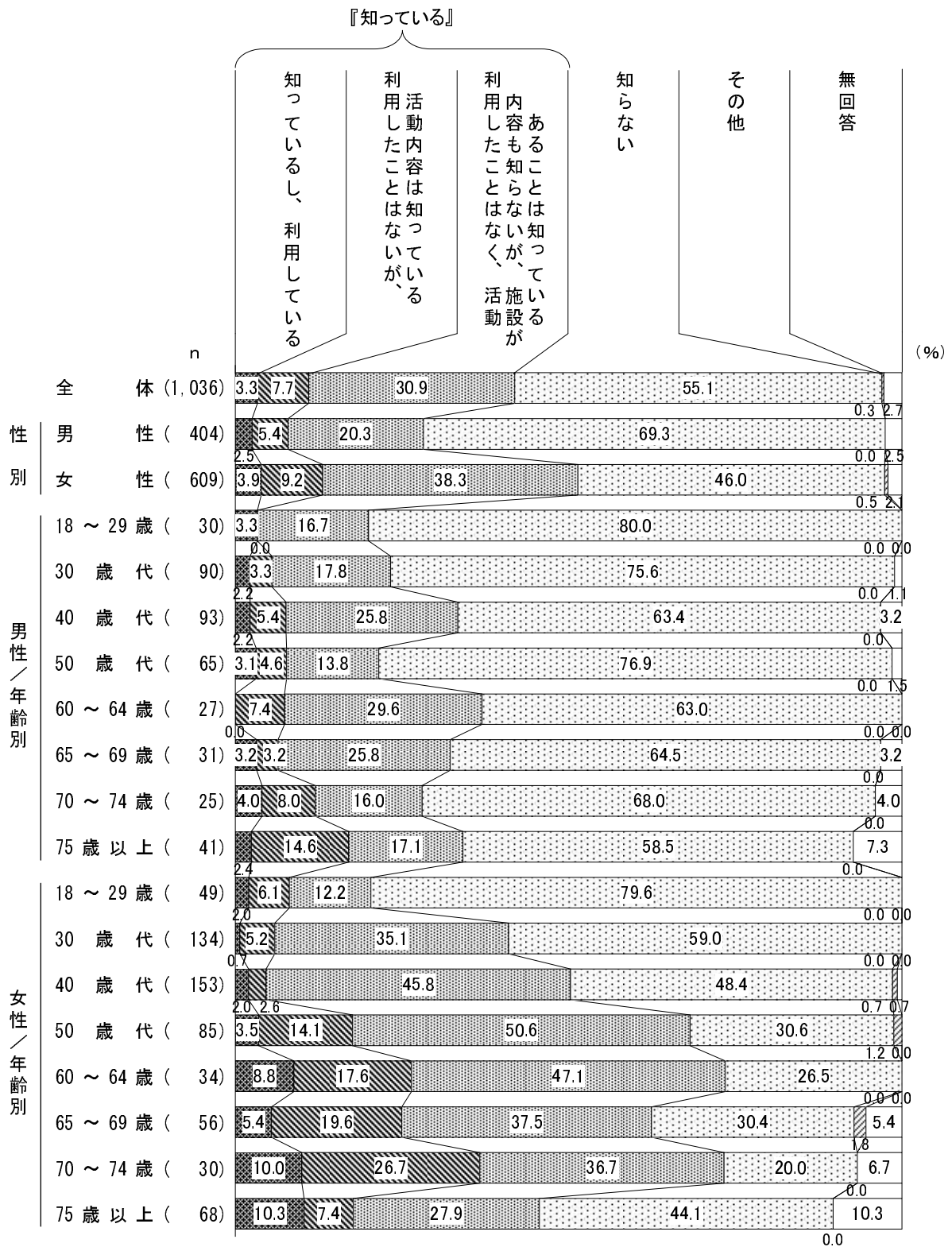
(%)

| 調査年 | n | 知っているし、利用している | 利用したことは知っているが、活動内容は知らない | 利用したことは知っているが、内容については知らないが、施設がある | 知らない | その他 | 無回答 |
|-------|-------|---------------|-------------------------|----------------------------------|------|-----|-----|
| 平成28年 | 1,036 | 3.3 | 7.7 | 30.9 | 55.1 | 0.3 | 2.7 |
| 平成27年 | 1,027 | 3.2 | 9.5 | 29.7 | 54.1 | 0.5 | 2.9 |
| 平成26年 | 1,041 | 4.1 | 8.2 | 28.5 | 55.0 | 0.5 | 3.7 |
| 平成25年 | 1,047 | 2.9 | 9.4 | 29.7 | 52.7 | 1.0 | 4.4 |

性別でみると、「知らない」は男性の方が女性よりも23.3ポイント高くなっている。一方、「利用したことはなく、活動内容も知らないが、施設があることは知っている」は女性の方が男性よりも18.0ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『知っている』は女性の60～64歳と70～74歳でともに7割を超えて高くなっている。一方、「知らない」は男女ともに18～29歳で8割と高くなっている。(図表7-4-3)

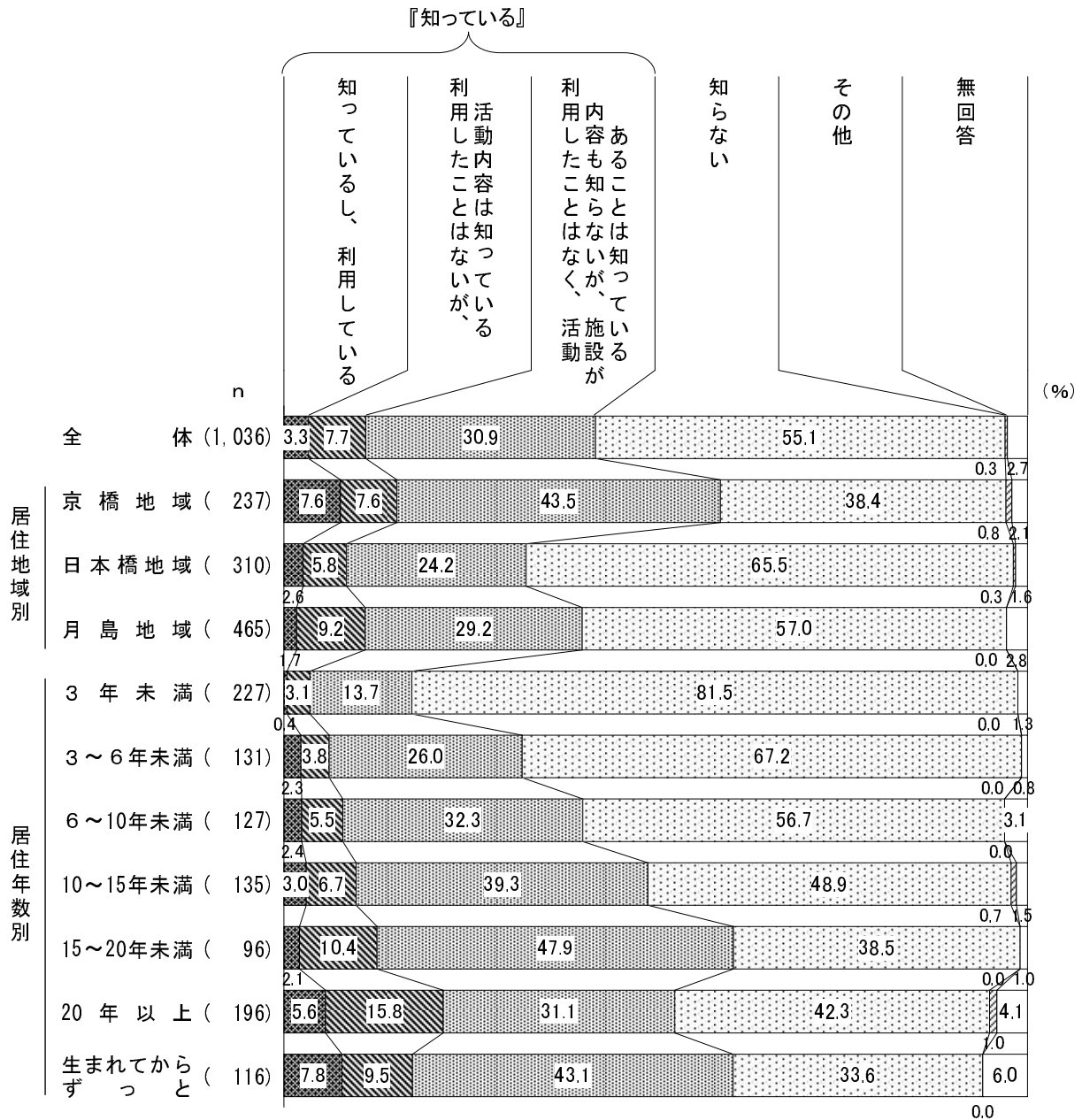
図表7-4-3 女性センター「ブーケ21」の認知度－性別・性／年齢別



居住地域別で見ると、『知っている』は京橋地域で6割近くと高くなっている。一方、「知らない」は日本橋地域で6割台半ばと高くなっている。

居住年数別で見ると、『知っている』は居住年数15～20年未満の人と生まれてからずっと居住している人でともに6割と高くなっている。一方、「知らない」は居住年数3年未満の人で8割を超えて高くなっている。(図表7-4-4)

図表7-4-4 女性センター「ブーケ21」の認知度－居住地域別・居住年数別



【8 防犯対策】

(1) 不安を感じる犯罪

◇「空き巣」が2割を超える

問22 あなたの住む地域で不安を感じる具体的犯罪は何ですか。(○は2つまで)

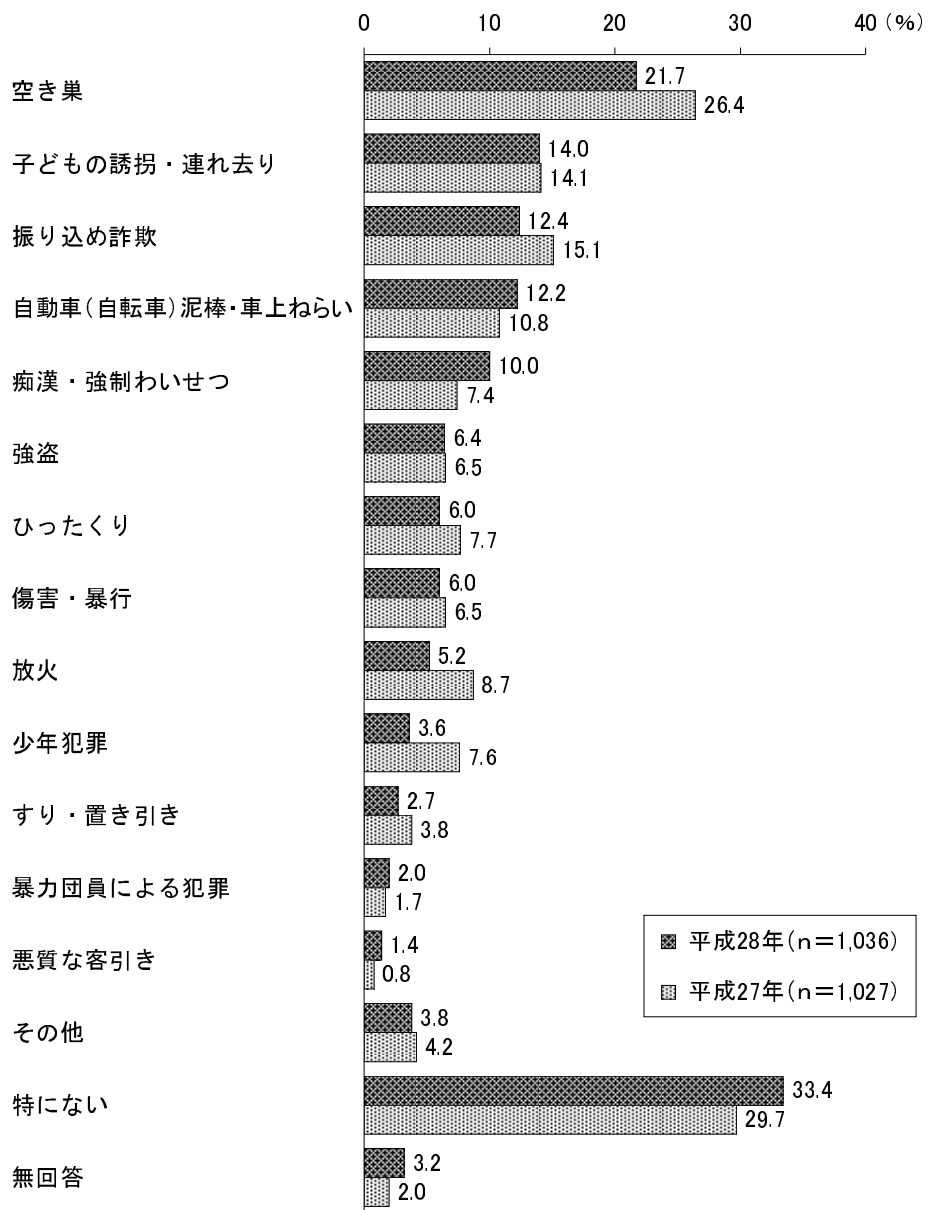
n = 1,036

| | | | | | |
|---|------------------|------|----|-------------|------|
| 1 | ひったくり | 6.0% | 9 | 痴漢・強制わいせつ | 10.0 |
| 2 | 空き巣 | 21.7 | 10 | 少年犯罪 | 3.6 |
| 3 | 強盗 | 6.4 | 11 | 子どもの誘拐・連れ去り | 14.0 |
| 4 | すり・置き引き | 2.7 | 12 | 暴力団員による犯罪 | 2.0 |
| 5 | 自動車(自転車)泥棒・車上ねらい | 12.2 | 13 | 悪質な客引き | 1.4 |
| 6 | 振り込め詐欺 | 12.4 | 14 | その他 | 3.8 |
| 7 | 傷害・暴行 | 6.0 | 15 | 特にない | 33.4 |
| 8 | 放火 | 5.2 | | (無回答) | 3.2 |

不安を感じる犯罪は、「空き巣」(21.7%)が2割を超えて高くなっている。次いで、「子どもの誘拐・連れ去り」(14.0%)、「振り込め詐欺」(12.4%)、「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」(12.2%)、「痴漢・強制わいせつ」(10.0%)などとなっている。一方、「特にない」(33.4%)は3割を超えている。

昨年の調査結果と比較すると、「空き巣」は4.7ポイント減少している。一方、「特にない」は3.7ポイント増加している。(図表8-1-1)

図表8-1-1 不安に感じる犯罪（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「空き巣」が引き続き最も高い割合となっている。(図表 8-1-2)

図表 8-1-2 不安に感じる犯罪一過年度比較

(%)

| 調査年 | n | 空き巣 | 子どもの誘拐・連れ去り | 振り込め詐欺 | 自動車(自転車)泥棒・車上ねらい | 痴漢・強制わいせつ | 強盗 | ひったくり | 傷害・暴行 | 放火 | 少年犯罪 | すり・置き引き | 暴力団員による犯罪 | 悪質な客引き | その他 | 特になし | 無回答 |
|-------|-------|------|-------------|--------|------------------|-----------|------|-------|-------|------|------|---------|-----------|--------|-----|------|------|
| 平成28年 | 1,036 | 21.7 | 14.0 | 12.4 | 12.2 | 10.0 | 6.4 | 6.0 | 6.0 | 5.2 | 3.6 | 2.7 | 2.0 | 1.4 | 3.8 | 33.4 | 3.2 |
| 平成27年 | 1,027 | 26.4 | 14.1 | 15.1 | 10.8 | 7.4 | 6.5 | 7.7 | 6.5 | 8.7 | 7.6 | 3.8 | 1.7 | 0.8 | 4.2 | 29.7 | 2.0 |
| 平成26年 | 1,041 | 40.1 | 16.9 | 21.4 | 17.5 | 11.8 | 11.9 | 16.0 | 11.1 | 13.8 | 8.8 | 8.4 | 3.9 | ※ | 4.1 | ※ | 15.9 |
| 平成25年 | 1,047 | 37.8 | 11.4 | 21.5 | 22.1 | 11.4 | 12.0 | 22.6 | 11.9 | 16.4 | 7.6 | 8.2 | 4.7 | ※ | 4.9 | ※ | 11.7 |
| 平成24年 | 1,123 | 41.7 | 11.9 | 13.1 | 21.1 | 10.5 | 16.9 | 21.5 | 16.8 | 17.8 | 10.2 | 7.5 | 8.2 | ※ | 5.9 | ※ | 9.3 |
| 平成23年 | 1,097 | 43.6 | 12.8 | 14.2 | 23.2 | 9.9 | 15.4 | 23.4 | 11.9 | 15.6 | 7.8 | 7.5 | 5.7 | ※ | 6.3 | ※ | 10.4 |
| 平成22年 | 1,004 | 41.8 | 13.9 | 17.1 | 20.9 | 10.3 | 12.8 | 20.3 | 12.2 | 16.7 | 11.3 | 6.5 | 7.0 | ※ | 4.5 | ※ | 11.5 |
| 平成21年 | 1,001 | 44.8 | 14.2 | 12.2 | 21.1 | 10.2 | 17.7 | 27.7 | 9.7 | 21.9 | 9.5 | 6.3 | 4.8 | ※ | 6.6 | ※ | 7.4 |
| 平成20年 | 1,065 | 42.6 | 16.9 | 18.0 | 13.9 | 18.6 | 18.1 | 19.8 | 17.7 | 18.9 | 15.0 | 4.5 | 10.4 | ※ | 5.9 | ※ | 7.6 |
| 平成19年 | 686 | 43.7 | 16.5 | 18.4 | 16.0 | 15.9 | 20.6 | 20.6 | 14.0 | 22.6 | 16.3 | 5.0 | 8.7 | ※ | 1.9 | ※ | 5.4 |

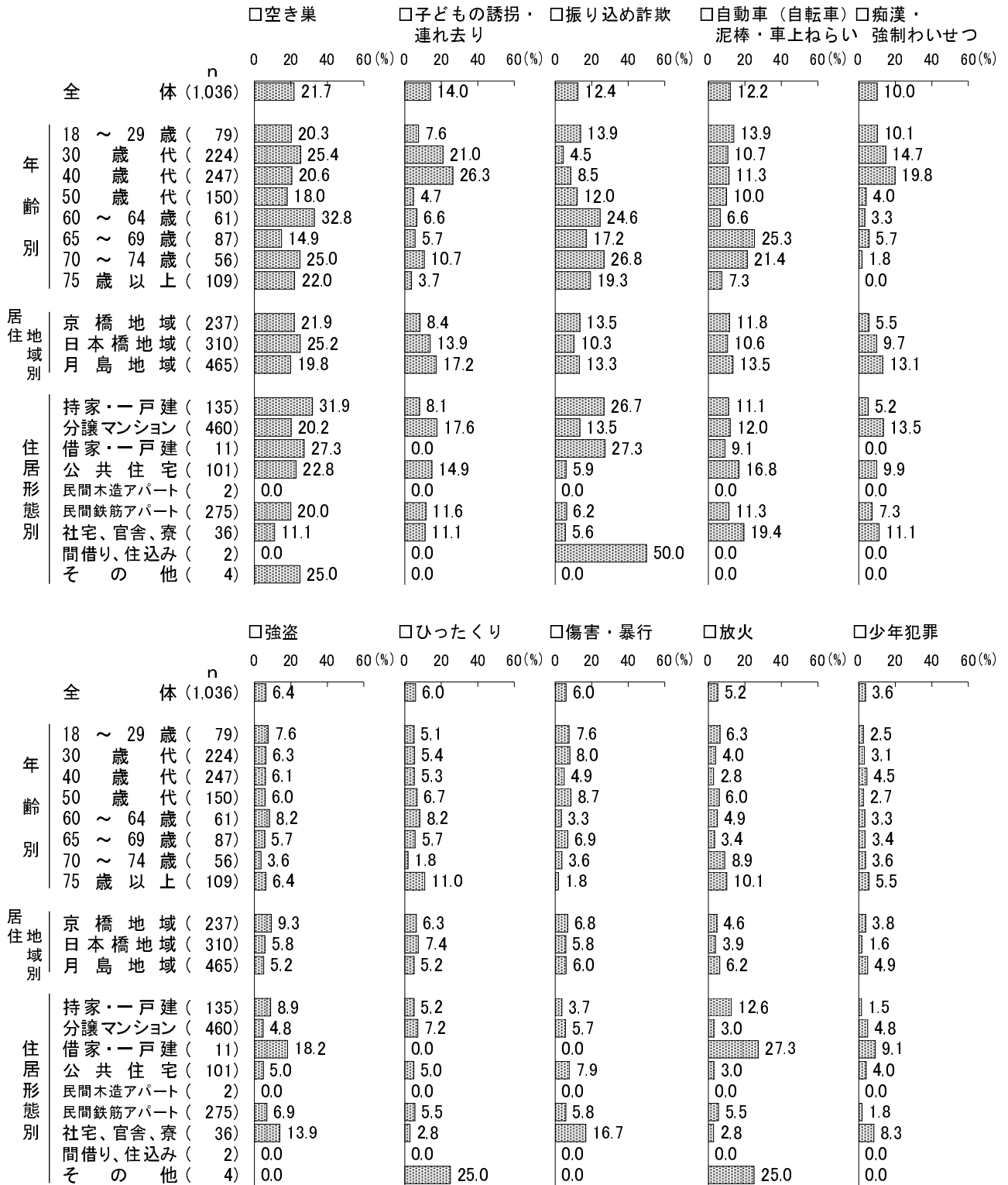
* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢
* 平成26年以前は、3つまで回答可能としていた。

年齢別で見ると、「空き巣」は60～64歳で3割を超えて高くなっている。「子どもの誘拐・連れ去り」は40歳代で2割台半ばと高くなっている。「振り込め詐欺」は70～74歳で3割近くと高くなっている。「自動車(自転車)泥棒・車上ねらい」は65～69歳で2割台半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「空き巣」は日本橋地域で2割台半ばと高くなっている。「子どもの誘拐・連れ去り」は月島地域で2割近くと高くなっている。

住居形態別で見ると、「空き巣」は持家・一戸建で3割を超えて高くなっている。「振り込め詐欺」は持家・一戸建と借家・一戸建でともに3割近くと高くなっている。(図表 8-1-3)

図表8-1-3 不安に感じる犯罪一年齢別・居住地域別・住居形態別（上位10項目）



(2) 防犯のために行っていること

◇「日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている」と「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」が2割

問23 あなたが防犯のために実行していること、心掛けていることは何ですか。

(○はいくつでも)

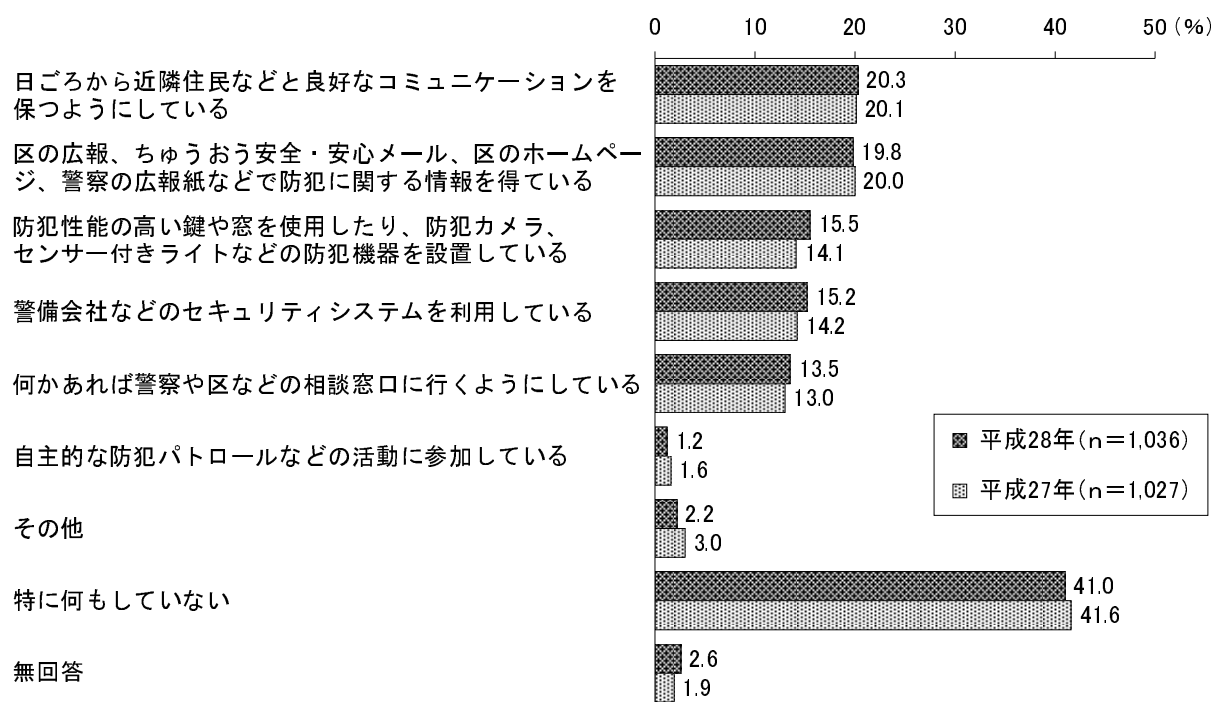
n = 1,036

| | | |
|---|--|------|
| 1 | 自主的な防犯パトロールなどの活動に参加している | 1.2% |
| 2 | 区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている | 19.8 |
| 3 | 何かあれば警察や区などの相談窓口に行くようにしている | 13.5 |
| 4 | 日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている | 20.3 |
| 5 | 防犯性能の高い鍵や窓を使用したり、防犯カメラ、センサー付きライトなどの防犯機器を設置している | 15.5 |
| 6 | 警備会社などのセキュリティシステムを利用している | 15.2 |
| 7 | その他 | 2.2 |
| 8 | 特に何もしていない | 41.0 |
| | (無回答) | 2.6 |

防犯のために行っていることは、「日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている」(20.3%)と「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」(19.8%)がともに2割となっている。次いで、「防犯性能の高い鍵や窓を使用したり、防犯カメラ、センサー付きライトなどの防犯機器を設置している」(15.5%)、「警備会社などのセキュリティシステムを利用している」(15.2%)、「何かあれば警察や区などの相談窓口に行くようにしている」(13.5%)などとなっている。一方、「特に何もしていない」(41.0%)は4割を超えている。

昨年との調査結果と比較すると、大きな傾向の変化はみられない。(図表 8-2-1)

図表 8-2-1 防犯のために行っていること(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている」と「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」は、平成22年以降引き続き上位2項目となっている。(図表8-2-2)

図表8-2-2 防犯のために行っていること一過年度比較

(%)

| 調査年 | n | 日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている | 区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている | 防犯使用の性能の高い鍵や窓を | 警備システムなどのセキュリティ | 何か相談窓口があれば警察や区などに行きやすいようにしている | 自主的な防犯パトロールなどの活動に参加している | その他 | 特に何もしていない | 無回答 |
|-------|-------|------------------------------------|---|----------------|-----------------|-------------------------------|-------------------------|-----|-----------|-----|
| 平成28年 | 1,036 | 20.3 | 19.8 | 15.5 | 15.2 | 13.5 | 1.2 | 2.2 | 41.0 | 2.6 |
| 平成27年 | 1,027 | 20.1 | 20.0 | 14.1 | 14.2 | 13.0 | 1.6 | 3.0 | 41.6 | 1.9 |
| 平成26年 | 1,041 | 19.5 | 17.5 | 14.9 | 13.6 | 14.4 | 1.2 | 3.7 | 41.6 | 3.2 |
| 平成25年 | 1,047 | 22.3 | 18.4 | 16.1 | 11.9 | 15.2 | 2.1 | 3.9 | 36.8 | 4.7 |
| 平成24年 | 1,123 | 20.1 | 19.6 | 15.2 | 12.0 | 16.3 | 1.6 | 2.8 | 40.5 | 2.4 |
| 平成23年 | 1,097 | 22.0 | 17.7 | 14.8 | 11.9 | 15.3 | 1.8 | 3.2 | 39.7 | 3.4 |
| 平成22年 | 1,004 | 27.5 | 20.3 | 19.2 | 14.0 | 19.2 | 2.6 | 2.8 | 33.0 | 2.1 |
| 平成21年 | 1,001 | 26.8 | 13.7 | 19.4 | 15.4 | 16.2 | 2.6 | 3.5 | 35.2 | 2.2 |
| 平成20年 | 1,065 | 29.8 | 12.7 | 19.7 | 14.1 | 17.2 | 3.4 | 3.3 | 36.2 | 2.3 |
| 平成19年 | 686 | 27.7 | 9.0 | 19.2 | 10.5 | 13.0 | 2.9 | 2.5 | 41.5 | 2.0 |

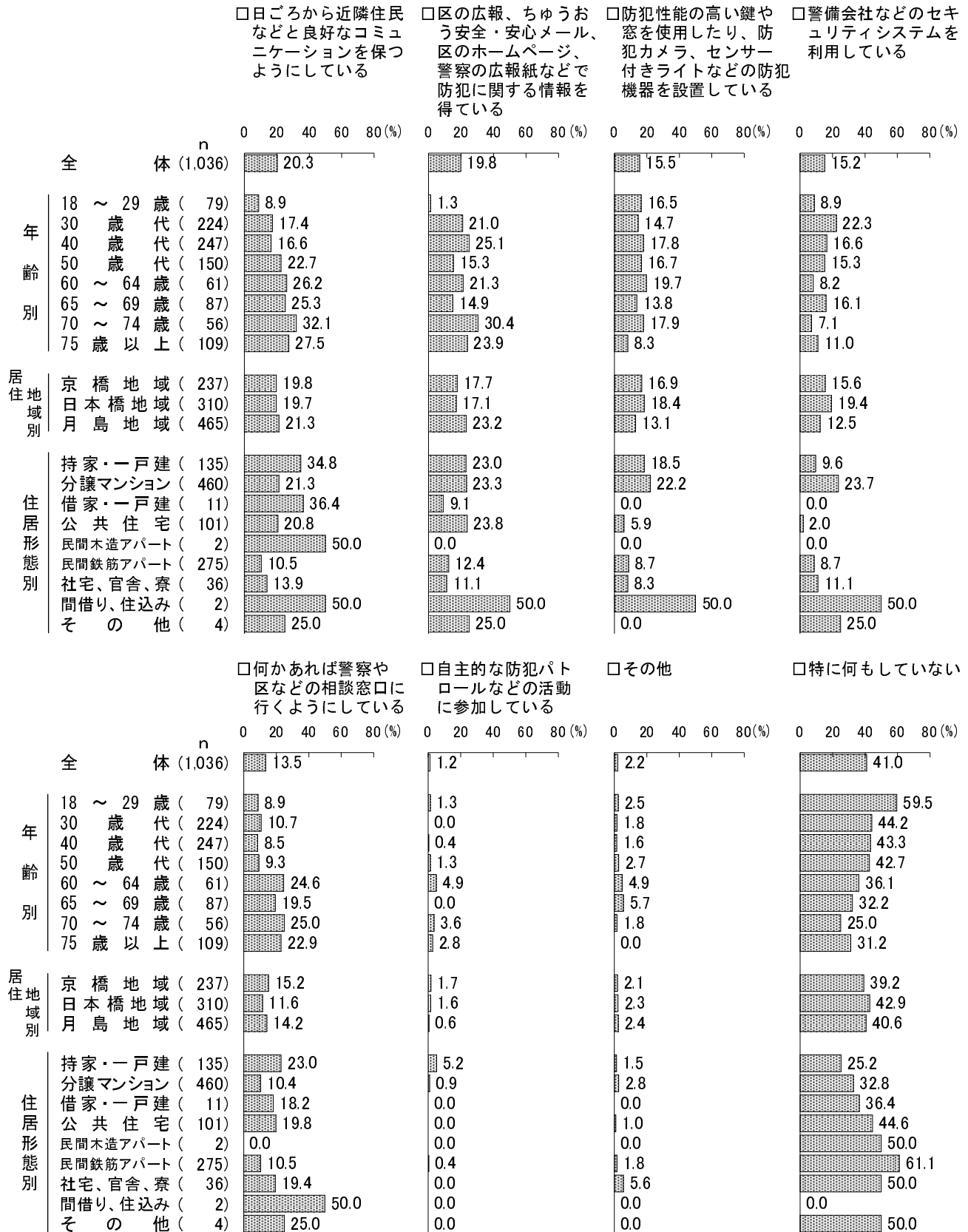
* 「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」の選択肢は、平成21年以前は「子ども安全安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」としていた。

年齢別でみると、「日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている」は70～74歳で3割を超えて高くなっている。「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」は70～74歳で3割と高くなっている。「特に何もしていない」は18～29歳で6割と高くなっている。

居住地域別でみると、「区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている」は月島地域で2割を超えて高くなっている。

住居形態別でみると、「日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている」は持家・一戸建と借家・一戸建でともに3割台半ばと高くなっている。「特に何もしていない」は民間鉄筋アパートで6割を超えて高くなっている。(図表8-2-3)

図表 8-2-3 防犯のために行っていること一年齢別・居住地域別・住居形態別



(3) 区に特に力を入れてほしい施策

◇「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」が5割近く

問24 今後、あなたが区に特に力を入れてほしいと考える施策は何ですか。(〇は2つまで)

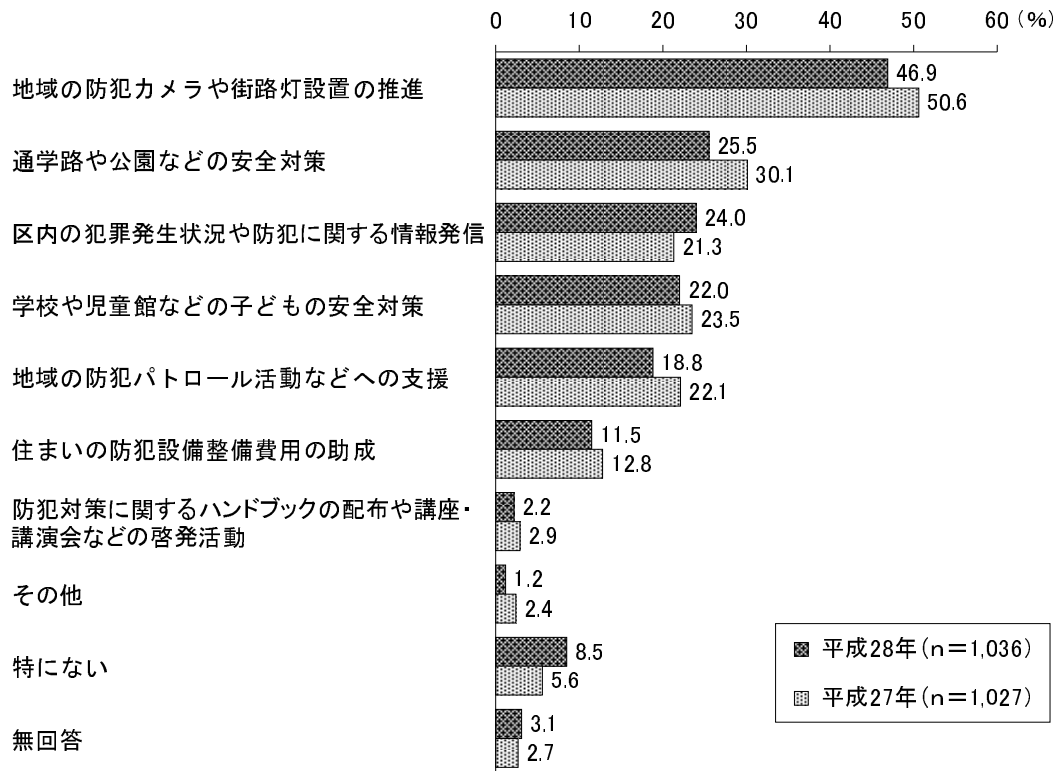
n = 1,036

| | | |
|---|---------------------------------|-------|
| 1 | 区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信 | 24.0% |
| 2 | 住まいの防犯設備整備費用の助成 | 11.5 |
| 3 | 地域の防犯カメラや街路灯設置の推進 | 46.9 |
| 4 | 防犯対策に関するハンドブックの配布や講座・講演会などの啓発活動 | 2.2 |
| 5 | 学校や児童館などの子どもの安全対策 | 22.0 |
| 6 | 通学路や公園などの安全対策 | 25.5 |
| 7 | 地域の防犯パトロール活動などへの支援 | 18.8 |
| 8 | その他 | 1.2 |
| 9 | 特にない | 8.5 |
| | (無回答) | 3.1 |

区に特に力を入れてほしい施策は、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」(46.9%)が5割近くで最も高くなっている。次いで、「通学路や公園などの安全対策」(25.5%)、「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」(24.0%)、「学校や児童館などの子どもの安全対策」(22.0%)、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」(18.8%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「通学路や公園などの安全対策」は4.6ポイント、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は3.7ポイント、「地域の防犯パトロール活動などへの支援」は3.3ポイント、それぞれ減少している。(図表8-3-1)

図表8-3-1 区に特に力を入れてほしい施策(複数回答)



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は平成27年以降最も高い割合となっている。また、「通学路や公園などの安全対策」は平成26年以前は最も高い割合となっており、平成27年以降は2番目に高い割合となっている。(図表8-3-2)

図表 8-3-2 区に特に力を入れてほしい施策一過年度比較

(%)

| 調査年 | n | 地域の防犯カメラや街路灯設置の推進 | 通学路や公園などの安全対策 | 区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信 | 学校や児童館などの子どもの安全対策 | 地域の防犯パトロール活動などへの支援 | 住まいの防犯設備整備費用の助成 | 防犯配布活動や講座・講演会などの啓発活動 | その他 | 特になし | 無回答 |
|-------|-------|-------------------|---------------|----------------------|-------------------|--------------------|-----------------|----------------------|-----|------|------|
| 平成28年 | 1,036 | 46.9 | 25.5 | 24.0 | 22.0 | 18.8 | 11.5 | 2.2 | 1.2 | 8.5 | 3.1 |
| 平成27年 | 1,027 | 50.6 | 30.1 | 21.3 | 23.5 | 22.1 | 12.8 | 2.9 | 2.4 | 5.6 | 2.7 |
| 平成26年 | 1,041 | 26.9 | 35.8 | 14.6 | 22.9 | 22.4 | 21.3 | 4.4 | 3.2 | ※ | 8.9 |
| 平成25年 | 1,047 | 30.7 | 34.4 | 14.9 | 19.5 | 21.0 | 23.3 | 4.6 | 3.5 | ※ | 8.3 |
| 平成24年 | 1,123 | 14.2 | 38.1 | 20.7 | 24.0 | 28.9 | 11.0 | 5.9 | 3.9 | ※ | 9.3 |
| 平成23年 | 1,097 | 13.7 | 38.6 | 15.6 | 24.2 | 30.8 | 12.4 | 5.7 | 4.6 | ※ | 10.6 |
| 平成22年 | 1,004 | 14.4 | 42.4 | 14.9 | 29.3 | 31.1 | 10.8 | 5.0 | 3.7 | ※ | 7.3 |
| 平成21年 | 1,001 | 16.3 | 39.3 | 14.5 | 23.6 | 28.6 | 11.4 | 5.0 | 7.1 | ※ | 9.0 |

* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢。

* 「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」の選択肢は、平成25年から平成26年までは「町会、自治会などに対する防犯アドバイザーの派遣および防犯カメラなどの設置費用の助成」、平成24年以前は「町会、自治会等に対する街の防犯対策に関するアドバイザーの派遣相談及び費用の助成」としていた。

* 「地域の防犯パトロール活動などへの支援」の選択肢は、平成27年では「地域の防犯パトロール活動への支援」、平成26年以前は「地域の自主的防犯パトロール活動や子ども見守り活動への支援」としていた。

* 「区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」の選択肢は、平成26年以前は「メールによる犯罪発生状況や防犯に関する情報発信」としていた。

* 「住まいの防犯設備整備費用の助成」の選択肢は、平成25年から平成26年までは「住まいの防犯アドバイザーの派遣および防犯性能の高い鍵やセンサー付きライトなどの設置費用の助成」、平成24年以前は「住まいの防犯対策に関するアドバイザーの派遣相談及び費用の助成」としていた。

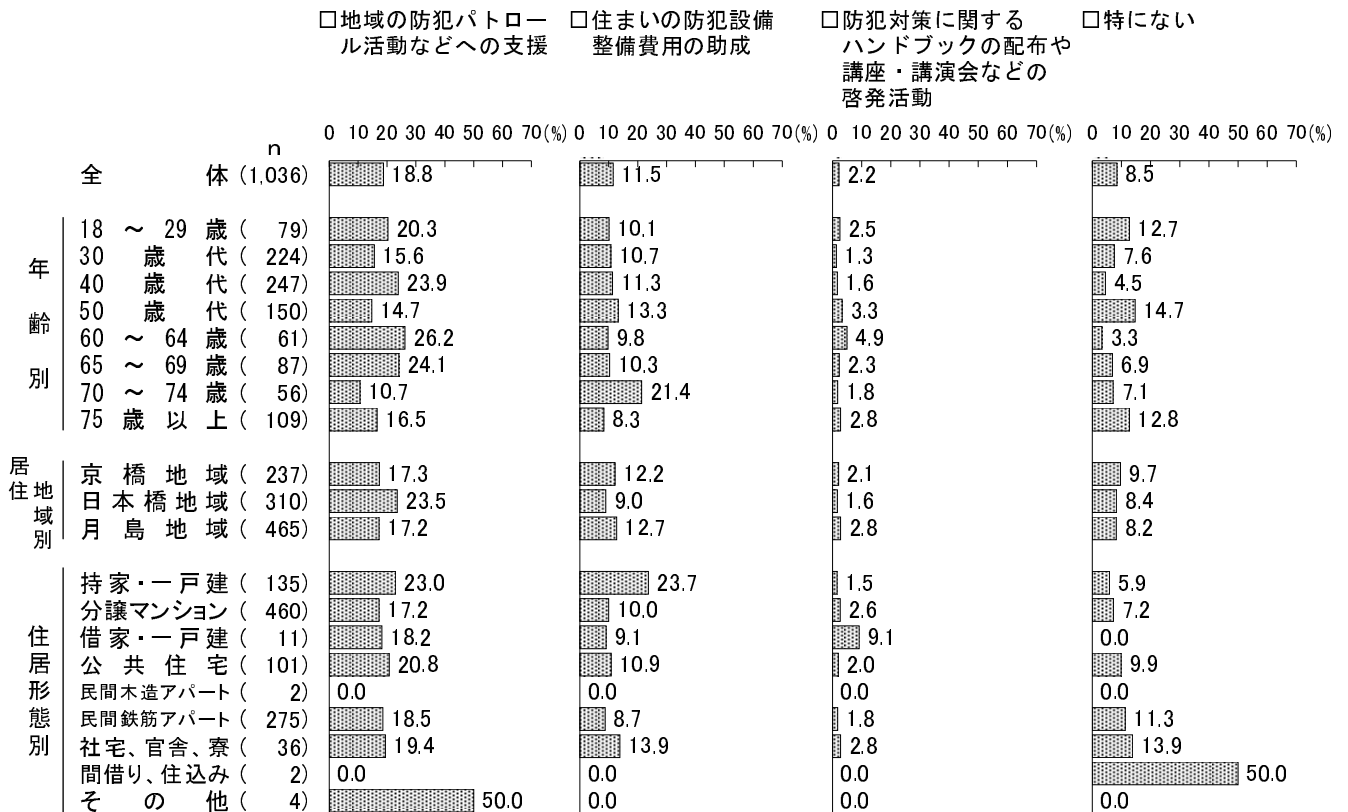
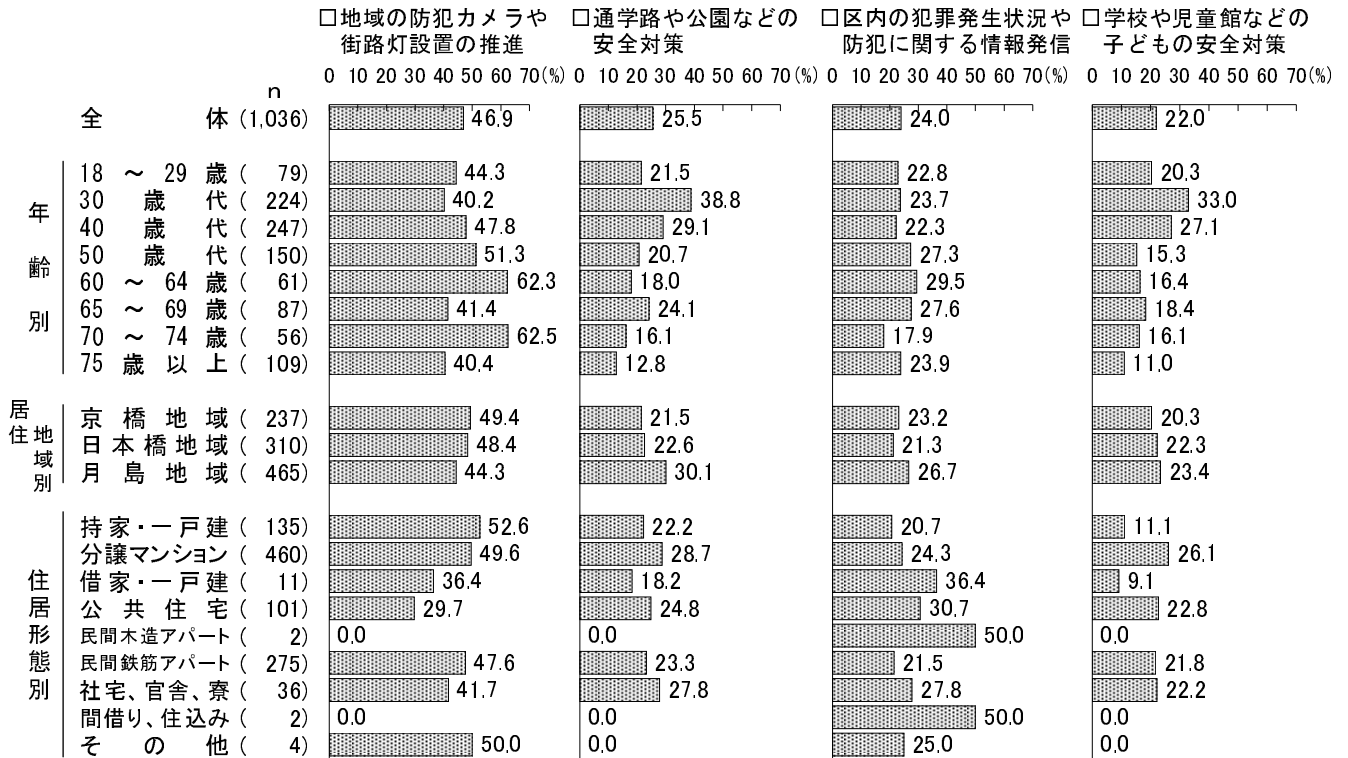
* 「防犯対策に関するハンドブックの配付や講座・後援会などの啓発活動」の選択肢は、平成26年以前は「防犯や子どもの安全に関する講座・講演会」としていた。

年齢別でみると、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は60～64歳と70～74歳でともに6割を超えて高くなっている。「通学路や公園などの安全対策」は30歳代で4割近くと高くなっている。「学校や児童館などの子どもの安全対策」は30歳代で3割を超えて高くなっている。

居住地域別でみると、「通学路や公園などの安全対策」は月島地域で3割と高くなっている。「地域の防犯パトロール活動などへの支援」は日本橋地域で2割を超えて高くなっている。

住居形態別でみると、「地域の防犯カメラや街路灯設置の推進」は持家・一戸建てで5割を超えて高くなっている。(図表 8-3-3)

図表 8-3-3 区に特に力を入れてほしい施策—年齢別・居住地域別・住居形態別



【9 公共施設】

(1) 区の施設の利用頻度

◇「よく利用している（月に4回以上）」は“公園”で約2割

問25 あなたが、過去1年間に利用したことがある区の施設の利用頻度を、(1)から(13)までの施設ごとに選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

(%)

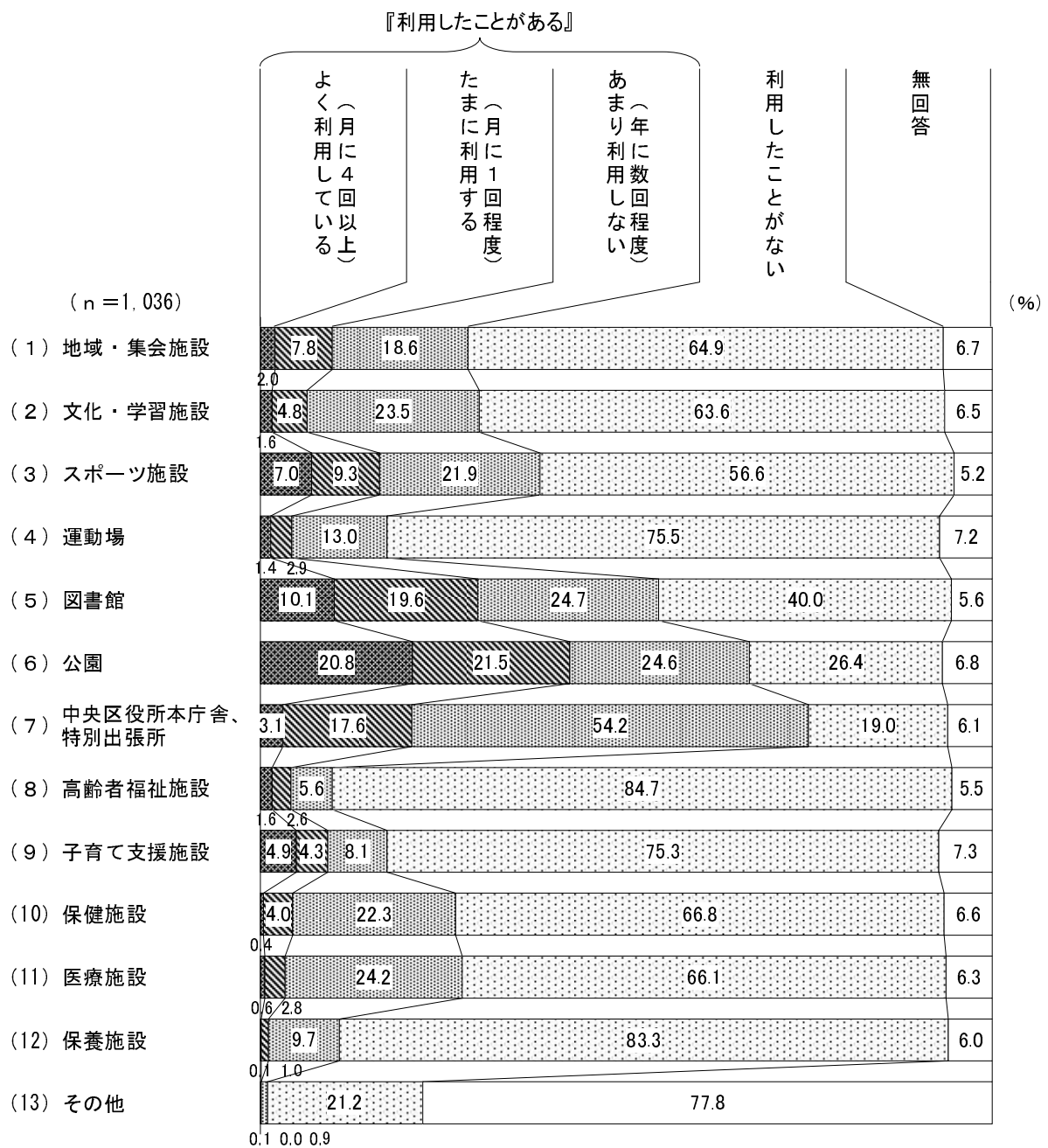
n = 1,036

| | 1 よく利用している (月に4回以上) | 2 たまに利用する (月に1回程度) | 3 あまり利用しない (年に数回程度) | 4 利用したことがない | 無回答 |
|--|---------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------|------|
| (1) 地域・集会施設 (区民館・コミュニティルームなど) | 2.0 | 7.8 | 18.6 | 64.9 | 6.7 |
| (2) 文化・学習施設 (中央会館・日本橋公会堂・社会教育会館・ タイムドーム明石など) | 1.6 | 4.8 | 23.5 | 63.6 | 6.5 |
| (3) スポーツ施設 (総合スポーツセンター・月島スポーツプラザ・ ほっとプラザはるみなど) | 7.0 | 9.3 | 21.9 | 56.6 | 5.2 |
| (4) 運動場(月島、浜町、豊海テニス場など) | 1.4 | 2.9 | 13.0 | 75.5 | 7.2 |
| (5) 図書館 | 10.1 | 19.6 | 24.7 | 40.0 | 5.6 |
| (6) 公園 | 20.8 | 21.5 | 24.6 | 26.4 | 6.8 |
| (7) 中央区役所本庁舎、 特別出張所(日本橋・月島) | 3.1 | 17.6 | 54.2 | 19.0 | 6.1 |
| (8) 高齢者福祉施設 (おとしより相談センター・敬老館など) | 1.6 | 2.6 | 5.6 | 84.7 | 5.5 |
| (9) 子育て支援施設(児童館など) | 4.9 | 4.3 | 8.1 | 75.3 | 7.3 |
| (10) 保健施設 (中央区保健所・保健センター(日本橋・月島)) | 0.4 | 4.0 | 22.3 | 66.8 | 6.6 |
| (11) 医療施設 (休日応急診療所・休日応急歯科診療所・ 休日応急薬局) | 0.6 | 2.8 | 24.2 | 66.1 | 6.3 |
| (12) 保養施設 (伊豆高原荘・区民健康村「ヴィラ本栖」) | 0.1 | 1.0 | 9.7 | 83.3 | 6.0 |
| (13) その他 | 0.1 | 0.0 | 0.9 | 21.2 | 77.8 |

区の施設の利用頻度について、「よく利用している（月に4回以上）」が最も高いのは、（6）公園（20.8%）で約2割となっており、次いで（5）図書館（10.1%）で1割となっている。

「よく利用している（月に4回以上）」、「たまに利用する（月に1回程度）」、「あまり利用しない（年に数回程度）」の3つを合わせた『利用したことがある』が最も高いのは、（7）中央区役所本庁舎、特別出張所（日本橋・月島）（74.9%）で7割台半ばとなっており、次いで（6）公園（66.9%）、（5）図書館（54.4%）、（3）スポーツ施設（総合スポーツセンター・月島スポーツプラザ・ほっとプラザはるみなど）（38.2%）などとなっている。（図表9-1-1）

図表9-1-1 区の施設の利用頻度



“地域・集会施設”について性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“地域・集会施設”について年齢別にみると、『利用したことがある』は60～64歳で4割を超えて高くなっている。

“地域・集会施設”について居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“文化・学習施設”について性別にみると、『利用したことがある』は女性の方が男性よりも4.3ポイント高くなっている。

“文化・学習施設”について年齢別にみると、『利用したことがある』は60～64歳と65～69歳でともに4割近くと高くなっている。

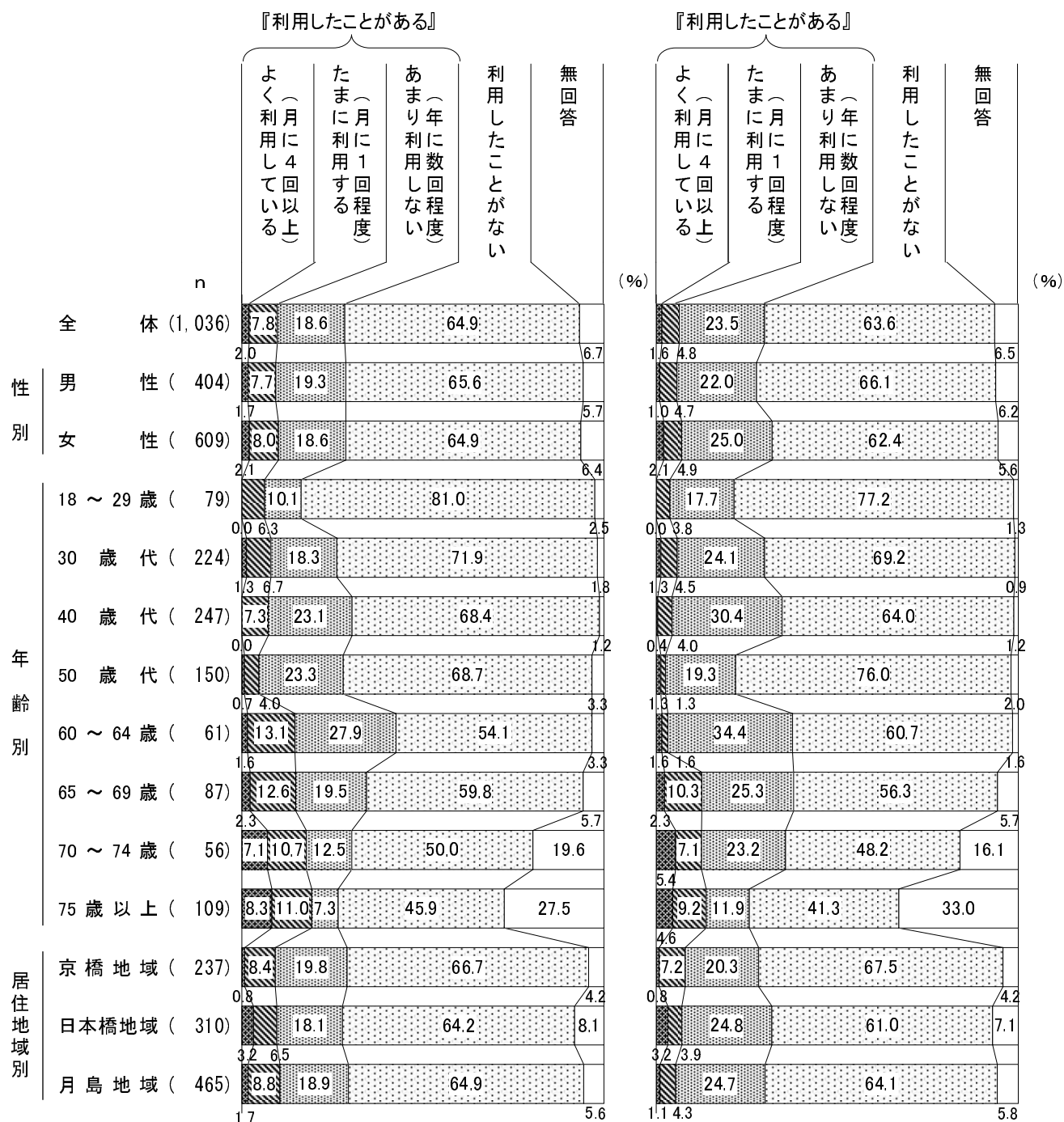
“文化・学習施設”について居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

(図表9-1-2)

図表9-1-2 区の施設の利用頻度－性別・年齢別・居住地域別

(1) 地域・集会施設

(2) 文化・学習施設



“スポーツ施設”について性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“スポーツ施設”について年齢別にみると、『利用したことがある』は40歳代で5割近くと高くなっている。

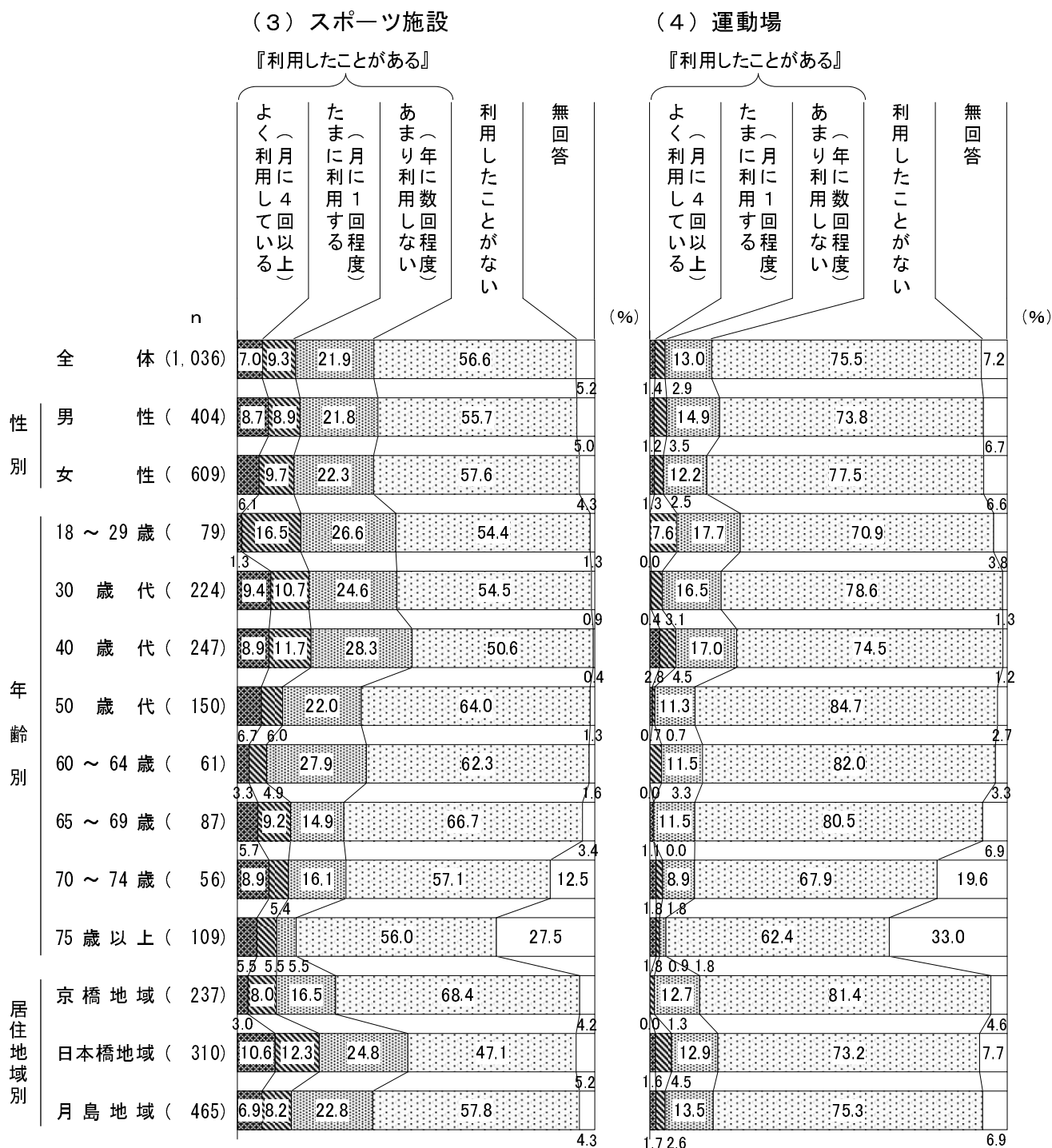
“スポーツ施設”について居住地域別にみると、『利用したことがある』は日本橋地域で5割近くと高くなっている。

“運動場”について性別にみると、『利用したことがある』は男性の方が女性よりも3.6ポイント高くなっている。

“運動場”について年齢別にみると、『利用したことがある』は18～29歳と40歳代でともに2割台半ばと高くなっている。

“運動場”について居住地域別にみると、「利用したことがない」は京橋地域で8割を超えて高くなっている。(図表9-1-3)

図表9-1-3 区の施設の利用頻度－性別・年齢別・居住地域別



“図書館”について性別にみると、『利用したことがある』は女性の方が男性よりも7.2ポイント高くなっている。

“図書館”について年齢別にみると、『利用したことがある』は40歳代で6割台半ばと高くなっている。

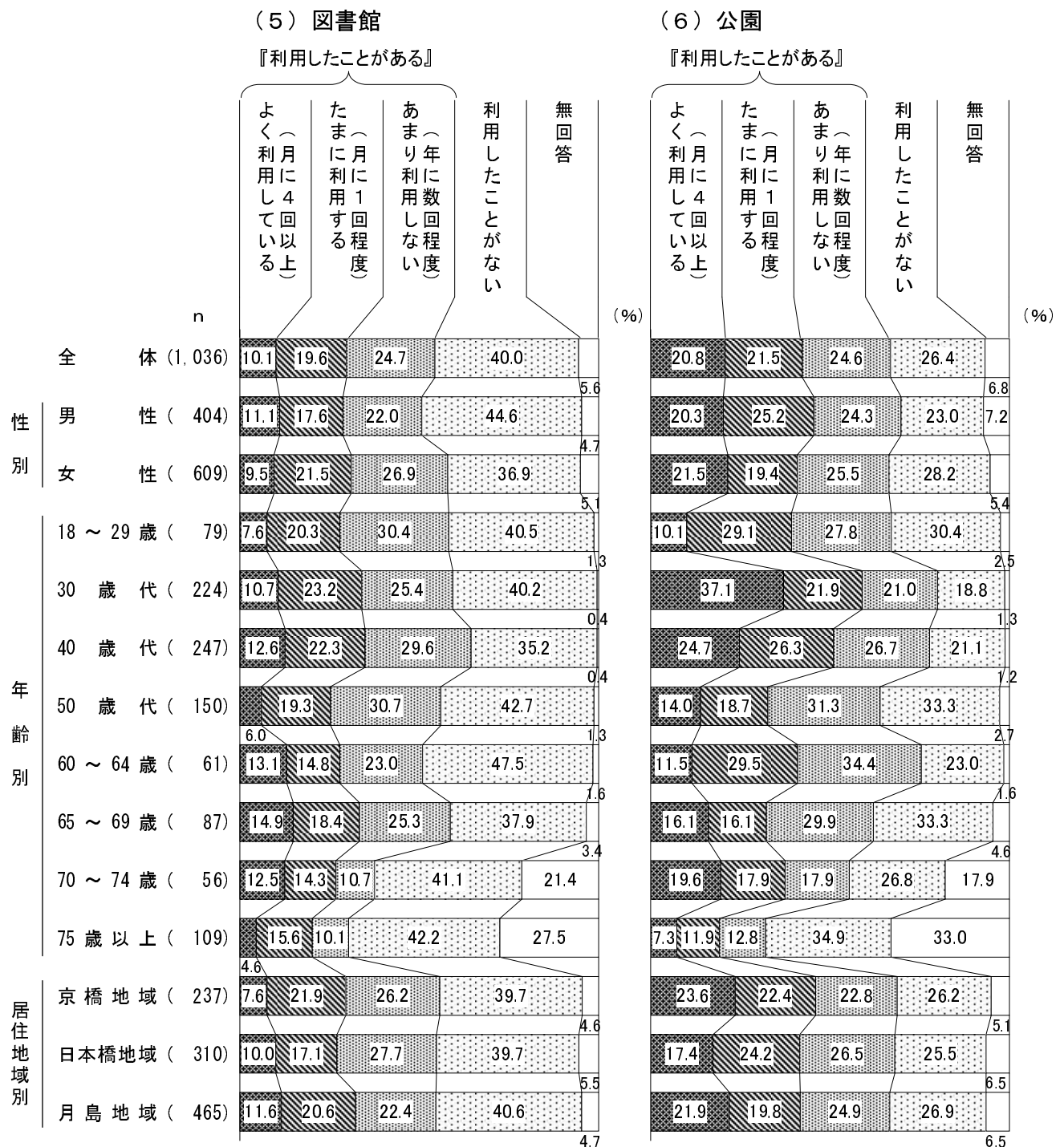
“図書館”について居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“公園”について性別にみると、『利用したことがある』は男性の方が女性よりも3.4ポイント高くなっている。

“公園”について年齢別にみると、『利用したことがある』は30歳代で8割、40歳代で8割近くと高くなっている。

“公園”について居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表9-1-4)

図表9-1-4 区の施設の利用頻度－性別・年齢別・居住地域別



“中央区役所本庁舎、特別出張所”について性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“中央区役所本庁舎、特別出張所”について年齢別にみると、『利用したことがある』は30歳代、40歳代、50歳代でいずれも8割を超えて高くなっている。

“中央区役所本庁舎、特別出張所”について居住地域別にみると、『利用したことがある』は月島地域で8割近くと高くなっている。

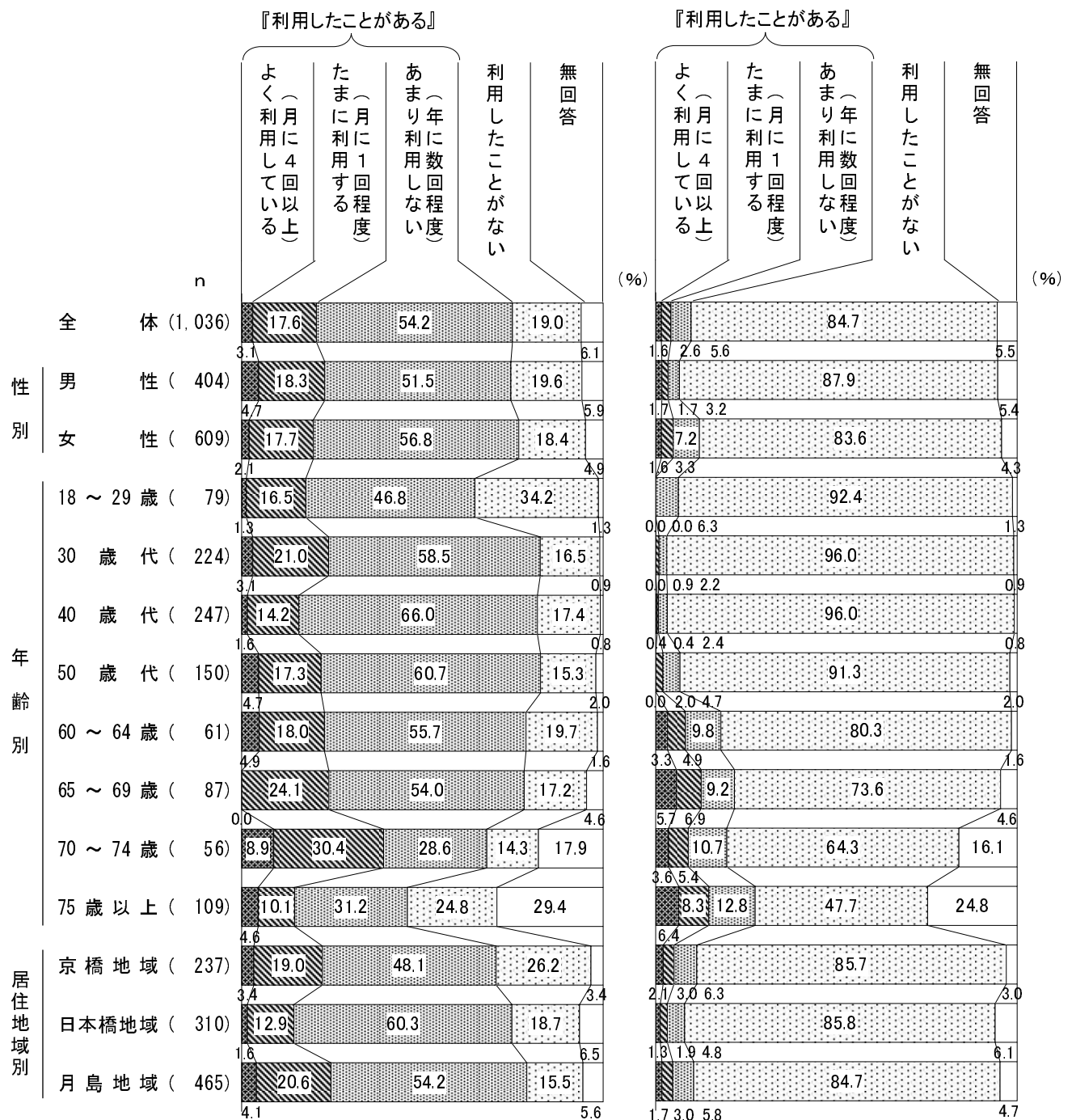
“高齢者福祉施設”について性別にみると、『利用したことがある』は女性の方が男性よりも5.5ポイント高くなっている。

“高齢者福祉施設”について年齢別にみると、『利用したことがある』は75歳以上で3割近くと高くなっている。

“高齢者福祉施設”について居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

(図表9-1-5)

図表9-1-5 区の施設の利用頻度－性別・年齢別・居住地域別
(7) 中央区役所本庁舎、特別出張所 (8) 高齢者福祉施設



“子育て支援施設”について性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“子育て支援施設”について年齢別にみると、『利用したことがある』は30歳代で3割台半ば、40歳代で2割台半ばと高くなっている。

“子育て支援施設”について居住地域別にみると、『利用したことがある』は月島地域で2割を超えて高くなっている。

“保健施設”について性別にみると、『利用したことがある』は女性の方が男性よりも8.0ポイント高くなっている。

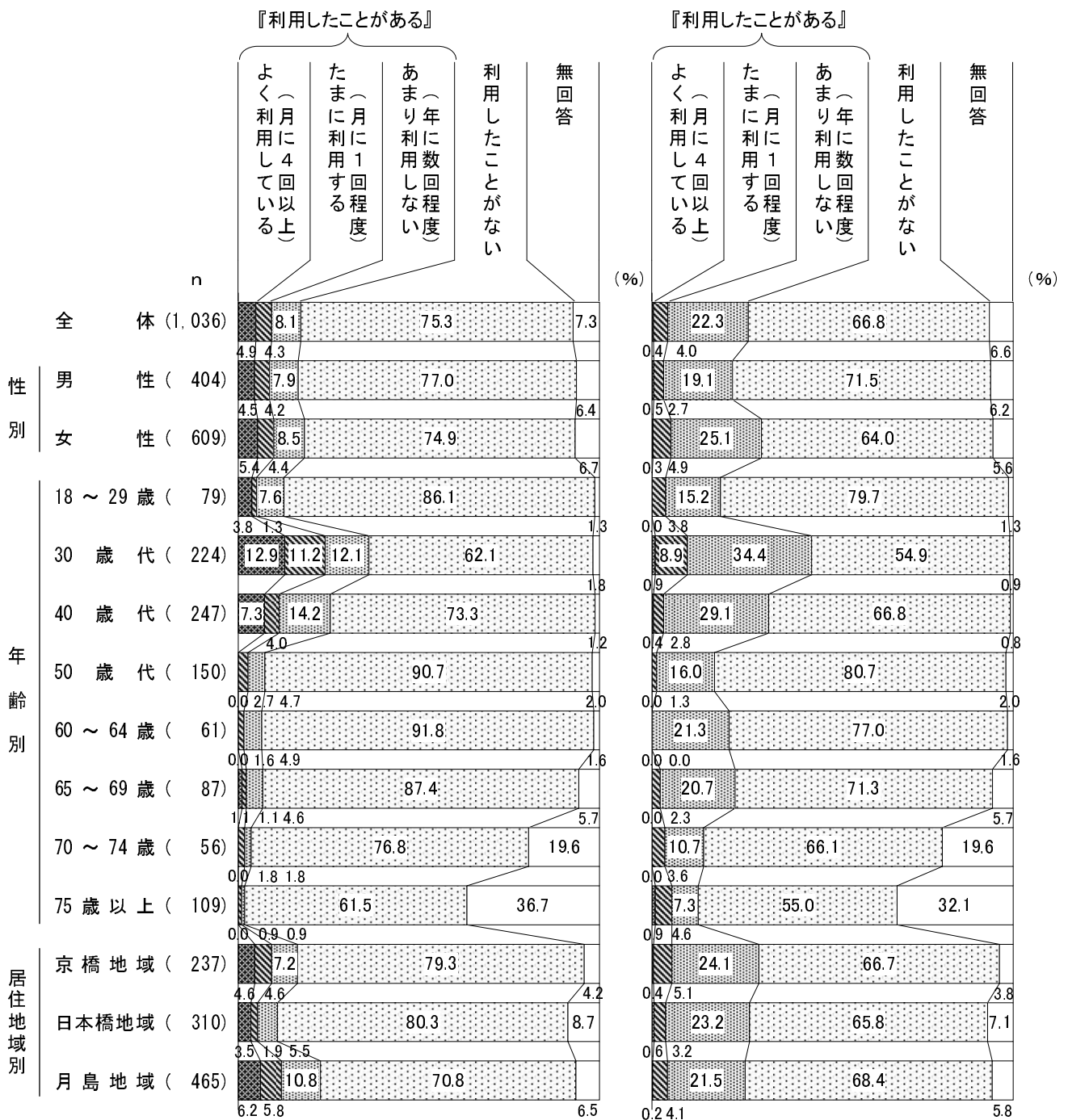
“保健施設”について年齢別にみると、『利用したことがある』は30歳代で4割台半ばと高くなっている。

“保健施設”について居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表9-1-6)

図表9-1-6 区の施設の利用頻度－性別・年齢別・居住地域別

(9) 子育て支援施設

(10) 保健施設



“医療施設”について性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“医療施設”について年齢別にみると、『利用したことがある』は40歳代で4割を超え、30歳代で4割近くと高くなっている。

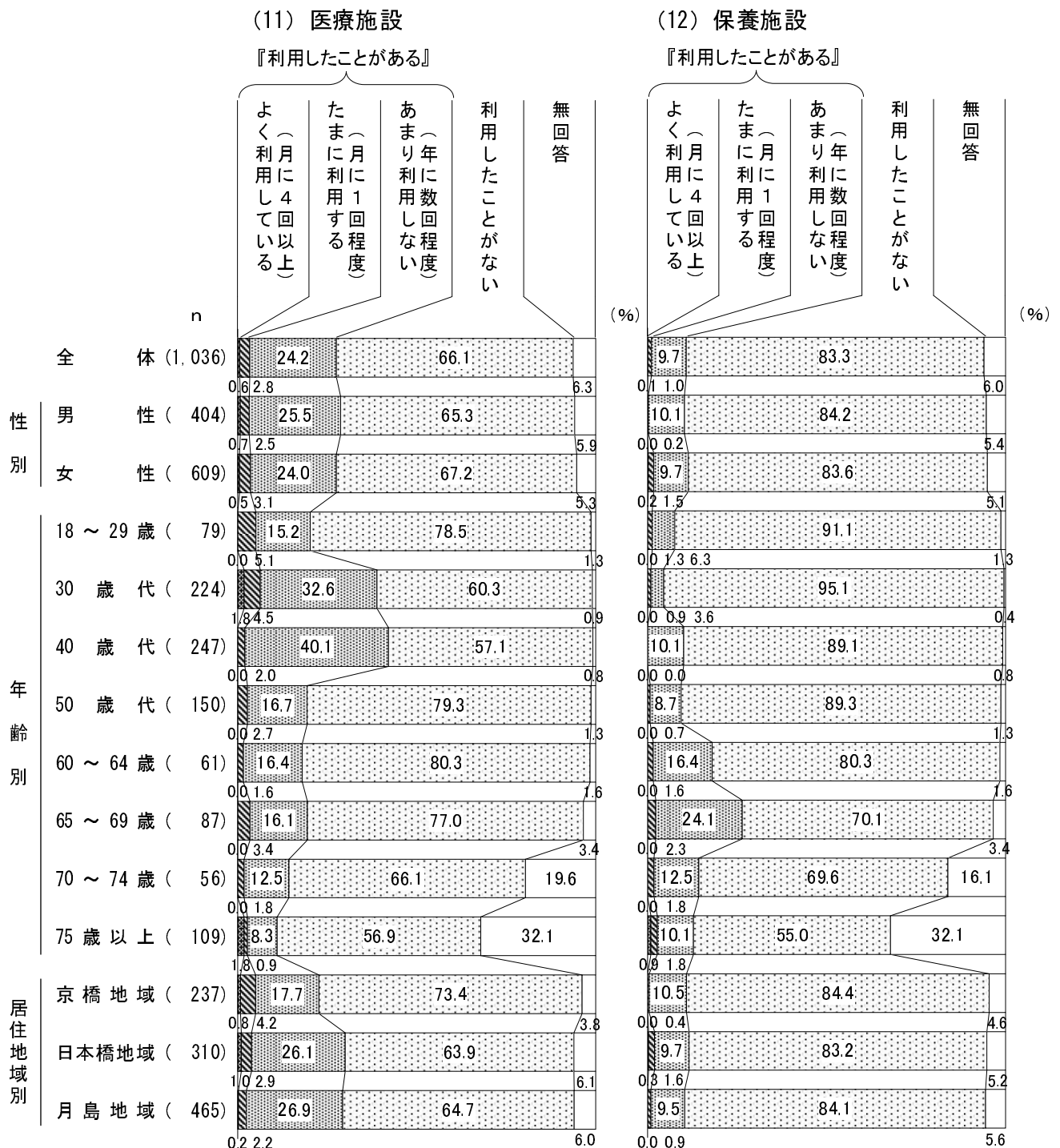
“医療施設”について居住地域別にみると、『利用したことがある』は日本橋地域で3割を超え、月島地域で3割近くと高くなっている。

“保養施設”について性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“保養施設”について年齢別にみると、『利用したことがある』は65～69歳で2割台半ばと高くなっている。

“保養施設”について居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表9-1-7)

図表9-1-7 区の施設の利用頻度－性別・年齢別・居住地域別



(2) 区の施設を利用したことがない理由

◇「利用する必要がないから」が全ての施設で最も高い

| 問25 また、あなたが、「4 利用したことがない」を選んだ施設について、その理由は何ですか。施設ごとに選んでください。(○はそれぞれ2つまで) | | | | | | | | | | | | | | (%) |
|---|-----|--------------------|--------------------------|------------------|-----------------------|---------------|----------------------|-------------------|-------------------|------------------|---------------------|--------------------|-----------|-----|
| | n | 1 利用したい施設ではないから | 2 利用したい施設ではあるが近くにないから | 3 利用時間が合わないから | 4 民間の施設の方が利用しやすいから | 5 清潔感がないから | 6 サービスが行き届いていないから | 7 職員の対応が良くないから | 8 施設が混み合っているから | 9 利用する必要がないから | 10 どこにあるか分からないから | 11 利用方法が分からないから | 12 その他 | 無回答 |
| (1) 地域・集会施設 | 672 | 15.8 | 0.9 | 4.5 | 0.6 | 0.4 | 0.4 | 0.3 | 0.7 | 61.2 | 8.0 | 12.2 | 3.4 | 2.7 |
| (2) 文化・学習施設 | 659 | 12.7 | 2.0 | 7.1 | 1.4 | 0.3 | 0.2 | 0.0 | 0.9 | 54.3 | 9.4 | 13.7 | 5.2 | 2.7 |
| (3) スポーツ施設 | 586 | 10.2 | 8.5 | 9.6 | 4.8 | 1.2 | 0.5 | 0.3 | 3.4 | 42.5 | 6.8 | 11.6 | 9.2 | 2.4 |
| (4) 運動場 | 782 | 14.3 | 3.6 | 5.2 | 0.9 | 0.1 | 0.0 | 0.3 | 1.9 | 57.3 | 7.3 | 8.7 | 4.5 | 3.1 |
| (5) 図書館 | 414 | 8.5 | 5.6 | 9.2 | 1.2 | 1.0 | 1.4 | 0.0 | 1.0 | 51.9 | 9.9 | 5.6 | 8.7 | 3.4 |
| (6) 公園 | 273 | 10.6 | 1.1 | 2.9 | 0.4 | 0.7 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 60.8 | 5.5 | 2.6 | 11.7 | 6.2 |
| (7) 中央区役所本庁舎、特別出張所 | 197 | 14.2 | 1.0 | 4.1 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 1.0 | 61.9 | 4.6 | 5.6 | 5.1 | 7.1 |
| (8) 高齢者福祉施設 | 877 | 12.8 | 0.3 | 1.3 | 0.1 | 0.0 | 0.1 | 0.2 | 0.7 | 74.2 | 4.1 | 3.0 | 4.7 | 1.9 |
| (9) 子育て支援施設 | 780 | 10.4 | 0.5 | 1.5 | 0.4 | 0.0 | 0.1 | 0.1 | 0.6 | 73.7 | 4.1 | 1.8 | 5.6 | 3.6 |
| (10) 保健施設 | 692 | 9.7 | 0.7 | 1.7 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.1 | 0.9 | 69.7 | 6.8 | 4.3 | 5.2 | 2.9 |
| (11) 医療施設 | 685 | 7.4 | 1.0 | 1.5 | 3.4 | 0.0 | 0.1 | 0.3 | 0.6 | 69.6 | 6.3 | 4.2 | 7.3 | 2.8 |
| (12) 保養施設 | 863 | 8.7 | 4.4 | 3.1 | 7.4 | 0.0 | 0.6 | 0.2 | 4.9 | 38.5 | 8.5 | 18.4 | 8.3 | 5.0 |

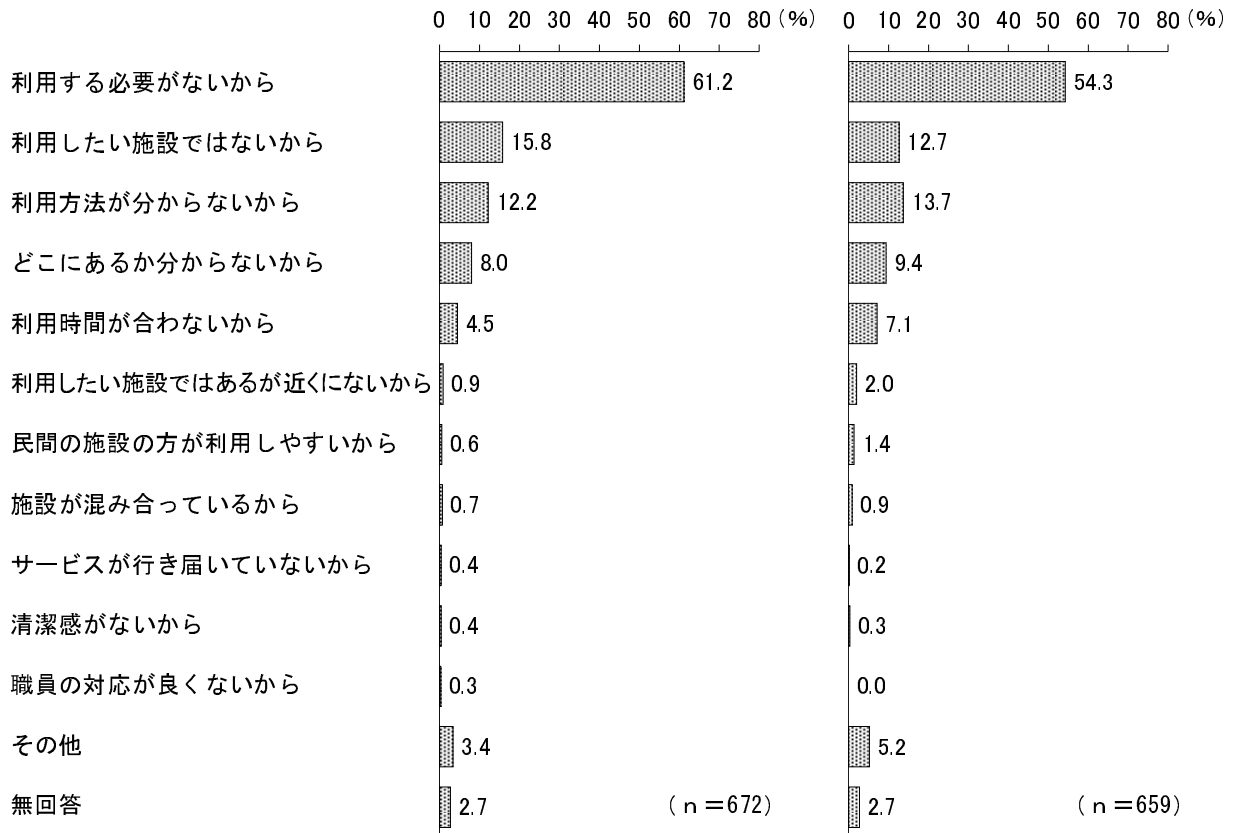
問25で、過去1年間に「利用したことがない」と答えた区の施設について、利用したことがない理由は、全ての施設で「利用する必要がないから」が最も高くなっており、特に(8)高齢者福祉施設(74.2%)では、7割台半ば、子育て支援施設(73.7%)は、7割を超え高くなっている。

「利用したい施設ではないから」は、12項目中8項目で「利用する必要がないから」に次いで高い理由となっているが、(2)文化・学習施設、(3)スポーツ施設、(12)保養施設では、「利用方法がわからないから」が「利用する必要がないから」に次いで高い理由となっている。また、(5)図書館では、「どこにあるか分からないから」が「利用する必要がないから」に次いで高い理由となっている。(図表9-2-1、図表9-2-2、図表9-2-3)

図表9-2-1 区の施設を利用したことがない理由（複数回答）

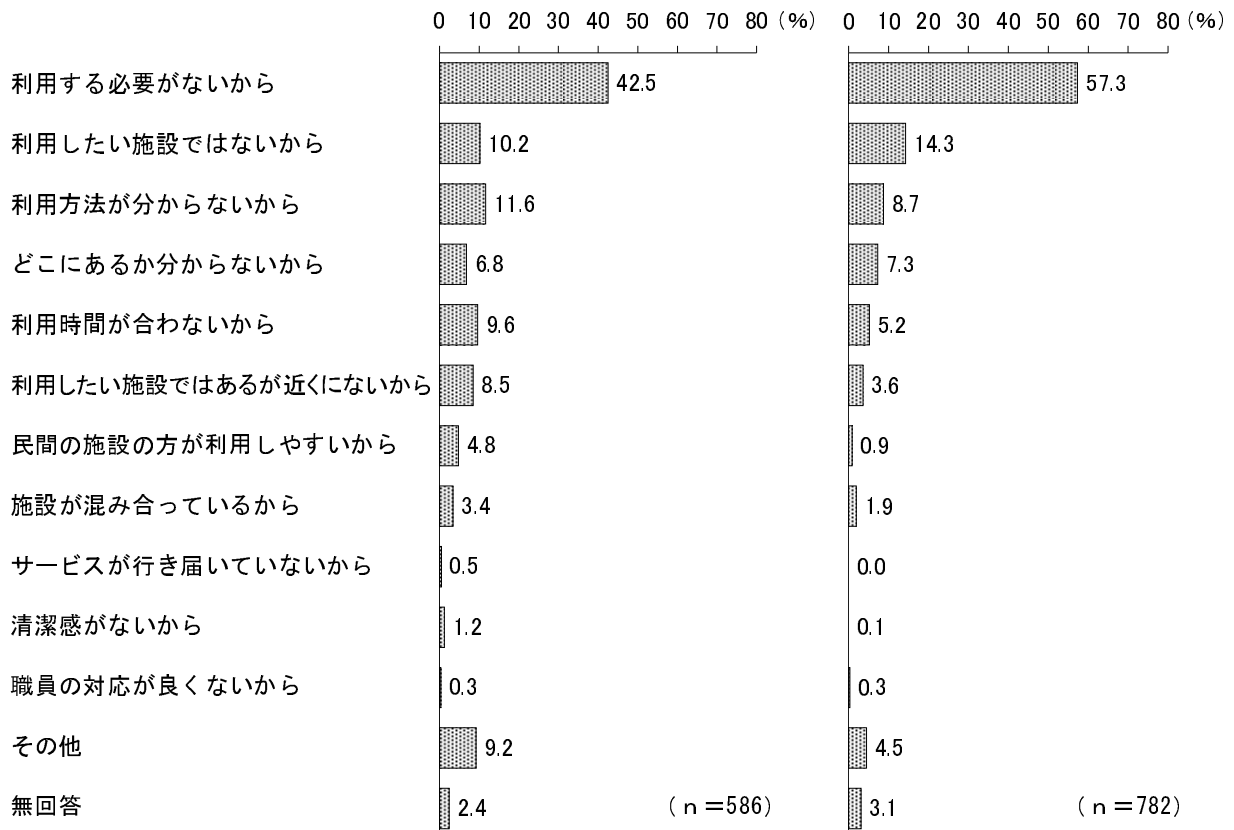
(1) 地域・集会施設

(2) 文化・学習施設

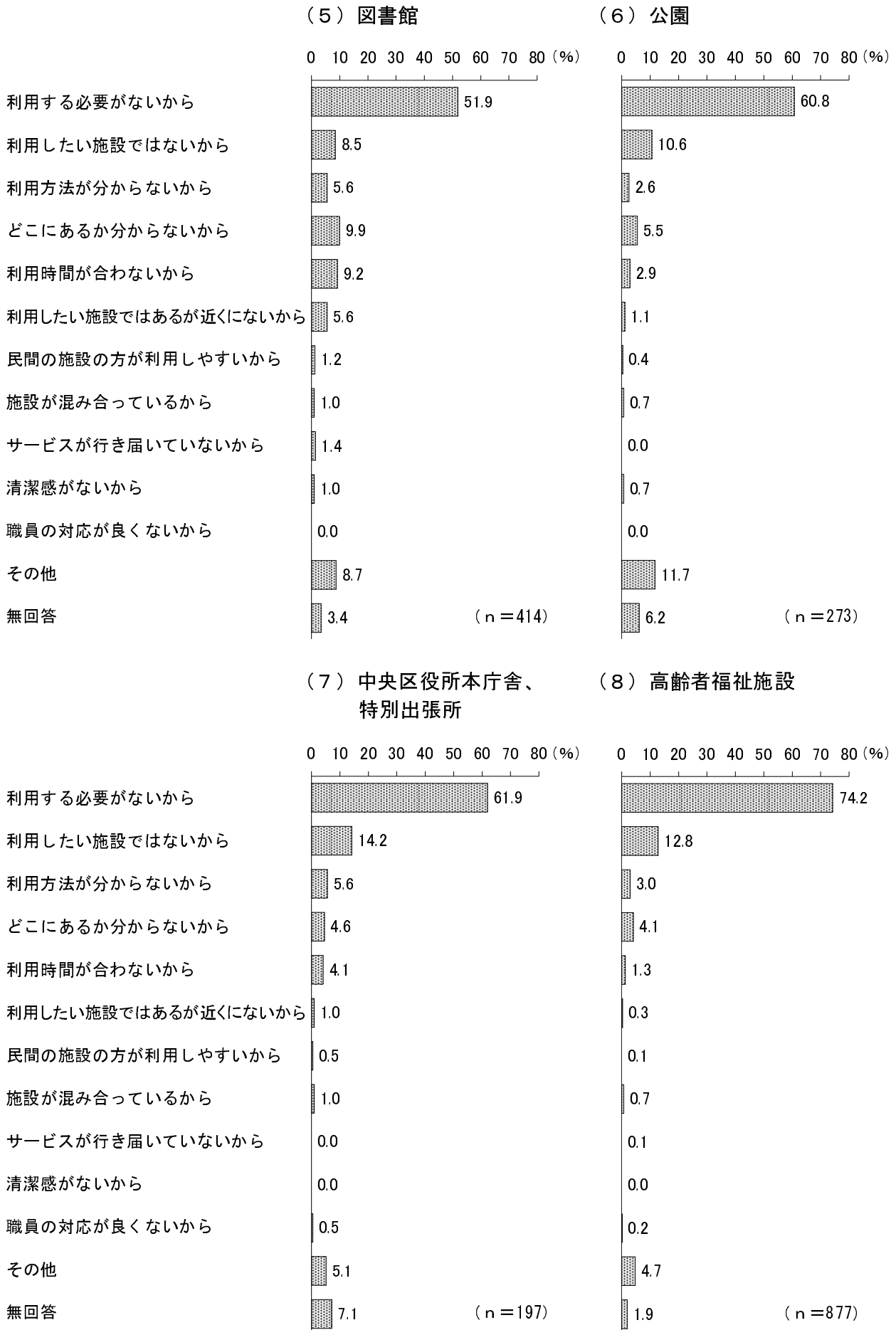


(3) スポーツ施設

(4) 運動場



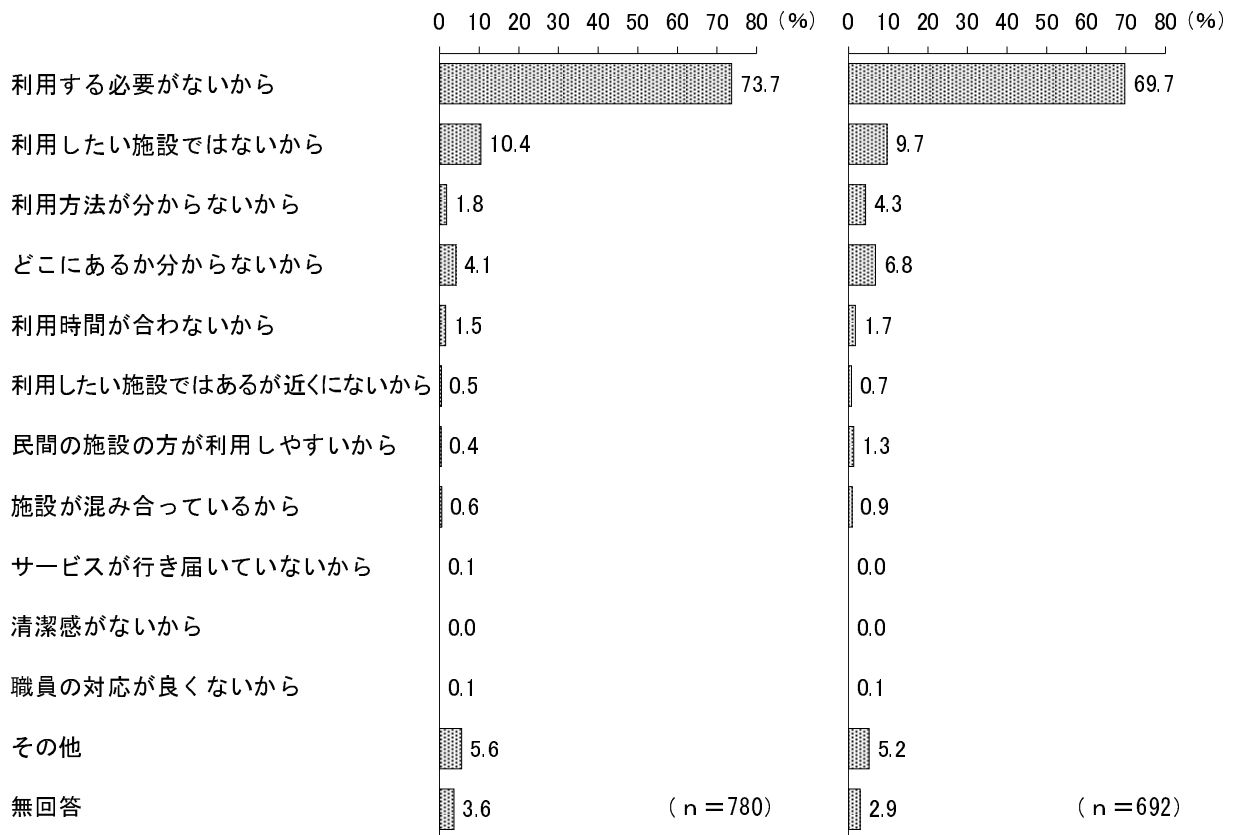
図表9-2-2 区の施設を利用したことがない理由（複数回答）



図表9-2-3 区の施設を利用したことがない理由（複数回答）

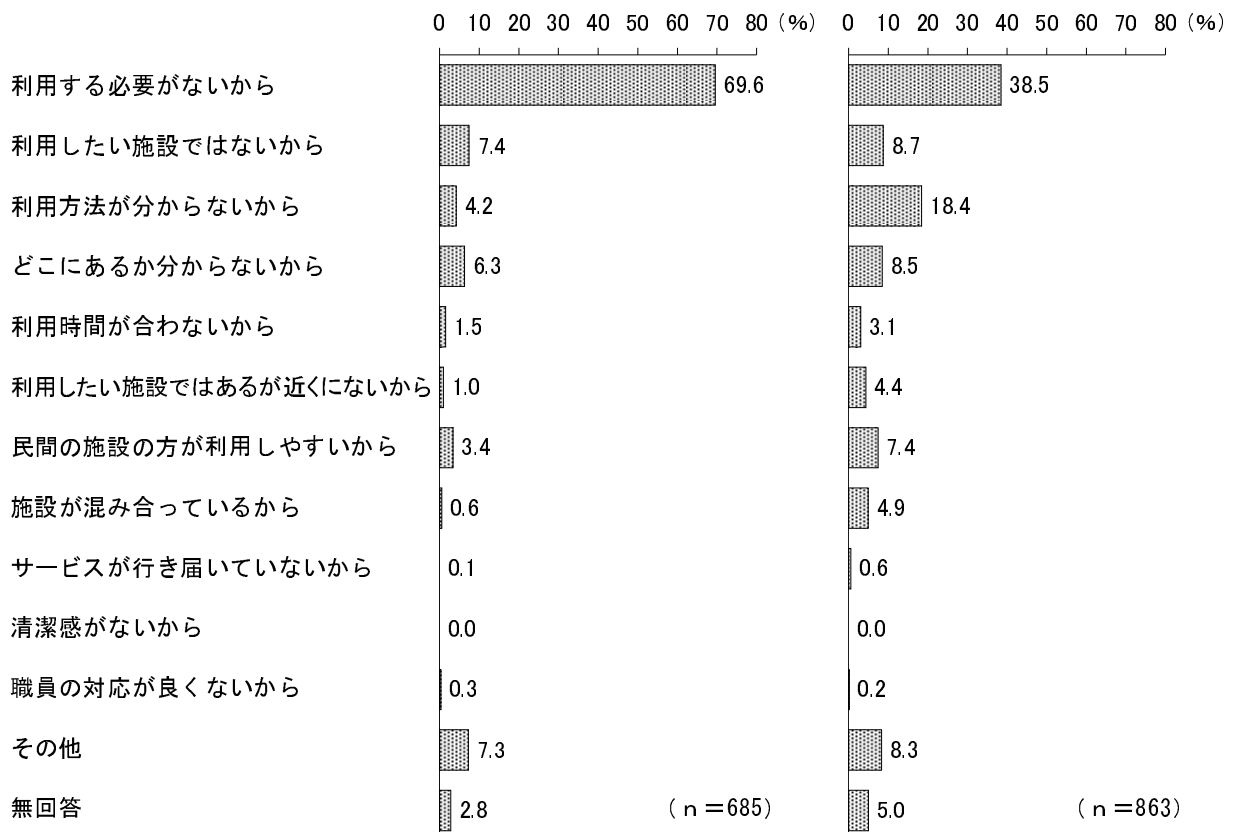
(9) 子育て支援施設

(10) 保健施設



(11) 医療施設

(12) 保養施設

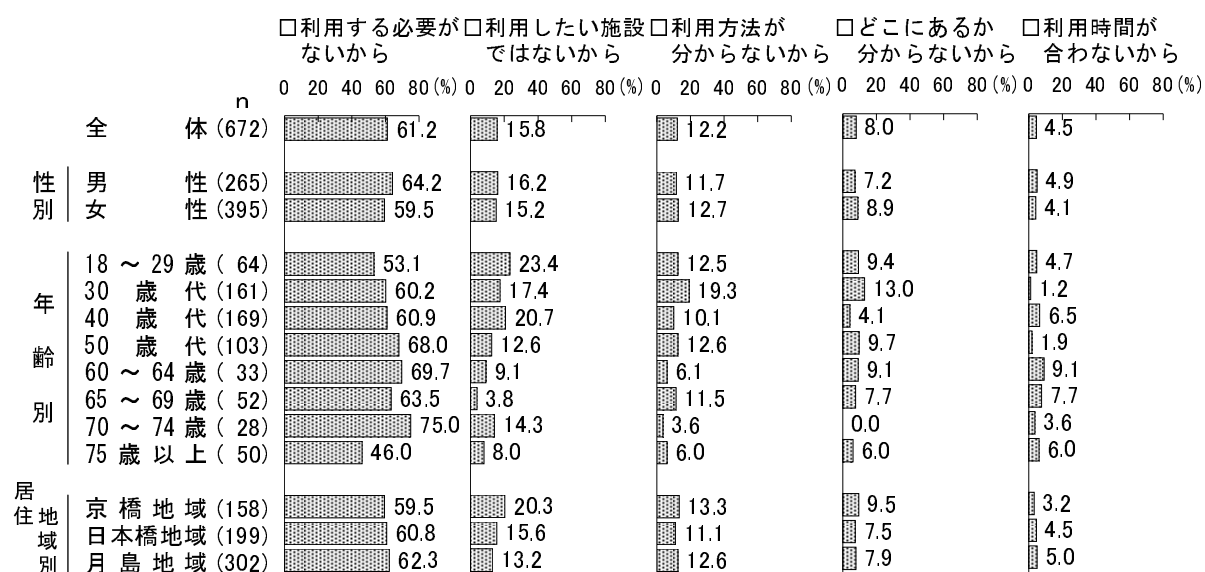


“地域・集会施設”について性別にみると、「利用する必要がないから」は男性の方が女性よりも4.7ポイント高くなっている。

“地域・集会施設”について年齢別にみると、「利用する必要がないから」は70～74歳で7割台半ばと高くなっている。「利用方法が分からないから」は30歳代で2割近くと高くなっている。

“地域・集会施設”について居住地域別にみると、「利用したい施設ではないから」は京橋地域で2割と高くなっている。(図表9-2-4)

図表9-2-4 区の施設を利用したことがない理由(1) 地域・集会施設
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

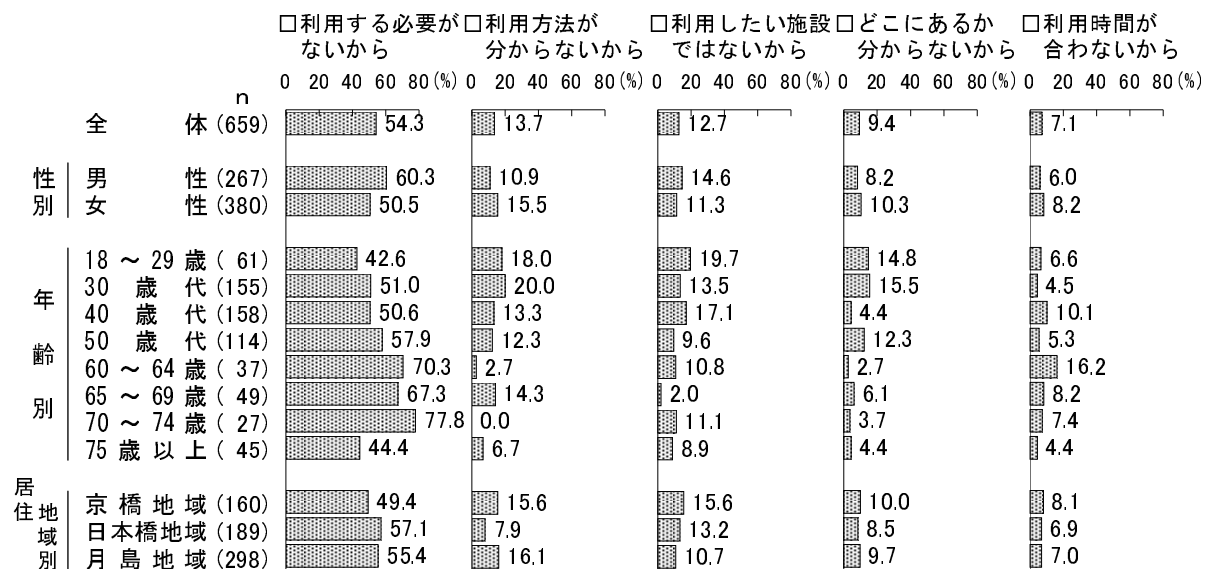


“文化・学習施設”について性別にみると、「利用する必要があるから」は男性の方が女性よりも9.8ポイント高くなっている。「利用方法が分からないから」は女性の方が男性よりも4.6ポイント高くなっている。

“文化・学習施設”について年齢別にみると、「利用する必要があるから」は70～74歳で8割近くと高くなっている。「利用方法が分からないから」は30歳代で2割、18～29歳で2割近くと高くなっている。

“文化・学習施設”について居住地域別にみると、「利用する必要があるから」は日本橋地域で6割近くと高くなっている。「利用方法が分からないから」は京橋地域と月島地域でともに1割台半ばと高くなっている。(図表9-2-5)

図表9-2-5 区の施設を利用したことがない理由(2)文化・学習施設
- 性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

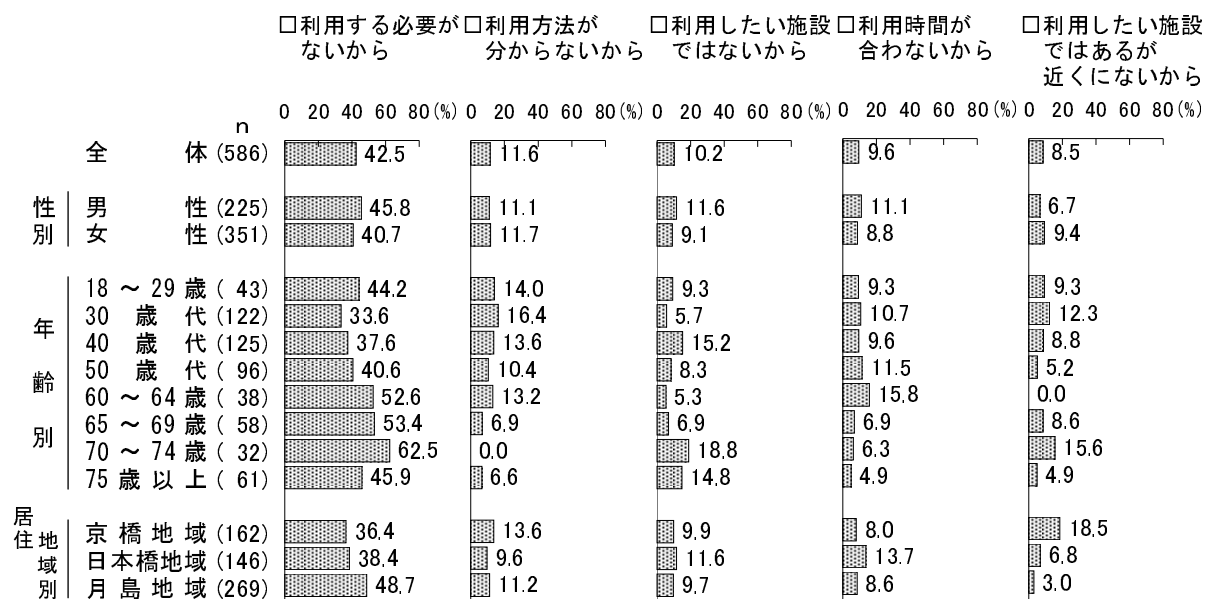


“スポーツ施設”について性別にみると、「利用する必要があるから」は男性の方が女性よりも5.1ポイント高くなっている。

“スポーツ施設”について年齢別にみると、「利用する必要があるから」は70～74歳で6割を超えて高くなっている。「利用したい施設ではないから」は70～74歳で2割近くと高くなっている。

“スポーツ施設”について居住地域別にみると、「利用する必要があるから」は月島地域で5割近くと高くなっている。「利用したい施設ではあるが近くにないから」は京橋地域で2割近くと高くなっている。(図表9-2-6)

図表9-2-6 区の施設を利用したことがない理由(3) スポーツ施設
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)



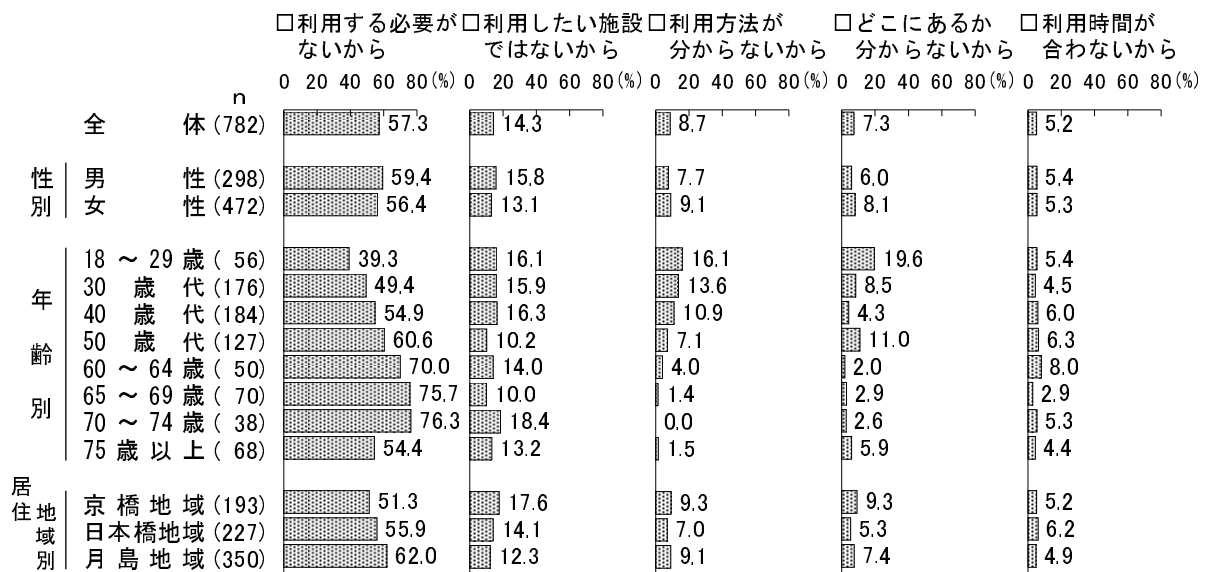
“運動場”について性別にみると、「利用する必要がないから」は男性の方が女性よりも3.0ポイント高くなっている。

“運動場”について年齢別にみると、「利用する必要がないから」は65～69歳と70～74歳でともに7割台半ばと高くなっている。「どこにあるか分からないから」は18～29歳で2割と高くなっている。

“運動場”について居住地域別にみると、「利用する必要がないから」は月島地域で6割を超えて高くなっている。「利用したい施設ではないから」は京橋地域で2割近くと高くなっている。

(図表9-2-7)

図表9-2-7 区の施設を利用したことがない理由(4) 運動場
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

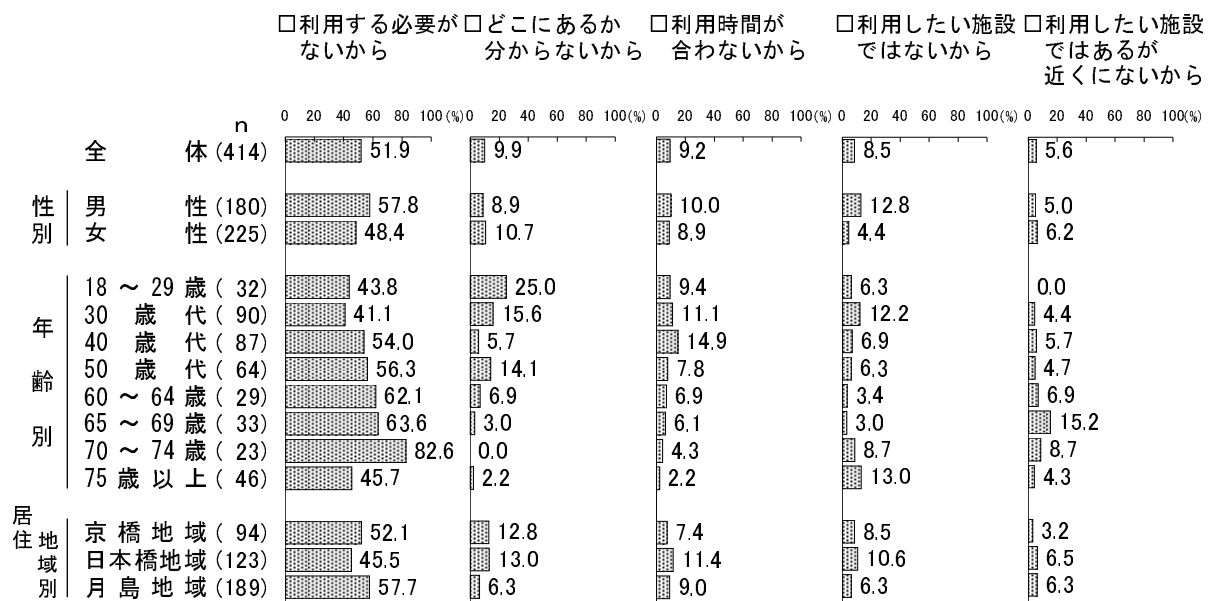


“図書館”について性別にみると、男性の方が女性よりも「利用する必要がないから」で9.4ポイント、「利用したい施設ではないから」で8.4ポイント、それぞれ高くなっている。

“図書館”について年齢別にみると、「利用する必要がないから」は70～74歳で8割を越えて高くなっている。「どこにあるか分からないから」は18～29歳で2割台半ばと高くなっている。

“図書館”について居住地域別にみると、「利用する必要がないから」は月島地域で6割近くと高くなっている。「どこにあるか分からないから」は京橋地域と日本橋地域でともに1割を超えて高くなっている。(図表9-2-8)

図表9-2-8 区の施設を利用したことがない理由(5) 図書館
- 性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

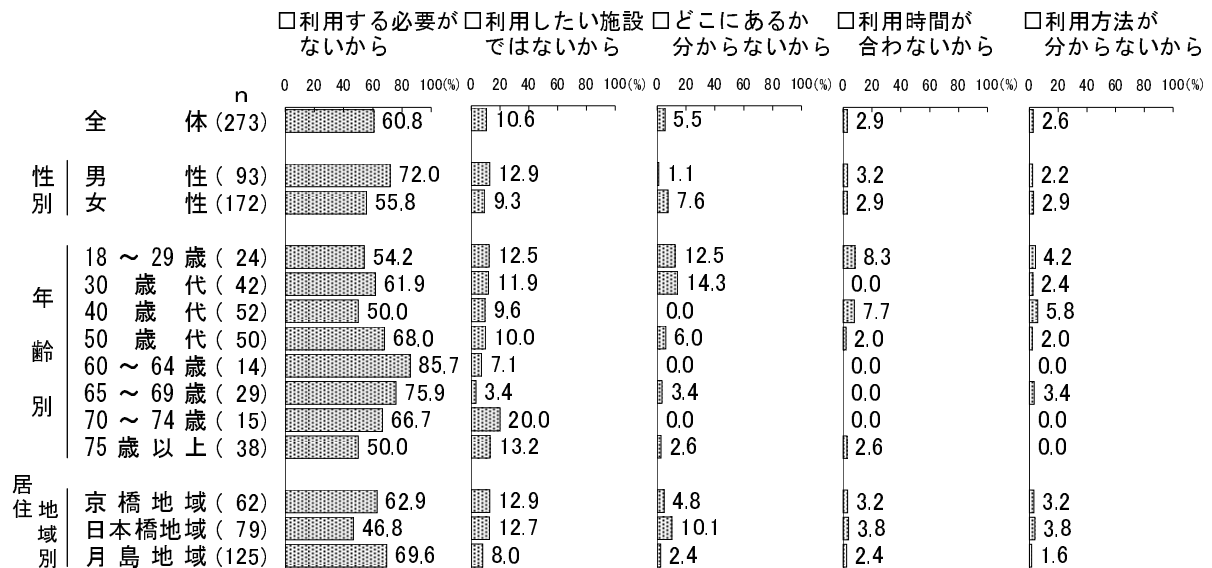


“公園”について性別にみると、「利用する必要があるから」は男性の方が女性よりも16.2ポイント高くなっている。「どこにあるか分からないから」は女性の方が男性よりも6.5ポイント高くなっている。

“公園”について年齢別にみると、「利用する必要があるから」は60～64歳で8割台半ばと高くなっている。「利用したい施設ではないから」は70～74歳で2割と高くなっている。

“公園”について居住地別にみると、「利用する必要があるから」は月島地域で7割と高くなっている。「利用したい施設ではないから」は京橋地域と日本橋地域でともに1割を超えて高くなっている。(図表9-2-9)

図表9-2-9 区の施設を利用したことがない理由(6)公園
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

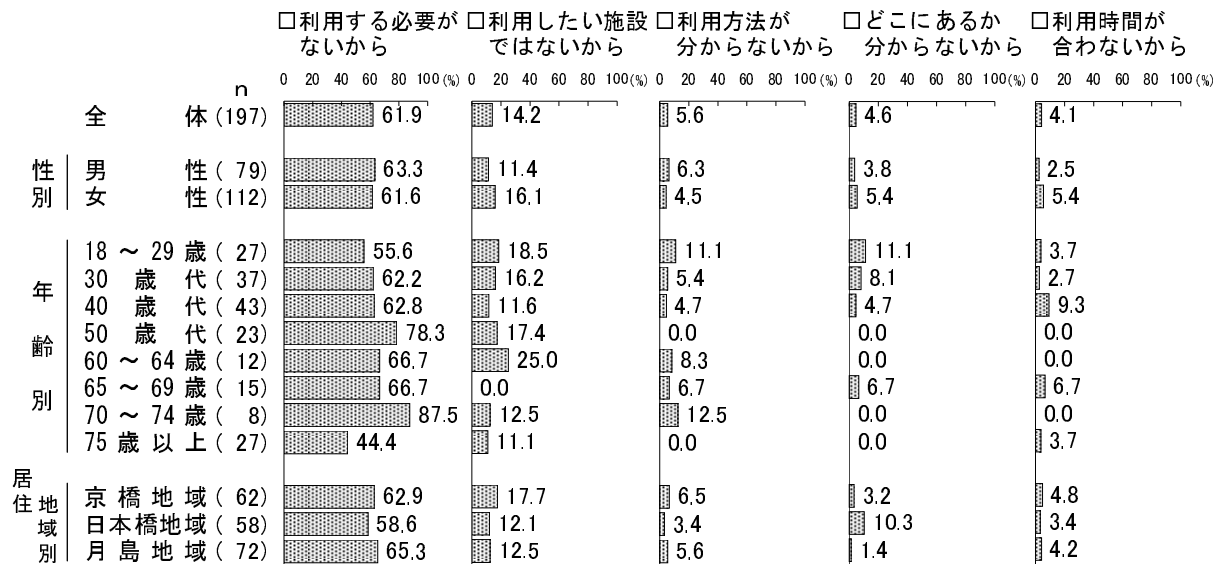


“中央区役所本庁舎、特別出張所”について性別にみると、「利用したい施設ではないから」は女性の方が男性よりも4.7ポイント高くなっている。

“中央区役所本庁舎、特別出張所”について年齢別にみると、「利用する必要がないから」は70～74歳で9割近くと高くなっている。「利用したい施設ではないから」は60～64歳で2割台半ばと高くなっている。

“中央区役所本庁舎、特別出張所”について居住地別にみると、「利用する必要がないから」は月島地域で6割台半ばと高くなっている。「利用したい施設ではないから」は京橋地域で2割近くと高くなっている。(図表9-2-10)

図表9-2-10 区の施設を利用したことがない理由(7) 中央区役所本庁舎、特別出張所
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

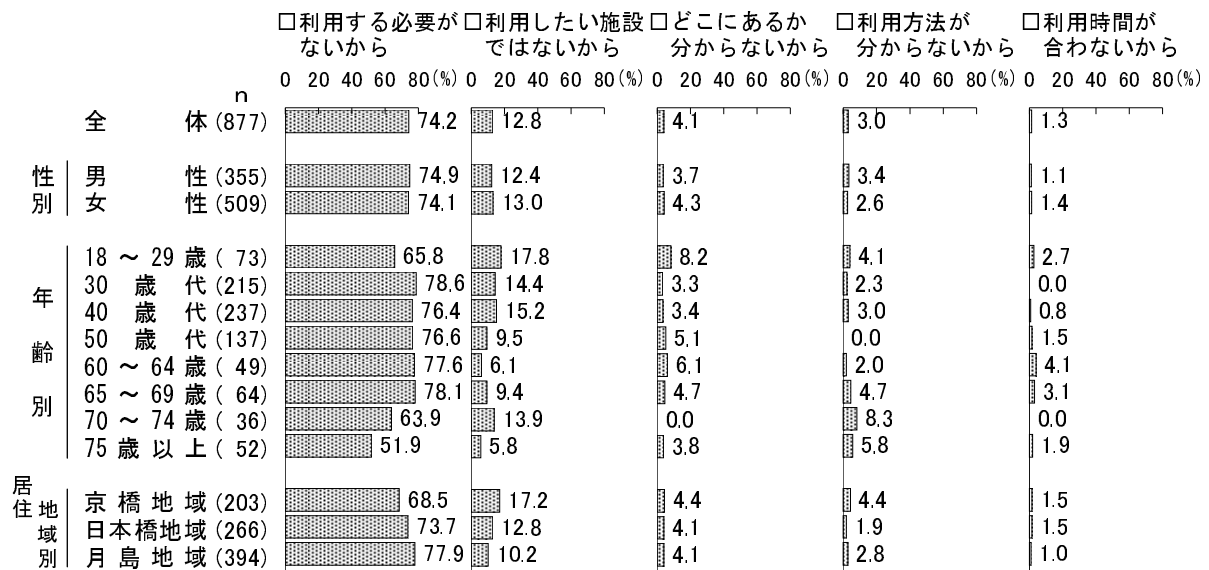


“高齢者福祉施設”について性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“高齢者福祉施設”について年齢別にみると、「利用する必要がないから」は30歳代から65～69歳までの年代でいずれも7割台半ばから8割近くと高くなっている。「利用したい施設ではないから」は18～29歳で2割近くと高くなっている。

“高齢者福祉施設”について居住地域別にみると、「利用する必要がないから」は月島地域で8割近くと高くなっている。「利用したい施設ではないから」は京橋地域で2割近くと高くなっている。(図表9-2-11)

図表9-2-11 区の施設を利用したことがない理由(8) 高齢者福祉施設
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

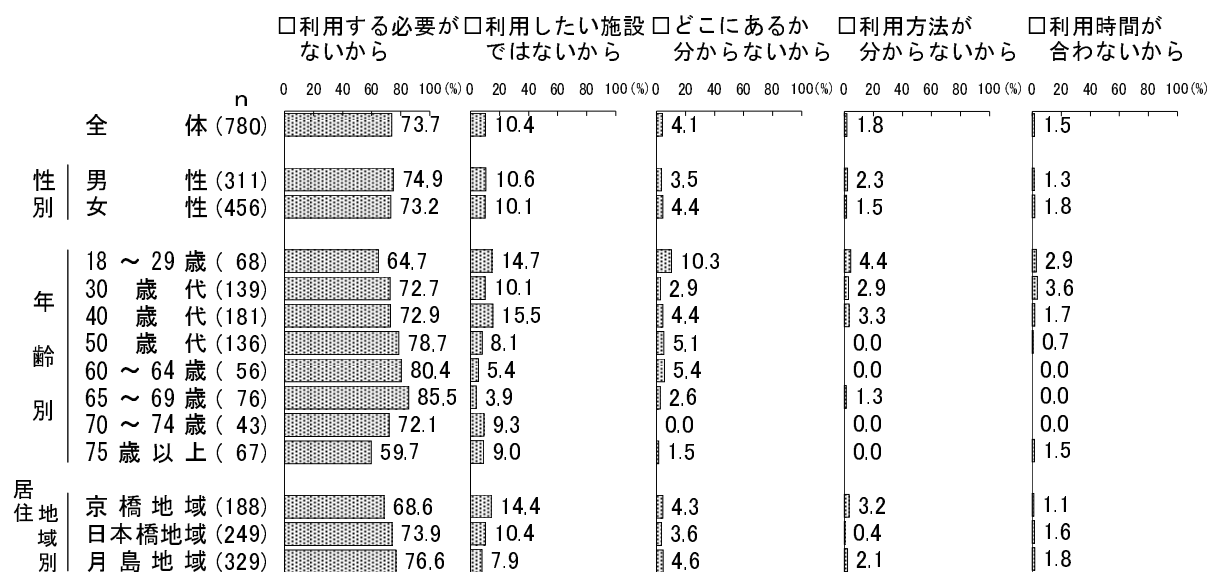


“子育て支援施設”について性別にみると、大きな傾向の違いはみられない。

“子育て支援施設”について年齢別にみると、「利用する必要がないから」は65～69歳で8割台半ばと高くなっている。「利用したい施設ではないから」は18～29歳と40歳代でともに1割台半ばと高くなっている。

“子育て支援施設”について居住地域別にみると、「利用する必要がないから」は月島地域で8割近くと高くなっている。「利用したい施設ではないから」は京橋地域で1割台半ばと高くなっている。(図表9-2-12)

図表9-2-12 区の施設を利用したことがない理由(9) 子育て支援施設
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

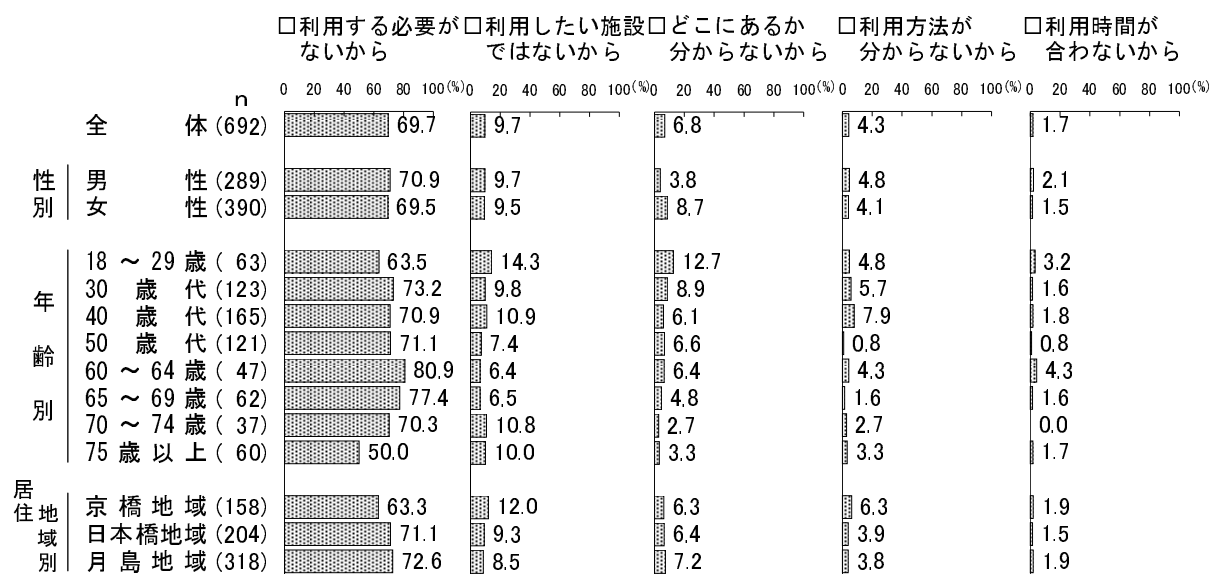


“保健施設”について性別にみると、「どこにあるか分からないから」は女性の方が男性よりも4.9ポイント高くなっている。

“保健施設”について年齢別にみると、「利用する必要があるから」は60～64歳で約8割と高くなっている。「利用したい施設ではないから」は18～29歳で1割台半ばと高くなっている。

“保健施設”について居住地別にみると、「利用する必要があるから」は日本橋地域と月島地域でともに7割を超えて高くなっている。「利用したい施設ではないから」は京橋地域で1割を超えて高くなっている。(図表9-2-13)

図表9-2-13 区の施設を利用したことがない理由(10) 保健施設
—性別・年齢別・居住地別(上位5項目)

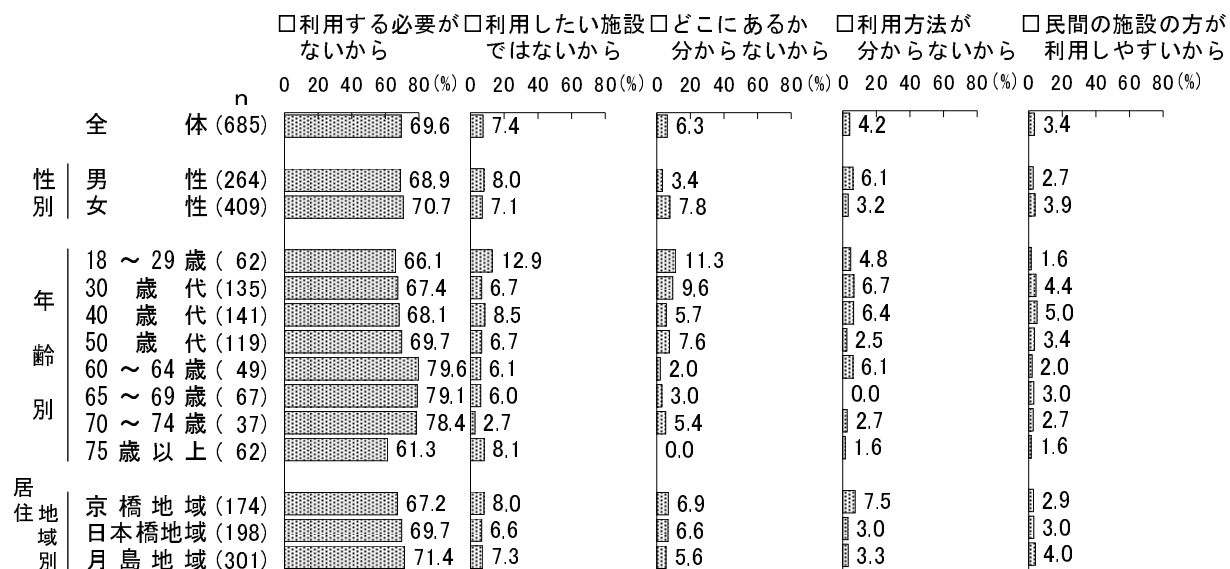


“医療施設”について性別にみると、「どこにあるか分からないから」は女性の方が男性よりも4.4ポイント高くなっている。

“医療施設”について年齢別にみると、「利用する必要がないから」は60～64歳、65～69歳、70～74歳でいずれも8割程度と高くなっている。「利用したい施設ではないから」は18～29歳で1割を超えて高くなっている。

“医療施設”について居住地域別にみると、大きな傾向の違いはみられない。(図表9-2-14)

図表9-2-14 区の施設を利用したことがない理由(11) 医療施設
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)

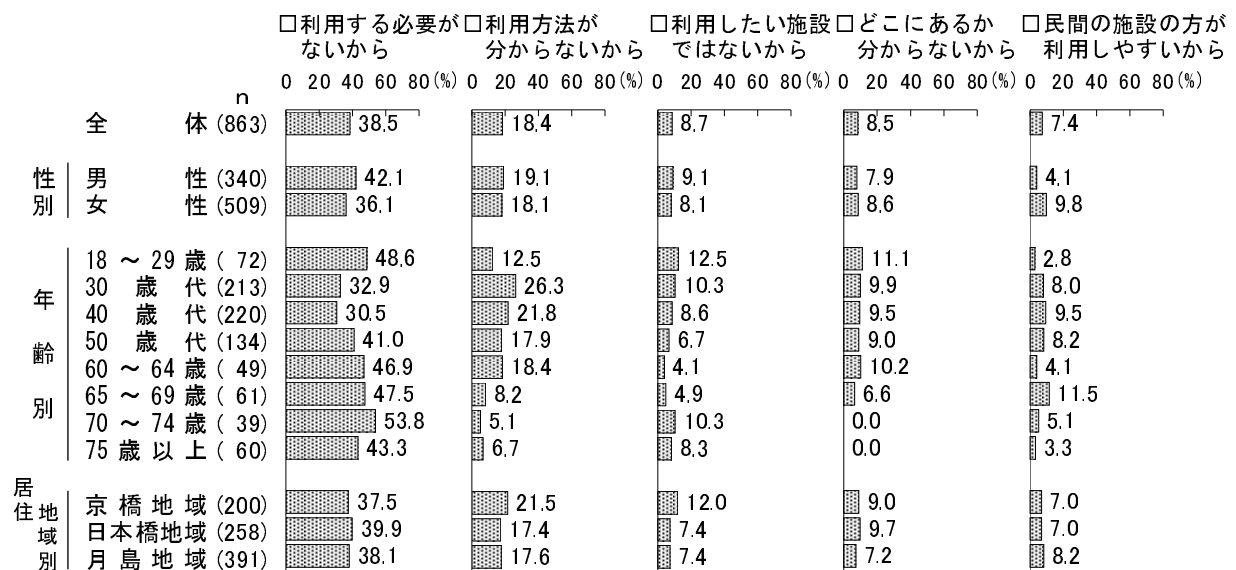


“保養施設”について性別にみると、「利用する必要がないから」は男性の方が女性よりも6.0ポイント高くなっている。「民間の施設の方が利用しやすいから」は女性の方が男性よりも5.7ポイント高くなっている。

“保養施設”について年齢別にみると、「利用する必要がないから」は70～74歳で5割を超えて高くなっている。「利用方法が分からないから」は30歳代で2割台半ばと高くなっている。

“保養施設”について居住地域別にみると、「利用方法が分からないから」は京橋地域で2割を超えて高くなっている。(図表9-2-15)

図表9-2-15 区の施設を利用したことがない理由(12) 保養施設
—性別・年齢別・居住地域別(上位5項目)



(3) 現在不足していると思う公共施設

◇「スポーツ施設」、「子育て支援施設」、「高齢者福祉施設」が1割台半ば

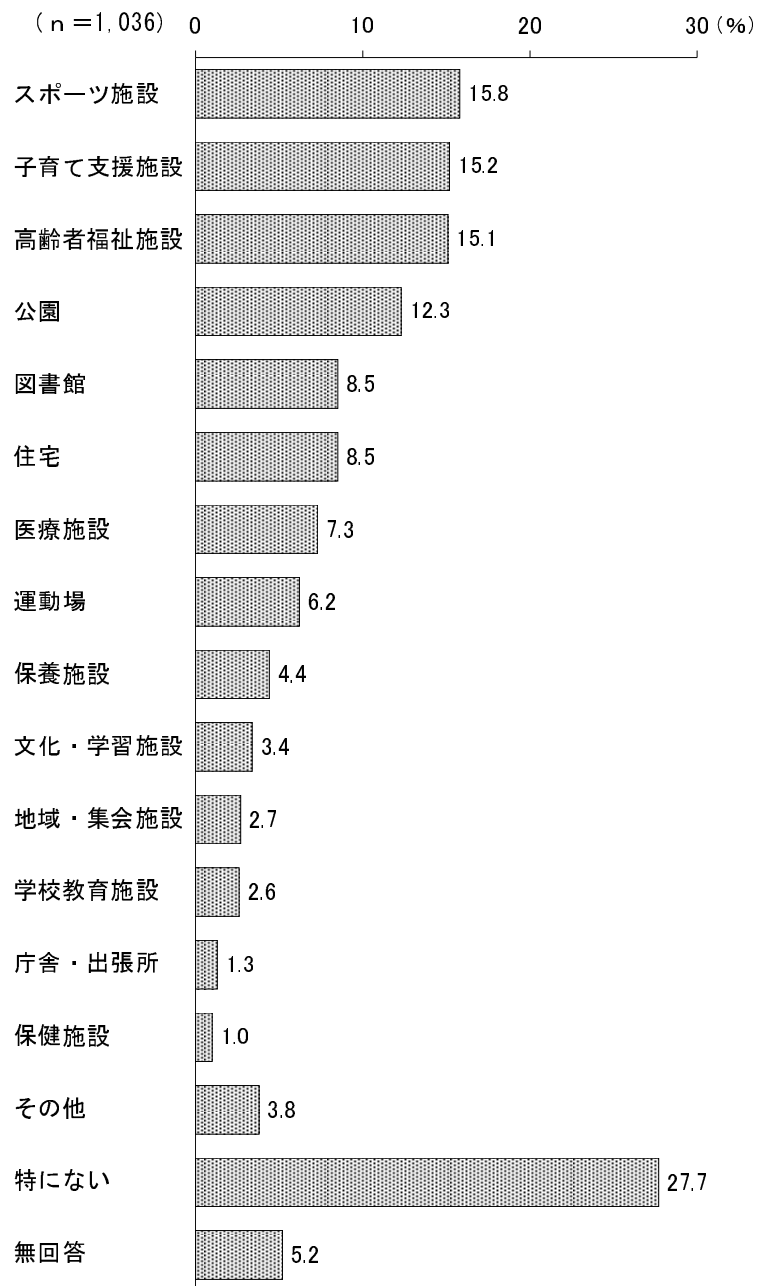
問26 あなたが今、不足していると思う施設は何ですか。(○は2つまで)

n = 1,036

| | | |
|----|--------------------------------------|------|
| 1 | 地域・集会施設（区民館・コミュニティルームなど） | 2.7% |
| 2 | 文化・学習施設（公会堂・社会教育会館など） | 3.4 |
| 3 | スポーツ施設（スポーツセンターなど） | 15.8 |
| 4 | 運動場 | 6.2 |
| 5 | 図書館 | 8.5 |
| 6 | 公園 | 12.3 |
| 7 | 庁舎・出張所 | 1.3 |
| 8 | 高齢者福祉施設（おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど） | 15.1 |
| 9 | 子育て支援施設（児童館・保育園など） | 15.2 |
| 10 | 保健施設（保健所・保健センターなど） | 1.0 |
| 11 | 医療施設（休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局など） | 7.3 |
| 12 | 保養施設 | 4.4 |
| 13 | 学校教育施設 | 2.6 |
| 14 | 住宅 | 8.5 |
| 15 | その他 | 3.8 |
| 16 | 特にない | 27.7 |
| | (無回答) | 5.2 |

現在不足していると思う施設は、「特にない」(27.7%)が3割近くと最も高く、次いで、「スポーツ施設(スポーツセンターなど)」(15.8%)、「子育て支援施設(児童館・保育園など)」(15.2%)、「高齢者福祉施設(おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど)」(15.1%)がいずれも1割台半ばで高くなっている。次いで、「公園」(12.3%)、「図書館」(8.5%)、「住宅」(8.5%)などとなっている。(図表9-3-1)

図表9-3-1 現在不足していると思う公共施設（複数回答）



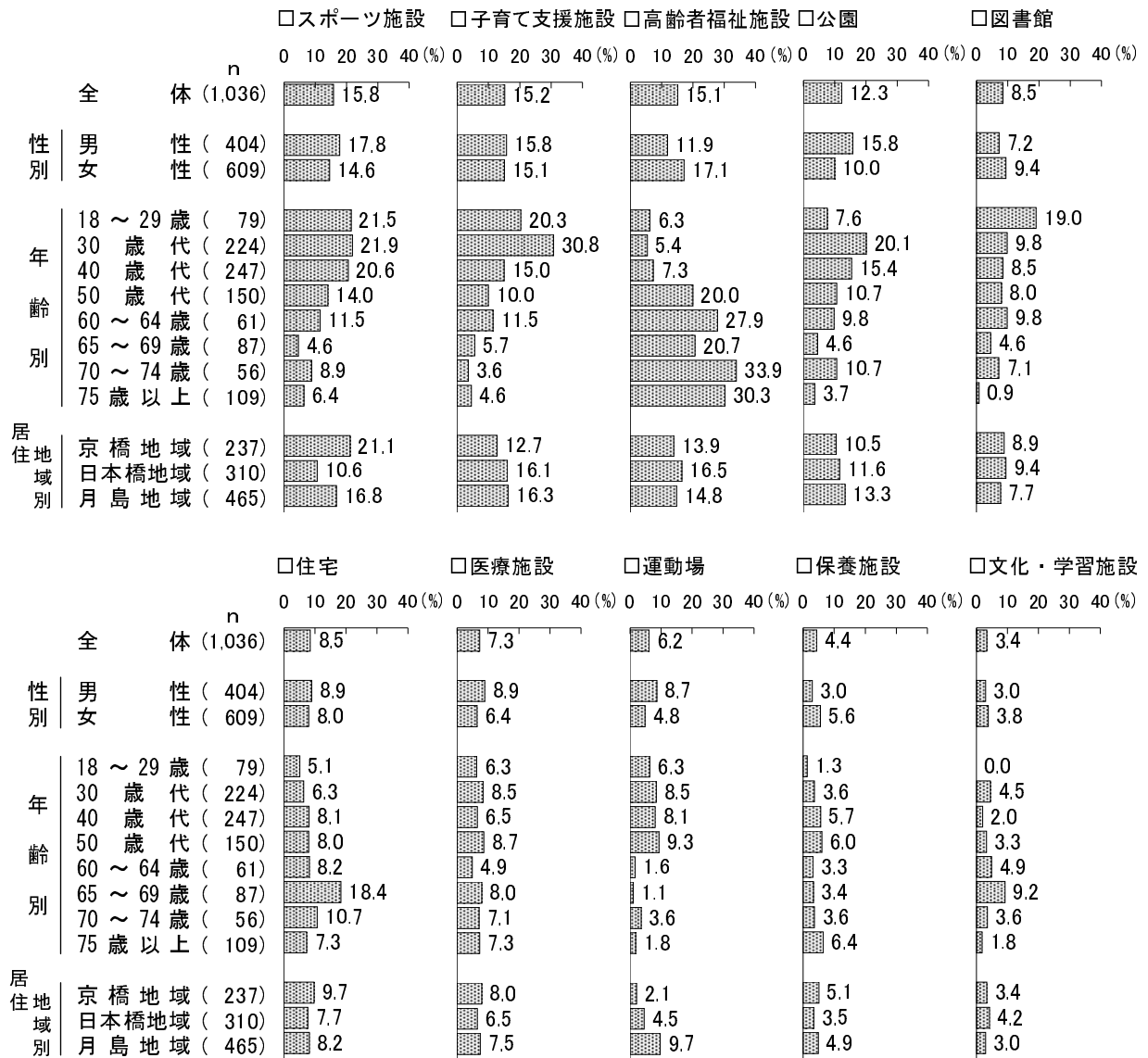
性別でみると、「高齢者福祉施設」は女性の方が男性よりも5.2ポイント高くなっている。一方、「公園」は男性の方が女性よりも5.8ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「子育て支援施設」は30歳代で約3割と高くなっている。「高齢者福祉施設」は50歳代、60～64歳、65～69歳でいずれも2割を超え、70～74歳と75歳以上ではともに3割を超えている。「公園」は30歳代で2割と高くなっている。「図書館」は18～29歳で約2割と高くなっている。「住宅」は65～69歳で2割近くと高くなっている。

居住地域別でみると、「スポーツ施設」は京橋地域で2割を超えて高くなっている。

(図表9-3-2)

図表9-3-2 現在不足していると思う公共施設一性別・年齢別・居住地域別（上位10項目）



(4) 将来不足すると思う公共施設

◇「高齢者福祉施設」が5割台半ば

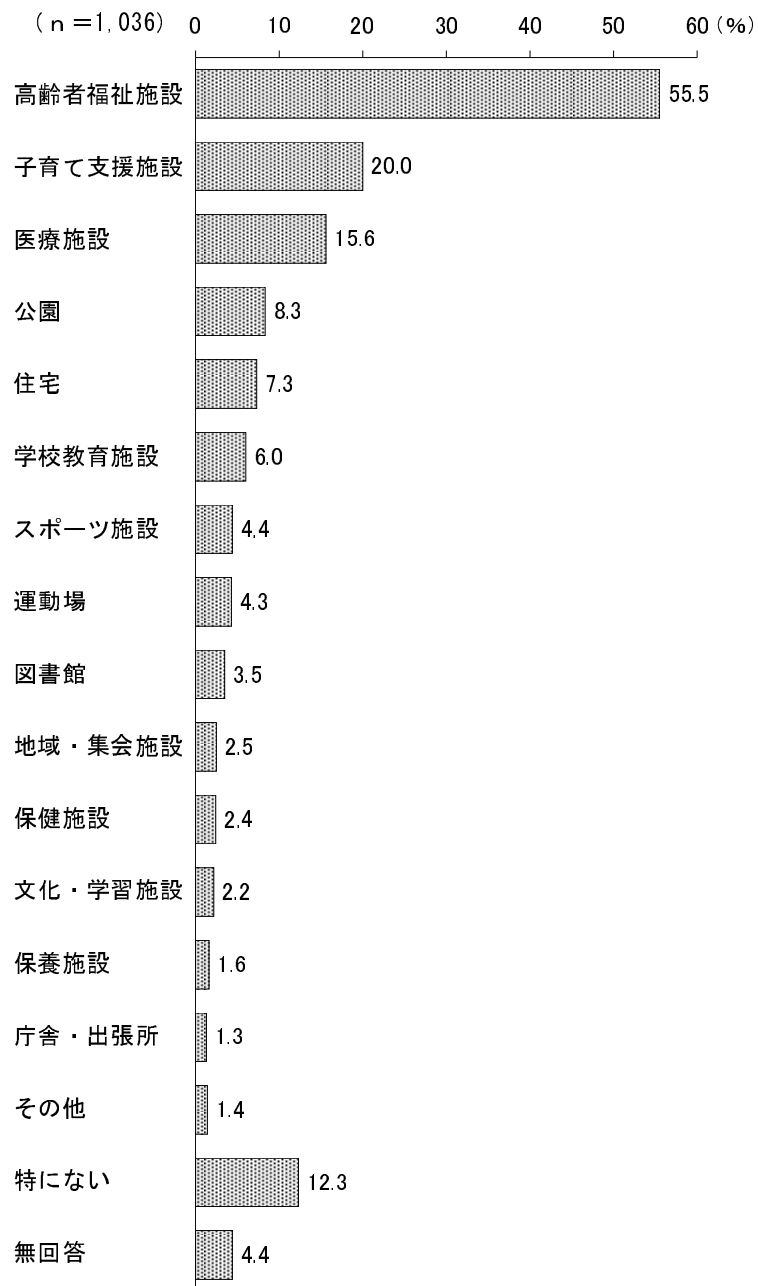
問27 あなたが将来（10年程度先）、不足すると思う施設は何ですか。（○は2つまで）

n = 1,036

| | | |
|----|--------------------------------------|-------------|
| 1 | 地域・集会施設（区民館・コミュニティルームなど） | 2.5% |
| 2 | 文化・学習施設（公会堂・社会教育会館など） | 2.2 |
| 3 | スポーツ施設（スポーツセンターなど） | 4.4 |
| 4 | 運動場 | 4.3 |
| 5 | 図書館 | 3.5 |
| 6 | 公園 | 8.3 |
| 7 | 庁舎・出張所 | 1.3 |
| 8 | 高齢者福祉施設（おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど） | 55.5 |
| 9 | 子育て支援施設（児童館・保育園など） | 20.0 |
| 10 | 保健施設（保健所・保健センターなど） | 2.4 |
| 11 | 医療施設（休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局など） | 15.6 |
| 12 | 保養施設 | 1.6 |
| 13 | 学校教育施設 | 6.0 |
| 14 | 住宅 | 7.3 |
| 15 | その他 | 1.4 |
| 16 | 特にない (無回答) | 12.3 4.4 |

10年程度先の将来不足すると思う施設は、「高齢者福祉施設（おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど）」（55.5%）が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「子育て支援施設（児童館・保育園など）」（20.0%）、「医療施設（休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局など）」（15.6%）、「公園」（8.3%）、「住宅」（7.3%）などとなっている。一方、「特にない」（12.3%）は1割を超えている。（図表9-4-1）

図表9-4-1 将来不足すると思う公共施設（複数回答）

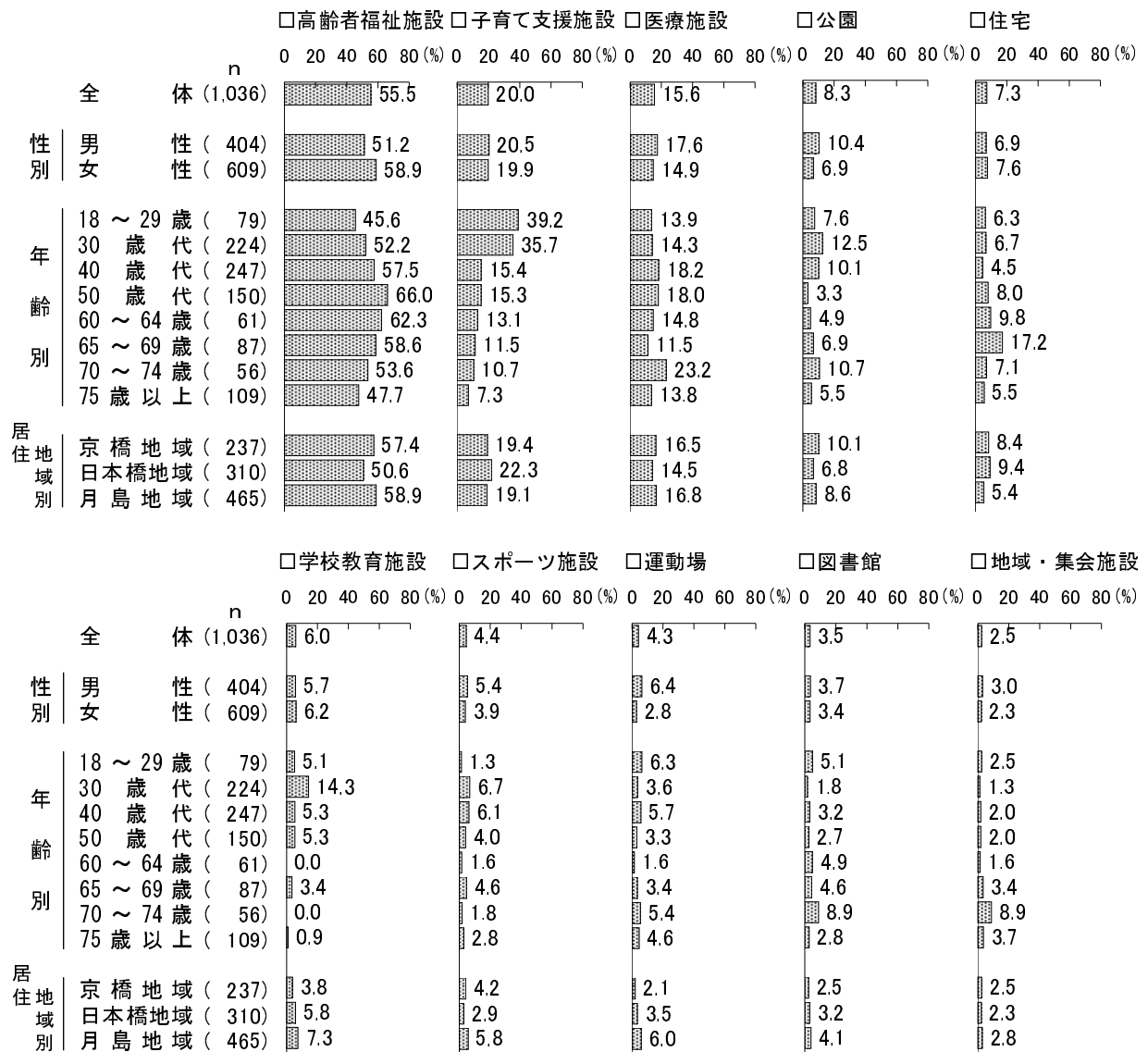


性別でみると、「高齢者福祉施設」は女性の方が男性よりも7.7ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「高齢者福祉施設」は全ての世代で4割台半ばを超え、特に50歳代で6割台半ばと最も高くなっている。「子育て支援施設」は18～29歳で約4割、30歳代で3割台半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「高齢者福祉施設」は月島地域と京橋地域でともに6割近くと高くなっている。(図表9-4-2)

図表9-4-2 将来不足と思う公共施設—性別・年齢別・居住地域別（上位10項目）



【10 スポーツ】

(1) 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類

◇「ウォーキング、散歩」が6割近く

問28 あなたがこの1年間に行ったスポーツや運動は何ですか。(○はいくつでも)

(※) 運動の量や時間の条件はありません。

n = 1,036

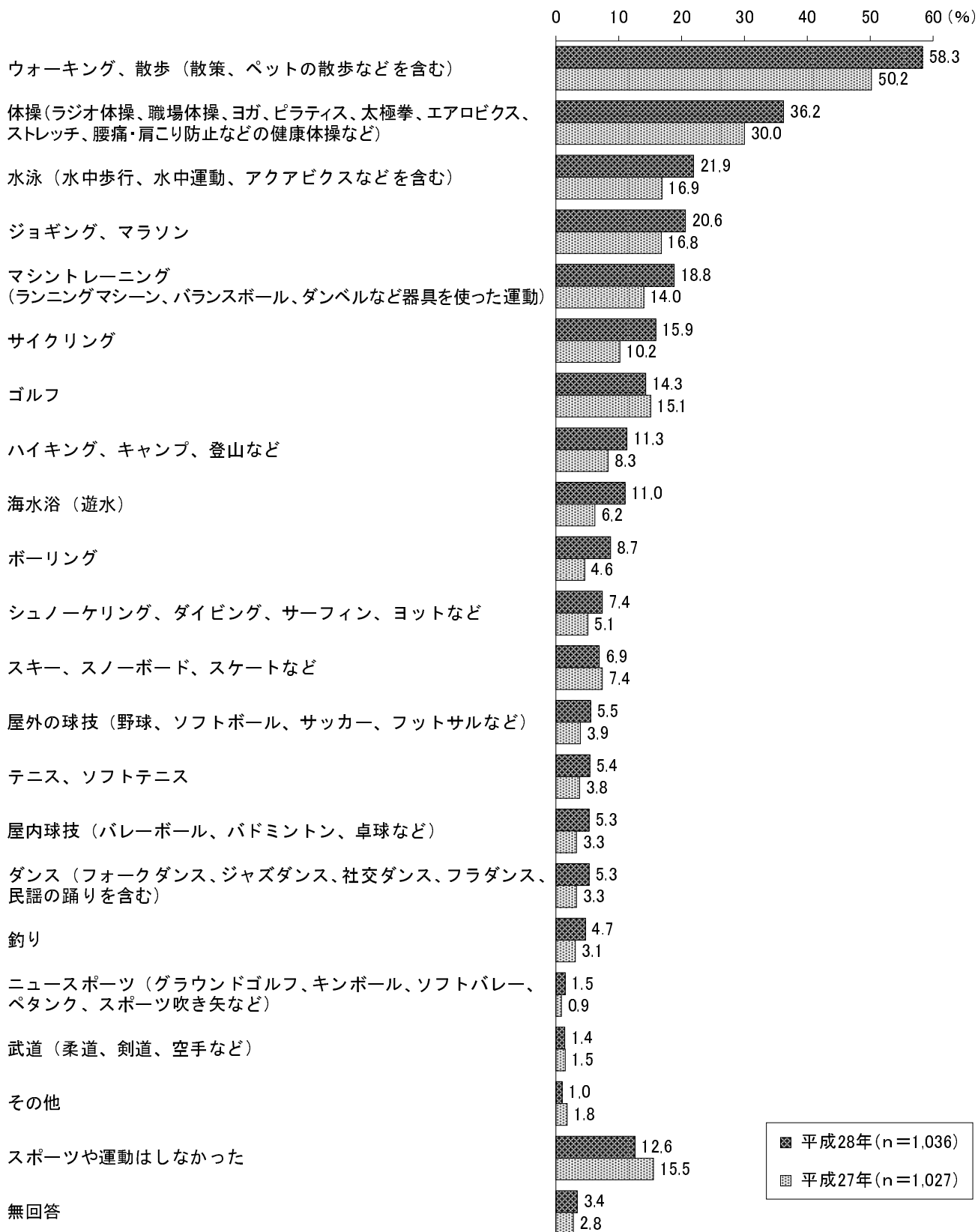
| | | |
|----|---|-------------|
| 1 | 水泳 (水中歩行、水中運動、アクアビクスなどを含む) | 21.9% |
| 2 | 体操 (ラジオ体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、太極拳、エアロビクス、ストレッチ、腰痛・肩こり防止などの健康体操など) | 36.2 |
| 3 | ジョギング、マラソン | 20.6 |
| 4 | ウォーキング、散歩 (散策、ペットの散歩などを含む) | 58.3 |
| 5 | マシントレーニング (ランニングマシン、バランスボール、ダンベルなど器具を使った運動) | 18.8 |
| 6 | 武道 (柔道、剣道、空手など) | 1.4 |
| 7 | テニス、ソフトテニス | 5.4 |
| 8 | 屋内球技 (バレーボール、バドミントン、卓球など) | 5.3 |
| 9 | 屋外の球技 (野球、ソフトボール、サッカー、フットサルなど) | 5.5 |
| 10 | ゴルフ | 14.3 |
| 11 | ハイキング、キャンプ、登山など | 11.3 |
| 12 | スキー、スノーボード、スケートなど | 6.9 |
| 13 | 海水浴 (遊水) | 11.0 |
| 14 | シュノーケリング、ダイビング、サーフィン、ヨットなど | 7.4 |
| 15 | 釣り | 4.7 |
| 16 | ボーリング | 8.7 |
| 17 | サイクリング | 15.9 |
| 18 | ニュースポーツ (グラウンドゴルフ、キンボール、ソフトバレー、ペタンク、スポーツ吹き矢など) | 1.5 |
| 19 | ダンス (フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、民謡の踊りを含む) | 5.3 |
| 20 | その他 | 1.0 |
| 21 | スポーツや運動はしなかった (無回答) | 12.6 3.4 |

過去1年間に行ったスポーツや運動の種類は、「ウォーキング、散歩 (散策、ペットの散歩などを含む)」(58.3%) が6割近くで最も高くなっている。次いで、「体操 (ラジオ体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、太極拳、エアロビクス、ストレッチ、腰痛・肩こり防止などの健康体操など)」(36.2%)、「水泳 (水中歩行、水中運動、アクアビクスなどを含む)」(21.9%) などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩などを含む）」は8.1ポイント、「体操（ラジオ体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、太極拳、エアロビクス、ストレッチ、腰痛・肩こり防止などの健康体操など）」は6.2ポイント、「サイクリング」は5.7ポイント、「水泳（水中歩行、水中運動、アクアビクスなどを含む）」は5.0ポイント、それぞれ増加している。

(図表10-1-1)

図表10-1-1 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「ウォーキング、散歩」、「体操」、「水泳」、「ジョギング、マラソン」が引き続き上位4項目となっている。

(図表10-1-2)

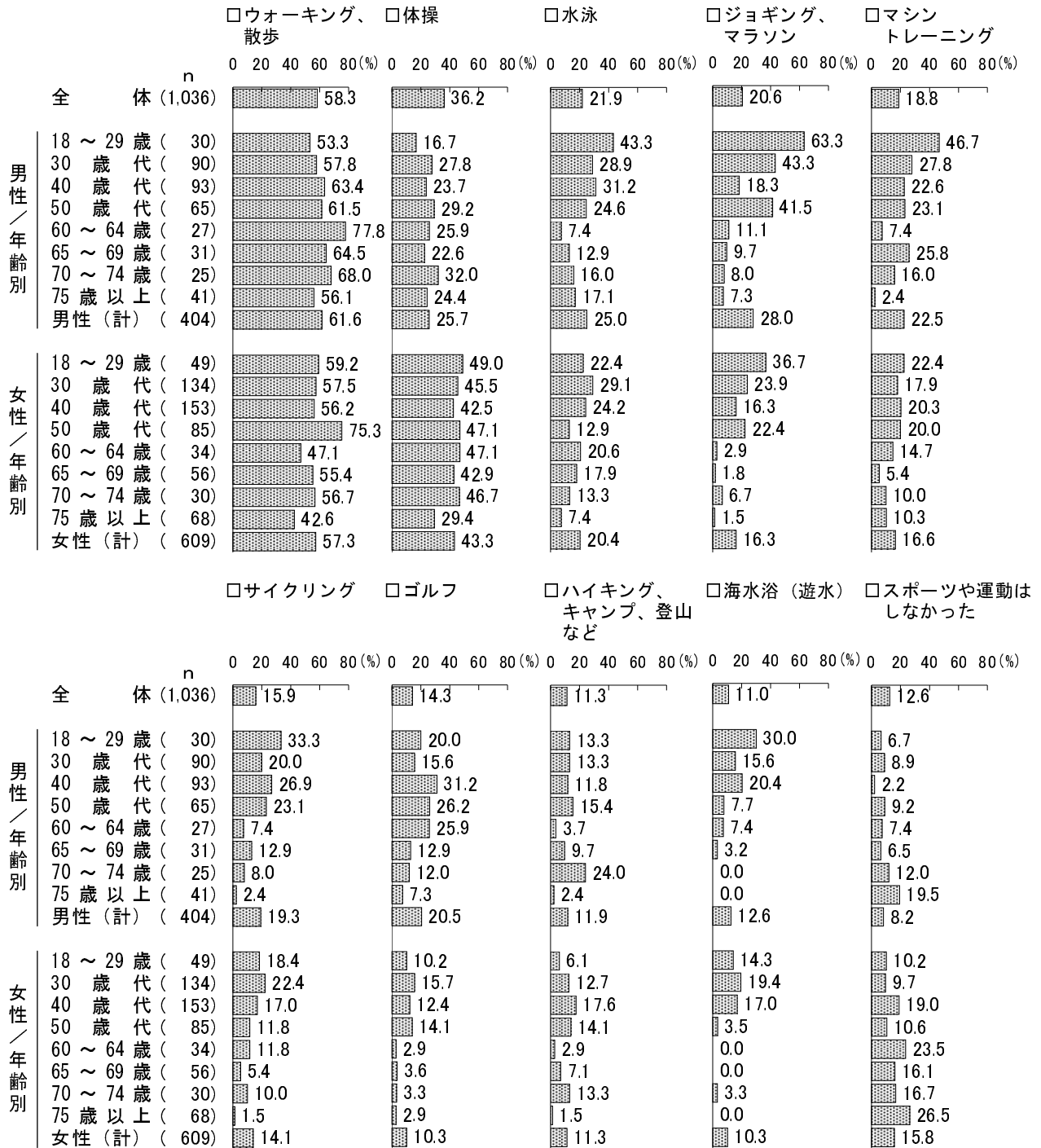
図表10-1-2 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類－過年度比較

| 調査年 | n | (%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-----------|------|------|------------|-----------|--------|------|-----------------|---------|-----|-------------------|-------|------------|------|-----|-----|---------|----------------|-----|---------------|------|-----|
| | | ウォーキング、散歩 | 体操 | 水泳 | ジョギング、マラソン | マシントレーニング | サイクリング | ゴルフ | ハイキング、キャンプ、登山など | 海水浴(遊水) | ボート | スキー、スノーボード、スケートなど | 屋外の球技 | テニス、ソフトテニス | 屋内球技 | ダンス | 釣り | ニュースポーツ | 武道(柔道、剣道、空手など) | その他 | スポーツや運動はしなかった | 無回答 | |
| 平成28年 | 1,036 | 58.3 | 36.2 | 21.9 | 20.6 | 18.8 | 15.9 | 14.3 | 11.3 | 11.0 | 8.7 | 7.4 | 6.9 | 5.5 | 5.4 | 5.3 | 5.3 | 4.7 | 1.5 | 1.4 | 1.0 | 12.6 | 3.4 |
| 平成27年 | 1,027 | 50.2 | 30.0 | 16.9 | 16.8 | 14.0 | 10.2 | 15.1 | 8.3 | 6.2 | 4.6 | 5.1 | 7.4 | 3.9 | 3.8 | 3.3 | 3.3 | 3.1 | 0.9 | 1.5 | 1.8 | 15.5 | 2.8 |
| 平成26年 | 1,041 | 57.8 | 37.8 | 21.3 | 17.2 | 15.0 | 14.6 | 13.9 | 11.6 | 8.5 | 7.3 | 3.7 | 7.4 | 5.2 | 4.2 | 5.2 | 5.0 | 4.9 | 1.0 | 1.1 | 1.2 | 12.1 | 2.2 |
| 平成25年 | 1,047 | 57.0 | 36.1 | 20.9 | 15.6 | 14.3 | 12.3 | 13.0 | 9.6 | 7.6 | 7.1 | 4.9 | 5.9 | 5.2 | 5.3 | 4.8 | 5.3 | 4.2 | 1.1 | 1.3 | 1.5 | 12.1 | 2.7 |
| 平成24年 | 1,123 | 43.6 | 27.2 | 20.1 | 17.7 | 9.8 | ※ | 13.2 | 11.2 | ※ | ※ | ※ | ※ | 4.0 | 4.1 | 5.3 | ※ | ※ | 1.0 | ※ | 7.1 | 19.4 | 2.2 |

* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢

性／年齢別でみると、「ウォーキング、散歩」は男性の60～64歳で8割近く、女性の50歳代で7割台半ばと高くなっている。「水泳」は男性の18～29歳で4割を超えて高くなっている。「ジョギング、マラソン」は男性の18～29歳で6割を超えて高くなっている。「マシントレーニング」は男性の18～29歳で5割近くと高くなっている。「スポーツや運動はしなかった」は女性の75歳以上で3割近くと高くなっている。(図表10-1-3)

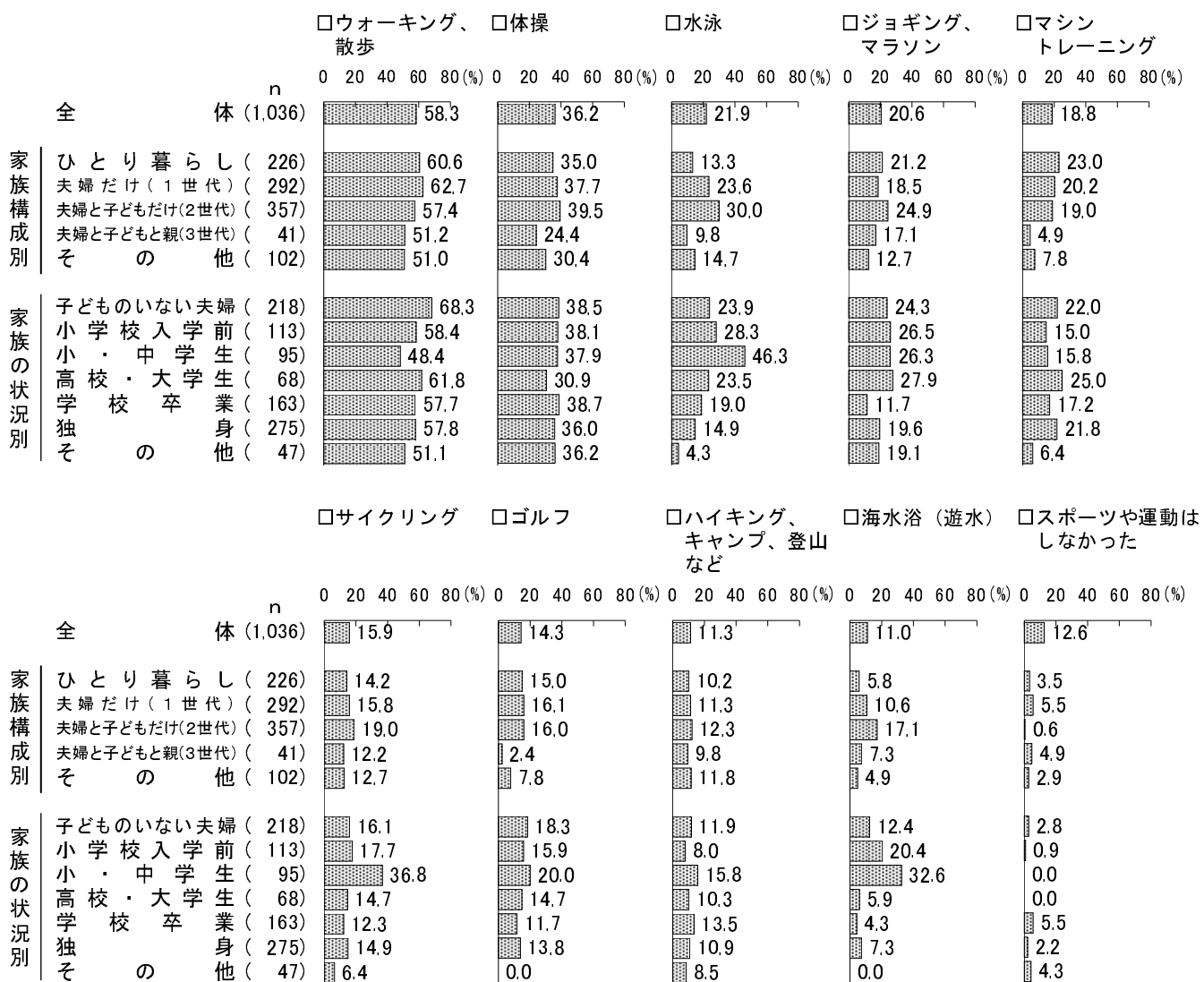
図表10-1-3 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類
—性／年齢別（上位9項目＋「スポーツや運動はしなかった」）



家族構成別でみると、「水泳」は夫婦と子どもだけ（2世代）で3割と高くなっている。

家族の状況別でみると、「ウォーキング、散歩」は子どものいない夫婦で7割近くと高くなっている。「水泳」が一番上の子どもが小・中学生の家族で4割台半ばと高くなっている。「サイクリング」が一番上の子どもが小・中学生の家族で4割近くと高くなっている。「海水浴（遊水）」が一番上の子どもが小・中学生の家族で3割を超えて高くなっている。（図表10-1-4）

図表10-1-4 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類
—家族構成別・家族の状況別（上位9項目＋「スポーツや運動はしなかった」）



(2) 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度

◇「週に1～2日程度」が3割

(問28で、「1 水泳」から「20 その他」のいずれかにお答えの方に)

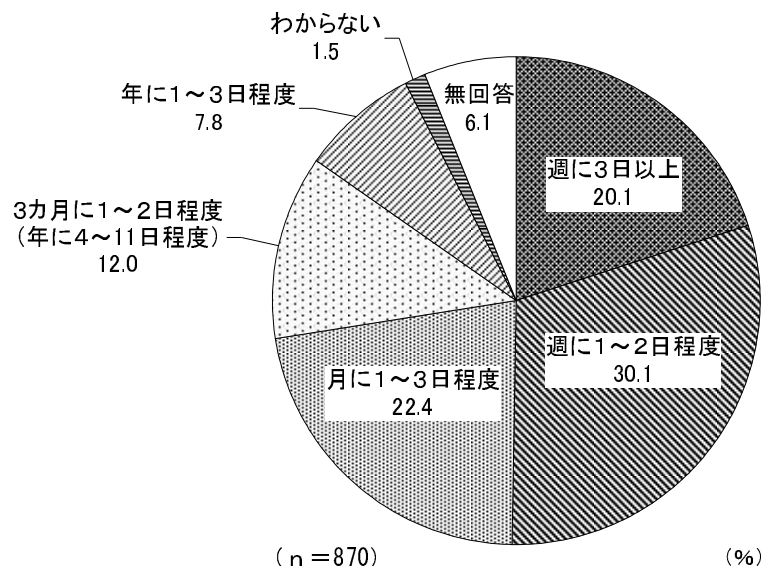
問28-1 あなたは、この1年間にどのくらいスポーツや運動をしましたか。(○は1つ)

n = 870

| | |
|--------------------------|-------|
| 1 週に3日以上 | 20.1% |
| 2 週に1～2日程度 | 30.1 |
| 3 月に1～3日程度 | 22.4 |
| 4 3カ月に1～2日程度 (年に4～11日程度) | 12.0 |
| 5 年に1～3日程度 | 7.8 |
| 6 わからない | 1.5 |
| (無回答) | 6.1 |

問28で、いずれかのスポーツや運動をしたことがあると回答した方の、過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度は、「週に1～2日程度」(30.1%)が3割で最も高くなっている。次いで、「月に1～3日程度」(22.4%)、「週に3日以上」(20.1%)、「3カ月に1～2日程度(年に4～11日程度)」(12.0%)などとなっている。(図表10-2-1)

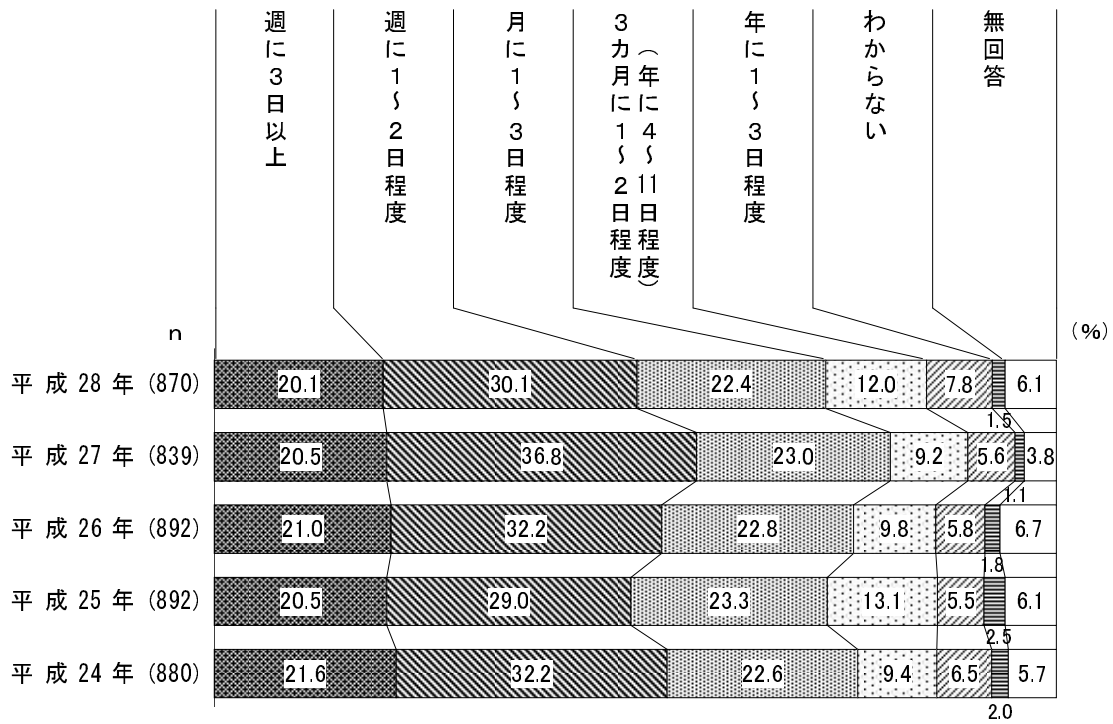
図表10-2-1 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度



過去の調査結果と比較すると、「週に1～2日程度」は昨年より6.7ポイント減少している。

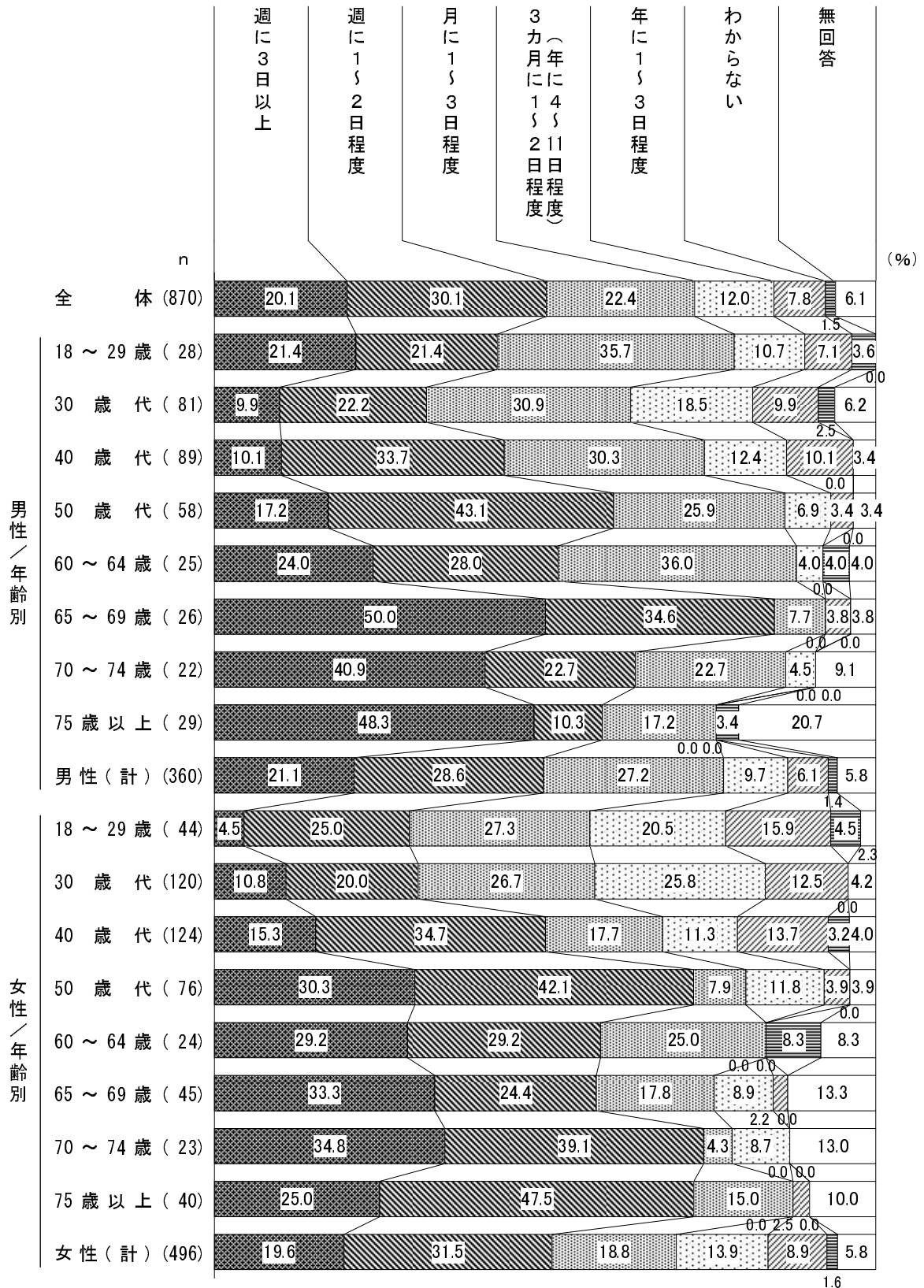
(図表10-2-2)

図表10-2-2 過去1年間に行ったスポーツや運動の種類－過年度比較



性／年齢別でみると、「週に3日以上」は男性の65～69歳で5割、男性の75歳以上で5割近くと高くなっている。「週に1～2日程度」は女性の75歳以上で5割近く、男女ともに50歳代で4割を超えて高くなっている。「月に1～3日程度」は男性の18～29歳と60～64歳でともに3割台半ばと高くなっている。(図表10-2-3)

図表10-2-3 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度－性／年齢別

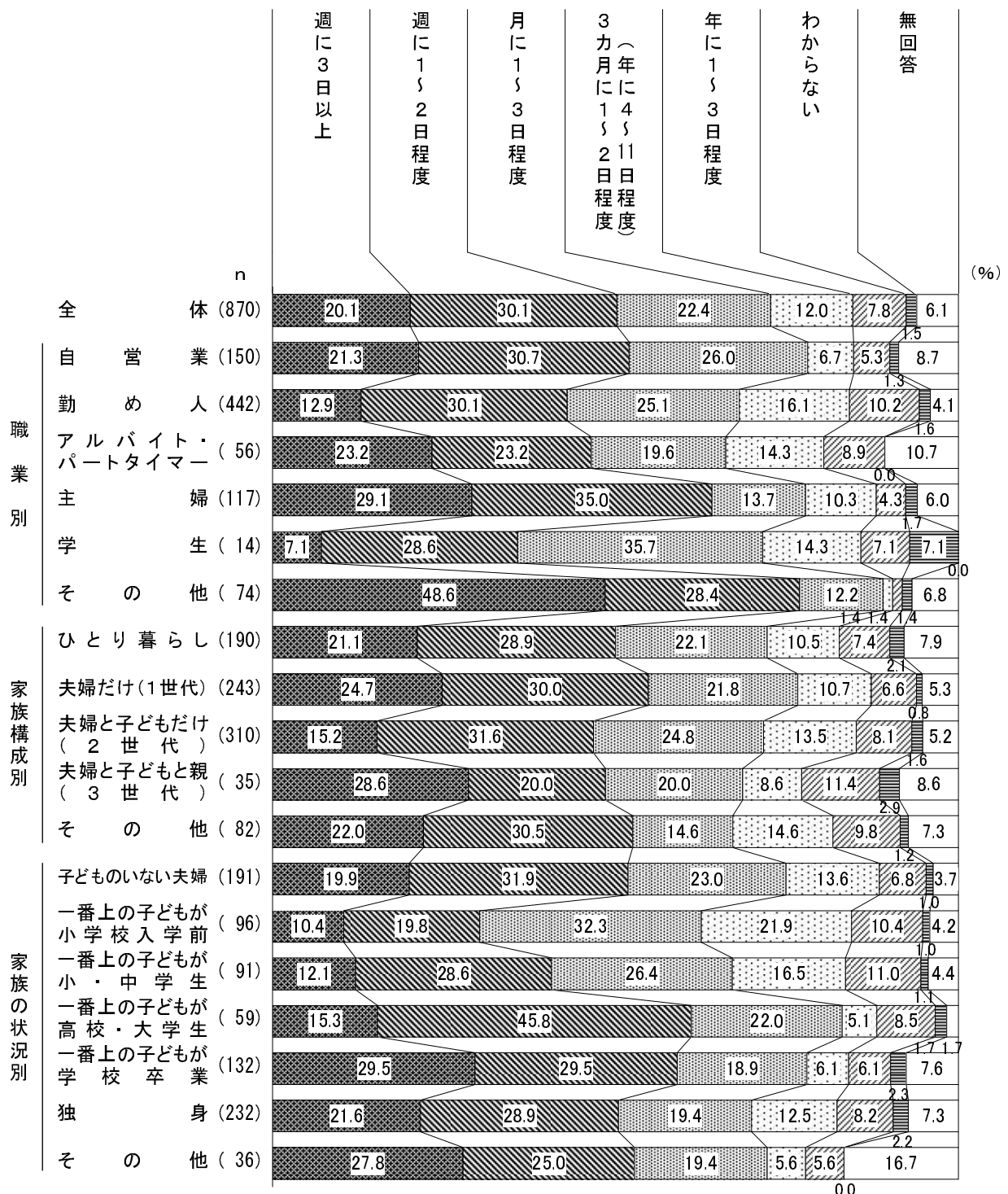


職業別でみると、「週に3日以上」はその他で5割近くと高くなっている。

家族構成別でみると、「週に3日以上」は夫婦と子どもと親（3世代）で3割近くと高くなっている。

家族の状況別でみると、「週に3日以上」は一番上の子どもが学校卒業の家族で3割と高くなっている。「週に1～2日程度」が一番上の子どもが高校・大学生の家族で4割台半ばと高くなっている。「月に1～3日程度」が一番上の子どもが小学校入学前の家族で3割を超えて高くなっている。（図表10-2-4）

図表10-2-4 過去1年間に行ったスポーツや運動の頻度－職業別・家族構成別・家族の状況別



(3) スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと

◇「スポーツ施設の増設・充実」が4割近く

問29 あなたは、区民のスポーツへの参加の機会を増やすために、区は今後どのようなことに力を入れたら良いと思いますか。(○は3つまで)

n = 1,036

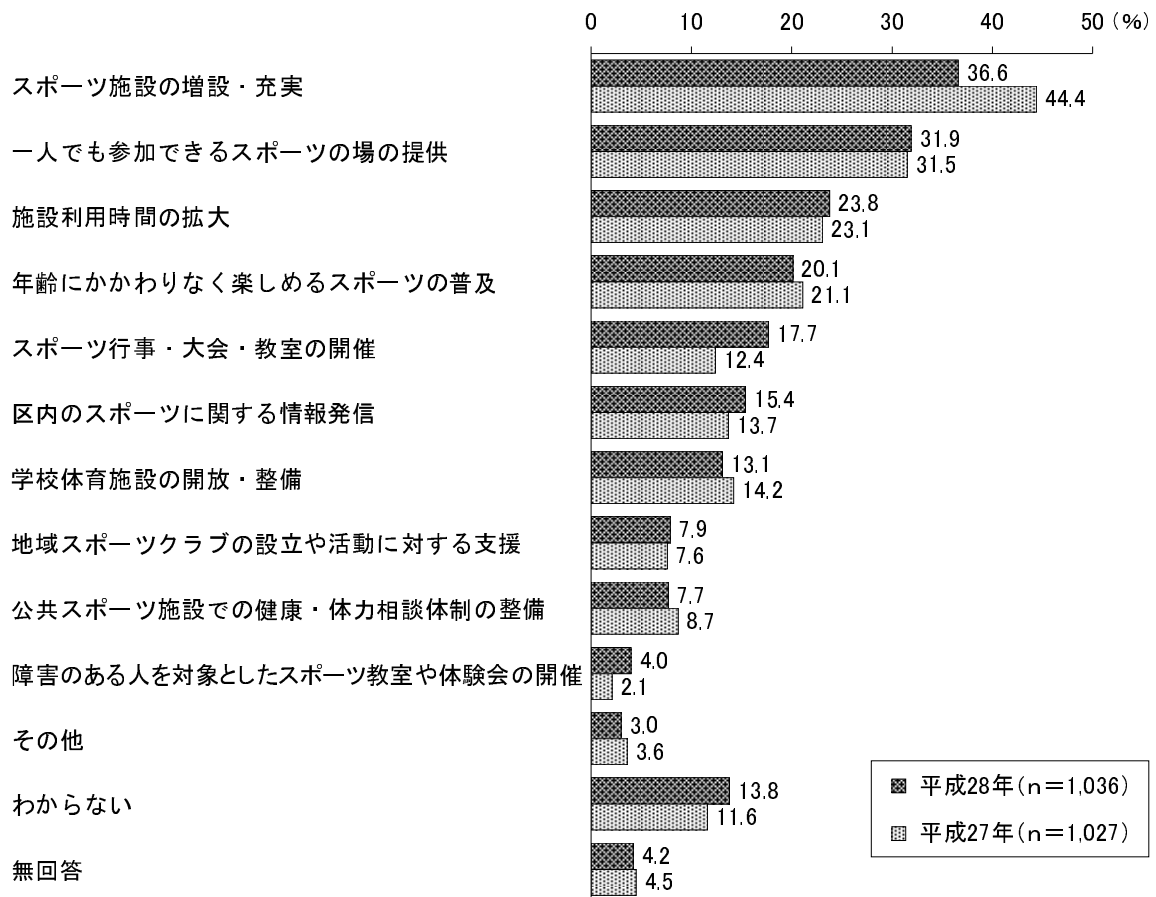
| | | |
|----|---------------------------|-------|
| 1 | スポーツ施設の増設・充実 | 36.6% |
| 2 | 学校体育施設の開放・整備 | 13.1 |
| 3 | 施設利用時間の拡大 | 23.8 |
| 4 | スポーツ行事・大会・教室の開催 | 17.7 |
| 5 | 障害のある人を対象としたスポーツ教室や体験会の開催 | 4.0 |
| 6 | 地域スポーツクラブの設立や活動に対する支援 | 7.9 |
| 7 | 年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及 | 20.1 |
| 8 | 一人でも参加できるスポーツの場の提供 | 31.9 |
| 9 | 公共スポーツ施設での健康・体力相談体制の整備 | 7.7 |
| 10 | 区内のスポーツに関する情報発信 | 15.4 |
| 11 | その他 | 3.0 |
| 12 | わからない | 13.8 |
| | (無回答) | 4.2 |

(※) 地域スポーツクラブ 地域が主体となって運営し、学校など身近な施設において子どもから大人まで誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション、文化活動を楽しめるスポーツクラブです。地域の皆さんは、会員、運営スタッフ、指導者としてクラブに参加することができます。中央区では平成25年2月に月島地域を拠点とする「中央区地域スポーツクラブ大江戸月島」が設立されました。

スポーツへの参加機会を増やすために区に望むことは、「スポーツ施設の増設・充実」(36.6%)が4割近くで最も高くなっている。次いで、「一人でも参加できるスポーツの場の提供」(31.9%)、「施設利用時間の拡大」(23.8%)、「年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及」(20.1%)、「スポーツ行事・大会・教室の開催」(17.7%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「スポーツ施設の増設・充実」は7.8ポイント減少している。一方、「スポーツ行事・大会・教室の開催」は5.3ポイント増加している。(図表10-3-1)

図表10-3-1 スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと（複数回答）



過去の調査結果と比較すると、選択肢が異なるため単純に比較することはできないが、「スポーツ施設の増設・充実」、「一人でも参加できるスポーツの場の提供」、「施設利用時間の拡大」、「年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及」が引き続き上位4項目となっている。（図表10-3-2）

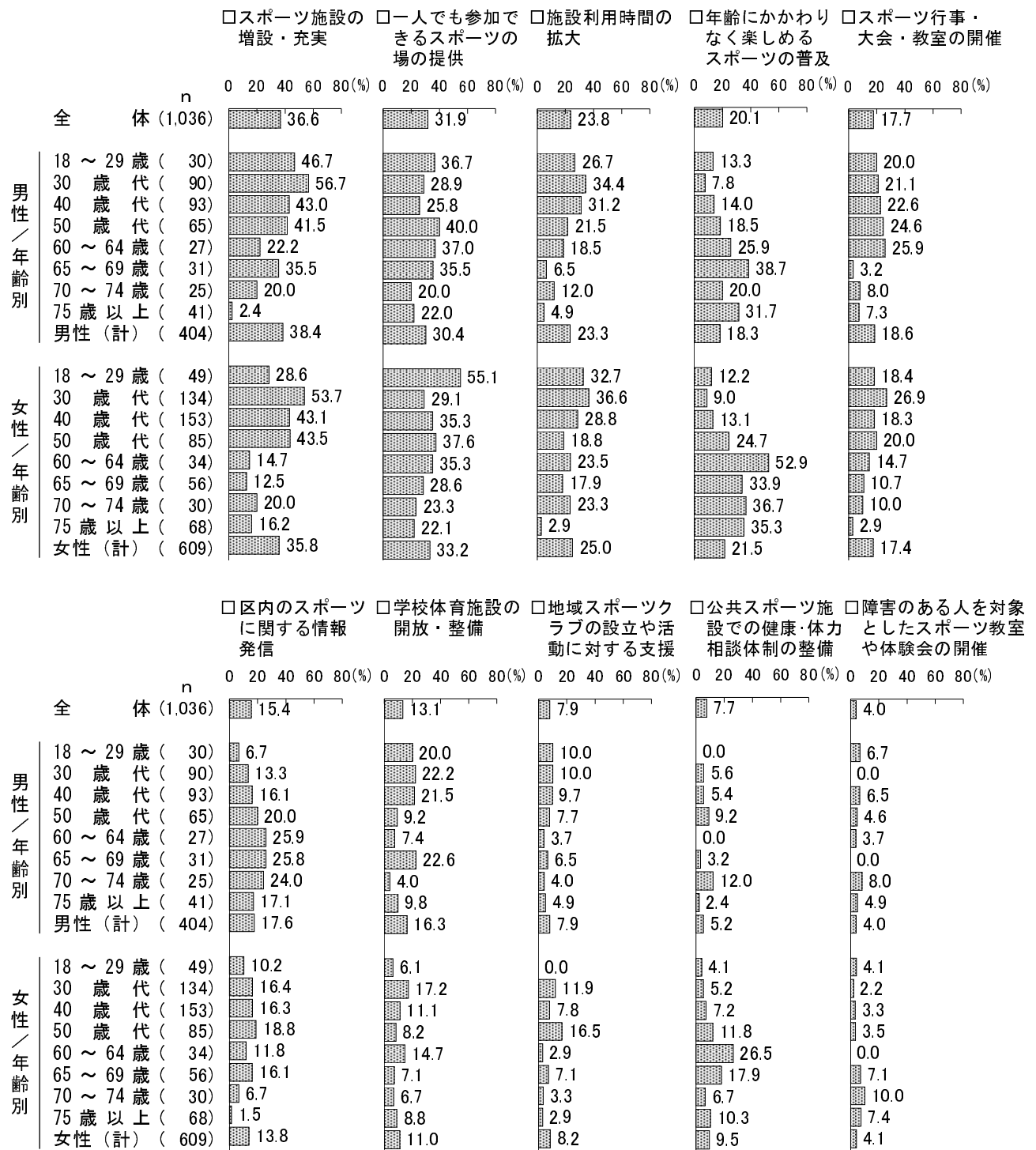
図表10-3-2 スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと一過年度比較

| 調査年 | n | スポーツ施設の増設・充実 | 一人でも参加できるスポーツ | 施設利用時間の拡大 | 年齢にかかわらず楽しめるスポーツ | スポーツ行事・大会・教室の開催 | 区内のスポーツに関する情報発信 | 学校体育施設の開放・整備 | 地域活動に対する支援の設立や | 公共スポーツ施設での健康・体力相談体制の整備 | 障害のある人を対象とした体験会の開催 | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|-------|--------------|---------------|-----------|------------------|-----------------|-----------------|--------------|----------------|------------------------|--------------------|-----|-------|-----|
| 平成28年 | 1,036 | 36.6 | 31.9 | 23.8 | 20.1 | 17.7 | 15.4 | 13.1 | 7.9 | 7.7 | 4.0 | 3.0 | 13.8 | 4.2 |
| 平成27年 | 1,027 | 44.4 | 31.5 | 23.1 | 21.1 | 12.4 | 13.7 | 14.2 | 7.6 | 8.7 | 2.1 | 3.9 | 11.6 | 4.5 |
| 平成26年 | 1,041 | 43.1 | 32.6 | 24.0 | 22.4 | 13.9 | 11.5 | 13.7 | 8.3 | 8.6 | 2.3 | 4.6 | 11.0 | 3.9 |
| 平成25年 | 1,047 | 44.8 | 31.6 | 26.1 | 22.5 | 12.3 | 11.3 | 14.6 | 9.6 | 8.4 | 2.1 | 3.2 | 10.3 | 5.3 |
| 平成24年 | 1,123 | 44.3 | 30.9 | 20.7 | 20.7 | 11.4 | 11.2 | 12.4 | ※ | 9.8 | ※ | 3.3 | 11.4 | 5.3 |

* ※印は、その年の調査では聞かれていない選択肢

性／年齢別でみると、「スポーツ施設の増設・充実」は男性の30歳代で6割近くと高くなっている。「一人でも参加できるスポーツの場の提供」は女性の18～29歳で5割台半ばと高くなっている。「施設利用時間の拡大」は女性の30歳代で4割近くと高くなっている。「年齢にかかわらず楽しむスポーツの普及」は女性の60～64歳で5割を超えて高くなっている。(図表10-3-3)

図表10-3-3 スポーツへの参加機会を増やすために区に望むこと一性／年齢別（上位10項目）



【11 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会】

(1) 大会への思い

◇『大会への期待』が6割を超える

問30 東京2020大会が開催されることについて、現段階でのお気持ちをお聞かせください。

(○は1つ)

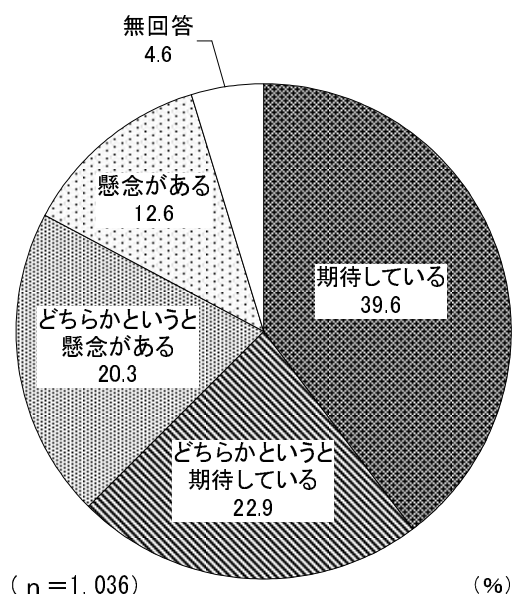
n = 1,036

| | | | | | |
|---|---------------|-------|---|--------------|------|
| 1 | 期待している | 39.6% | 3 | どちらかという懸念がある | 20.3 |
| 2 | どちらかという期待している | 22.9 | 4 | 懸念がある | 12.6 |
| | | | | (無回答) | 4.6 |

大会への期待度は、「期待している」(39.6%)が4割と最も高くなっており、「どちらかという期待している」(22.9%)と合わせた『大会への期待』(62.5%)が6割を超えている。

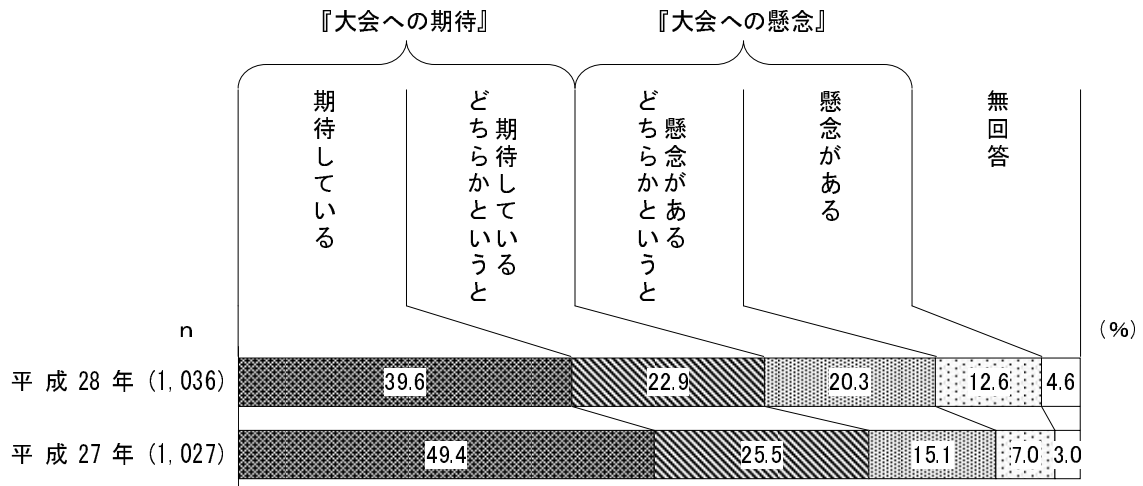
一方、「どちらかという懸念がある」(20.3%)と「懸念がある」(12.6%)を合わせた『大会への懸念』(32.9%)は3割を超えている。(図表11-1-1)

図表11-1-1 大会への思い



昨年(平成27年)の調査結果と比較すると、『大会への期待』は12.4ポイント減少している。一方、『大会への懸念』は10.8ポイント増加している。(図表11-1-2)

図表11-1-2 大会への思い一過年度比較

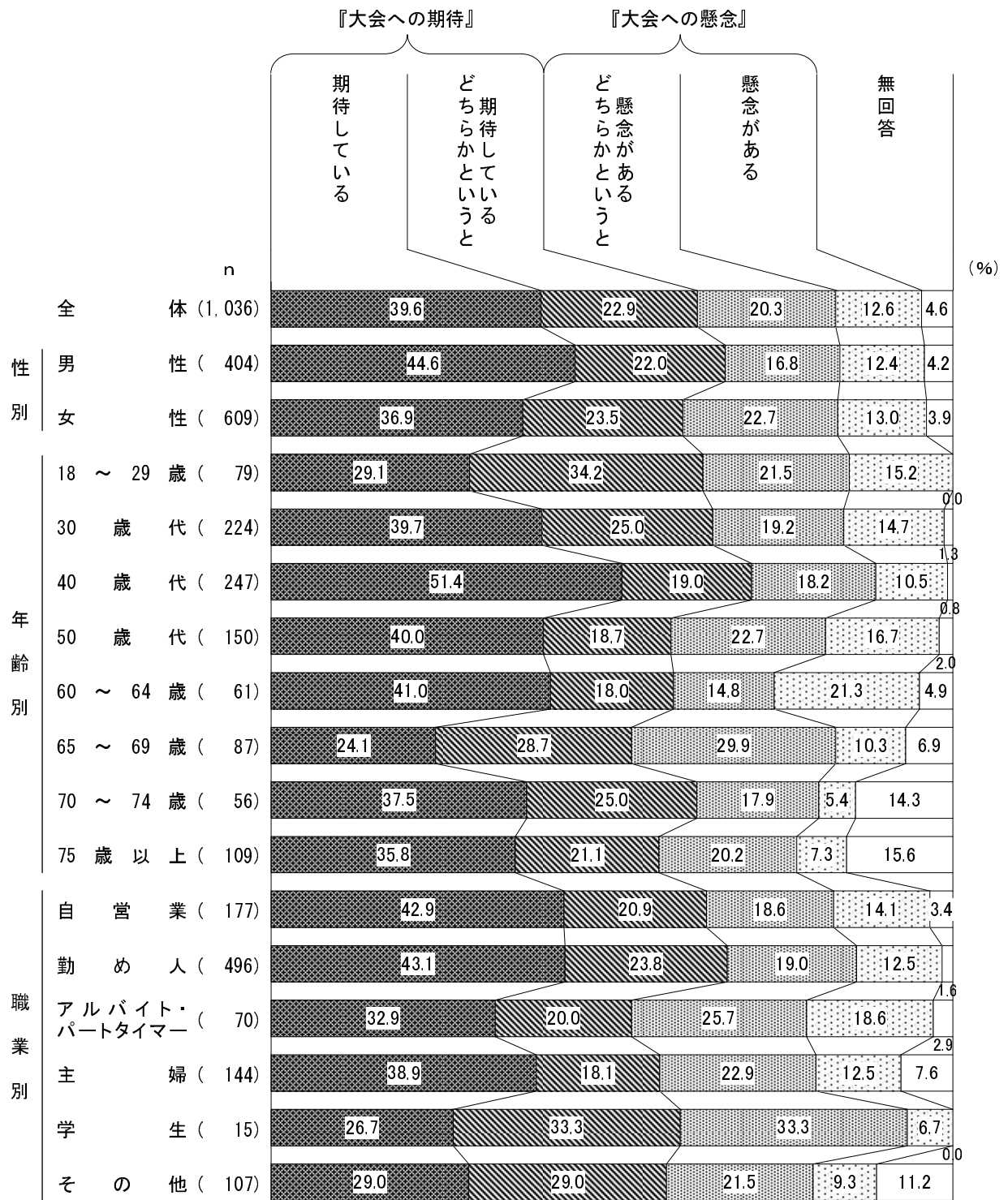


性別でみると、『大会への期待』は男性の方が女性よりも6.2ポイント高くなっている。

年齢別でみると、『大会への期待』は40歳代で7割と高くなっている。一方、『大会への懸念』は65～69歳で4割と高くなっている。

職業別でみると、『大会への期待』は勤め人で7割近くと高くなっている。一方、『大会への懸念』はアルバイト・パートタイマーで4割台半ばと高くなっている。(図表11-1-3)

図表11-1-3 大会への思い—性別・年齢別・職業別



(2) 大会の開催に伴い期待していること

◇「幹線道路や公共交通の整備促進（道路の整備・拡幅、基幹的交通システムの導入など）」が3割を超える

問31 東京2020大会の開催に伴い、あなたが期待していることは何ですか。（○は3つまで）

n = 1,036

| | | |
|----|---|-------|
| 1 | スポーツ活動の活性化（スポーツ参加意識の向上、障害者スポーツの普及など） | 16.3% |
| 2 | 健康づくりの推進 | 8.5 |
| 3 | 外国人との交流機会の増加 | 24.1 |
| 4 | 学校における国際教育などの推進 | 14.3 |
| 5 | 障害者支援やバリアフリー化などの福祉施策の推進 | 14.3 |
| 6 | ボランティアやおもてなしなどの地域活動の活性化 | 15.9 |
| 7 | 地域の伝統・文化・観光資源の活用による中央区の魅力・知名度の向上 | 20.1 |
| 8 | 五輪関連投資や消費増などによる経済活性化 | 28.0 |
| 9 | 防犯・防災対策の強化 | 27.7 |
| 10 | 幹線道路や公共交通の整備促進（道路の整備・拡幅、基幹的交通システムの導入など） | 31.8 |
| 11 | 外国人が円滑に移動できる多言語対応の取組 | 10.9 |
| 12 | 環境にやさしいまちづくりの推進（コミュニティサイクルの導入など） | 15.0 |
| 13 | その他 | 1.4 |
| | （無回答） | 7.1 |

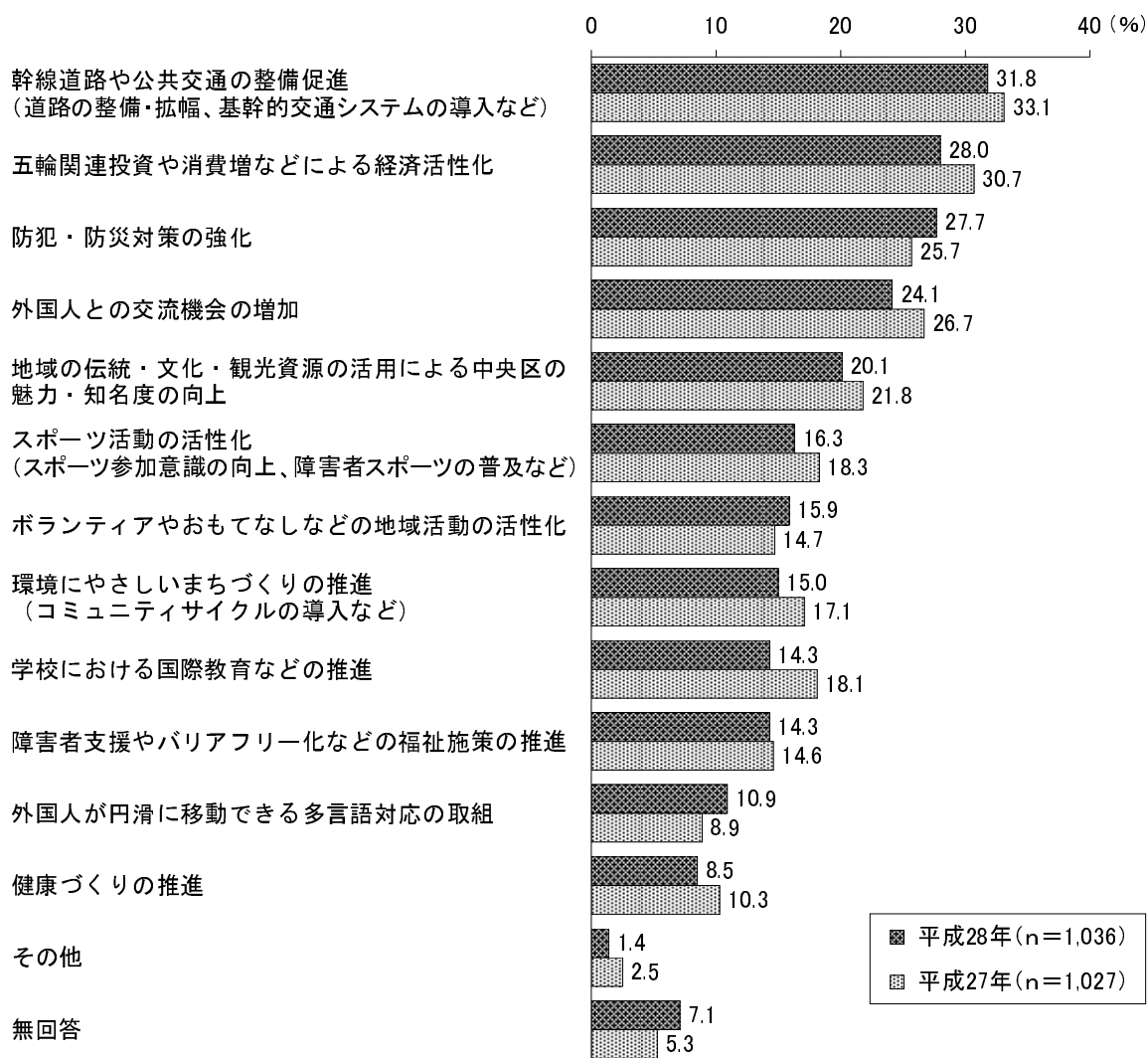
（※）コミュニティサイクル 貸出・返却のための拠点（サイクルポート）を複数設置し、どのサイクルポートでも自転車を借りられ、返却できるネットワーク型のレンタサイクルです。

大会の開催に伴い期待していることは、「幹線道路や公共交通の整備促進（道路の整備・拡幅、基幹的交通システムの導入など）」（31.8%）が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「五輪関連投資や消費増などによる経済活性化」（28.0%）、「防犯・防災対策の強化」（27.7%）、「外国人との交流機会の増加」（24.1%）、「地域の伝統・文化・観光資源の活用による中央区の魅力・知名度の向上」（20.1%）などとなっている。

昨年との調査結果と比較すると、「学校における国際教育などの推進」は3.8ポイント減少している。

(図表11-2-1)

図表11-2-1 大会の開催に伴い期待していること（複数回答）



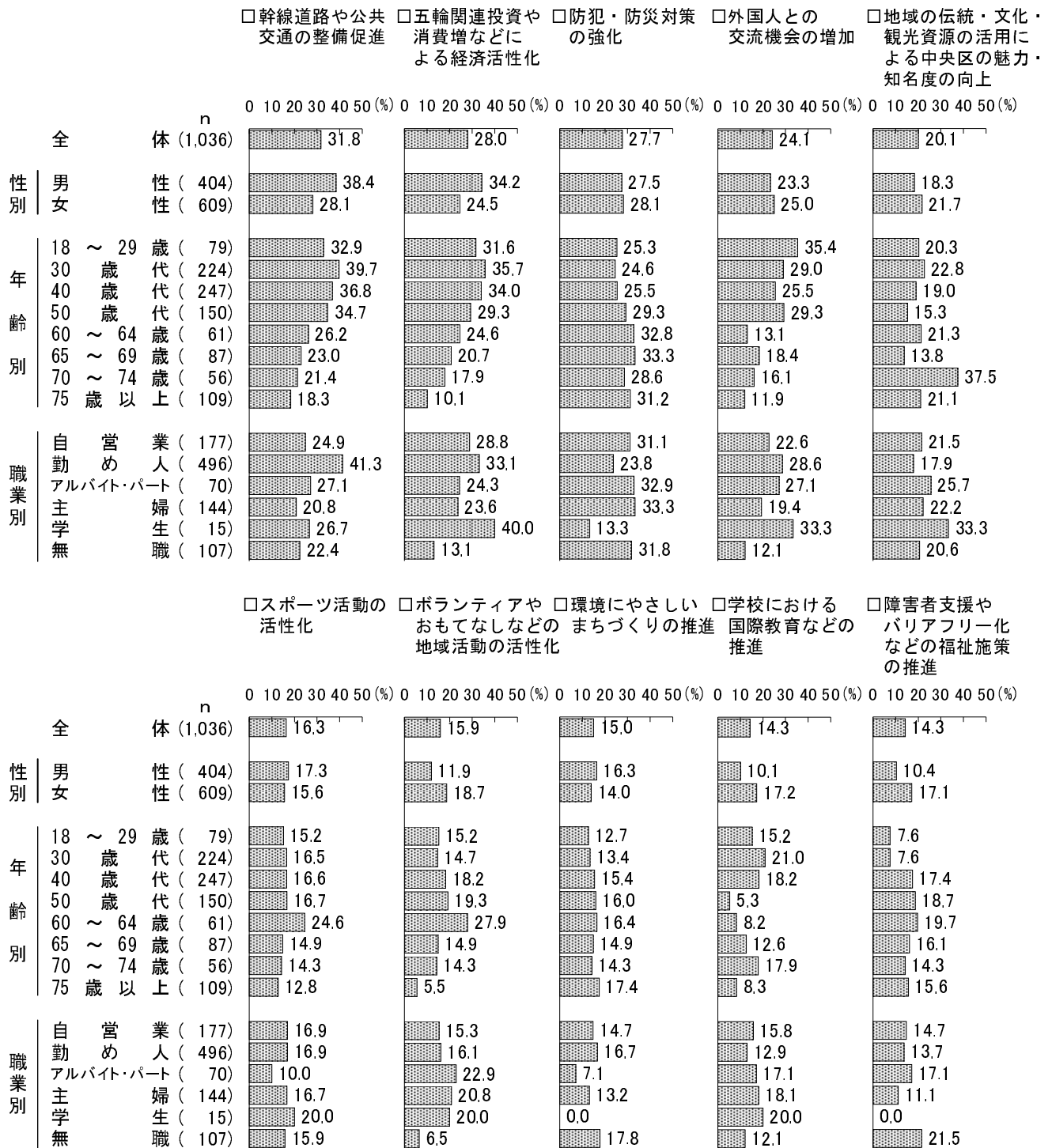
性別でみると、男性の方が女性よりも「幹線道路や公共交通の整備促進」で10.3ポイント、「五輪関連投資や消費増などによる経済活性化」で9.7ポイント、それぞれ高くなっている。一方、女性の方が男性よりも「学校における国際教育などの推進」で7.1ポイント、「ボランティアやおもてなしなどの地域活動の活性化」で6.8ポイント、「障害者支援やバリアフリー化などの福祉施策の推進」で6.7ポイント、それぞれ高くなっている。

年齢別でみると、「幹線道路や公共交通の整備促進」は30歳代で4割と高くなっている。「外国人との交流機会の増加」は18～29歳で3割台半ばと高くなっている。「地域の伝統・文化・観光資源の活用による中央区の魅力・知名度の向上」は70～74歳で4割近くと高くなっている。

職業別でみると、「幹線道路や公共交通の整備促進」は勤め人で4割を超えて高くなっている。

(図表11-2-2)

図表11-2-2 大会の開催に伴い期待していることー性別・年齢別・職業別（上位10項目）



(3) 大会の開催に伴い懸念していること

◇「観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念」が7割を超える

問32 東京2020大会の開催に伴い、あなたが懸念していることは何ですか。(〇は3つまで)

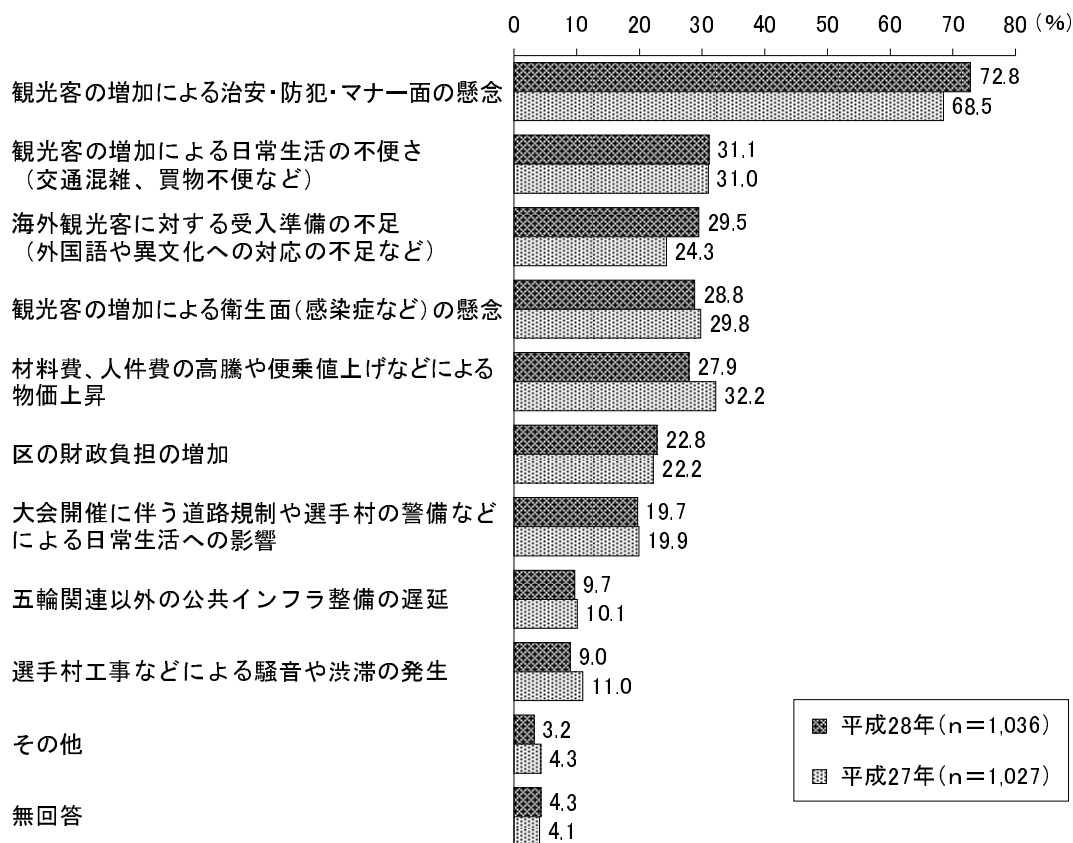
n = 1,036

| | | |
|----|------------------------------------|-------|
| 1 | 海外観光客に対する受入準備の不足（外国語や異文化への対応の不足など） | 29.5% |
| 2 | 観光客の増加による日常生活の不便さ（交通混雑、買物不便など） | 31.1 |
| 3 | 観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念 | 72.8 |
| 4 | 観光客の増加による衛生面（感染症など）の懸念 | 28.8 |
| 5 | 大会開催に伴う道路規制や選手村の警備などによる日常生活への影響 | 19.7 |
| 6 | 選手村工事などによる騒音や渋滞の発生 | 9.0 |
| 7 | 五輪関連以外の公共インフラ整備の遅延 | 9.7 |
| 8 | 材料費、人件費の高騰や便乗値上げなどによる物価上昇 | 27.9 |
| 9 | 区の財政負担の増加 | 22.8 |
| 10 | その他 | 3.2 |
| | (無回答) | 4.3 |

大会の開催に伴い懸念していることは、「観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念」(72.8%)が7割を超えて最も高くなっている。次いで、「観光客の増加による日常生活の不便さ(交通混雑、買物不便など)」(31.1%)、「海外観光客に対する受入準備の不足(外国語や異文化への対応の不足など)」(29.5%)、「観光客の増加による衛生面(感染症など)の懸念」(28.8%)、「材料費、人件費の高騰や便乗値上げなどによる物価上昇」(27.9%)などとなっている。

昨年の調査結果と比較すると、「海外観光客に対する受入準備の不足（外国語や異文化への対応の不足など）」は5.2ポイント、「観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念」は4.3ポイント、それぞれ増加している。一方、「材料費、人件費の高騰や便乗値上げなどによる物価上昇」は4.3ポイント減少している。（図表11-3-1）

図表11-3-1 大会の開催に伴い懸念していること（複数回答）

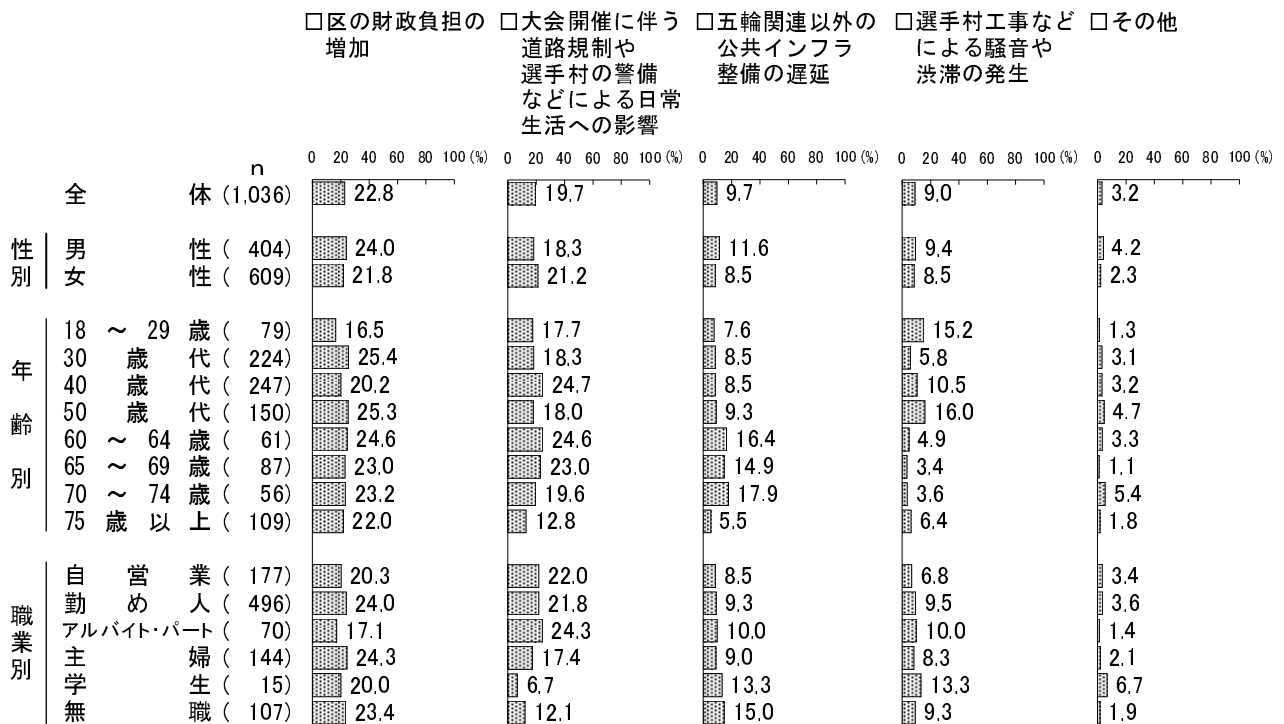
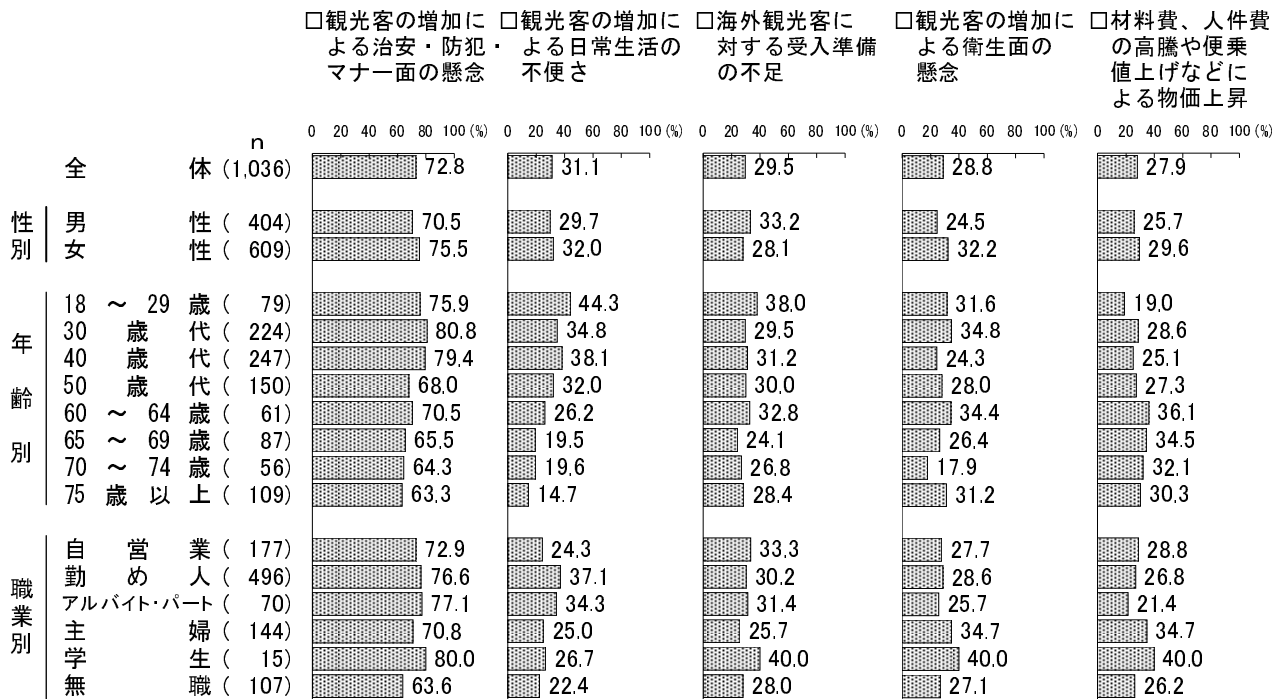


性別でみると、女性の方が男性よりも「観光客の増加による衛生面の懸念」で7.7ポイント、「観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念」で5.0ポイント、それぞれ高くなっている。一方、「海外観光客に対する受入準備の不足」は男性の方が女性よりも5.1ポイント高くなっている。

年齢別でみると、「観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念」は30歳代と40歳代でともに約8割と高くなっている。「観光客の増加による日常生活の不便さ」は18～29歳で4割台半ばと高くなっている。

職業別でみると、「観光客の増加による日常生活の不便さ」は勤め人で4割近くと高くなっている。（図表11-3-2）

図表11-3-2 大会の開催に伴い懸念していることー性別・年齢別・職業別



【12 施策の要望・評価】

(1) 区の施策の満足度と重要度

◇満足度が高いのは「公園・緑地・水辺の整備」、低いのは「駐車場・駐輪場の整備」

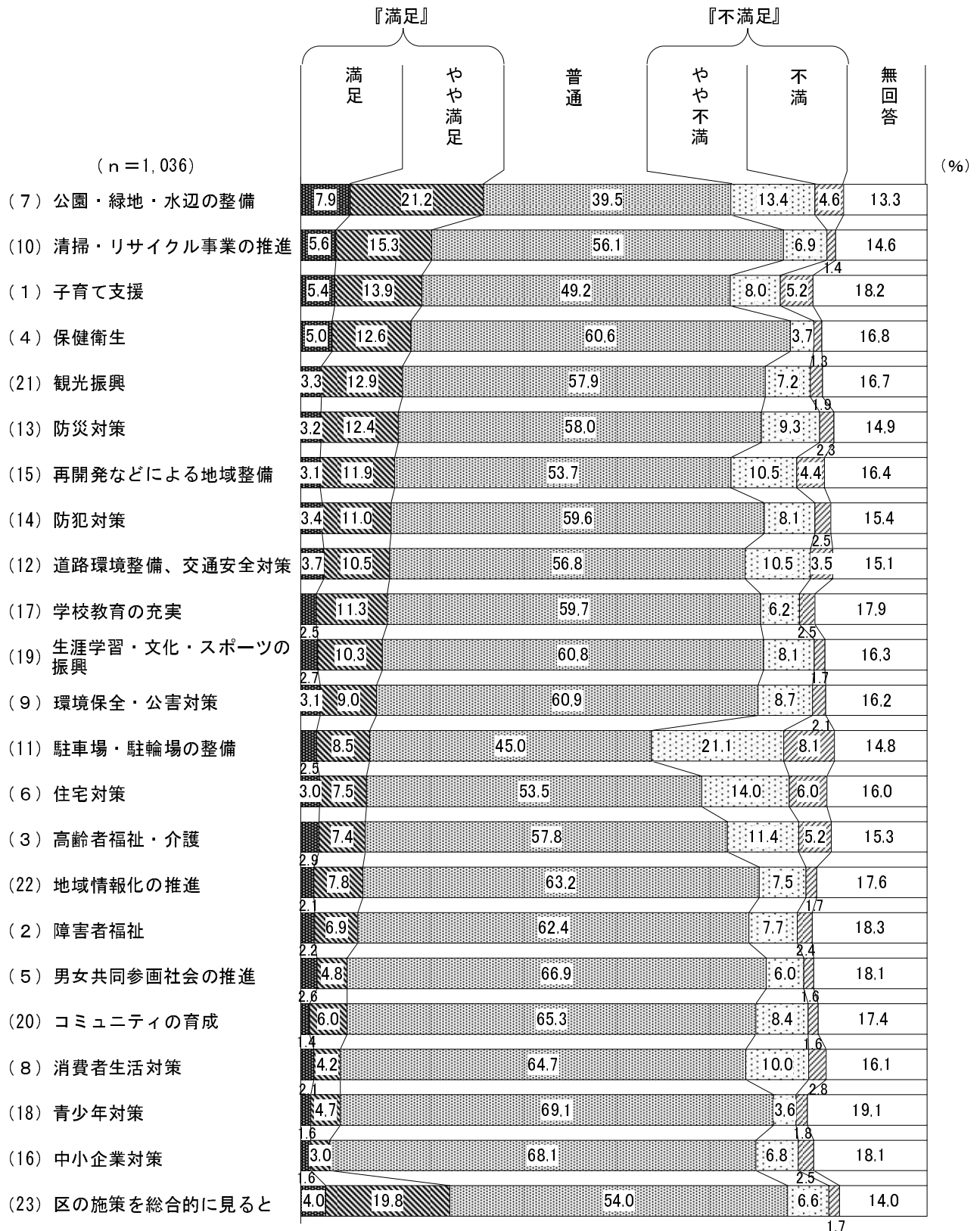
◇重要度が高いのは「高齢者福祉・介護」、低いのは「コミュニティの育成」

問33 あなたは、区の施策についてどの程度満足していますか。また、その施策をどの程度重視していますか。満足度と重要度について、次の項目それぞれに、あてはまるものを1つずつ選んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

| | 満足度 | | | | | 無回答 | 重要度 | | | (%) |
|--|---------|-----------|---------|-----------|---------|------|-------------|----------------|---------|------|
| | 1 満足 | 2 やや満足 | 3 普通 | 4 やや不満 | 5 不満 | | 1 たいへん重要 | 2 比較的 重要 | 3 普通 | |
| n = 1,036 | | | | | | | | | | |
| (1) 子育て支援 | 5.4 | 13.9 | 49.2 | 8.0 | 5.2 | 18.2 | 45.3 | 17.5 | 12.5 | 24.8 |
| (2) 障害者福祉 | 2.2 | 6.9 | 62.4 | 7.7 | 2.4 | 18.3 | 30.6 | 24.8 | 18.7 | 25.9 |
| (3) 高齢者福祉・介護 | 2.9 | 7.4 | 57.8 | 11.4 | 5.2 | 15.3 | 44.6 | 18.8 | 13.5 | 23.1 |
| (4) 保健衛生 | 5.0 | 12.6 | 60.6 | 3.7 | 1.3 | 16.8 | 24.8 | 27.3 | 22.0 | 25.9 |
| (5) 男女共同参画社会の推進 | 2.6 | 4.8 | 66.9 | 6.0 | 1.6 | 18.1 | 11.5 | 24.6 | 37.1 | 26.8 |
| (6) 住宅対策 | 3.0 | 7.5 | 53.5 | 14.0 | 6.0 | 16.0 | 20.8 | 25.1 | 29.1 | 25.0 |
| (7) 公園・緑地・水辺の整備 | 7.9 | 21.2 | 39.5 | 13.4 | 4.6 | 13.3 | 24.3 | 28.8 | 22.9 | 24.0 |
| (8) 消費者生活対策 | 2.1 | 4.2 | 64.7 | 10.0 | 2.8 | 16.1 | 17.4 | 26.2 | 31.0 | 25.5 |
| (9) 環境保全・公害対策 | 3.1 | 9.0 | 60.9 | 8.7 | 2.1 | 16.2 | 22.3 | 28.2 | 23.6 | 25.9 |
| (10) 清掃・リサイクル事業の推進 | 5.6 | 15.3 | 56.1 | 6.9 | 1.4 | 14.6 | 19.7 | 30.5 | 25.1 | 24.7 |
| (11) 駐車場・駐輪場の整備 | 2.5 | 8.5 | 45.0 | 21.1 | 8.1 | 14.8 | 18.5 | 26.7 | 29.9 | 24.8 |
| (12) 道路環境整備、交通安全対策 | 3.7 | 10.5 | 56.8 | 10.5 | 3.5 | 15.1 | 22.8 | 26.6 | 25.7 | 24.9 |
| (13) 防災対策 | 3.2 | 12.4 | 58.0 | 9.3 | 2.3 | 14.9 | 42.4 | 19.8 | 14.0 | 23.8 |
| (14) 防犯対策 | 3.4 | 11.0 | 59.6 | 8.1 | 2.5 | 15.4 | 37.0 | 22.8 | 16.0 | 24.2 |
| (15) 再開発などによる地域整備 | 3.1 | 11.9 | 53.7 | 10.5 | 4.4 | 16.4 | 15.7 | 27.9 | 31.0 | 25.4 |
| (16) 中小企業対策 | 1.6 | 3.0 | 68.1 | 6.8 | 2.5 | 18.1 | 10.3 | 25.5 | 37.6 | 26.5 |
| (17) 学校教育の充実 | 2.5 | 11.3 | 59.7 | 6.2 | 2.5 | 17.9 | 27.6 | 23.0 | 23.2 | 26.3 |
| (18) 青少年対策 | 1.6 | 4.7 | 69.1 | 3.6 | 1.8 | 19.1 | 17.7 | 24.6 | 30.3 | 27.4 |
| (19) 生涯学習・文化・スポーツの振興 | 2.7 | 10.3 | 60.8 | 8.1 | 1.7 | 16.3 | 10.3 | 29.3 | 34.7 | 25.6 |
| (20) コミュニティの育成 | 1.4 | 6.0 | 65.3 | 8.4 | 1.6 | 17.4 | 9.6 | 25.7 | 38.7 | 26.1 |
| (21) 観光振興 | 3.3 | 12.9 | 57.9 | 7.2 | 1.9 | 16.7 | 11.7 | 27.3 | 35.1 | 25.9 |
| (22) 地域情報化の推進 (福祉・医療・生涯学習などさまざまな区民サービス情報のネットワーク化・CATVの整備促進など) | 2.1 | 7.8 | 63.2 | 7.5 | 1.7 | 17.6 | 11.3 | 27.7 | 33.5 | 27.5 |
| (23) 区の施策を総合的に見ると | 4.0 | 19.8 | 54.0 | 6.6 | 1.7 | 14.0 | | | | |

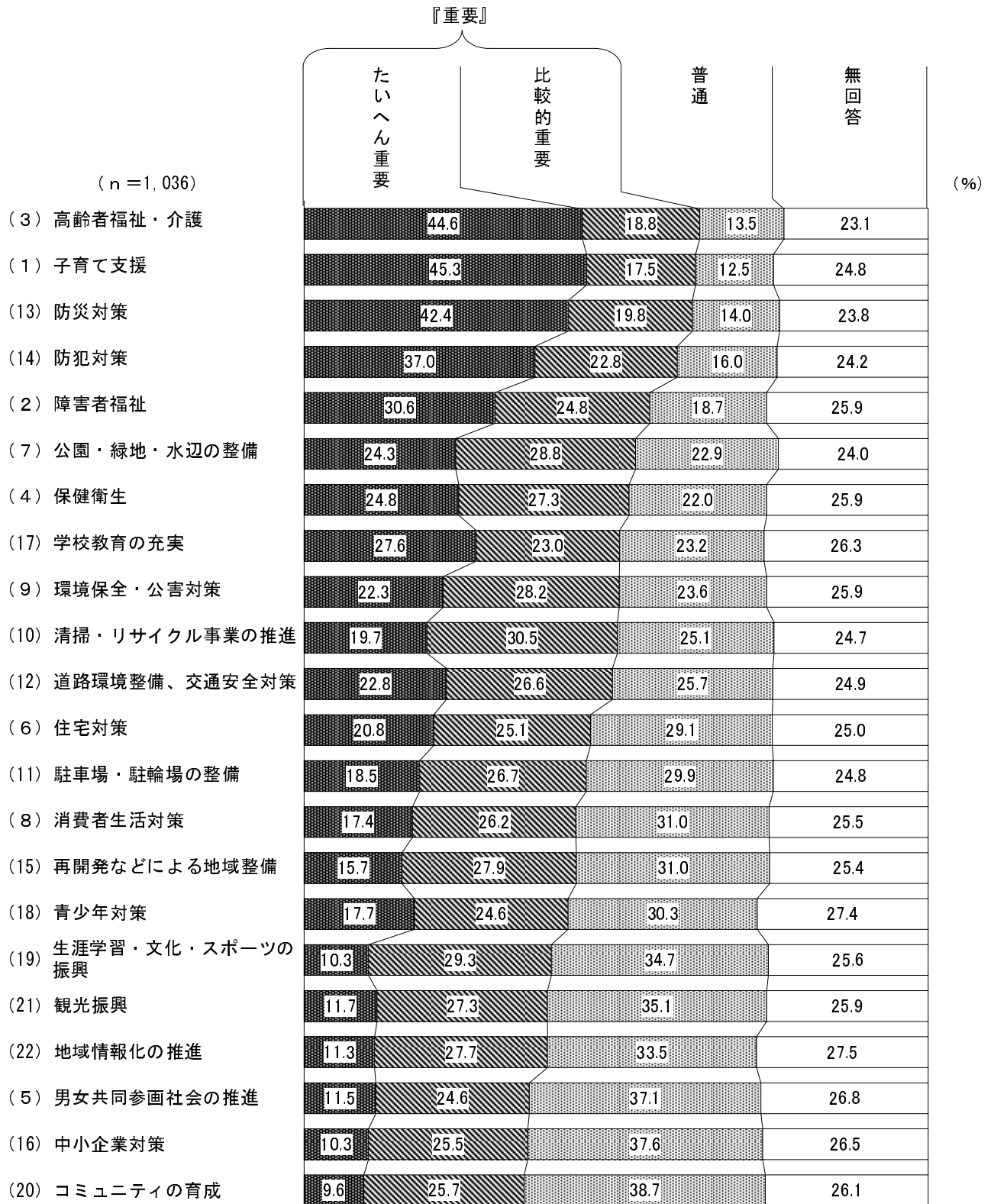
次のグラフは、「満足」と「やや満足」の合算で、高い順に並べたものである。「公園・緑地・水辺の整備」は、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』(29.1%)が約3割と最も高くなっている。一方、「駐車場・駐輪場の整備」は、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満足』(29.2%)が約3割と最も高くなっている。(図表12-1-1)

図表12-1-1 区の施策の満足度



次のグラフは、「たいへん重要」と「比較的重要」の合算で高い順に並べたものである。「高齢者福祉・介護」は、「たいへん重要」と「比較的重要」を合わせた『重要』（63.4%）が6割を超えて最も高くなっている。一方、「コミュニティの育成」は、「普通」（38.7%）が4割近くで最も高くなっている。（図表12-1-2）

図表12-1-2 区の施策の重要度



■満足度順位

「満足」と「やや満足」の合計を『満足』とし、「やや不満」と「不満」の合計を『不満足』とした場合の、それぞれの上位5項目は次のようになっている。

| 『満 足』 | | 『不満足』 | |
|----------------|---------|---------------|---------|
| ①公園・緑地・水辺の整備 | (29.1%) | ①駐車場・駐輪場の整備 | (29.2%) |
| ②清掃・リサイクル事業の推進 | (20.9%) | ②住宅対策 | (20.0%) |
| ③子育て支援 | (19.3%) | ③公園・緑地・水辺の整備 | (18.0%) |
| ④保健衛生 | (17.6%) | ④高齢者福祉・介護 | (16.6%) |
| ⑤観光振興 | (16.2%) | ⑤再開発などによる地域整備 | (14.9%) |

■重要度順位

「たいへん重要」と「比較的重要」の合計を『重要』とした場合の、上位5項目と下位5項目は次のようになっている。

| 上 位 | | 下 位 | |
|-----------|---------|--------------|---------|
| ①高齢者福祉・介護 | (63.4%) | ①コミュニティの育成 | (35.3%) |
| ②子育て支援 | (62.8%) | ②中小企業対策 | (35.8%) |
| ③防災対策 | (62.2%) | ③男女共同参画社会の推進 | (36.1%) |
| ④防犯対策 | (59.8%) | ④観光振興 | (39.0%) |
| ⑤障害者福祉 | (55.4%) | ④地域情報化の推進 | (39.0%) |

満足度・重要度の比較をより明確にするために、加重平均値を算出した。

$$\text{満足度評価点} = \left(\text{「満足」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「やや満足」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} + \text{「やや不満」の回答者数} \times -5 \text{点} + \text{「不満」の回答者数} \times -10 \text{点} \right) \div \left(\text{回答者数} - \text{無回答者数} \right)$$

$$\text{重要度評価点} = \left(\text{「たいへん重要」の回答者数} \times 10 \text{点} + \text{「比較的重要」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 0 \text{点} \right) \div \left(\text{回答者数} - \text{無回答者数} \right)$$

この計算方法では、満足度の場合の評価点は、+10.00点～-10.00点の間に分布し、中間点の0.00点を境に、+10.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に-10.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。一方、重要度は、+10.00点～0.00点の間に分布することになる。

以上の算出方法による評価点の上位5項目、下位5項目は次のようになっている。

【満足度】

| 上 位 | | 下 位 | |
|----------------|--------|-------------|---------|
| ①保健衛生 | (0.99) | ①駐車場・駐輪場の整備 | (-1.40) |
| ②清掃・リサイクル事業の推進 | (0.98) | ②住宅対策 | (-0.74) |
| ③公園・緑地・水辺の整備 | (0.83) | ③高齢者福祉・介護 | (-0.51) |
| ④観光振興 | (0.50) | ④消費者生活対策 | (-0.43) |
| ⑤子育て支援 | (0.38) | ⑤中小企業対策 | (-0.34) |

【重要度】

| 上 位 | | 下 位 | |
|-----------|--------|------------------|--------|
| ①子育て支援 | (7.18) | ①コミュニティの育成 | (3.03) |
| ②高齢者福祉・介護 | (7.02) | ②中小企業対策 | (3.14) |
| ③防災対策 | (6.86) | ③男女共同参画社会の推進 | (3.25) |
| ④防犯対策 | (6.38) | ④生涯学習・文化・スポーツの振興 | (3.36) |
| ⑤障害者福祉 | (5.80) | ⑤観光振興 | (3.42) |

居住地域別に満足度をみると、京橋地域では、「公園・緑地・水辺の整備」(1.10)、「清掃・リサイクル事業の推進」(0.94)、「保健衛生」(0.79)が比較的高くなっている。また、「駐車場・駐輪場の整備」(-1.56)、「中小企業対策」(-0.65)、「住宅対策」(-0.60)が比較的低くなっている。

日本橋地域では、「保健衛生」(1.14)、「清掃・リサイクル事業の推進」(1.02)、「公園・緑地・水辺の整備」(0.93)が比較的高くなっている。また、「駐車場・駐輪場の整備」(-0.94)、「住宅対策」(-0.69)が比較的低くなっている。

月島地域では、「保健衛生」(1.00)、「清掃・リサイクル事業の推進」(0.97)、「子育て支援」(0.71)が比較的高くなっている。また、「駐車場・駐輪場の整備」(-1.63)、「住宅対策」(-0.85)、「高齢者福祉・介護」(-0.62)が比較的低くなっている。

居住地域別に重要度をみると、すべての地域で「子育て支援」、「高齢者福祉・介護」、「防災対策」が上位3項目となっている。(図表12-1-3)

図表12-1-3 区の施策の満足度評価点と重要度評価点—居住地域別

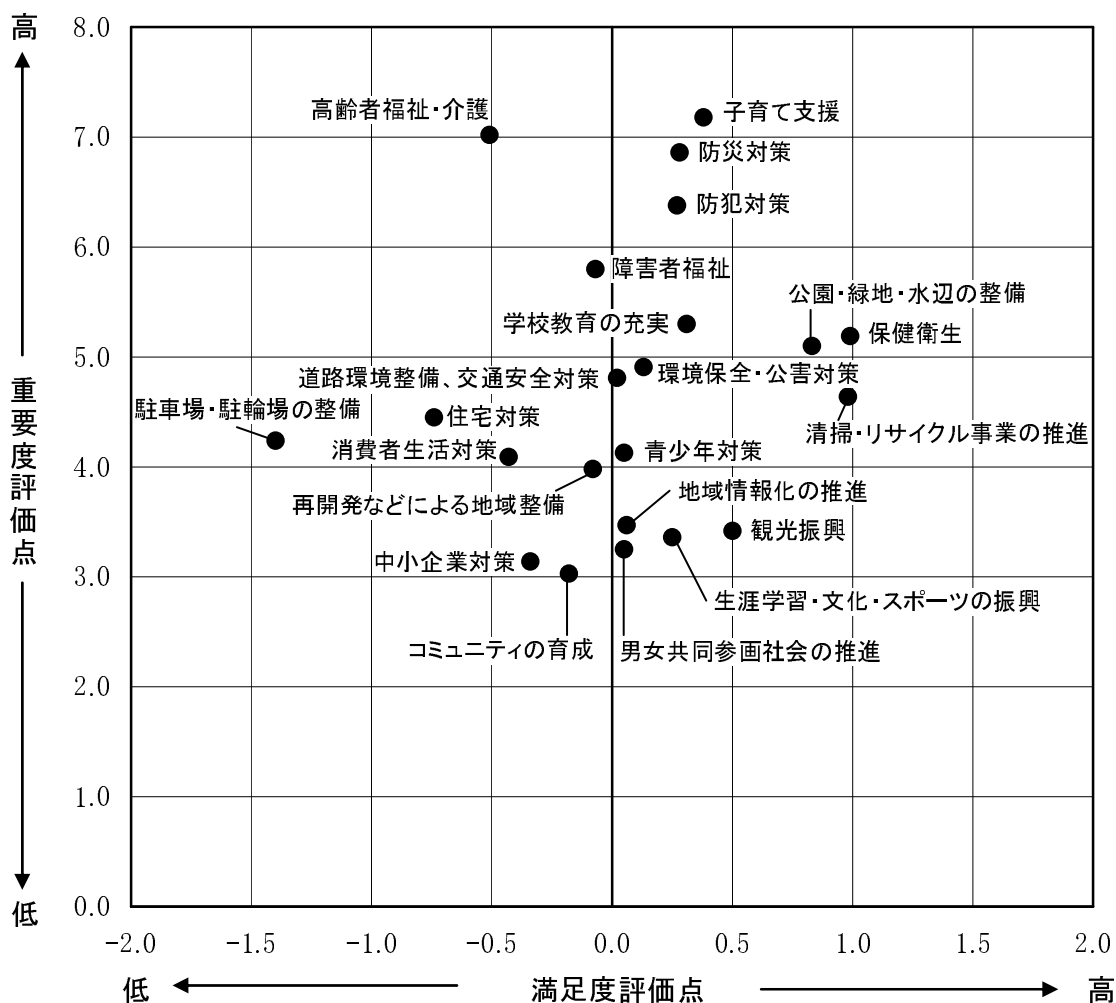
| 項目 | 満足度 | | | | 重要度 | | | |
|----------------------|--------|------------------|-----------------------|------------------|--------|------------------|-----------------------|------------------|
| | 全 体 | 京 橋 地 域 | 日 本 橋 地 域 | 月 島 地 域 | 全 体 | 京 橋 地 域 | 日 本 橋 地 域 | 月 島 地 域 |
| (1) 子育て支援 | 0.38 | 0.00 | 0.14 | 0.71 | 7.18 | 7.03 | 7.13 | 7.29 |
| (2) 障害者福祉 | -0.07 | -0.30 | 0.16 | -0.10 | 5.80 | 5.64 | 5.66 | 6.00 |
| (3) 高齢者福祉・介護 | -0.51 | -0.41 | -0.42 | -0.62 | 7.02 | 6.56 | 7.02 | 7.25 |
| (4) 保健衛生 | 0.99 | 0.79 | 1.14 | 1.00 | 5.19 | 5.14 | 5.60 | 4.91 |
| (5) 男女共同参画社会の推進 | 0.05 | 0.13 | -0.04 | 0.06 | 3.25 | 3.12 | 3.16 | 3.39 |
| (6) 住宅対策 | -0.74 | -0.60 | -0.69 | -0.85 | 4.45 | 4.32 | 4.38 | 4.58 |
| (7) 公園・緑地・水辺の整備 | 0.83 | 1.10 | 0.93 | 0.63 | 5.10 | 5.19 | 5.00 | 5.10 |
| (8) 消費者生活対策 | -0.43 | -0.52 | -0.40 | -0.40 | 4.09 | 4.27 | 4.06 | 4.01 |
| (9) 環境保全・公害対策 | 0.13 | -0.22 | 0.46 | 0.10 | 4.91 | 4.75 | 5.10 | 4.84 |
| (10) 清掃・リサイクル事業の推進 | 0.98 | 0.94 | 1.02 | 0.97 | 4.64 | 4.64 | 4.80 | 4.52 |
| (11) 駐車場・駐輪場の整備 | -1.40 | -1.56 | -0.94 | -1.63 | 4.24 | 3.86 | 4.26 | 4.41 |
| (12) 道路環境整備、交通安全対策 | 0.02 | 0.24 | 0.13 | -0.16 | 4.81 | 4.55 | 4.63 | 5.04 |
| (13) 防災対策 | 0.28 | 0.71 | 0.13 | 0.15 | 6.86 | 6.66 | 6.98 | 6.87 |
| (14) 防犯対策 | 0.27 | 0.51 | 0.28 | 0.14 | 6.38 | 6.22 | 6.63 | 6.27 |
| (15) 再開発などによる地域整備 | -0.08 | 0.10 | 0.23 | -0.38 | 3.98 | 3.80 | 3.62 | 4.30 |
| (16) 中小企業対策 | -0.34 | -0.65 | -0.41 | -0.13 | 3.14 | 3.13 | 3.31 | 3.01 |
| (17) 学校教育の充実 | 0.31 | 0.43 | 0.35 | 0.23 | 5.30 | 5.00 | 5.19 | 5.52 |
| (18) 青少年対策 | 0.05 | 0.13 | 0.02 | 0.03 | 4.13 | 3.79 | 3.97 | 4.40 |
| (19) 生涯学習・文化・スポーツの振興 | 0.25 | 0.12 | 0.32 | 0.26 | 3.36 | 3.51 | 3.42 | 3.22 |
| (20) コミュニティの育成 | -0.18 | -0.18 | -0.31 | -0.10 | 3.03 | 2.87 | 3.00 | 3.13 |
| (21) 観光振興 | 0.50 | 0.48 | 0.51 | 0.52 | 3.42 | 3.65 | 3.42 | 3.28 |
| (22) 地域情報化の推進 | 0.06 | 0.00 | 0.15 | 0.03 | 3.47 | 3.45 | 3.60 | 3.40 |

次の図表は、加重平均値による満足度評価と重要度評価を相関させた散布図である。横軸が満足度評価点、縦軸が重要度評価点になっている。

右に位置するほど満足度が高く、上に位置するほど重要度が高いといえる。満足度評価点が低く、重要度評価点が高い領域（左上方）にある項目が、住民ニーズの高いものと考えられる。

(図表12-1-4)

図表12-1-4 区の施策の満足度評価点と重要度評価点の相関



(2) 区の施策への要望

◇「高齢者福祉・介護」が4割近くで1位、2位は「子育て支援」、3位は「防災対策」

問34 問33の施策の中で、あなたが力を入れてほしいものは何ですか。1位から3位までを選んで番号を記入してください。(1~22までの番号)

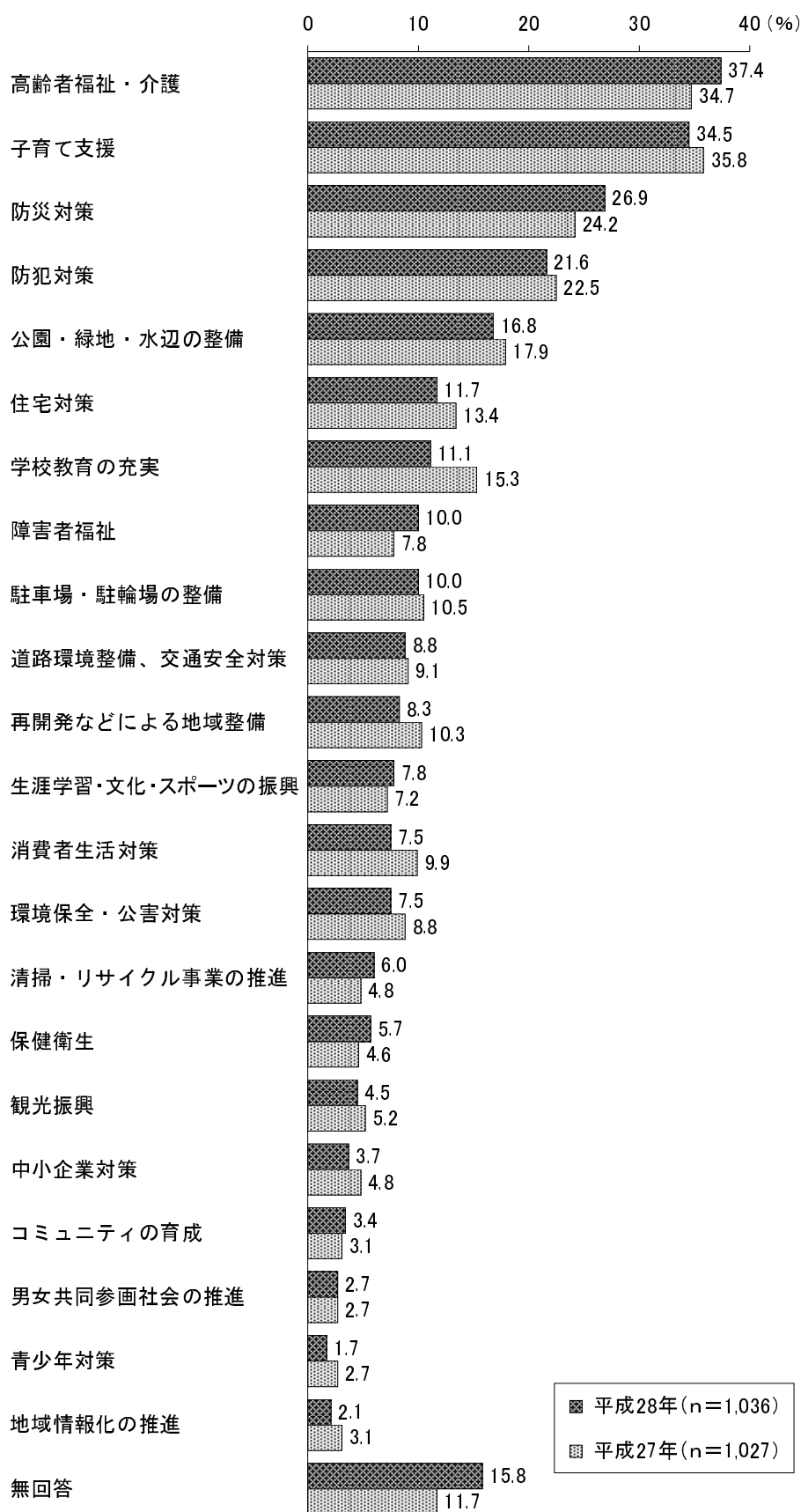
| n = 1, 036 | (%) | | | |
|--|------|------|------|------|
| | 第1位 | 第2位 | 第3位 | 全体 |
| (1) 子育て支援 | 20.6 | 7.7 | 6.2 | 34.5 |
| (2) 障害者福祉 | 3.0 | 4.0 | 3.1 | 10.0 |
| (3) 高齢者福祉・介護 | 19.0 | 10.4 | 7.9 | 37.4 |
| (4) 保健衛生 | 1.3 | 2.0 | 2.4 | 5.7 |
| (5) 男女共同参画社会の推進 | 0.5 | 1.1 | 1.2 | 2.7 |
| (6) 住宅対策 | 3.2 | 5.3 | 3.2 | 11.7 |
| (7) 公園・緑地・水辺の整備 | 6.0 | 6.2 | 4.6 | 16.8 |
| (8) 消費者生活対策 | 1.1 | 3.4 | 3.1 | 7.5 |
| (9) 環境保全・公害対策 | 1.5 | 2.8 | 3.2 | 7.5 |
| (10) 清掃・リサイクル事業の推進 | 1.5 | 2.0 | 2.4 | 6.0 |
| (11) 駐車場・駐輪場の整備 | 2.6 | 3.4 | 4.1 | 10.0 |
| (12) 道路環境整備、交通安全対策 | 2.1 | 3.1 | 3.6 | 8.8 |
| (13) 防災対策 | 8.5 | 10.6 | 7.8 | 26.9 |
| (14) 防犯対策 | 5.2 | 8.2 | 8.2 | 21.6 |
| (15) 再開発などによる地域整備 | 1.8 | 2.3 | 4.2 | 8.3 |
| (16) 中小企業対策 | 0.7 | 1.5 | 1.4 | 3.7 |
| (17) 学校教育の充実 | 2.2 | 4.2 | 4.6 | 11.1 |
| (18) 青少年対策 | 0.0 | 0.3 | 1.4 | 1.7 |
| (19) 生涯学習・文化・スポーツの振興 | 1.6 | 2.1 | 4.1 | 7.8 |
| (20) コミュニティの育成 | 0.6 | 1.2 | 1.6 | 3.4 |
| (21) 観光振興 | 0.8 | 1.0 | 2.8 | 4.5 |
| (22) 地域情報化の推進 (福祉・医療・生涯学習などさまざまな区民サービス 情報のネットワーク化・CATVの整備促進など) | 0.4 | 0.6 | 1.2 | 2.1 |
| (無回答) | 15.8 | 16.6 | 17.8 | 15.8 |

* 全体の無回答の割合は、第1位の割合とした。

区の施策への要望としては、1位が「高齢者福祉・介護」(37.4%)、2位が「子育て支援」(34.5%)、3位が「防災対策」(26.9%)となっている。

昨年との調査結果と比較すると、「学校教育の充実」は4.2ポイント減少している。一方、「高齢者福祉・介護」と「防災対策」はともに2.7ポイント増加している。(図表12-2-1)

図表12-2-1 区の施策への要望（複数回答）



性別でみると、女性の方が男性よりも「高齢者福祉・介護」で4.5ポイント、「防犯対策」で3.8ポイント、それぞれ高くなっている。一方、男性の方が女性よりも「公園・緑地・水辺の整備」で5.2ポイント、「道路環境整備、交通安全対策」で3.7ポイント、それぞれ高くなっている。

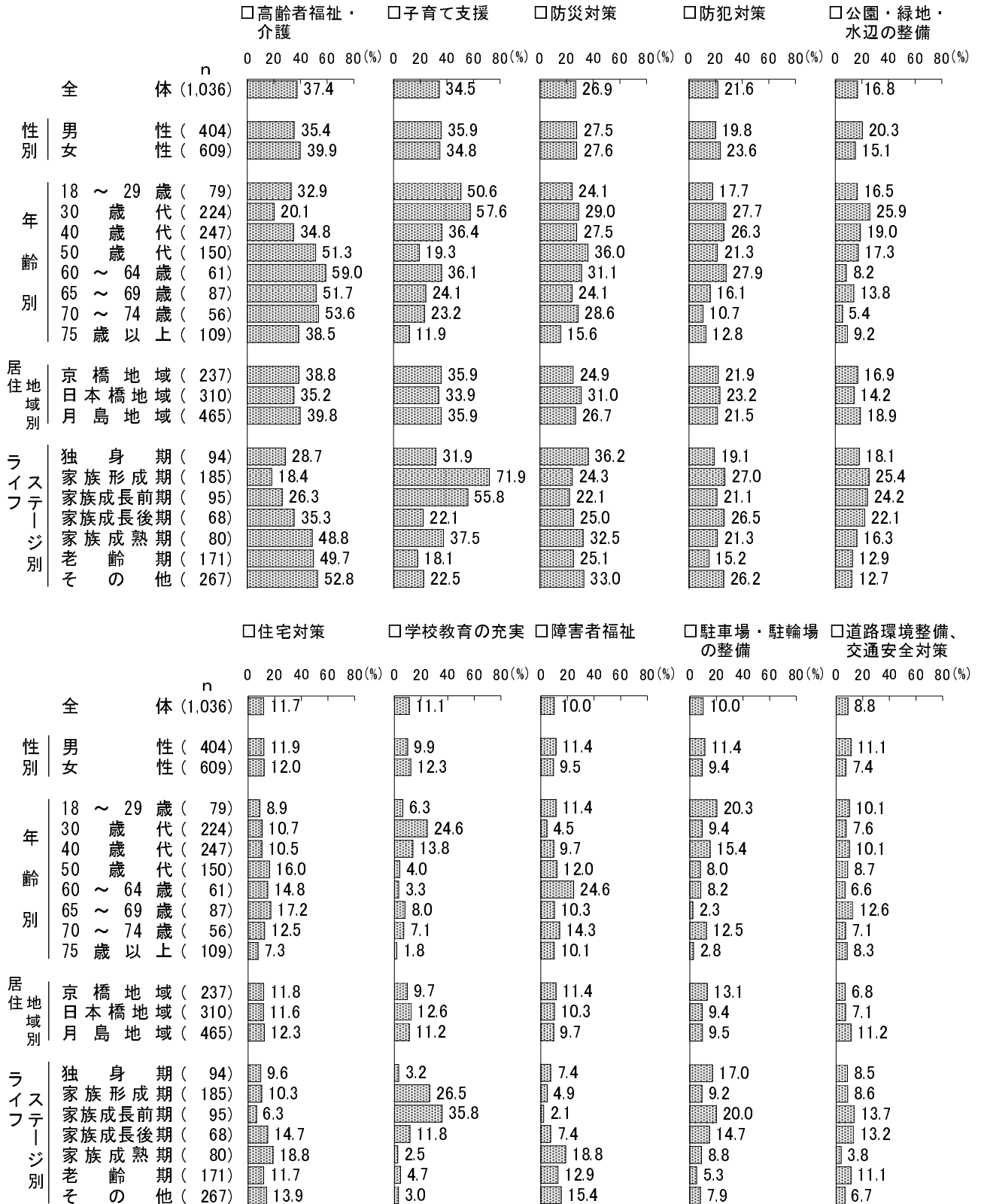
年齢別でみると、「高齢者福祉・介護」は60～64歳で約6割と高くなっている。「子育て支援」は30歳代で6割近く、18～29歳で約5割と高くなっている。「防災対策」は50歳代で3割台半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「防災対策」は日本橋地域で3割を超えて高くなっている。

ライフステージ別でみると、「高齢者福祉・介護」はその他で5割を超え、老齢期で5割、家族成熟期で約5割と高くなっている。「子育て支援」は家族形成期で7割を超え、家族成長前期で5割台半ばと高くなっている。「学校教育の充実」は家族成長前期で3割台半ばと高くなっている。

(図表12-2-2)

図表12-2-2 区の施策への要望－性別・年齢別・居住地域別・ライフステージ別（上位10項目）



上位5項目にあげられた施策を性別にみると、「子育て支援」は男性で第1位となっており、「高齢者福祉・介護」は女性で第1位となっている。

年齢別にみると、「子育て支援」は40歳代以下の年代で第1位となっており、「高齢者福祉・介護」は50歳代以上の年代で第1位となっている。

居住地域別にみると、第1位から第5位までの施策はすべての地域で同じ順位となっている。

ライフステージ別にみると、「防災対策」は独身期で第1位となっている。「子育て支援」は家族形成期と家族成長前期で第1位となっている。「高齢者福祉・介護」は家族成長後期、家族成熟期、老齢期、その他で第1位となっている。(図表12-2-3)

図表12-2-3 区の施策への要望－性別・年齢別・居住地域別・ライフステージ別（上位5項目）

| 属性 | | 順位 | (%) | | | | |
|----------|--------|-------|------------------|--------------------|------------------|---------------------------|---------------------------|
| | | n | 1位 | 2位 | 3位 | 4位 | 5位 |
| 全体 | | 1,036 | 高齢者福祉・介護 37.4 | 子育て支援 34.5 | 防災対策 26.9 | 防犯対策 21.6 | 公園・緑地・水辺の整備 16.8 |
| 性別 | 男性 | 404 | 子育て支援 35.9 | 高齢者福祉・介護 35.4 | 防災対策 27.5 | 公園・緑地・水辺の整備 20.3 | 防犯対策 19.8 |
| | 女性 | 609 | 高齢者福祉・介護 39.9 | 子育て支援 34.8 | 防災対策 27.6 | 防犯対策 23.6 | 公園・緑地・水辺の整備 15.1 |
| 年齢別 | 18～29歳 | 73 | 子育て支援 50.6 | 高齢者福祉・介護 32.9 | 防災対策 24.1 | 駐車場・駐輪場の整備 20.3 | 防犯対策 17.7 |
| | 30歳代 | 224 | 子育て支援 57.6 | 防災対策 29.0 | 防犯対策 27.7 | 公園・緑地・水辺の整備 25.9 | 学校教育の充実 24.6 |
| | 40歳代 | 247 | 子育て支援 36.4 | 高齢者福祉・介護 34.8 | 防災対策 27.5 | 防犯対策 26.3 | 公園・緑地・水辺の整備 19.0 |
| | 50歳代 | 150 | 高齢者福祉・介護 51.3 | 防災対策 36.0 | 防犯対策 21.3 | 子育て支援 19.3 | 公園・緑地・水辺の整備 17.3 |
| | 60～64歳 | 61 | 高齢者福祉・介護 59.0 | 子育て支援 36.1 | 防災対策 31.1 | 防犯対策 27.9 | 障害者福祉 24.6 |
| | 65～69歳 | 87 | 高齢者福祉・介護 51.7 | 子育て支援/防災対策 24.1 | | 住宅対策 17.2 | 防犯対策 16.1 |
| | 70～74歳 | 56 | 高齢者福祉・介護 53.6 | 防災対策 28.6 | 子育て支援 23.2 | 障害者福祉 14.3 | 住宅対策/駐輪場の整備 12.5 |
| | 75歳以上 | 109 | 高齢者福祉・介護 38.5 | 防災対策 15.6 | 防犯対策 12.8 | 子育て支援 11.9 | 障害者福祉/消費者生活対策 10.1 |
| 居住地域別 | 京橋地域 | 237 | 高齢者福祉・介護 38.8 | 子育て支援 35.9 | 防災対策 24.9 | 防犯対策 21.9 | 公園・緑地・水辺の整備 16.9 |
| | 日本橋地域 | 310 | 高齢者福祉・介護 35.2 | 子育て支援 33.9 | 防災対策 31.0 | 防犯対策 23.2 | 公園・緑地・水辺の整備 14.2 |
| | 月島地域 | 465 | 高齢者福祉・介護 39.8 | 子育て支援 35.9 | 防災対策 26.7 | 防犯対策 21.5 | 公園・緑地・水辺の整備 18.9 |
| ライフステージ別 | 独身期 | 94 | 防災対策 36.2 | 子育て支援 31.9 | 高齢者福祉・介護 28.7 | 防犯対策 19.1 | 公園・緑地・水辺の整備 18.1 |
| | 家族形成期 | 185 | 子育て支援 71.9 | 防犯対策 27.0 | 学校教育の充実 26.5 | 公園・緑地・水辺の整備 25.4 | 防犯対策 24.3 |
| | 家族成長前期 | 95 | 子育て支援 55.8 | 学校教育の充実 35.8 | 高齢者福祉・介護 26.3 | 公園・緑地・水辺の整備 24.2 | 防犯対策 22.1 |
| | 家族成長後期 | 68 | 高齢者福祉・介護 35.3 | 防犯対策 26.5 | 防災対策 25.0 | 子育て支援/公園・緑地・水辺の整備 22.1 | |
| | 家族成熟期 | 80 | 高齢者福祉・介護 48.8 | 子育て支援 37.5 | 防災対策 32.5 | 防犯対策 21.3 | 住宅対策/障害者福祉 18.8 |
| | 老齢期 | 171 | 高齢者福祉・介護 49.7 | 防災対策 25.1 | 子育て支援 18.1 | 防犯対策 15.2 | 公園・緑地・水辺の整備/障害者福祉 12.9 |
| | その他 | 267 | 高齢者福祉・介護 52.8 | 防災対策 33.0 | 防犯対策 26.2 | 子育て支援 22.5 | 障害者福祉 15.4 |

V 結果の数表

V 結果の数表

1 定住性

問1 あなたは、中央区にお住まいになって何年になりますか。(〇は1つ)

上段：件数
下段：%

| 全 体 | 3 年 未 満 | 3 ～ 6 年 未 満 | 6 ～ 10 年 未 満 | 10 ～ 15 年 未 満 | 15 ～ 20 年 未 満 | 20 年 以 上 | 生 ま れ て か ら ず つ と | 無 回 答 | 短 期 居 住 者 | 中 期 居 住 者 | 長 期 居 住 者 |
|----------------|------------------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------|---|-------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 1,036 100.0 | 227 21.9 | 131 12.6 | 127 12.3 | 135 13.0 | 96 9.3 | 196 18.9 | 116 11.2 | 8 0.8 | 358 34.6 | 358 34.6 | 312 30.1 |

問2 あなたは、中央区に対して「わがまち」というような愛着心を感じていますか。(〇は1つ)

| 全 体 | 非 常 に 感 じ る | 少 し は 感 じ る | あ ま り 感 じ な い | 感 じ な い | わ か ら な い | 無 回 答 |
|----------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------------|------------------|-----------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 461 44.5 | 391 37.7 | 102 9.8 | 28 2.7 | 47 4.5 | 7 0.7 |

問3 あなたは、中央区に今後もずっと住みたいと思っていますか。(〇は1つ)

| 全 体 | 住 み 続 け た い | で き れ ば 住 み 続 け た い | で き れ ば 転 出 し た い | 転 出 し た い | わ か ら な い | 無 回 答 |
|----------------|----------------------------|--|---|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 579 55.9 | 320 30.9 | 22 2.1 | 11 1.1 | 95 9.2 | 9 0.9 |

2 防災対策

問4 あなたのご家庭では、大地震などの災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。(〇はいくつでも)

| 全 体 | 食 料 の 備 蓄 | 飲 料 水 の 備 蓄 | 簡 易 ト イ レ の 備 蓄 | 家 具 類 の 転 倒 防 止 | 消 火 器 ・ 救 急 セ ツ ト な ど | バ ー ル 救 助 用 工 具 の 備 え な ど | 貴 重 品 を 持 ち 出 す 準 備 | 風 呂 な ど へ の 水 の た め 置 | 救 命 加 助 の 講 習 会 へ の 参 加 | 町 会 ・ 自 治 会 な ど の 地 域 | 避 難 方 法 、 避 難 場 所 の 確 認 | 家 庭 で の 連 絡 方 法 な ど の 話 し 合 い | 建 物 の 補 強 | そ の 他 | 特 に な い | 無 回 答 |
|----------------|-----------------------|----------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|---|---|--|---|--|---|--|---|-----------------------|-------------|------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 591 57.0 | 688 66.4 | 344 33.2 | 347 33.5 | 464 44.8 | 130 12.5 | 203 19.6 | 243 23.5 | 132 12.7 | 166 16.0 | 373 36.0 | 339 32.7 | 47 4.5 | 27 2.6 | 115 11.1 | 11 1.1 |

(問4で、「食料の備蓄」、「飲料水の備蓄」、「簡易トイレの備蓄」とお答えの方に)
 問4-1 災害に対する備蓄量

上段：件数
 下段：%

| | 全 体 | 1 日 分 以下 | 2 日 分 | 3 日 分 | 4 ～ 6 日 分 | 1 週 間 分 以上 | 無 回 答 | 平均 備 蓄 (日 数) | 最小 備 蓄 (日 数) | 最大 備 蓄 (日 数) |
|----------|--------------|-------------------|-------------|-------------|-----------------------|------------------------|-------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 食料の備蓄 | 591 100.0 | 109 18.4 | 143 24.2 | 204 34.5 | 41 6.9 | 62 10.5 | 32 5.4 | 3.25 | 0.5 | 60 |
| 飲料水の備蓄 | 688 100.0 | 106 15.4 | 130 18.9 | 212 30.8 | 89 12.9 | 114 16.6 | 37 5.4 | 3.88 | 0.5 | 60 |
| 簡易トイレの備蓄 | 344 100.0 | 65 18.9 | 46 13.4 | 118 34.3 | 27 7.8 | 59 17.2 | 29 8.4 | 4.05 | 0.5 | 60 |

問5 大地震が発生した場合、家具の転倒やガラスの飛散により大けがをすることがあります。
 あなたのご自宅では、どのような備えを行っていますか。(〇はいくつでも)

| 全 体 | た ん す 、 書 棚 な ど 固 定 し て 転 倒 し な い よ う に 固 定 し て お く る | テ レ ビ 、 パ ソ コ ン な ど の 固 定 し て お く る | 窓 や 食 器 棚 な ど の 防 止 ラ イ ン を 貼 つ て お く る | 食 器 棚 な ど に 止 め 金 具 を 付 け て お く る | 家 具 の 配 置 を 工 夫 し て お く る | 家 具 類 が な い た め に 固 定 し て お く る | 特 に 何 も し て い な い | 無 回 答 |
|----------------|---|--|--|---|---|--|---|-------------|
| 1,036 100.0 | 323 31.2 | 226 21.8 | 71 6.9 | 192 18.5 | 337 32.5 | 28 2.7 | 348 33.6 | 20 1.9 |

問6 区では区立の小・中学校などを「防災拠点」とし、食料や毛布などの備蓄や井戸を整備
 しています。この「防災拠点」は避難所や救護所などの機能を持っています。
 あなたは、ご自分の地域の「防災拠点」を知っていますか。(〇は1つ)

| 全 体 | 知 っ て い る | 知 っ て い る が 、 場 所 は わ か ら な い | 知 ら な い | 無 回 答 |
|----------------|-----------------------|---|------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 650 62.7 | 94 9.1 | 279 26.9 | 13 1.3 |

(問6で、「知っている」または「知っているが、場所はわからない」とお答えの方に)

問6-1 この防災拠点の災害時の運営を円滑に進めるため、町会・自治会や防災区民組織が
 防災拠点運営委員会をつくり、防災訓練の実施や日頃から防災について話し合うなど、
 災害に備えた協力体制をとっていることをあなたは知っていますか。(〇は1つ)

| 全 体 | 知 っ て い る | 知 っ て い る が 、 活 動 内 容 は よ く わ か ら な い | 知 ら な い | 無 回 答 |
|--------------|-----------------------|---|------------------|-------------|
| 744 100.0 | 178 23.9 | 262 35.2 | 292 39.2 | 12 1.6 |

問7 大地震などの災害が起こり、自宅が火災や倒壊などにより居住できず防災拠点へ避難することになった場合、あなたが特に気がかりなことは何ですか。(〇はいくつでも)

上段：件数
下段：%

| 全体 | 水・食料 | トイレ | プライバシー | 家族などの安否 | 災害の情報・状況・対策など | 医療・医薬品 | 高齢者保育 介護や乳幼児 | スペースの確保 | 暑さ寒さ対策 | ペットの世話 | その他 | 特にない | わからない | 無回答 |
|-------|------|------|--------|---------|---------------|--------|-----------------|---------|--------|--------|-----|------|-------|-----|
| 1,036 | 718 | 813 | 498 | 582 | 369 | 427 | 257 | 402 | 493 | 117 | 64 | 5 | 5 | 8 |
| 100.0 | 69.3 | 78.5 | 48.1 | 56.2 | 35.6 | 41.2 | 24.8 | 38.8 | 47.6 | 11.3 | 6.2 | 0.5 | 0.5 | 0.8 |

問8 大震災などの災害が起こったら、お住まいの近くで、あなたが協力できると思う活動には何がありますか。(〇はいくつでも)

| 全体 | 負傷者の応急手当 | 倒壊家屋などからの救出・救助 | 初期の消火活動 | 避難所での被災者の世話 | 救援物資の仕分けなどの活動 | 外国語通訳・手話・建物の危険度判定など専門的 | 収集や伝達 インターネットによる情報 | その他の支援活動 | 協力できそうもない | わからない | 無回答 |
|-------|----------|----------------|---------|-------------|---------------|------------------------|-----------------------|----------|-----------|-------|-----|
| 1,036 | 246 | 242 | 342 | 441 | 617 | 117 | 250 | 45 | 89 | 76 | 13 |
| 100.0 | 23.7 | 23.4 | 33.0 | 42.6 | 59.6 | 11.3 | 24.1 | 4.3 | 8.6 | 7.3 | 1.3 |

問9 災害時に区内の災害情報を得る手段として、一般のテレビ・ラジオ以外にあなたが有効だと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

| 全体 | 区のホームページ | ちゅうおう安全・安心メール | インターネット | ツクシやSNS(ツイッターやフェイスブック) | 防災行政無線(屋外スピーカーカー) | 緊急告知ラジオ | ケーブルテレビ | その他 | 無回答 |
|-------|----------|---------------|---------|------------------------|-------------------|---------|---------|-----|-----|
| 1,036 | 285 | 192 | 546 | 397 | 421 | 416 | 72 | 25 | 23 |
| 100.0 | 27.5 | 18.5 | 52.7 | 38.3 | 40.6 | 40.2 | 6.9 | 2.4 | 2.2 |

3 健康診査

問10 あなたが加入している健康保険は次のどれですか。(〇は1つ)

| 全体 | 中央区国民健康保険 | 国民健康保険加入する業種(業種ごとの組合)に加入する国民健康保険(自営) | 健康保険組合 | 協会けんぽ(全国健康保険協会) | 共済組合 | 後期高齢者医療制度 | その他 | 無回答 |
|-------|-----------|--------------------------------------|--------|-----------------|------|-----------|-----|-----|
| 1,036 | 149 | 162 | 454 | 84 | 55 | 112 | 5 | 15 |
| 100.0 | 14.4 | 15.6 | 43.8 | 8.1 | 5.3 | 10.8 | 0.5 | 1.4 |

問11 あなたは、この1年間に健康診査（健康診断）を受けましたか。
（○はいくつでも）

上段：件数
下段：%

| 全 体 | 区 で 実 施 し て い る 健 康 診 査 を 受 け た | 勤 務 先 （ 家 族 の 勤 務 先 を 含 む ） で 実 施 す る 健 康 診 査 を 受 け た | 加 入 組 合 な ど で 実 施 す る 健 康 保 険 の 診 査 を 受 け た | 個 人 で 人 間 ド ク な ど を 受 け た | 学 校 で 実 施 す る 健 康 診 査 を 受 け た | そ の 他 で 受 け た | 健 康 診 査 は 受 け て い な い | 無 回 答 |
|----------------|--|---|--|---|---|---------------------------------|---|-------------|
| 1,036 100.0 | 282 27.2 | 440 42.5 | 92 8.9 | 93 9.0 | 16 1.5 | 43 4.2 | 178 17.2 | 6 0.6 |

（問11で、「健康診査は受けていない」とお答えの方に）

問11-1 あなたが健康診査を受けなかった理由は何ですか。（○はいくつでも）

| 全 体 | 勤 務 先 （ 家 族 の 勤 務 先 を 含 む ） な ど で 実 施 し て い な い | 受 診 方 法 が わ か ら な い | 必 要 が な い | 時 間 が な い | 面 倒 で あ る | 健 康 に 自 信 が あ る | 病 気 で 医 者 に か か っ て | 検 査 が い や | 病 気 と 診 断 さ れ る の が 怖 い | 費 用 が か か る | そ の 他 | 無 回 答 |
|--------------|--|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------------------|--|-----------------------|--|----------------------------|-------------|-------------|
| 178 100.0 | 26 14.6 | 8 4.5 | 12 6.7 | 49 27.5 | 34 19.1 | 15 8.4 | 30 16.9 | 26 14.6 | 11 6.2 | 23 12.9 | 30 16.9 | 2 1.1 |

4 高齢者施策

問12 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいですか。
（もっとも近い考え1つに○）

| 全 体 | 主 に 家 族 の 介 護 を 受 け た り 、 自 宅 で 暮 ら し た い | 主 に 介 護 サ ー ビ ス な ど を 利 用 し て 、 自 宅 で 暮 ら し た い | 高 齢 者 向 け の 住 宅 に 住 み 替 え を 利 用 し な が ら 暮 ら し た い | 特 別 介 護 施 設 に 入 り た い | 介 護 付 き 有 料 老 人 ホ ー ム に 入 り た い | そ の 他 | わ か ら な い | 無 回 答 |
|----------------|---|--|---|---|--|-------------|-----------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 115 11.1 | 346 33.4 | 251 24.2 | 101 9.7 | 94 9.1 | 7 0.7 | 104 10.0 | 18 1.7 |

問13 あなたは、住み慣れた地域で暮らし続けるために、これからの高齢者保健福祉施策で、区が力を入れていくべきものは何だと思いませんか。
(〇はいくつでも)

上段：件数
下段：%

| 全体 | 健康づくり・介護予防の充実 | 就労・社会参加の促進 | 在宅サービス(医療・介護など)の充実 | 特別対応型グループホームや認知症対応施設(グループホームなど)の整備・誘致 | 高齢者向け住宅の整備・誘致 | ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援 | 低所得者への経済的支援 | 特になし | 無回答 |
|----------------|---------------|-------------|--------------------|---------------------------------------|---------------|---------------------|-------------|-----------|-----------|
| 1,036 100.0 | 385 37.2 | 293 28.3 | 526 50.8 | 422 40.7 | 420 40.5 | 478 46.1 | 242 23.4 | 29 2.8 | 21 2.0 |

5 子育て支援

問14 あなたは、子育てに関する悩みや不安をどこに相談しましたか。(〇は2つまで)

| 全体 | 配偶者・パートナー | その他の親族 | 職場の人 | 隣近所の人、知人、友人 | 保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間 | 保育園・認定こども園・幼稚園・学校の先生 | 子ども家庭支援センター、児童館、あかちゃん天国など子育て支援施設 | (保健センターの担当、健診時などで)保健所 | その他 | 特に相談しない | 子育てを経験していない | 無回答 |
|----------------|-------------|-------------|-----------|-------------|--------------------------|----------------------|----------------------------------|-----------------------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 1,036 100.0 | 351 33.9 | 180 17.4 | 44 4.2 | 97 9.4 | 33 3.2 | 27 2.6 | 16 1.5 | 16 1.5 | 20 1.9 | 95 9.2 | 392 37.8 | 91 8.8 |

問15 あなたがこれからの区の子育て支援で重要と考えるものを選んでください。(〇は2つまで)

| 全体 | 保育園・認定こども園・幼稚園 | 一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス | 子育て情報交換の場、子育て仲間が交流できる場 | 子どもの教育環境の整備、子どもの健やかな成長のため | 放課後や生活の場 | 情報の提供や相談サービス | 公園の整備など、子どもが安心して育てることが | 母親と乳幼児などの健康の確保および増進 | 職業生活と家庭生活との両立の支援 | 児童虐待防止対策 | 経済的な支援 | 特になし | 無回答 |
|----------------|----------------|-----------------------------------|------------------------|---------------------------|-------------|--------------|------------------------|---------------------|------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| 1,036 100.0 | 459 44.3 | 373 36.0 | 47 4.5 | 91 8.8 | 128 12.4 | 19 1.8 | 117 11.3 | 23 2.2 | 165 15.9 | 82 7.9 | 106 10.2 | 39 3.8 | 164 15.8 |

問15 あなたがこれからの区の子育て支援で更に充実を図る必要があると考えるものを選んでください。(〇はいくつでも)

上段：件数
下段：%

| 全体 | 保育園・認定こども園・幼稚園 | 地域型保育事業所・幼稚園 | 一時預かり保育、延長保育、病児・病後児保育などの子育て支援サービス | 子育て情報交換の場 | 子どもの教育環境の整備 | 放課後や生活の場 | 情報の提供や相談サービス | 公園の整備など、子どもを安心して育てる環境整備 | 母親と乳幼児などの健康の確保および増進 | 職業生活と家庭生活との両立の支援 | 児童虐待防止対策 | 経済的な支援 | 特になし | 無回答 |
|-------|----------------|--------------|-----------------------------------|-----------|-------------|----------|--------------|-------------------------|---------------------|------------------|----------|--------|------|-----|
| 1,036 | 336 | 375 | 126 | 214 | 273 | 143 | 277 | 115 | 293 | 207 | 170 | 38 | 272 | |
| 100.0 | 32.4 | 36.2 | 12.2 | 20.7 | 26.4 | 13.8 | 26.7 | 11.1 | 28.3 | 20.0 | 16.4 | 3.7 | 26.3 | |

6 広報・広聴

問16 あなたは、区のサービスやイベントなどの区政情報をどのように入手していますか。(〇はいくつでも)

| 全体 | 区の「広報紙」 | わたしの「便利帳」 | 区の印刷物 | 区のホームページ | 区の広報掲示板 | 町会・自治会の掲示板や回覧板 | ケーブルテレビ | 「こどもにちがはら」 | 「こどもにちがはら」 | 区のツイッターやフェイスブック | その他 | 無回答 |
|-------|---------|-----------|-------|----------|---------|----------------|---------|------------|------------|-----------------|-----|-----|
| 1,036 | 749 | 133 | 208 | 263 | 106 | 188 | 20 | 11 | 20 | 15 | 75 | |
| 100.0 | 72.3 | 12.8 | 20.1 | 25.4 | 10.2 | 18.1 | 1.9 | 1.1 | 1.9 | 1.4 | 7.2 | |

問17 区民の皆さんのさまざまな意見、提案、要望などをお聴きするためには、あなたはどのような取り組みが効果的だと思いますか。(〇は3つまで)

| 全体 | 区政世論調査 | 区長への「広聴はがき」 | 区長への「意見書」 | 区政モニター | パブリックコメント | 各種相談窓口の充実 | インターネットを活用 | その他 | わからない | 無回答 |
|-------|--------|-------------|-----------|--------|-----------|-----------|------------|-----|-------|-----|
| 1,036 | 366 | 110 | 146 | 134 | 138 | 343 | 367 | 33 | 112 | 55 |
| 100.0 | 35.3 | 10.6 | 14.1 | 12.9 | 13.3 | 33.1 | 35.4 | 3.2 | 10.8 | 5.3 |

問21 あなたは、区が男女共同参画推進のための拠点として設置した女性センター「ブーケ21」を知っていますか。(○は1つ)

上段：件数
下段：%

| 全体 | 知っているし、利用している | 利用内容を知っているが、活動 | 利用内容も知らないが、施設が | 知らない | その他 | 無回答 |
|-------|---------------|----------------|----------------|------|-----|-----|
| 1,036 | 34 | 80 | 320 | 571 | 3 | 28 |
| 100.0 | 3.3 | 7.7 | 30.9 | 55.1 | 0.3 | 2.7 |

8 防犯対策

問22 あなたの住む地域で不安を感じる具体的な犯罪は何ですか。(○は2つまで)

| 全体 | ひったくり | 空き巣 | 強盗 | すり・置き引き | 泥棒・車上ねらい 自動車(自転車) | 振り込め詐欺 | 傷害・暴行 | 放火 | 痴漢・強制わいせつ | 少年犯罪 | 去り 子どもの誘拐・連れ | 暴力団員による犯罪 | 悪質な客引き | その他 |
|----------|---------|------|-----|---------|----------------------|--------|-------|-----|-----------|------|-----------------|-----------|--------|-----|
| 1,036 | 62 | 225 | 66 | 28 | 126 | 128 | 62 | 54 | 104 | 37 | 145 | 21 | 14 | 39 |
| 100.0 | 6.0 | 21.7 | 6.4 | 2.7 | 12.2 | 12.4 | 6.0 | 5.2 | 10.0 | 3.6 | 14.0 | 2.0 | 1.4 | 3.8 |
| 特にな い | 無回 答 | | | | | | | | | | | | | |
| 346 | 33 | | | | | | | | | | | | | |
| 33.4 | 3.2 | | | | | | | | | | | | | |

問23 あなたが防犯のために実行していること、心掛けていることは何ですか。(○はいくつでも)

| 全体 | 自主的な防犯パトロールなどの活動に参加 | 区の広報、ホームページ、安全・安心メール、 | 防犯に関する情報を得ている | 何かあれば警察や区などの相談窓口に行く | 日ごろから近隣住民などと良好なコミュニ | 防犯カメラ、センサー付きライトなどの防犯 | 機器を設置している | 警備会社などのセキュリティシステムを | 利用している | その他 | 特にな し | 無回 答 |
|-------|---------------------|-----------------------|---------------|---------------------|---------------------|----------------------|-----------|--------------------|--------|-----|----------|---------|
| 1,036 | 12 | 205 | 140 | 210 | 161 | 157 | 23 | 425 | 27 | | | |
| 100.0 | 1.2 | 19.8 | 13.5 | 20.3 | 15.5 | 15.2 | 2.2 | 41.0 | 2.6 | | | |

問24 今後、あなたが区に特に力を入れてほしいと考える施策は何ですか。
(○は2つまで)

上段：件数
下段：%

| 全 体 | 区内 の犯 罪発 生状 況や 防犯 | 住ま いの 防犯 設備 整備 費用 | 地域 設置 の防 犯推 進カ メラ や街 路灯 | 防犯 ブツ ク講 演会 の配 布や ハン ド・ 活動 | 学校 の安 全対 策 や児 童館 など の子 ども | 通学 路や 公園 など の安 全対 | 地域 など への 防犯 パト ロール 活動 | そ の 他 | 特 に な い | 無 回 答 |
|----------------|----------------------------------|----------------------------------|--|--|---|----------------------------------|---|-------------|------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 249 24.0 | 119 11.5 | 486 46.9 | 23 2.2 | 228 22.0 | 264 25.5 | 195 18.8 | 12 1.2 | 88 8.5 | 32 3.1 |

9 公共施設

問25 あなたが、過去1年間に利用したことがある区の施設の利用頻度を、
(1) から (13) までの施設ごとに選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

| | 全 体 | よく (月に 4回 以上 利用 する) | たま (月に 1回 程度 利用 する) | あま (年に 回数 少ない) | 利用 した こと がない | 無 回 答 |
|---|----------------|------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|-----------------------|-------------|
| (1) 地域・集会施設 (区民館・コミュニティルームなど) | 1,036 100.0 | 21 2.0 | 81 7.8 | 193 18.6 | 672 64.9 | 69 6.7 |
| (2) 文化・学習施設 (中央会館・日本橋公会堂・社会教育会館・タイムドーム明石など) | 1,036 100.0 | 17 1.6 | 50 4.8 | 243 23.5 | 659 63.6 | 67 6.5 |
| (3) スポーツ施設 (総合スポーツセンター・月島スポーツプラザ・ほっとプラザはるみなど) | 1,036 100.0 | 73 7.0 | 96 9.3 | 227 21.9 | 586 56.6 | 54 5.2 |
| (4) 運動場 (月島、浜町、豊海テニス場など) | 1,036 100.0 | 14 1.4 | 30 2.9 | 135 13.0 | 782 75.5 | 75 7.2 |
| (5) 図書館 | 1,036 100.0 | 105 10.1 | 203 19.6 | 256 24.7 | 414 40.0 | 58 5.6 |
| (6) 公園 | 1,036 100.0 | 215 20.8 | 223 21.5 | 255 24.6 | 273 26.4 | 70 6.8 |
| (7) 中央区役所本庁舎、特別出張所 (日本橋・月島) | 1,036 100.0 | 32 3.1 | 182 17.6 | 562 54.2 | 197 19.0 | 63 6.1 |
| (8) 高齢者福祉施設 (おとしより相談センター・敬老館など) | 1,036 100.0 | 17 1.6 | 27 2.6 | 58 5.6 | 877 84.7 | 57 5.5 |
| (9) 子育て支援施設 (児童館など) | 1,036 100.0 | 51 4.9 | 45 4.3 | 84 8.1 | 780 75.3 | 76 7.3 |
| (10) 保健施設 (中央保健所・保健センター (日本橋・月島)) | 1,036 100.0 | 4 0.4 | 41 4.0 | 231 22.3 | 692 66.8 | 68 6.6 |
| (11) 医療施設 (休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局) | 1,036 100.0 | 6 0.6 | 29 2.8 | 251 24.2 | 685 66.1 | 65 6.3 |
| (12) 保養施設 (伊豆高原荘・区民健康村「ヴィラ本栖」) | 1,036 100.0 | 1 0.1 | 10 1.0 | 100 9.7 | 863 83.3 | 62 6.0 |
| (13) その他 | 1,036 100.0 | 1 0.1 | - - | 9 0.9 | 220 21.2 | 806 77.8 |

問25 また、あなたが、「利用したことがない」を選んだ施設について、その理由は
何ですか。施設ごとに選んでください。（〇はそれぞれ2つまで）

上段：件数
下段：%

| | 全 体 | 利用 したい 施設 では ない から | 利用 しない から | 利用 時間 が合 わな いから | 民間 の施 設の 方が 利用 しや すい か | 清潔 感が ない から | サー ビス が行 き届 いて いな いから | 職員 の対 応が 良く ない から | 施設 が混 み合 って いる から | 利用 する 必要 がな いから | どこ にあ るか 分か らな いから | 利用 方法 が分 から ない から | その他 | 無 回 答 |
|-----------------------|--------------|-----------------------------------|-----------------|-----------------------------|---|----------------------|---|----------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|------------|-------------|
| (1) 地域・集会施設 | 672 100.0 | 106 15.8 | 6 0.9 | 30 4.5 | 4 0.6 | 3 0.4 | 3 0.4 | 2 0.3 | 5 0.7 | 411 61.2 | 54 8.0 | 82 12.2 | 23 3.4 | 18 2.7 |
| (2) 文化・学習施設 | 659 100.0 | 84 12.7 | 13 2.0 | 47 7.1 | 9 1.4 | 2 0.3 | 1 0.2 | - | 6 0.9 | 358 54.3 | 62 9.4 | 90 13.7 | 34 5.2 | 18 2.7 |
| (3) スポーツ施設 | 586 100.0 | 60 10.2 | 50 8.5 | 56 9.6 | 28 4.8 | 7 1.2 | 3 0.5 | 2 0.3 | 20 3.4 | 249 42.5 | 40 6.8 | 68 11.6 | 54 9.2 | 14 2.4 |
| (4) 運動場 | 782 100.0 | 112 14.3 | 28 3.6 | 41 5.2 | 7 0.9 | 1 0.1 | - | 2 0.3 | 15 1.9 | 448 57.3 | 57 7.3 | 68 8.7 | 35 4.5 | 24 3.1 |
| (5) 図書館 | 414 100.0 | 35 8.5 | 23 5.6 | 38 9.2 | 5 1.2 | 4 1.0 | 6 1.4 | - | 4 1.0 | 215 51.9 | 41 9.9 | 23 5.6 | 36 8.7 | 14 3.4 |
| (6) 公園 | 273 100.0 | 29 10.6 | 3 1.1 | 8 2.9 | 1 0.4 | 2 0.7 | - | - | 2 0.7 | 166 60.8 | 15 5.5 | 7 2.6 | 32 11.7 | 17 6.2 |
| (7) 中央区役所本庁舎 特別出張所 | 197 100.0 | 28 14.2 | 2 1.0 | 8 4.1 | 1 0.5 | - | - | 1 0.5 | 2 1.0 | 122 61.9 | 9 4.6 | 11 5.6 | 10 5.1 | 14 7.1 |
| (8) 高齢者福祉施設 | 877 100.0 | 112 12.8 | 3 0.3 | 11 1.3 | 1 0.1 | - | 1 0.1 | 2 0.2 | 6 0.7 | 651 74.2 | 36 4.1 | 26 3.0 | 41 4.7 | 17 1.9 |
| (9) 子育て支援施設 | 780 100.0 | 81 10.4 | 4 0.5 | 12 1.5 | 3 0.4 | - | 1 0.1 | 1 0.1 | 5 0.6 | 575 73.7 | 32 4.1 | 14 1.8 | 44 5.6 | 28 3.6 |
| (10) 保健施設 | 692 100.0 | 67 9.7 | 5 0.7 | 12 1.7 | 9 1.3 | - | - | 1 0.1 | 6 0.9 | 482 69.7 | 47 6.8 | 30 4.3 | 36 5.2 | 20 2.9 |
| (11) 医療施設 | 685 100.0 | 51 7.4 | 7 1.0 | 10 1.5 | 23 3.4 | - | 1 0.1 | 2 0.3 | 4 0.6 | 477 69.6 | 43 6.3 | 29 4.2 | 50 7.3 | 19 2.8 |
| (12) 保養施設 | 863 100.0 | 75 8.7 | 38 4.4 | 27 3.1 | 64 7.4 | - | 5 0.6 | 2 0.2 | 42 4.9 | 332 38.5 | 73 8.5 | 159 18.4 | 72 8.3 | 43 5.0 |

問26 あなたが今、不足していると思う施設は何ですか。（〇は2つまで）

| 全 体 | 地域・集会施設 (区民館・コミュニティルームなど) | 文化・学習施設 (公会堂・社会教育会館など) | スポーツ施設 (スポーツセンターなど) | 運動場 | 図書館 | 公園 | 庁舎・出張所 | 高齢者福祉施設 (おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど) | 子育て支援施設 (児童館・保育園など) | 保健施設 (保健所・保健センターなど) | 医療施設 (休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局など) | 保養施設 | 学校教育施設 | 住宅 | その他 | 特 に な い | 無 回 答 |
|----------------|------------------------------|---------------------------|------------------------|-----------|-----------|-------------|-----------|--|------------------------|------------------------|--------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 28 2.7 | 35 3.4 | 164 15.8 | 64 6.2 | 88 8.5 | 127 12.3 | 13 1.3 | 156 15.1 | 157 15.2 | 10 1.0 | 76 7.3 | 46 4.4 | 27 2.6 | 88 8.5 | 39 3.8 | 287 27.7 | 54 5.2 |

問27 あなたが将来（10年程度先）、不足すると思う施設は何ですか。（○は2つまで）

上段：件数
下段：%

| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|------------------------------|---------------------------|--------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|--------------------|--------------------|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 全 体 | 地域・集会施設 （区民館・コミュニティルームなど） | 文化・学習施設 （公会堂・社会教育会館など） | スポーツ施設（スポーツセンターなど） | 運動場 | 図書館 | 公園 | 庁舎・出張所 | 高齢者福祉施設（おとしより相談センター） ・敬老館・特別養護老人ホームなど | 子育て支援施設（児童館・保育園など） | 保健施設（保健所・保健センターなど） | 医療施設（休日応急診療所・休日応急歯科） | 保養施設 | 学校教育施設 | 住宅 | その他 | 特になし | 無回答 |
| 1,036 100.0 | 26 2.5 | 23 2.2 | 46 4.4 | 45 4.3 | 36 3.5 | 86 8.3 | 13 1.3 | 575 55.5 | 207 20.0 | 25 2.4 | 162 15.6 | 17 1.6 | 62 6.0 | 76 7.3 | 14 1.4 | 127 12.3 | 46 4.4 |

10 スポーツ

問28 あなたがこの1年間に行ったスポーツや運動は何ですか。（○はいくつでも）

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|--|--|-------------|-------------------------------|---|----------------|------------|------------------------------|-----------------------|-------------|-----------------|-------------------|-------------|--------------------------------|-----------|-----------|
| 全 体 | 水泳（含む） （水中歩行、水中運動、アクアビクスなどを | 体操（ラジオ体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、 太極拳、エアロビクス、ストレッチ、腰痛・ 肩こり防止などの健康体操など） | ジョギング、マラソン | ウォーキング、散歩 （散策、ペットの散歩などを含む） | マシントレニング（ランニングマシン、バラ マシントレーニング（ランニングマシン、バラ | 武道（柔道、剣道、空手など） | テニス、ソフトテニス | 屋内球技 （バレーボール、バドミントン、卓球など） | 屋外の球技（野球、ソフトボール、サッカー、 | ゴルフ | ハイキング、キャンプ、登山など | スキー、スノーボード、スケートなど | 海水浴（遊水） | シュノーケリング、ダイビング、サーフィン、 ヨットなど | 釣り | ボウリング |
| 1,036 100.0 | 227 21.9 | 375 36.2 | 213 20.6 | 604 58.3 | 195 18.8 | 15 1.4 | 56 5.4 | 55 5.3 | 57 5.5 | 148 14.3 | 117 11.3 | 71 6.9 | 114 11.0 | 77 7.4 | 49 4.7 | 90 8.7 |
| サイクリング | フットサル、ペタンク、スノーボード、 スキー、ゴルフ、テニス、バドミントン、 卓球、サッカー、野球、ソフトボール、 バレーボール、水泳、水歩、水中運動、 アクアビクス、マラソン、ジョギング、 ウォーキング、散歩、健康体操、ラジオ 体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、 太極拳、エアロビクス、ストレッチ、 腰痛・肩こり防止などの健康体操など、 ダンス（フォークダンス、ジャズ | ダンス、民謡の踊りを含む） | その他 | スポーツや運動はしなかった | 無回答 | | | | | | | | | | | |
| 165 15.9 | 16 1.5 | 55 5.3 | 10 1.0 | 131 12.6 | 35 3.4 | | | | | | | | | | | |

(問28で、「水泳」から「その他」のいずれかにお答えの方に)
 問28-1 あなたは、この1年間にどのくらいスポーツや運動をしましたか。
 (〇は1つ)

上段：件数
 下段：%

| 全 体 | 週に 3日 以上 | 週に 1〜 2日 程度 | 月に 1〜 3日 程度 | 3カ 月(年 に1 4〜 11日 程度) | 年 に1 〜3 日程 度 | わ か ら な い | 無 回 答 |
|--------------|----------------|----------------------|----------------------|-------------------------------------|--------------------------|-----------------------|-------------|
| 870 100.0 | 175 20.1 | 262 30.1 | 195 22.4 | 104 12.0 | 68 7.8 | 13 1.5 | 53 6.1 |

問29 あなたは、区民のスポーツへの参加の機会を増やすために、区は今後どのようなことに
 力を入れたら良いと思いますか。(〇は3つまで)

| 全 体 | ス ポ ー ツ 施 設 の 増 設 ・ 充 実 | 学 校 体 育 施 設 の 開 放 ・ 整 備 | 施 設 利 用 時 間 の 拡 大 | ス ポ ー ツ 行 事 ・ 大 会 ・ 教 室 の 開 催 | 障 害 の あ る 人 を 対 象 と し た ス ポ ー ツ 教 室 や 体 験 会 の 開 催 | 地 域 ス ポ ー ツ 活 動 に 対 す る 支 援 | 年 齢 に か か り な く 普 及 し め る ス ポ ー ツ の 場 の 提 供 | 一 人 ス ポ ー ツ の 場 の 提 供 | 公 共 ス ポ ー ツ 施 設 で の 健 康 ・ 体 力 相 談 の 整 備 | 区 内 の ス ポ ー ツ 情 報 発 信 | そ の 他 | わ か ら な い | 無 回 答 |
|----------------|--|--|---|---|---|--|--|---|--|---|-------------|-----------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 379 36.6 | 136 13.1 | 247 23.8 | 183 17.7 | 41 4.0 | 82 7.9 | 208 20.1 | 331 31.9 | 80 7.7 | 160 15.4 | 31 3.0 | 143 13.8 | 44 4.2 |

11 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

問30 2020年東京大会が開催されることについて、現段階でのお気持ちをお聞かせください。(○は1つ)

上段：件数
下段：%

| 全体 | 期待している | どちらかという期待 | どちらかという懸念 | 懸念がある | 無回答 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 1,036 100.0 | 410 39.6 | 237 22.9 | 210 20.3 | 131 12.6 | 48 4.6 |

問31 2020年東京大会の開催に伴い、あなたが期待していることは何ですか。(○は3つまで)

| 全体 | スポーツ参加意識の向上、障害者スポーツの普及など | 健康づくりの推進 | 外国人との交流機会の増加 | 学校における国際教育などの推進 | 障害者の福祉施策の推進 （ボランティアやフリー化など） | 地域活動の活性化 （ポランテアやおもてなしなど） | 地域の伝統・文化・観光資源の活用による中央区の魅力・知名度の向上 | 五輪関連投資や消費増などによる経済活性化 | 防犯・防災対策の強化 | 幹線道路や公共交通の整備促進 （道路の整備・拡幅、基幹的交通システムの導入など） | 外国人が円滑に移動できる多言語対応の取組 | 環境にやさしいまちづくりの推進 （コミュニティサイクルの導入など） | その他 | 無回答 |
|----------------|--------------------------|-----------|--------------|-----------------|--------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|----------------------|-------------|---|----------------------|--------------------------------------|-----------|-----------|
| 1,036 100.0 | 169 16.3 | 88 8.5 | 250 24.1 | 148 14.3 | 148 14.3 | 165 15.9 | 208 20.1 | 290 28.0 | 287 27.7 | 329 31.8 | 113 10.9 | 155 15.0 | 15 1.4 | 74 7.1 |

問32 2020年東京大会の開催に伴い、あなたが懸念していることは何ですか。(○は3つまで)

| 全体 | 海外観光客に対する受入準備への対応不足（外国語や異文化への対応の不足など） | 観光客の増加による交通混雑、買物などの不便さ（交通混雑、買物などの不便さ） | 観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念 | 観光客の増加による衛生面（感染症など）の懸念 | 大会開催に伴う道路規制や選手村の警備などによる日常生活への影響 | 選手村工事などによる騒音や渋滞の発生 | 五輪関連以外の公共インフラ整備の遅延 | 材料費、人件費の高騰や便乗値上げなどによる物価上昇 | 区の財政負担の増加 | その他 | 無回答 |
|----------------|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------|------------------------|---------------------------------|--------------------|--------------------|---------------------------|-------------|-----------|-----------|
| 1,036 100.0 | 306 29.5 | 322 31.1 | 754 72.8 | 298 28.8 | 204 19.7 | 93 9.0 | 100 9.7 | 289 27.9 | 236 22.8 | 33 3.2 | 45 4.3 |

12 施策の要望・評価

問33 あなたは、区の施策についてどの程度満足していますか。

満足度について、次の項目それぞれに、あてはまるものを1つずつ選んでください。
(○はそれぞれ1つずつ)

上段：件数
下段：%

| | 全 体 | 満 足 | やや 満足 | 普 通 | やや 不満 | 不 満 | 無 回 答 | 評 価 点 (点 数) |
|--|----------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-----------|-------------|-------------------------|
| (1) 子育て支援 | 1,036 100.0 | 56 5.4 | 144 13.9 | 510 49.2 | 83 8.0 | 54 5.2 | 189 18.2 | 0.38 |
| (2) 障害者福祉 | 1,036 100.0 | 23 2.2 | 72 6.9 | 646 62.4 | 80 7.7 | 25 2.4 | 190 18.3 | -0.07 |
| (3) 高齢者福祉・介護 | 1,036 100.0 | 30 2.9 | 77 7.4 | 599 57.8 | 118 11.4 | 54 5.2 | 158 15.3 | -0.51 |
| (4) 保健衛生 | 1,036 100.0 | 52 5.0 | 131 12.6 | 628 60.6 | 38 3.7 | 13 1.3 | 174 16.8 | 0.99 |
| (5) 男女共同参画社会の推進 | 1,036 100.0 | 27 2.6 | 50 4.8 | 693 66.9 | 62 6.0 | 17 1.6 | 187 18.1 | 0.05 |
| (6) 住宅対策 | 1,036 100.0 | 31 3.0 | 78 7.5 | 554 53.5 | 145 14.0 | 62 6.0 | 166 16.0 | -0.74 |
| (7) 公園・緑地・水辺の整備 | 1,036 100.0 | 82 7.9 | 220 21.2 | 409 39.5 | 139 13.4 | 48 4.6 | 138 13.3 | 0.83 |
| (8) 消費者生活対策 | 1,036 100.0 | 22 2.1 | 44 4.2 | 670 64.7 | 104 10.0 | 29 2.8 | 167 16.1 | -0.43 |
| (9) 環境保全・公害対策 | 1,036 100.0 | 32 3.1 | 93 9.0 | 631 60.9 | 90 8.7 | 22 2.1 | 168 16.2 | 0.13 |
| (10) 清掃・リサイクル事業の推進 | 1,036 100.0 | 58 5.6 | 159 15.3 | 581 56.1 | 72 6.9 | 15 1.4 | 151 14.6 | 0.98 |
| (11) 駐車場・駐輪場の整備 | 1,036 100.0 | 26 2.5 | 88 8.5 | 466 45.0 | 219 21.1 | 84 8.1 | 153 14.8 | -1.40 |
| (12) 道路環境整備、交通安全対策 | 1,036 100.0 | 38 3.7 | 109 10.5 | 588 56.8 | 109 10.5 | 36 3.5 | 156 15.1 | 0.02 |
| (13) 防災対策 | 1,036 100.0 | 33 3.2 | 128 12.4 | 601 58.0 | 96 9.3 | 24 2.3 | 154 14.9 | 0.28 |
| (14) 防犯対策 | 1,036 100.0 | 35 3.4 | 114 11.0 | 617 59.6 | 84 8.1 | 26 2.5 | 160 15.4 | 0.27 |
| (15) 再開発などによる地域整備 | 1,036 100.0 | 32 3.1 | 123 11.9 | 556 53.7 | 109 10.5 | 46 4.4 | 170 16.4 | -0.08 |
| (16) 中小企業対策 | 1,036 100.0 | 17 1.6 | 31 3.0 | 705 68.1 | 70 6.8 | 26 2.5 | 187 18.1 | -0.34 |
| (17) 学校教育の充実 | 1,036 100.0 | 26 2.5 | 117 11.3 | 618 59.7 | 64 6.2 | 26 2.5 | 185 17.9 | 0.31 |
| (18) 青少年対策 | 1,036 100.0 | 17 1.6 | 49 4.7 | 716 69.1 | 37 3.6 | 19 1.8 | 198 19.1 | 0.05 |
| (19) 生涯学習・文化・スポーツの振興 | 1,036 100.0 | 28 2.7 | 107 10.3 | 630 60.8 | 84 8.1 | 18 1.7 | 169 16.3 | 0.25 |
| (20) コミュニティの育成 | 1,036 100.0 | 14 1.4 | 62 6.0 | 676 65.3 | 87 8.4 | 17 1.6 | 180 17.4 | -0.18 |
| (21) 観光振興 | 1,036 100.0 | 34 3.3 | 134 12.9 | 600 57.9 | 75 7.2 | 20 1.9 | 173 16.7 | 0.50 |
| (22) 地域情報化の推進(福祉・医療・生涯学習などさまざまな区民サービス情報のネットワーク化・CATVの整備促進など) | 1,036 100.0 | 22 2.1 | 81 7.8 | 655 63.2 | 78 7.5 | 18 1.7 | 182 17.6 | 0.06 |
| (23) 区の施策を総合的に見ると | 1,036 100.0 | 41 4.0 | 205 19.8 | 559 54.0 | 68 6.6 | 18 1.7 | 145 14.0 | 1.03 |

満足度の比較をより明確にするために、加重平均値を算出した。

満足度評価点 = (「満足」の回答者数×10点 + 「やや満足」の回答者数×5点 + 「普通」の回答者数×0点
+ 「やや不満」の回答者数×-5点 + 「不満」の回答者数×-10点) ÷ (回答者数 - 無回答者数)

この計算方法では、満足度の場合の評価点は、+10.00点～-10.00点の間に分布し、中間点の0.00点を境に、
+10.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に-10.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

問33 あなたは、区の施策についてどの程度重視していますか。
重要度について、次の項目それぞれに、あてはまるものを1つずつ選んでください。
(○はそれぞれ1つずつ)

上段：件数
下段：%

| | 全 体 | たい へん 重要 | 比較 的 重要 | 普通 | 無 回 答 | 評 価 点 (点 数) |
|--|----------------|----------------|---------------|-------------|-------------|-----------------------------|
| (1) 子育て支援 | 1,036 100.0 | 469 45.3 | 181 17.5 | 129 12.5 | 257 24.8 | 7.18 |
| (2) 障害者福祉 | 1,036 100.0 | 317 30.6 | 257 24.8 | 194 18.7 | 268 25.9 | 5.80 |
| (3) 高齢者福祉・介護 | 1,036 100.0 | 462 44.6 | 195 18.8 | 140 13.5 | 239 23.1 | 7.02 |
| (4) 保健衛生 | 1,036 100.0 | 257 24.8 | 283 27.3 | 228 22.0 | 268 25.9 | 5.19 |
| (5) 男女共同参画社会の推進 | 1,036 100.0 | 119 11.5 | 255 24.6 | 384 37.1 | 278 26.8 | 3.25 |
| (6) 住宅対策 | 1,036 100.0 | 216 20.8 | 260 25.1 | 301 29.1 | 259 25.0 | 4.45 |
| (7) 公園・緑地・水辺の整備 | 1,036 100.0 | 252 24.3 | 298 28.8 | 237 22.9 | 249 24.0 | 5.10 |
| (8) 消費者生活対策 | 1,036 100.0 | 180 17.4 | 271 26.2 | 321 31.0 | 264 25.5 | 4.09 |
| (9) 環境保全・公害対策 | 1,036 100.0 | 231 22.3 | 292 28.2 | 245 23.6 | 268 25.9 | 4.91 |
| (10) 清掃・リサイクル事業の推進 | 1,036 100.0 | 204 19.7 | 316 30.5 | 260 25.1 | 256 24.7 | 4.64 |
| (11) 駐車場・駐輪場の整備 | 1,036 100.0 | 192 18.5 | 277 26.7 | 310 29.9 | 257 24.8 | 4.24 |
| (12) 道路環境整備、交通安全対策 | 1,036 100.0 | 236 22.8 | 276 26.6 | 266 25.7 | 258 24.9 | 4.81 |
| (13) 防災対策 | 1,036 100.0 | 439 42.4 | 205 19.8 | 145 14.0 | 247 23.8 | 6.86 |
| (14) 防犯対策 | 1,036 100.0 | 383 37.0 | 236 22.8 | 166 16.0 | 251 24.2 | 6.38 |
| (15) 再開発などによる地域整備 | 1,036 100.0 | 163 15.7 | 289 27.9 | 321 31.0 | 263 25.4 | 3.98 |
| (16) 中小企業対策 | 1,036 100.0 | 107 10.3 | 264 25.5 | 390 37.6 | 275 26.5 | 3.14 |
| (17) 学校教育の充実 | 1,036 100.0 | 286 27.6 | 238 23.0 | 240 23.2 | 272 26.3 | 5.30 |
| (18) 青少年対策 | 1,036 100.0 | 183 17.7 | 255 24.6 | 314 30.3 | 284 27.4 | 4.13 |
| (19) 生涯学習・文化・スポーツの振興 | 1,036 100.0 | 107 10.3 | 304 29.3 | 360 34.7 | 265 25.6 | 3.36 |
| (20) コミュニティの育成 | 1,036 100.0 | 99 9.6 | 266 25.7 | 401 38.7 | 270 26.1 | 3.03 |
| (21) 観光振興 | 1,036 100.0 | 121 11.7 | 283 27.3 | 364 35.1 | 268 25.9 | 3.42 |
| (22) 地域情報化の推進(福祉・医療・生涯学習などさまざまな区民サービス情報のネットワーク化・CATVの整備促進など) | 1,036 100.0 | 117 11.3 | 287 27.7 | 347 33.5 | 285 27.5 | 3.47 |

重要度の比較をより明確にするために、加重平均値を算出した。

重要度評価点 = (「たいへん重要」の回答者数×10点 + 「比較的重要」の回答者数×5点 + 「普通」の回答者数×0点) ÷ (回答者数 - 無回答者数)

この計算方法では、重要度の場合の評価点は、+10.00点～0点の間に分布し、+10.00点に近くなるほど重要度が高くなる。

問34 問33の施策の中で、あなたが力を入れてほしいものは何ですか。
1位から3位までを選んで番号を記入してください。

上段：件数
下段：%

| | 全 体 | (1) 子育て 支援 | (2) 障害者 福祉 | (3) 高齢者 福祉・ 介護 | (4) 保健衛 生 | (5) 男女共 同参画 社会の 推進 | (6) 住宅対 策 | (7) 公園・ 緑地・ 水辺の 整備 | (8) 消費者 生活対 策 | (9) 環境保 全・公 害対策 | (10) 清掃・ 推進 リサイ クル事 業の | (11) 駐車場 ・駐輪 場の整 備 | (12) 道路環 境整備 、交通 安全 |
|----------------|------------------|------------------|--------------------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|------------------------|--|---------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| 第1位～第 3位の累計 | 1,036 100.0 | 357 34.5 | 104 10.0 | 387 37.4 | 59 5.7 | 28 2.7 | 121 11.7 | 174 16.8 | 78 7.5 | 78 7.5 | 62 6.0 | 104 10.0 | 91 8.8 |
| 第1位 | 1,036 100.0 | 213 20.6 | 31 3.0 | 197 19.0 | 13 1.3 | 5 0.5 | 33 3.2 | 62 6.0 | 11 1.1 | 16 1.5 | 16 1.5 | 27 2.6 | 22 2.1 |
| 第2位 | 1,036 100.0 | 80 7.7 | 41 4.0 | 108 10.4 | 21 2.0 | 11 1.1 | 55 5.3 | 64 6.2 | 35 3.4 | 29 2.8 | 21 2.0 | 35 3.4 | 32 3.1 |
| 第3位 | 1,036 100.0 | 64 6.2 | 32 3.1 | 82 7.9 | 25 2.4 | 12 1.2 | 33 3.2 | 48 4.6 | 32 3.1 | 33 3.2 | 25 2.4 | 42 4.1 | 37 3.6 |
| | (13) 防災対 策 | (14) 防犯対 策 | (15) 再開 発など による 地域整 備 | (16) 中小企 業対策 | (17) 学校教 育の充 実 | (18) 青少年 対策 | (19) 生涯学 習・文 化・ス ポーツ の | (20) コミュ ニティ の育成 | (21) 観光振 興 | (22) 地域療 情・な 報生区 化涯民 の学サ 推習↑ 進など （福祉 ・まざ ・医ま | | 無回 答 | |
| 第1位～第 3位の累計 | 279 26.9 | 224 21.6 | 86 8.3 | 38 3.7 | 115 11.1 | 18 1.7 | 81 7.8 | 35 3.4 | 47 4.5 | 22 2.1 | | 164 15.8 | |
| 第1位 | 88 8.5 | 54 5.2 | 19 1.8 | 7 0.7 | 23 2.2 | - - | 17 1.6 | 6 0.6 | 8 0.8 | 4 0.4 | | 164 15.8 | |
| 第2位 | 110 10.6 | 85 8.2 | 24 2.3 | 16 1.5 | 44 4.2 | 3 0.3 | 22 2.1 | 12 1.2 | 10 1.0 | 6 0.6 | | 172 16.6 | |
| 第3位 | 81 7.8 | 85 8.2 | 43 4.2 | 15 1.4 | 48 4.6 | 15 1.4 | 42 4.1 | 17 1.6 | 29 2.8 | 12 1.2 | | 184 17.8 | |

* 第1位～第3位の累計の無回答は第1位の値とした

13 フェイスシート

F 1 性別 (○は1つ)

上段：件数
下段：%

| 全 体 | 男 性 | 女 性 | 無 回 答 |
|--------|--------|--------|-------------|
| 1,036 | 404 | 609 | 23 |
| 100.0 | 39.0 | 58.8 | 2.2 |

F 2 年齢 (○は1つ)

| 全 体 | 18 ～ 29 歳 | 30 歳 代 | 40 歳 代 | 50 歳 代 | 60 ～ 64 歳 | 65 ～ 69 歳 | 70 ～ 74 歳 | 75 歳 以 上 | 無 回 答 |
|--------|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|-------------|
| 1,036 | 79 | 224 | 247 | 150 | 61 | 87 | 56 | 109 | 23 |
| 100.0 | 7.6 | 21.6 | 23.8 | 14.5 | 5.9 | 8.4 | 5.4 | 10.5 | 2.2 |

性別／年齢

| 全 体 | 男 性 | | | | | | | | 女 性 | | | | | | | | 性 別 ま た は 年 齢 無 回 答 |
|--------|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|--|
| | 18 ～ 29 歳 | 30 歳 代 | 40 歳 代 | 50 歳 代 | 60 ～ 64 歳 | 65 ～ 69 歳 | 70 ～ 74 歳 | 75 歳 以 上 | 18 ～ 29 歳 | 30 歳 代 | 40 歳 代 | 50 歳 代 | 60 ～ 64 歳 | 65 ～ 69 歳 | 70 ～ 74 歳 | 75 歳 以 上 | |
| 1,036 | 30 | 90 | 93 | 65 | 27 | 31 | 25 | 41 | 49 | 134 | 153 | 85 | 34 | 56 | 30 | 68 | 25 |
| 100.0 | 2.9 | 8.7 | 9.0 | 6.3 | 2.6 | 3.0 | 2.4 | 4.0 | 4.7 | 12.9 | 14.8 | 8.2 | 3.3 | 5.4 | 2.9 | 6.6 | 2.4 |

F 3 あなたの職業は何ですか。(○は1つ)

| 全 体 | 自 営 業 (家 族 従 業 を 含 む) | 勤 め 人 | ア ル バ イ ト ・ パ ー ト タ イ マ ー | 無 職 (主 婦) | 無 職 (学 生) | 無 職 (そ の 他) | 無 回 答 |
|--------|--|-------------|---|--------------------|--------------------|-------------------------|-------------|
| 1,036 | 177 | 496 | 70 | 144 | 15 | 107 | 27 |
| 100.0 | 17.1 | 47.9 | 6.8 | 13.9 | 1.4 | 10.3 | 2.6 |

F 4 あなたのお住まいの地域は次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

上段：件数
下段：%

| 全 体 | 京 橋 地 域 | 日 本 橋 地 域 | 月 島 地 域 | 無 回 答 |
|----------------|------------------|-----------------------|------------------|-------------|
| 1,036 100.0 | 237 22.9 | 310 29.9 | 465 44.9 | 24 2.3 |

F 5 現在一緒に暮らしているご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。(〇は1つ)

| 全 体 | 1 人 | 2 人 | 3 人 | 4 人 | 5 人 | 6 人 | 7 人 | 8 人 | 無 回 答 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|----------|----------|-------------|
| 1,036 100.0 | 233 22.5 | 349 33.7 | 236 22.8 | 143 13.8 | 38 3.7 | 11 1.1 | 2 0.2 | 1 0.1 | 23 2.2 |

F 6 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(〇は1つ)

| 全 体 | 持 家 | | 借 家 | | | | | | 無 回 答 | |
|----------------|-------------|---------------------------------|-------------|---|--------------------------------------|--|-------------------------|-----------------------------|-------------|-------------|
| | 一 戸 建 | 分 譲 マ ン シ ヨ ン | 一 戸 建 | 社、都 市再 生機 構(旧 公団) 公 共住 宅(区 立、 区営、 都営、 公) | 民 間 木 造 ア パ ー ト | 民 間 鉄 筋 ア パ ー ト、 マ ン シ ヨ ン | 社 宅、 官 舎、 寮 | 間 借 り、 住 込 み | | そ の 他 |
| 1,036 100.0 | 135 13.0 | 460 44.4 | 11 1.1 | 101 9.7 | 2 0.2 | 275 26.5 | 36 3.5 | 2 0.2 | 4 0.4 | 10 1.0 |

(F6で、「分譲マンション」、「公共住宅」、「民間木造アパート」、「民間鉄筋アパート、マンション」、「社宅、官舎、寮」とお答えの方に)

上段：件数
下段：%

F6-1 お住まいの階層

| | 全 体 | 1 階 | 2 階 | 3 階 | 4 階 | 5 階 | 6 階 | 7 階 | 8 階 | 9 階 | 10 階 以上 | 無 回 答 | 1 ～ 5 階 | 6 ～ 9 階 | 10 階 以上 |
|--------------------|--------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------------|-------------|------------------|------------------|---------------|
| 分譲マンション | 460 100.0 | 6 1.3 | 23 5.0 | 30 6.5 | 30 6.5 | 36 7.8 | 34 7.4 | 22 4.8 | 35 7.6 | 24 5.2 | 24 5.2 | 55 12.0 | 125 27.2 | 115 25.0 | 165 35.9 |
| 公共住宅 | 101 100.0 | - - | 1 1.0 | 1 1.0 | 2 2.0 | 4 4.0 | 5 5.0 | 4 4.0 | 5 5.0 | 5 5.0 | - - | 36 35.6 | 8 7.9 | 19 18.8 | 38 37.6 |
| 民間木造アパート | 2 100.0 | - - | 1 50.0 | 1 50.0 | - - | - - | - - | - - | - - | - - | - - | - - | 2 100.0 | - - | - - |
| 民間鉄筋アパート、 マンション | 275 100.0 | 2 0.7 | 16 5.8 | 23 8.4 | 18 6.5 | 27 9.8 | 22 8.0 | 14 5.1 | 24 8.7 | 20 7.3 | 14 5.1 | 30 10.9 | 86 31.3 | 80 29.1 | 79 28.7 |
| 社宅、官舎、寮 | 36 100.0 | 1 2.8 | 1 2.8 | 3 8.3 | 2 5.6 | 6 16.7 | 2 5.6 | 3 8.3 | 3 8.3 | 2 5.6 | 4 11.1 | 6 16.7 | 13 36.1 | 10 27.8 | 7 19.4 |

F7 あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

| 全 体 | ひとり暮らし | 夫婦だけ(1世代) | 夫婦と子どもだけ(2世代) | 夫婦と子どもと親(3世代) | その他 | 無回答 |
|----------------|-------------|-------------|---------------|---------------|------------|-----------|
| 1,036 100.0 | 226 21.8 | 292 28.2 | 357 34.5 | 41 4.0 | 102 9.8 | 18 1.7 |

F8 あなたの家族の状況は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

| 全 体 | 子どものいない夫婦 | 一入学前の子どものみが小学校 | 一番上の子どもが小・中 | 一番上の子どもが高校・大生 | 一番上の子どもが学校卒業 | 独身 | その他 | 無回答 |
|----------------|-------------|----------------|-------------|---------------|--------------|-------------|-----------|-----------|
| 1,036 100.0 | 218 21.0 | 113 10.9 | 95 9.2 | 68 6.6 | 163 15.7 | 275 26.5 | 47 4.5 | 57 5.5 |

ライフステージ

| 全 体 | 独身期 | 家族形成期 | 家族成長前期 | 家族成長後期 | 家族成熟期 | 老齢期 | その他 | 無回答 |
|----------------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 1,036 100.0 | 94 9.1 | 185 17.9 | 95 9.2 | 68 6.6 | 80 7.7 | 171 16.5 | 267 25.8 | 76 7.3 |

VI 使用した調査票

区政世論調査ご協力のお願い

日頃から区政の推進にご理解・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

このたび中央区では、「第46回区政世論調査」を行うことといたしました。今回の世論調査は、満18歳以上の区民の皆さん2,000人を対象に、防災対策、高齢者施策、子育て支援などについてご意見を伺い、今後の区政推進の基礎資料とするために実施するものです。

調査は無記名で行い、結果は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。

また、今回、あなたにこの調査票をお送りしましたのは、区の住民基本台帳から統計的手法によって無作為に選ばせていただいた結果です。

調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成28年 5月

中央区企画部広報課

☆ご記入にあたってのお願い

- ◇ 調査票には、**あて名のご本人**がご記入ください。
- ◇ 濃いえんぴつ、ボールペンまたは万年筆でご記入ください。
- ◇ お答えは、あてはまる回答の番号に○を付けてください。なお、複数回答もごさいますので、○は（ ）の中に指定した個数まで付けてください。
- ◇ お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容をできるだけ具体的に（ ）の中にご記入ください。
- ◇ 設問によってご回答いただく方が限られる場合がありますので、説明文や矢印に従ってご回答ください。特に説明のない場合は、次の設問にお進みください。

ご記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れて、5月23日(月)までにポストに投函してください。切手は不要です。

この調査についてご不明な点等がございましたら、下記までお気軽にお問合せください。



中央区役所 企画部 広報課 広聴係

〒104-8404 中央区築地1-1-1

電話 03-3546-5222 (直通)

第 46 回 区 政 世 論 調 査

1 定住性

問 1 あなたは、中央区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|------------|-------------|
| 1 3年未満 | 4 10～15年未満 | 6 20年以上 |
| 2 3～6年未満 | 5 15～20年未満 | 7 生まれてからずっと |
| 3 6～10年未満 | | |

問 2 あなたは、中央区に対して「わがまち」というような愛着心を感じていますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 非常に感じる | 3 あまり感じない | 5 わからない |
| 2 少しは感じる | 4 感じない | |

問 3 あなたは、中央区に今後もずっと住みたいと思っていますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|-------------|---------|
| 1 住み続けたい | 3 できれば転出したい | 5 わからない |
| 2 できれば住み続けたい | 4 転出したい | |

2 防災対策

問 4 あなたのご家庭では、大地震などの災害が起こった場合に備えて、どのような対策をとっていますか。(○はいくつでも)

- | |
|-----------------------------|
| 1 食料の備蓄 → () 日分 (1人1日3食分) |
| 2 飲料水の備蓄 → () 日分 (1人1日3ℓ分) |
| 3 簡易トイレの備蓄 → () 日分 |
| 4 家具類の転倒防止 |
| 5 消火器・救急セットなどの備え |
| 6 バールやハンマーなどの救助用工具の備え |
| 7 貴重品を持ち出す準備 |
| 8 風呂などへの水のため置き |
| 9 救命救助の講習会への参加 |
| 10 町会・自治会などの地域の防災訓練への参加 |
| 11 避難方法、避難場所の確認 |
| 12 家庭での連絡方法などの話し合い |
| 13 建物の補強 |
| 14 その他 (具体的に) |
| 15 特にない |

問5 大地震が発生した場合、家具の転倒やガラスの飛散により大けがをすることがあります。
あなたのご自宅では、どのような備えを行っていますか。(〇はいくつでも)

- 1 たんす、書棚など転倒しないよう固定している
- 2 テレビ、パソコンなど落下しないよう固定している
- 3 窓や食器棚などのガラス面に飛散防止フィルムを貼っている
- 4 食器棚などに止め金具を付けている
- 5 家具の配置を工夫している
- 6 家具類がないため固定する必要がない
- 7 特に何もしていない

問6 区では区立の小・中学校などを「防災拠点」とし、食料や毛布などの備蓄や井戸を整備しています。この「防災拠点」は避難所や救護所などの機能を持っています。
あなたは、ご自分の地域の「防災拠点」を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 知っている
- 2 知っているが、場所はわからない
- 3 知らない

(問6で、「1 知っている」または「2 知っているが、場所はわからない」とお答えの方に)

→ 問6-1 この防災拠点の災害時の運営を円滑に進めるため、町会・自治会や防災区民組織が
防災拠点運営委員会をつくり、防災訓練の実施や日頃から防災について話し合うなど、
災害に備えた協力体制をとっていることをあなたは知っていますか。(〇は1つ)

- 1 知っている
- 2 知っているが、活動内容はよくわからない
- 3 知らない

問7 大地震などの災害が起こり、自宅が火災や倒壊などにより居住できず防災拠点へ避難することになった場合、あなたが特に気がかりなことは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 水・食料 | 8 スペースの確保 |
| 2 トイレ | 9 暑さ寒さ対策 |
| 3 プライバシー | 10 ペットの世話 |
| 4 家族・友人・知人などの安否 | 11 その他 |
| 5 災害状況・対策などの情報 | (具体的に) |
| 6 医療・医薬品 | 12 特にない |
| 7 高齢者介護や乳幼児保育 | 13 わからない |

問8 大震災などの災害が起こったら、お住まいの近くで、あなたが協力できると思う活動には何がありますか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 負傷者の応急手当 | |
| 2 倒壊家屋などからの救出・救助 | |
| 3 初期の消火活動 | |
| 4 避難所での被災者の世話 | |
| 5 救援物資の仕分けなどの防災活動への協力 | |
| 6 外国語通訳・手話・建物の危険度判定など専門的スキルを活用した活動 | |
| 7 インターネットによる情報収集や伝達 | |
| 8 その他の支援活動 (具体的に |) |
| 9 協力できそうもない | |
| 10 わからない | |

問9 災害時に区内の災害情報を得る手段として、一般のテレビ・ラジオ以外にあなたが有効だと思うものは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1 区のホームページ | |
| 2 ちゅうおう安全・安心メール | |
| 3 インターネット | |
| 4 ツイッターやフェイスブックなどSNS (ソーシャルネットワーキングサービス) | |
| 5 防災行政無線 (屋外スピーカー) | |
| 6 緊急告知ラジオ | |
| 7 ケーブルテレビ | |
| 8 その他 (具体的に |) |

※ 緊急告知ラジオ 大きな地震や水害など緊急を要する災害の発生時に自動的に電源が入り、地域コミュニティFM放送局(中央エフエム)を活用して災害情報や避難情報などの緊急放送を受信できるラジオです。区では、平成23年度より区民の皆さんへ有償頒布を実施しています。

3 健康診査

※ 健康診査 勤務先で実施する定期健康診断、区や加入している健康保険で実施している健康診査、人間ドックなどです。がん検診は含みません。

問10 あなたが加入している健康保険は次のどれですか。(○は1つ)

- 1 中央区国民健康保険
- 2 国民健康保険組合（自営業などの業種ごとに加入する健康保険）
- 3 健康保険組合
- 4 協会けんぽ（全国健康保険協会）
- 5 共済組合
- 6 後期高齢者医療制度
- 7 その他（具体的に)

問11 あなたは、この1年間に健康診査（健康診断）を受けましたか。(○はいくつでも)

- 1 区で実施している健康診査を受けた
- 2 勤務先（家族の勤務先を含む）で実施する健康診査を受けた
- 3 加入している健康保険組合などで実施する健康診査を受けた
- 4 個人で人間ドックなどを受けた
- 5 学校で実施する健康診査を受けた
- 6 その他で受けた
- 7 健康診査は受けていない

（問11で、「7 健康診査は受けていない」とお答えの方に）

→ 問11-1 あなたが健康診査を受けなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1 勤務先（家族の勤務先を含む）などで実施していない
- 2 受診方法がわからない
- 3 必要がない
- 4 時間がない
- 5 面倒である
- 6 健康に自信がある
- 7 病気で医者にかかっている
- 8 検査がいや
- 9 病気と診断されるのが怖い
- 10 費用がかかる
- 11 その他（具体的に)

4 高齢者施策

問12 あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいですか。

(もっとも近い考え1つに○)

- 1 主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい
- 2 主に介護サービスなどを利用して、自宅で暮らしたい
- 3 高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい
- 4 特別養護老人ホームなどの介護施設に入りたい
- 5 介護付き有料老人ホームに入りたい
- 6 その他 (具体的に)
- 7 わからない

問13 あなたは、住み慣れた地域で暮らし続けるために、これから高齢者保健福祉施策で、区が力を入れていくべきものは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 健康づくり・介護予防の充実
- 2 就労・社会参加の促進
- 3 在宅サービス (医療・介護・区の在宅福祉サービスなど) の充実
- 4 特別養護老人ホームや認知症対応型グループホームなどの施設の整備・誘致
- 5 高齢者向け住宅の整備・誘致
- 6 ひとり暮らしや認知症高齢者などへの支援
- 7 低所得者への経済的支援
- 8 特になし

問13-1 問13で、あなたが○をした選択肢を含め、区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスをお書きください。

5 子育て支援

問14 あなたは、子育てに関する悩みや不安をどこに相談しましたか。(○は2つまで)

| | |
|----|----------------------------------|
| 1 | 配偶者・パートナー |
| 2 | その他の親族 |
| 3 | 職場の人 |
| 4 | 隣近所の人、知人、友人 |
| 5 | 保育園・認定こども園・幼稚園・学校の保護者の仲間 |
| 6 | 保育園・認定こども園・幼稚園・学校の先生 |
| 7 | 子ども家庭支援センター、児童館、あかちゃん天国など子育て支援施設 |
| 8 | (健診時などで)保健所、保健センターの担当者 |
| 9 | その他(具体的に) |
| 10 | 特に相談しない |
| 11 | 子育てを経験していない |

※ 認定こども園 小学校に就学する前の子どもの教育・保育・子育て支援を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の役割を果たします。

問15 あなたがこれからの区の子育て支援で重要と考えるものを選んでください。(○は2つまで)
また、更に充実を図る必要があると考えるものを選んでください。(○はいくつでも)

| | 重要と考えるもの (○は2つまで) | 更に充実を図る必要 があると考えられるもの (○はいくつでも) |
|----|----------------------|---------------------------------------|
| 1 | 1 | 1 |
| 2 | 2 | 2 |
| 3 | 3 | 3 |
| 4 | 4 | 4 |
| 5 | 5 | 5 |
| 6 | 6 | 6 |
| 7 | 7 | 7 |
| 8 | 8 | 8 |
| 9 | 9 | 9 |
| 10 | 10 | 10 |
| 11 | 11 | 11 |
| 12 | 12 | 12 |

※ 地域型保育事業所 少人数の単位で0～2歳の子どもを預かる保育事業所です。
(家庭的保育事業・小規模保育事業・事業所内保育事業・居宅訪問型保育事業)

問15-1 あなたが問15で重要と考えるものに○をした選択肢も含め、区に取り組んでほしい具体的な施策やサービスをお書きください。

6 広報・広聴

問16 あなたは、区のサービスやイベントなどの区政情報をどのように入手していますか。

(○はいくつでも)

- 1 区の広報紙「区のおしらせ 中央」
 - 2 わたしの便利帳
 - 3 区のパンフレットやチラシなどの印刷物
 - 4 区のホームページ
 - 5 区の広報掲示板
 - 6 町会・自治会の掲示板や回覧板など
 - 7 ケーブルテレビの区提供番組「こんにちは 中央区です」
 - 8 コミュニティFMラジオ中央エフエムの区提供番組「中央区からのお知らせ」
 - 9 区のツイッターやフェイスブック
 - 10 その他 (具体的に)

問17 区民の皆さんのさまざまな意見、提案、要望などをお聴きするためには、あなたはどのような取り組みが効果的だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 区政世論調査
 - 2 区長への手紙 (広聴はがき)
 - 3 区長への手紙Eメール君 (区ホームページからの意見書き込み)
 - 4 区政モニター (公募したモニターからの意見聴取)
 - 5 パブリックコメント (各種計画案などに対する意見募集)
 - 6 各種相談窓口の充実
 - 7 インターネットを活用したアンケート調査の実施
 - 8 その他 (具体的に)
 - 9 わからない

7 男女共同参画社会

※ 男女共同参画社会 男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、男女が均等に政治的、経済的、社会的および文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担う社会のことです。

問18 あなたは、次にあげる分野の男女の平等についてどのように感じていますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

| | 1 女性が優遇 されている | 2 やや女性が優遇 されている | 3 平等になっている | 4 やや男性が優遇 されている | 5 男性が優遇 されている |
|---------------------|---------------------|-----------------------|---------------|-----------------------|---------------------|
| (記入例) (1) 家庭では | 1 | 2 | ③ | 4 | 5 |
| (1) 家庭では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (2) 職場では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (3) 教育の場 (学校・大学) では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (4) 社会活動の場では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (5) 法律や制度では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (6) しきたりや習慣では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (7) 政治の場では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| (8) 全体としては | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問19 あなた自身の仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス) について、望ましいと思うものはどれですか。(○は1つ)

| |
|--|
| 1 仕事に専念する方がよい 2 仕事以外の生活も大事ではあるが、仕事の方を優先する方がよい 3 仕事と生活とを同じように両立させることが望ましい 4 仕事も大事だが、生活の方を優先させる方がよい 5 仕事以外の生活に専念する方がよい 6 わからない 7 その他 (具体的に) |
|--|

※ 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)

仕事と仕事以外の生活とのバランスを図ることにより、家庭や地域活動などに参加できる時間を確保しながら充実した生活を送ることが重要であるという考え方です。

問20 問19の望ましい位置づけに対して、あなたの現在の状況は次のどれにあてはまりますか。

(○は1つ)

- 1 仕事に専念している
- 2 どちらかといえば、仕事の方を優先している
- 3 仕事と生活を同じように両立させている
- 4 どちらかといえば仕事よりも、生活の方を優先させている
- 5 現在仕事をしていない
- 6 その他（具体的に)

問21 あなたは、区が男女共同参画推進のための拠点として設置した女性センター「ブーケ21」を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っているし、利用している
- 2 利用したことはないが、活動内容は知っている
- 3 利用したことはなく、活動内容も知らないが、施設があることは知っている
- 4 知らない
- 5 その他（具体的に)

8 防犯対策

問22 あなたの住む地域で不安に感じる具体的犯罪は何ですか。(○は2つまで)

| | |
|--------------------|----------------|
| 1 ひったくり | 9 痴漢・強制わいせつ |
| 2 空き巣 | 10 少年犯罪 |
| 3 強盗 | 11 子どもの誘拐・連れ去り |
| 4 すり・置き引き | 12 暴力団員による犯罪 |
| 5 自動車(自転車)泥棒・車上ねらい | 13 悪質な客引き |
| 6 振り込め詐欺 | 14 その他 |
| 7 傷害・暴行 | (具体的に) |
| 8 放火 | 15 特にない |

問23 あなたが防犯のために実行していること、心掛けていることは何ですか。(○はいくつでも)

| |
|--|
| 1 自主的な防犯パトロールなどの活動に参加している |
| 2 区の広報、ちゅうおう安全・安心メール、区のホームページ、警察の広報紙などで防犯に関する情報を得ている |
| 3 何かあれば警察や区などの相談窓口に行くようにしている |
| 4 日ごろから近隣住民などと良好なコミュニケーションを保つようにしている |
| 5 防犯性能の高い鍵や窓を使用したり、防犯カメラ、センサー付きライトなどの防犯機器を設置している |
| 6 警備会社などのセキュリティシステムを利用している |
| 7 その他 (具体的に) |
| 8 特に何もしていない |

問24 今後、あなたが区に特に力を入れてほしいと考える施策は何ですか。(○は2つまで)

| |
|-----------------------------------|
| 1 区内の犯罪発生状況や防犯に関する情報発信 |
| 2 住まいの防犯設備整備費用の助成 |
| 3 地域の防犯カメラや街路灯設置の推進 |
| 4 防犯対策に関するハンドブックの配布や講座・講演会などの啓発活動 |
| 5 学校や児童館などの子どもの安全対策 |
| 6 通学路や公園などの安全対策 |
| 7 地域の防犯パトロール活動などへの支援 |
| 8 その他 (具体的に) |
| 9 特にない |

9 公共施設

問25 あなたが、過去1年間に利用したことがある区の施設の利用頻度を、(1)から(13)までの施設ごとに選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

また、あなたが、「4 利用したことがない」を選んだ施設について、その理由は何ですか。12ページの記入欄から、施設ごとに選んでください。(○はそれぞれ2つまで)

| 区の施設の利用頻度 (○はそれぞれ1つずつ) | 1 よく利用している (月に4回以上) | 2 たまに利用する (月に1回程度) | 3 あまり利用しない (年に数回程度) | 4 利用したことがない |
|--|---------------------------|--------------------------|---------------------------|----------------|
| (記入例) (1) 地域・集会施設 (区民館・コミュニティルームなど) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (1) 地域・集会施設 (区民館・コミュニティルームなど) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (2) 文化・学習施設 (中央会館・日本橋公会堂・社会教育会館・ タイムドーム明石など) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (3) スポーツ施設 (総合スポーツセンター・月島スポーツプラザ・ ほっとプラザはるみなど) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (4) 運動場 (月島、浜町、豊海テニス場など) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (5) 図書館 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (6) 公園 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (7) 中央区役所本庁舎、 特別出張所 (日本橋・月島) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (8) 高齢者福祉施設 (おとしより相談センター・敬老館など) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (9) 子育て支援施設 (児童館など) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (10) 保健施設 (中央区保健所・保健センター (日本橋・月島)) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (11) 医療施設 (休日応急診療所・休日応急歯科診療所・ 休日応急薬局) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (12) 保養施設 (伊豆高原荘・区民健康村「ヴィラ本栖」) | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (13) その他 (具体的に) | 1 | 2 | 3 | 4 |

| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
|------------------------------------|---------------|---------------------|-------------|------------------|----------|-----------------|--------------|--------------|-------------|---------------|--------------|-----|
| 区の施設を「利用したことがない」と答えた理由（○はそれぞれ2つまで） | 利用したい施設ではないから | 利用したい施設ではあるが近くにないから | 利用時間が合わないから | 民間の施設の方が利用しやすいから | 清潔感がないから | サービスが行き届いていないから | 職員の対応が良くないから | 施設が混み合っているから | 利用する必要がないから | どこにあるか分からないから | 利用方法が分からないから | その他 |
| （記入例）（1）地域・集会施設 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | ④ | 5 | 6 | 7 | ⑧ | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（1）地域・集会施設 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（2）文化・学習施設 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（3）スポーツ施設 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（4）運動場を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（5）図書館を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（6）公園を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（7）中央区役所本庁舎、特別出張所 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（8）高齢者福祉施設 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（9）子育て支援施設を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（10）保健施設 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（11）医療施設 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| →（12）保養施設 を利用したことがない理由 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |

問26 あなたが今、不足していると思う施設は何ですか。(○は2つまで)

- 1 地域・集会施設 (区民館・コミュニティルームなど)
- 2 文化・学習施設 (公会堂・社会教育会館など)
- 3 スポーツ施設 (スポーツセンターなど)
- 4 運動場
- 5 図書館
- 6 公園
- 7 庁舎・出張所
- 8 高齢者福祉施設 (おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど)
- 9 子育て支援施設 (児童館・保育園など)
- 10 保健施設 (保健所・保健センターなど)
- 11 医療施設 (休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局など)
- 12 保養施設
- 13 学校教育施設
- 14 住宅
- 15 その他 (具体的に)
- 16 特にない

問27 あなたが将来 (10年程度先)、不足すると思う施設は何ですか。(○は2つまで)

- 1 地域・集会施設 (区民館・コミュニティルームなど)
- 2 文化・学習施設 (公会堂・社会教育会館など)
- 3 スポーツ施設 (スポーツセンターなど)
- 4 運動場
- 5 図書館
- 6 公園
- 7 庁舎・出張所
- 8 高齢者福祉施設 (おとしより相談センター・敬老館・特別養護老人ホームなど)
- 9 子育て支援施設 (児童館・保育園など)
- 10 保健施設 (保健所・保健センターなど)
- 11 医療施設 (休日応急診療所・休日応急歯科診療所・休日応急薬局など)
- 12 保養施設
- 13 学校教育施設
- 14 住宅
- 15 その他 (具体的に)
- 16 特にない

10 スポーツ

問28 あなたがこの1年間に行ったスポーツや運動は何ですか。(○はいくつでも)

※ 運動の量や時間の条件はありません。

- 1 水泳 (水中歩行、水中運動、アクアビクスなどを含む)
- 2 体操 (ラジオ体操、職場体操、ヨガ、ピラティス、太極拳、エアロビクス、ストレッチ、腰痛・肩こり防止などの健康体操など)
- 3 ジョギング、マラソン
- 4 ウォーキング、散歩 (散策、ペットの散歩などを含む)
- 5 マシントレーニング (ランニングマシーン、バランスボール、ダンベルなど器具を使った運動)
- 6 武道 (柔道、剣道、空手など)
- 7 テニス、ソフトテニス
- 8 屋内球技 (バレーボール、バドミントン、卓球など)
- 9 屋外の球技 (野球、ソフトボール、サッカー、フットサルなど)
- 10 ゴルフ
- 11 ハイキング、キャンプ、登山など
- 12 スキー、スノーボード、スケートなど
- 13 海水浴 (遊水)
- 14 シュノーケリング、ダイビング、サーフィン、ヨットなど
- 15 釣り
- 16 ボーリング
- 17 サイクリング
- 18 ニュースポーツ (グラウンドゴルフ、キンボール、ソフトバレー、ペタンク、スポーツ吹き矢など)
- 19 ダンス (フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、民謡の踊りを含む)
- 20 その他 (具体的に)
- 21 スポーツや運動はしなかった

(問28で、「1 水泳」から「20 その他」のいずれかにお答えの方に)

→ 問28-1 あなたは、この1年間にどのくらいスポーツや運動をしましたか。(○は1つ)

- | | |
|------------|--------------------------|
| 1 週に3日以上 | 4 3カ月に1～2日程度 (年に4～11日程度) |
| 2 週に1～2日程度 | 5 年に1～3日程度 |
| 3 月に1～3日程度 | 6 わからない |

問29 あなたは、区民のスポーツへの参加の機会を増やすために、区は今後どのようなことに力を入れたら良いと思いますか。(○は3つまで)

- 1 スポーツ施設の増設・充実
- 2 学校体育施設の開放・整備
- 3 施設利用時間の拡大
- 4 スポーツ行事・大会・教室の開催
- 5 障害のある人を対象としたスポーツ教室や体験会の開催
- 6 地域スポーツクラブの設立や活動に対する支援
- 7 年齢にかかわらず楽しめるスポーツの普及
- 8 一人でも参加できるスポーツの場の提供
- 9 公共スポーツ施設での健康・体力相談体制の整備
- 10 区内のスポーツに関する情報発信
- 11 その他 (具体的に)
- 12 わからない

※ 地域スポーツクラブ 地域が主体となって運営し、学校など身近な施設において子どもから大人まで誰もが気軽にスポーツ、レクリエーション、文化活動を楽しめるスポーツクラブです。地域の皆さんは、会員、運営スタッフ、指導者としてクラブに参加することができます。中央区では平成25年2月に月島地域を拠点とする「中央区地域スポーツクラブ大江戸月島」が設立されました。

11 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会

問30 2020年東京大会が開催されることについて、現段階でのお気持ちをお聞かせください。

(○は1つ)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 期待している | 3 どちらかという懸念がある |
| 2 どちらかという期待している | 4 懸念がある |

問31 2020年東京大会の開催に伴い、あなたが期待していることは何ですか。(○は3つまで)

- | |
|---|
| 1 スポーツ活動の活性化 (スポーツ参加意識の向上、障害者スポーツの普及など) |
| 2 健康づくりの推進 |
| 3 外国人との交流機会の増加 |
| 4 学校における国際教育などの推進 |
| 5 障害者支援やバリアフリー化などの福祉施策の推進 |
| 6 ボランティアやおもてなしなどの地域活動の活性化 |
| 7 地域の伝統・文化・観光資源の活用による中央区の魅力・知名度の向上 |
| 8 五輪関連投資や消費増などによる経済活性化 |
| 9 防犯・防災対策の強化 |
| 10 幹線道路や公共交通の整備促進 (道路の整備・拡幅、基幹的交通システムの導入など) |
| 11 外国人が円滑に移動できる多言語対応の取組 |
| 12 環境にやさしいまちづくりの推進 (コミュニティサイクルの導入など) |
| 13 その他 (具体的に) |

※ コミュニティサイクル 貸出・返却のための拠点(サイクルポート)を複数設置し、どのサイクルポートでも自転車を借りられ、返却できるネットワーク型のレンタサイクルです。

問32 2020年東京大会の開催に伴い、あなたが懸念していることは何ですか。(○は3つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 海外観光客に対する受入準備の不足 (外国語や異文化への対応の不足など) |
| 2 観光客の増加による日常生活の不便さ (交通混雑、買物不便など) |
| 3 観光客の増加による治安・防犯・マナー面の懸念 |
| 4 観光客の増加による衛生面 (感染症など) の懸念 |
| 5 大会開催に伴う道路規制や選手村の警備などによる日常生活への影響 |
| 6 選手村工事などによる騒音や渋滞の発生 |
| 7 五輪関連以外の公共インフラ整備の遅延 |
| 8 材料費、人件費の高騰や便乗値上げなどによる物価上昇 |
| 9 区の財政負担の増加 |
| 10 その他 (具体的に) |

12 施策の要望・評価

問33 あなたは、区の施策についてどの程度満足していますか。また、その施策をどの程度重視していますか。満足度と重要度について、次の項目それぞれに、あてはまるものを1つずつ選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

| | 満 足 度 | | | | | 重 要 度 | | |
|--|-------------|---------------|-------------|---------------|-------------|---------------------|------------------------|-------------|
| | 1 満 足 | 2 やや 満足 | 3 普 通 | 4 やや 不満 | 5 不 満 | 1 たい へん 重要 | 2 比 較 的 重要 | 3 普 通 |
| (記入例) (1) 子育て支援 | ① | 2 | 3 | 4 | 5 | ① | 2 | 3 |
| (1) 子育て支援 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (2) 障害者福祉 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (3) 高齢者福祉・介護 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (4) 保健衛生 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (5) 男女共同参画社会の推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (6) 住宅対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (7) 公園・緑地・水辺の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (8) 消費者生活対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (9) 環境保全・公害対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (10) 清掃・リサイクル事業の推進 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (11) 駐車場・駐輪場の整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (12) 道路環境整備、交通安全対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (13) 防災対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (14) 防犯対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (15) 再開発などによる地域整備 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (16) 中小企業対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (17) 学校教育の充実 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (18) 青少年対策 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (19) 生涯学習・文化・スポーツの振興 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (20) コミュニティの育成 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (21) 観光振興 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (22) 地域情報化の推進 福祉・医療・生涯学習などさまざまな区民 サービス情報のネットワーク化・CATV の整備促進など | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 |
| (23) 区の施策を総合的に見ると | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | |

問34 問33の施策の中で、あなたが力を入れてほしいものは何ですか。1位から3位までを選んで番号を記入してください。(1～22までの番号)

| 第 1 位 | 第 2 位 | 第 3 位 |
|-------|-------|-------|
| | | |

<フェイスシート>

多くの設問にお答えいただきありがとうございました。あと少しお聞かせください。

これからお聞きすることは、これまでの答えの内容を統計的に分類するためのものです。ご協力をお願いします。

F 1 性別 (○は1つ)

| | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 年齢 (○は1つ)

| | | | |
|----------|--------|----------|----------|
| 1 18～29歳 | 3 40歳代 | 5 60～64歳 | 7 70～74歳 |
| 2 30歳代 | 4 50歳代 | 6 65～69歳 | 8 75歳以上 |

F 3 あなたの職業は何ですか。(○は1つ)

| | | |
|-----------------|-----------------|------------|
| 1 自営業 (家族従業を含む) | 3 アルバイト・パートタイマー | 5 無職 (学生) |
| 2 勤め人 | 4 無職 (主婦) | 6 無職 (その他) |

F 4 あなたのお住まいの地域は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

| |
|--|
| 1 京橋地域 (八重洲2丁目、京橋、銀座、新富、入船、湊、明石町、築地、浜離宮庭園、八丁堀、新川) |
| 2 日本橋地域 (本石町、室町、本町、小舟町、小伝馬町、大伝馬町、堀留町、富沢町、人形町、小網町、蛸殻町、箱崎町、馬喰町、横山町、東日本橋、久松町、浜町、中洲、八重洲1丁目、日本橋、茅場町、兜町) |
| 3 月島地域 (佃、月島、勝どき、豊海町、晴海) |

F 5 現在一緒に暮らしているご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。(○は1つ)

| | | |
|------|------|-------------|
| 1 1人 | 3 3人 | 5 5人 |
| 2 2人 | 4 4人 | 6 6人以上 (人) |

F 6 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

| | | | |
|----|---|--------------------------------------|---|
| 持家 | 1 | 一戸建 | |
| | 2 | 分譲マンション (階) | |
| 借家 | 3 | 一戸建 | |
| | 4 | 公共住宅 (区立、区営、都営、公社、都市再生機構 (旧公団)) (階) | |
| | 5 | 民間木造アパート (階) | |
| 家 | 6 | 民間鉄筋アパート、マンション (階) | |
| | 7 | 社宅、官舎、寮 (階) | |
| | 8 | 間借り、住込み | |
| | 9 | その他 (具体的に) |) |

F 7 あなたの家族構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

| | | |
|---|----------------|---|
| 1 | ひとり暮らし | |
| 2 | 夫婦だけ (1世代) | |
| 3 | 夫婦と子どもだけ (2世代) | |
| 4 | 夫婦と子どもと親 (3世代) | |
| 5 | その他 (具体的に) |) |

F 8 あなたの家族の状況は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

| | | |
|---|----------------|---|
| 1 | 子どものいない夫婦 | |
| 2 | 一番上の子どもが小学校入学前 | |
| 3 | 一番上の子どもが小・中学生 | |
| 4 | 一番上の子どもが高校・大学生 | |
| 5 | 一番上の子どもが学校卒業 | |
| 6 | 独身 | |
| 7 | その他 (具体的に) |) |

※ご協力ありがとうございました。

調査結果の概要版が必要な方は、以下の欄に住所・氏名をご記入下さい。

概要版ができ次第、送付いたします。(9月下旬予定)

住 所 中央区 _____

氏 名 _____

第46回 中央区政世論調査 報告書

平成28年9月

刊行物登録番号
28-043

- 発行 中央区企画部広報課
中央区築地1丁目1番1号
電話 03(3546)5222(直通)
- 実施 株式会社エスピー研
千代田区飯田橋3丁目11番20号
電話 03(3239)0071(代表)
-